徳洲会グループ
専門研修プログラム一覧

2026/8 版

総合診療科

内科

外科

救急科

麻酔科

整形外科

形成外科

産婦人科

泌尿器科

放射線科

病理診断科

小児科

脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科

【問い合わせ】

徳洲会研修委員会事務局　専門研修担当まで　tokukenshu@tokushukai.jp

徳洲会専攻医募集ページ　https://www.tokushukai.or.jp/recruit/resident/specialist.php

徳洲会グループ　専門研修プログラム状況一覧（基本領域）

●⇒基幹施設
■⇒連携施設
★⇒基幹申請予定

2026/8現在

施設名	領域																		
	総合診療科	内科	外科	救急科	麻酔科	整形外科	形成外科	産婦人科	泌尿器科	放射線科	病理	小児科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	リハ科	精神科	臨床検査
札幌東徳洲会病院（北海道）	●	●	■	●	■	■				■	■		■	■	■				
札幌徳洲会病院(北海道)	●	●	■	■	■	●	■	■	■	■	■	★		■	■				
天使病院(北海道)	■	■	■		■	■		■			■	■		■	■				
日鋼記念病院(北海道)		■	■																
共愛会病院(北海道)	●	■	■	■	■			■				■							
日高徳洲会病院(北海道)	■	■	■	■															
札幌南徳洲会病院(北海道)	■	■																	
帯広徳洲会病院(北海道)	■	■	■	■															
仙台徳洲会病院(宮城県)	●	●	■		■	■			■		■					■			
山形徳洲会病院(山形県)						■													
新庄徳洲会病院(山形県)	■	■	■																
庄内余目病院(山形県)	■	■	■										■						
山北徳洲会病院(新潟県)	■	■																	
千葉徳洲会病院(千葉県)	●	●	■						■								■		
成田富里徳洲会病院(千葉県)		■	■	■					■				■						
千葉西総合病院(千葉県)	●	●	●	●	●	■	★	■	●		●	■	■						
野田総合病院(千葉県)		■	■					■											
鎌ケ谷総合病院(千葉県)		■		■	■	■			■		■		■						
四街道徳洲会病院(千葉県)			■	■															
館山病院(千葉県)	■	■							■										
古河総合病院(茨城県)		■	■																
東京西徳洲会病院(東京都)	●	●	■	■	●	■	■		■				■						
武蔵野徳洲会病院(東京都)	■	■	■	■	■	■	■		■		■	■	■	■					
白根徳洲会病院（山梨県）			■	■									■						
羽生総合病院(埼玉県)	●	■	●	■			■	■	■		■	■							
皆野病院(埼玉県)	■	■	■																
湘南藤沢徳洲会病院(神奈川県)	●	●	●	●	●	●		■	■	■	■	■	■			■			
茅ヶ崎徳洲会病院(神奈川県)	●								■										
湘南鎌倉総合病院(神奈川県)	●	●	●	●	●	■	■	●	■	●	●		■			■			
湘南厚木病院(神奈川県)	●	★	■	■	■					■									
大和徳洲会病院（神奈川県）		■	■	■	■		■												
葉山ハートセンター(神奈川県)	■	■		■	■														
湘南大磯病院(神奈川県)		■	■			■													
静岡徳洲会病院(静岡県)	●	■	■	■		■													
榛原総合病院(静岡県)	■	■	■	■	■	■			■								■		
名古屋徳洲会総合病院(愛知県)	●	●	●	●	■	■			■		■		■						

徳洲会グループ　専門研修プログラム状況一覧（基本領域）

●⇒基幹施設
■⇒連携施設

★⇒基幹申請予定

2026/8現在

施設名	領域																		
	総合診療科	内科	外科	救急科	麻酔科	整形外科	形成外科	産婦人科	泌尿器科	放射線科	病理	小児科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	リハ科	精神科	臨床検査
大垣徳洲会病院(岐阜県)		■	■			■							■	■	■				
近江草津徳洲会病院(滋賀県)		■	■		■							■							
宇治徳洲会病院(京都府)	●	●	●	●	●	●	■	■	■	■	■	●	■	■	■				
六地蔵総合病院(京都府)		■		■								■							
生駒市立病院(奈良県)			■				■	■				■							
野崎徳洲会病院(大阪府)	●	●	★	●	★	■			★	■	■		■						
松原徳洲会病院(大阪府)	●	●	■	■		■		■	■	■	■								
岸和田徳洲会病院(大阪府)	●	●	●	●	■	■	■	■	■	■		■	■			■			
八尾徳洲会総合病院(大阪府)	●	●	●	●	■	●	■		■	■	■		■		■	■			
和泉市立総合医療センター(大阪府)		●	■		■	■		■	■	■	■	■							
吹田徳洲会病院(大阪府)		■	●					■	■						■				
阪南中央病院(大阪府)		■				■		■				■			■	■			
神戸徳洲会病院(兵庫県)		■	■	■								■							
高砂西部病院(兵庫県)	■	■	■					■				■							
宇和島徳洲会病院(愛媛県)	●	■		■															
出雲徳洲会病院(島根県)	●	■	■	■												■			
福岡徳洲会病院(福岡県)	●	●	●	●	●	■	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
二日市徳洲会病院(福岡県)		■																	
長崎北徳洲会病院(長崎県)		■											■						
鹿児島徳洲会病院(鹿児島県)	●	■	■	■	■														
大隅鹿屋病院(鹿児島県)	●	●	●	■	■		■												
山川病院(鹿児島県)	■	■																	
公立種子島病院(鹿児島県)		■																	
屋久島徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■			■												
名瀬徳洲会病院(鹿児島県)	●	■	■	■		■		■											
笠利病院(鹿児島県)	■	■																	
瀬戸内徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■															
喜界徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■															
徳之島徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■				■				■							
沖永良部徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■					■										
与論徳洲会病院(鹿児島県)	■	■		■					■										
中部徳洲会病院(沖縄県)	●	●	●	■	■	■			■	■	■	■	■						
南部徳洲会病院(沖縄県)	●	■	■	■	■	■		■	●	■	■	■	■				■		
石垣島徳洲会病院(沖縄県)	■	■																	
宮古島徳洲会病院(沖縄県)	■	■	■	■					■										

札幌徳洲会病院



〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山田達也（プライマリセンター部長）

<プログラムの特徴>

「新たな価値への挑戦！」
総合診療医としての全人的・全身的な診療能力を身につけ地域に貢献できる人格形成と、どの様な環境下でも活躍の場を見出す医師の育成を目指しています。米国総合内科専門医の教育等により、総合的かつ専門的なエッセンスを交えたグローバルな研修です。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	札幌徳洲会病院						札幌徳洲会病院 共愛会病院			共愛会病院 日高徳洲会病院		
	領域	総診Ⅱ						救急			その他（地域医療）		
2年目	施設名	おおあさクリニック ニセコインターナショナルクリニック 松前町立松前病院 せたな町立国保病院						札幌徳洲会病院			札幌徳洲会病院 ニセコインターナショナルクリニック 共愛会病院 日高徳洲会病院 千葉徳洲会病院 東葛辻仲病院 柏葉脳神経外科病院		
	領域	総診Ⅰ						小児科			その他（選択診療科）		
3年目	施設名	札幌徳洲会病院											
	領域	内科／総診Ⅱ											

<ローテーション・連携施設一覧>

おおあさクリニック（江別市：総合診療Ⅰ）／ニセコインターナショナルクリニック（倶知安町：総合診療Ⅰ）／松前町立松前病院（松前町：総合診療Ⅰ）／せたな町立国保病院（せたな町：総合診療Ⅰ）／共愛会病院（函館市：地域医療・救急科）／日高徳洲会病院（新ひだか町：地域医療）／千葉徳洲会病院（千葉県船橋市：消化器内科）／東葛辻仲病院（千葉県我孫子市：外科）／柏葉脳神経外科病院（札幌市：脳神経外科）

<診療実績など>

■平均外来患者（延べ）数：21.2名／月　■平均入院患者総数：35.0名／月　■年間救急搬送数：5,098件
■学会活動（発表・講演等）の主な学会名：
日本病院総合診療医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本内科学会（地方会含む）、日本救急医学会、Society to Improve Diagnosis in Medicine（SDIM）、The World Organization of Family Doctors（WONCA）、International Conference on Communication in Healthcare（ICCH）、Society of General Internal Medicine（SGIM）、Pan-Pacific Emergency Medicine Conference、IDATEN、札幌救急カンファレンス、Michigan Univ. & 札幌家庭医療カンファレンス、New Mexico Univ. & 札幌救急カンファレンス、駆け込み寺シリーズ｜セミナー　等
（2019年度～2021年度実績）

メッセージ　■プライマリセンター部長（プログラム統括責任者）：山田達也■

当科”プライマリーセンター”の立ち位置は非常に重要で、救急搬送された患者への対応や入院管理を通じて地域医療に貢献している診療科で、札幌市の南東部に位置しているため、近隣都市からの救急搬送も多く、様々な疾患を抱えた患者のケアが求められ、幅広い経験を積むことが可能です。また、今後は高齢化率の伸びが予想され、専門的な医師のニーズも増す中、幅広く診ることができる人材の活躍が重要となります。是非、「飽きっぽい性格で一つの診療科に絞れない」などの先生方も含めて歓迎しております！

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

安尾　和裕

<プログラムの特徴>

総合診療専門医は日常遭遇する疾病に対し、適切な初期対応と必要に応じて継続的診療を提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護,看取りなど、保健、医療、介護福祉活動に取り組みながら、自己研鑽を重ねながら人々の命と健康にかかわる問題について適切に対応する使命を担います。
欧米ではプライマリケア医が医療制度の一部として確立されてきましたが、近年の医療需要の変化からわが国でも総合診療専門医の養成が喫緊の課題となっています。
総合診療医が必要とされる理由はいくつかあげられます。
（1）フリーアクセス医療の弊害、OECD加盟国の多くでは専門医を受診する前にプライマリケア医がいます（ゲートキーパー制度）。これに対して、我が国では身近な医療機関より、大病院を受診する傾向があり「数時間待って数分の治療」のような弊害が起きています。総合診療の整備により、プライマリケアとセカンダリケアが分化出来、適切なすみわけが出来ることになります。
（2）高齢化による医療需要の変化、今や、我が国の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）が25%以上となり、世界一の超高齢化国です。慢性疾患で複数の疾病を持つ高齢者が増加しています。従来のスタンダードであった「特定の臓器や疾患のスペシャリスト」の医師のみでなく、患者を総合的に診ることが出来る医師が必要とされています。
（3）「地域を診られる医師の必要性」、医療や介護を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。多種多様な疾患や健康問題への対処が求められ、領域を問わない総合診療が求められています。
当院では経験豊富なスタッフが基幹研修施設と連携施設において、総合診療医を目指す諸君を待っております。

<ローテーション・連携施設一覧>

【基幹施設】札幌東徳洲会病院（総診Ⅱ・内科・救急科・小児科）
【連携施設】栄町ファミリークリニック（総診Ⅰ）　共愛会病院、帯広徳洲会病院（内科）
【特別連携病院】夕張市立診療所、利尻島国保中央病院(総診Ⅰ)
詳しくは上記URLからご確認ください。

連絡先

医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター
事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

共愛会病院



〒040-8577　北海道函館市中島町7-21
TEL　0138-51-2111　FAX　0138-51-2631
URL　http://www.kyoaikai-hosp.com

プログラム概要

<プログラム名>

共愛会病院　総合診療医プログラム

<プログラム統括責任者>

水島　豊

<プログラムの特徴>

当院がある函館市は、夜景や西部地区・ベイエリア、五稜郭、湯の川温泉街など魅力的な観光地が多く、日本だけでなく外国人観光客も多く訪れています。
気候は、地理的条件から寒暖差は少なく、積雪は北海道内では少ない一方、夏は周囲を海に囲まれているため真夏日もほとんどなく、一年中快適に過ごすことができます。
このように人気の観光都市である一方、少子高齢化が深刻であり、独居・身寄りなしの増加など高齢者問題だけではなく、小児科・産婦人科の減少も深刻で、全人的医療が求められています。
当プログラムは、様々な年齢層の初診・救急対応から慢性期管理・緩和ケアまで経験することができ、将来どの地域・規模の病院で働いても適切な医療を提供することができるような医師の育成を目標としています。
また、外国人医師を招いた英語カンファレンスの実施など、教育にも力を入れています。当プログラム修了後も、引き続き当院で新家庭医療専門研修プログラムを行うことも可能です。
＜専攻医処遇等＞
募集人数：2名
給与　　：約66万円/月（当直・夜間診療手当等含む）
当直回数：約5-6回/月
＜交通アクセス＞
函館空港から車で20分、函館駅から車で10分。
函館市電停留所まで徒歩10分、病院前にバス停留所あり。

<ローテーション・連携施設一覧>

内科（共愛会病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院）・・・12か月
総合診療Ⅰ（函館稜北病院、松前町立松前病院、せたな町立国保病院）・・・6か月
総合診療Ⅱ（共愛会病院）・・・6か月
救急（共愛会病院）・・・3か月
小児科（札幌徳洲会病院）・・・3か月
地域医療（沖永良部徳洲会病院、帯広徳洲会病院）・・・3か月
選択科目・・・3か月（上記研修科目・施設より選択する）

<診療実績など>

外来患者数：69,880/年、救急件数：5,956件/年、入院患者数：2,689人/年（うち内科1,254人/年）
＜専攻医経験症例数＞
外来：約89人/月（うち初診：約26人/月、救急：約31人/月）　、入院：約37人/月　、内視鏡件数：約50件/月

メッセージ

（専攻医より）私は、研修医の時に共愛会病院で地域医療研修を行い、先生方や職員の皆さんとの垣根が低く、また　病院の雰囲気が自分に合っていたので、この病院での研修を決めました。
行いたい手技等があればどんどんチャレンジできる環境なので、医師としてスキルアップが可能です。
救急や病棟対応等忙しいですが、定時で帰宅できる日やまとまった有給休暇も取得しやすい環境なので、とてもメリハリある研修ができます。
病院の雰囲気は実際に体験しないとわからないので、ぜひ一度見学に来てみてください。

連絡先

臨床研修事務局 中村
0138-51-2111（代表）　kenshu@kyoaikai-hosp.com

仙台徳洲会病院



〒981-3116　宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL　022-771-5111　FAX　022-771-5100
URL　https://sendai.tokushukai.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

仙台徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

佐野　憲

<プログラムの特徴>

本プログラムは宮城県仙台医療圏の中心的な急性期病院を目指す仙台徳洲会病院を基幹病院として、総合診療Ⅰ（与論徳洲会病院、山川病院）、総合診療Ⅱ（仙台徳洲会病院）、内科（仙台徳洲会病院）、小児科（札幌徳洲会病院）および救急科（岸和田徳洲会病院）とで専門研修を行います。

仙台徳洲会病院の指導医は、外科・脳神経外科・循環器内科と幅広い領域の専門医でもあり、様々な視点からの総合診療領域研修が可能です。また、内科研修においても指導医が6名在籍しており、循環器内科、糖尿病・代謝内科、肝臓内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科の専門医が指導にあたります。札幌徳洲会病院での小児科研修、岸和田徳洲会病院での救急科研修では、各二次医療圏の各種専門診療を提供する急性期病院での研修となっております。山川病院は、急性期から回復期医療に対応する総合病院の機能を持ち、耳鼻科のクリニックでの研修も可能です。また、与論徳洲会病院は島唯一の病院でもあり、地域に密着した“入院のできる在宅医療”、“医療のある介護”の実践を基本理念とし、幅広い年齢層の診療研修が可能となっており、徳洲会グループでの連携体制は十分です。

【採用予定人数】2名
【指導医数】6名（仙台徳洲会病院4名、与論徳洲会病院1名、山川病院1名）
【当直回数】4回～8回程度（ローテーションにより変動）

【給与例】
・卒後3年目　月給 約420,000円/年収 約5,800,000円
・卒後4年目　月額 約510,000円/年収 約7,100,000円
・卒後5年目　月額 約550,000円/年収 約7,700,000円

※当直手当含め、各種手当有。

<ローテーション・連携施設一覧>

仙台徳洲会病院　総合診療専門研修プログラムは、北海道から鹿児島まで広範囲での研修が可能です。僻地・離島での研修は、患者と家族によりそい救急から在宅まで地域密着型の医療を、内科、小児科、救急科では、各二次医療圏での急性期医療を、基幹施設では外科系から内科系まで多科の専門医から指導を受け、様々な症例を経験出来ます。

<table>
<tr><td rowspan="2">後期研修
1年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="12">仙台徳洲会病院
内科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期研修
2年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">仙台徳洲会病院
総診Ⅱ</td><td colspan="3">岸和田徳洲会病院
救急科</td><td colspan="3">札幌徳洲会病院
小児科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期研修
3年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">与論徳洲会病院
総診Ⅱ</td><td colspan="6">山川病院</td></tr>
</table>

メッセージ

プログラム統括責任者：名誉院長　佐野憲

徳洲会病院の得意分野である、豊富な救急症例から抽出される、多岐多様な患者の治療経験は将来必ず役に立つと同時に、どんな症例にも動じない自信につながります。また、全国に展開する徳洲会組織のネットワークにより、僻地離島でのバックアップは充実しており、安心して診療に専念できる環境です。

連絡先

医療法人徳洲会　仙台徳洲会病院
担当：総務課　前野
E-mail:maeno@sendai.tokushukai.or.jp

千葉徳洲会病院

〒 274-8503　住所 千葉県船橋市高根台2-11-1
TEL 047-466-7111　　FAX 047-467-0379
URL https://www.chibatoku.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

上田　修

<プログラムの特徴>

総合診療専門医として幅広い疾患に対応できる専門医を目指します。
「がん診療」と「救急」に注力している地域中核病院の一つとして幅広い疾患に対応できるプログラムである。

D. ローテーションのスケジュールと期間
（４年以上のプログラムの場合は、枠を増やして４年目以降のローテーションについても記載すること）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	湘南藤沢徳洲会病院						八千代医療センター			湘南藤沢徳洲会病院		
	領域	内科						救急科			小児科		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	施設名	屋久島徳洲会病院						千葉徳洲会病院					
	領域	総合診療専門研修Ⅰ						総合診療専門研修Ⅱ					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	施設名	湘南藤沢徳洲会病院						屋久島徳洲会病院					
	領域	内科						総合診療専門研修Ⅰ					

<ローテーション・連携施設一覧>

東京女子医科大学八千代医療センター （千葉県）
湘南藤沢徳洲会病院 （神奈川県）
屋久島徳洲会病院 （鹿児島県）

<診療実績など>

年間救急搬送件数　約4,500件
1日平均外来患者数　686人
1日平均入院患者数　229人

メッセージ

随時見学は受け付けております。お気軽にお問合せください。

連絡先

千葉徳洲会病院　臨床研修事務担当
kensyu@chibatoku.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

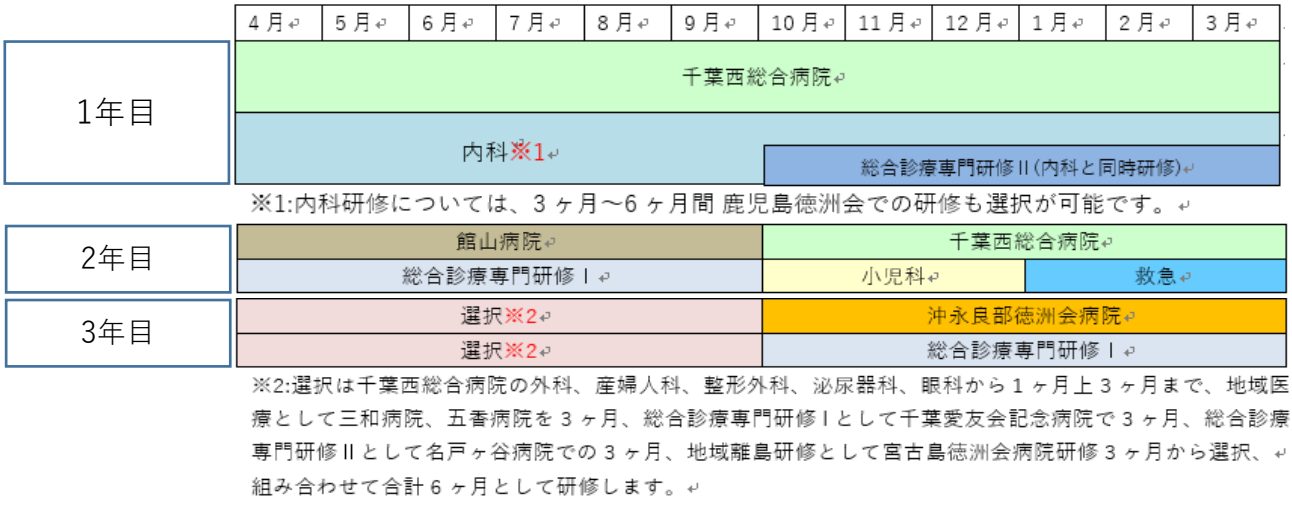
千葉西総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

宮本　憲一

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
名戸ヶ谷病院、名戸ケ谷病院付属名戸ケ谷診療所、千葉愛友会記念病院、五香病院、
三和病院、館山病院、鹿児島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院



※1:内科研修については、3ヶ月～6ヶ月間 鹿児島徳洲会での研修も選択が可能です。

※2:選択は千葉西総合病院の外科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、眼科から1ヶ月上3ヶ月まで、地域医療として三和病院、五香病院を3ヶ月、総合診療専門研修Ⅰとして千葉愛友会記念病院で3ヶ月、総合診療専門研修Ⅱとして名戸ヶ谷病院での3ヶ月、地域離島研修として宮古島徳洲会病院研修3ヶ月から選択、組み合わせて合計6ヶ月として研修します。

<診療実績>

・総合診療専門研修特任指導医：1名　・総合内科専門医：22名
・内科指導医：25名　・日本病院総合診療医学会認定医：12名

○**総合診療科・内科**　のべ外来患者数 7,852名／月,入院患者総数3,974名／月

※当院では循環器科、消化器内科以外の内科系疾患および総合的診療を要する外科系疾患、整形外科系疾患など多科疾患を総合診療科および内科で診療を行っておりその約40%が内科であり約60%が総合診療科の患者である。

○**救急部**　のべ外来患者数　約800名／月, 入院患者総数※

※当院では、救急部は入院までの救急診療を担当・トリアージ・初期治療を行い、入院が必要な場合には患者の疾患に応じて各科へ割り振りをし、各科への割り振りが明確ではない場合あるいは総合的全身管理を要する場合には総合診療科に入院とするシステムをとっている。したがって救急部の担当する入院患者はいない。しかしながら救急部で診療を行った患者数の約70%は入院となっており、その約60%を総合診療科の入院として管理している。

メッセージ

見学も随時行っておりますので、お気軽にご連絡ください！！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

羽生総合病院

〒348-8505　埼玉県羽生市下岩瀬446番地
TEL　048-562-3000　FAX　048-563-2170
URL　http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/



プログラム概要

<プログラム名>

羽生総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

髙橋　暁行（循環器内科/総合内科/院長）

<プログラムの特徴>

羽生総合病院は埼玉県北部羽生市に位置し、市の人口5万2千人程を支える地域の中核病院です。また利根川を境に群馬県と隣接している為、県外からの救急搬送患者も日夜受入を行っています。　病床数は311床であり急性期から慢性期までの幅広い患者層を対象としており、救急総合診療科では救急搬送患者を始めウォークインや他院からの紹介患者等、非常に多くの症例を扱っています。　総合診療専門医を目指す医師に3年間で総合診療専門医を取得していただくことが可能です。

■ローテーション表：イメージ■

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	羽生総合病院						共愛会病院					
	領域	総診Ⅰ						内科					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	施設名	千葉西総合病院 湘南藤沢徳洲会			羽生総合病院 太田記念病院			共愛会病院					
	領域	小児科			救急科			総診Ⅱ					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	施設名	羽生総合病院・太田記念病院・多良木病院 人吉医療センター・新久喜総合病院 湘南藤沢徳洲会・北中城若松病院系列						湘南藤沢徳洲会病院・羽生総合病院					
	領域	その他						内科					

<ローテーション・連携施設一覧>

■総合診療専門研修Ⅰ：ファミリークリニックきたなかぐすく（沖縄県北中城村）・人吉医療センター（熊本県人吉市：）
・球磨郡公立多良木病院（熊本県球磨郡多良木町）・北中城若松病院（沖縄県北中城村）■総合診療専門研修Ⅱ：共愛会病院（北海道函館市）■内科：湘南藤沢徳洲会病院（神奈川県藤沢市）・太田記念病院（群馬県太田市）■小児科：湘南藤沢徳洲会病院（神奈川県藤沢市）・千葉西徳洲会病院（千葉県松戸市）■救急科：太田記念病院（群馬県太田市）■麻酔科：新久喜総合病院■泌尿器科：新久喜総合病院■整形外科：球磨郡公立多良木病院(熊本県球磨郡）■健診：球磨郡公立多良木病院

メッセージ

地域医療を支える為に必要な総合的診療能力を有する医師を育成する制度です。
研修目標として、他の領域別専門医やその他の職種等と連携し地域内でのリーダーシップを発揮しつつ多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供できることです。また、臓器別でない病棟診療と臓器別でない外来診療を提供することを目標とし、①人間中心の医療ケア、②包括的統合アプローチ、③連携重視のマネージメント、④地域志向アプローチ、⑤公益に資する職業規範、⑥診療の場の多様性の6つのコアコンピテーシーを獲得することを目指していきます。
施設見学随時行っておりますのでお待ちしております。

連絡先
医療法人徳洲会　羽生総合病院
臨床研修事務担当　川口・戸ヶ崎
TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170
resident_doctor@fureaihosp.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院　総合診療医育成プログラム

<プログラム統括責任者>

北川　泉

<プログラムの特徴>

01. 臨床現場での学習：職務を通じた学習（On-the-job training）を基盤とし、診療経験から生じる疑問に対してEBMの方法論に則って文献等を通じた知識の収集と批判的吟味を行うプロセスと、総合診療の様々な理論やモデルを踏まえながら経験そのものを省察して能力向上を図るプロセスを両輪とします。その際、学習履歴の記録と自己省察の記録を経験省察研修録（ポートフォリオ：経験と省察のプロセスをファイリングした研修記録）作成という形で全研修課程において実施します。

02. 臨床現場を離れた学習：総合診療の様々な理論やモデル、組織運営マネジメント、総合診療領域の研究と教育については、関連する学会の学術集会やセミナー、研修会へ参加し、研修カリキュラムの基本的事項を履修します。また、医療倫理、医療安全、感染対策、保健活動、地域医療活動等については、日本医師会の生涯教育制度や関連する学会の学術集会等を通じて学習を進めます。地域医師会における生涯教育の講演会は、診療に関わる情報を学ぶ場としてのほか、診療上の意見交換等を通じて人格を陶冶する場として活用します。

03. 自己学習：研修カリキュラムにおける経験目標は原則的に自プログラムでの経験を必要としますが、やむを得ず経験を十分に得られない項目については、総合診療領域の各種テキストやWeb教材、更には日本医師会生涯教育制度及び関連する学会におけるe-learning教材、医療専門雑誌、各学会が作成するガイドライン等を適宜活用しながら、幅広く学習します。
04.「J-OSLER」への登録に関して：内科ローテート研修においては、症例登録・評価のため、内科領域で運用する専攻医登録評価システム「J-OSLER」による登録と評価を行います。12ヶ月間の内科研修の中で、最低40例を目安として入院症例を受け持ち、その入院症例（主病名、主担当医）のうち、提出病歴要約として10件を登録します。分野別（消化器、循環器、呼吸器など）の登録数に所定の制約はありませんが、可能な限り幅広い異なる分野からの症例登録を推奨します。

<ローテーション・連携施設一覧>

集中治療研修の充実
　聖マリアンナ医科大学病院での内科-集中治療研修を最長12ヶ月、東京ベイ・市川浦安医療センター・東海大学医学部付属病院・聖マリアンナ医科大学病院での救急-集中治療研修を最長3ヶ月まで自由に研修することができます。
連携施設：松前町立松前病院 / 名瀬徳洲会病院 / まつむらファミリークリニック / 瀬戸内徳洲会病院 / 新庄徳洲会病院 / 川崎市立多摩病院 / 湘南鎌倉総合病院 / 東海大学医学部付属病院 / 聖マリアンナ医科大学病院 / 東京ベイ・浦安市川医療センター

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://hacoya.work/20160623a/

メッセージ

　湘南藤沢徳洲会病院　総合診療医育成プログラムは病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的として創設されました。
　地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア、等を含む）を包括的かつ柔軟に提供します。
　総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供します。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL　0467-46-1717　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.skgh.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院 総合診療医育成プログラム

<プログラム統括責任者>

瀬戸 雅美

<プログラムの特徴>

1. 日本の医療に即した地域を支える総合診療専門医の育成を行う。
2. 日本の総合診療の先駆けである諏訪中央病院（長野県）において、実績のある総合診療医育成プログラムも3か月間履修可能である。
3. 急性期から終末期、本人・家族が望む穏やかなエンディングを迎えるために必要な総合診療能力を習得すること、そして国民の健康、福祉に貢献することを目的とする。
4. 内科研修は12ヶ月間を行なう(規定)。総合内科を中心に研修する。また一定期間、特別養護老人ホームや老人保健施設でも研修を行なう。

<ローテーション・連携施設一覧>

総診I：まつむらファミリークリニック、ありがとうみんなファミリークリニック平塚、みぞのくちファミリークリニック、名瀬徳洲会病院、日高徳洲会病院、山北徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、本別長国保病院、宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院
総診Ⅱ：湘南鎌倉総合病院（総合診療科・総合内科）、名瀬徳洲会病院、諏訪中央病院、札幌徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院
内科：湘南鎌倉総合病院（血液・神経・腎臓・アレルギー・リウマチ膠原病・消化器・呼吸器・循環器・総合内科など）
救急：湘南鎌倉総合病院、葉山ハートセンター
小児科：川崎市立多摩病院、千葉西総合病院、湘南鎌倉総合病院

<table>
<tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr>
<tr><td>S1診療科</td><td colspan="3">SKGH 総合診療科</td><td colspan="6">SKGH 総合内科</td><td colspan="3">川崎市立多摩病院小児科</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="6">内科</td><td colspan="3">小児</td></tr>
<tr><td>S2診療科</td><td>SKGH リウマチ科</td><td>SKGH 神経内科</td><td>SKGH 消化器内科</td><td colspan="3">SKGH ER</td><td colspan="3">SKGH 総合診療科</td><td colspan="3">名瀬徳洲会</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">内科</td><td colspan="3">救急</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td></tr>
<tr><td>S3診療科</td><td colspan="3">名瀬徳洲会</td><td>SKGH 腎臓内科</td><td colspan="2">SKGH 内科チーフ</td><td colspan="6">まつむらファミリークリニック</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="3">内科</td><td colspan="6">総診1 / 家庭医療Ⅰ</td></tr>
</table>

<診療実績など>

・2023年度 専攻医 S4：1名、S2：1名、S1：3名
・救急搬送件数：22,342件（2022年度）

メッセージ

2018年度からスタートした当院の総合診療医プログラムはS1～S4まで5名の専攻医が決定しています。
　多数の症例を経験することを目的とする「大規模病院研修」は、湘南鎌倉総合病院の内科と救急を中心に学びます。「地域医療研修」では家庭医養成に実績と定評のある諏訪中央病院で総合医・家庭医の在り方を学びます。僻地離島研修では、離島を中心とした地理的要因で物的・人的リソースが限られている環境において患者さんと向き合うことで総合診療医としての基礎力・地力を身に付けます。
当院は日本病院会が主催する、病院総合医プログラムも有しており、卒後6年目からは病院総合専修医としてのキャリアを踏むことも可能です。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修管理室
kenshu@shonankamakura.or.jp

湘南厚木病院

〒243-8551　神奈川県厚木市温水118-1
TEL　046-223-3636　FAX　046-223-3630
URL　http://www.shonan-atsugi.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南厚木病院　総合診療研修プログラム

<プログラム統括責任者>

寺島　孝弘

<プログラムの特徴>

神奈川県内の中核都市である厚木市にある当院（湘南厚木病院）での研修を基本に、総合診療研修Ⅰは北海道にある帯広徳洲会病院、鹿児島にある石垣島徳洲会病院、小児科は県内の湘南藤沢徳洲会病院での研修となる。
地域背景としては比較的都市部も近く、大学病院、市中病院も散在しているが、総合診療としての受け皿は決して十分ではない。近郊には厚木基地があり、また南米出身者のコミュニティーも存在しており、外国人の受診も比較的多くみられる。

<table>
<tr><td rowspan="3">1年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="12">湘南鎌倉総合病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="12">内科</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="6">帯広徳洲会病院</td><td colspan="6">石垣島徳洲会病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="6">総診Ⅰ</td><td colspan="6">総診Ⅰ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="6">湘南厚木病院</td><td colspan="3">湘南厚木病院</td><td colspan="3">湘南藤沢徳洲会病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="6">総診Ⅱ</td><td colspan="3">救急</td><td colspan="3">小児科</td></tr>
</table>

<ローテーション・連携施設一覧>

基幹施設：湘南厚木病院（総合診療研修Ⅱ、救急科）
連携施設：帯広徳洲会病院・石垣島徳洲会病院（総合診療研修Ⅰ）、湘南藤沢徳洲会病院（小児科）、湘南鎌倉総合病院（内科）

メッセージ

厚木市は神奈川県のほぼ中央、丹沢山地の麓に位置する緑あふれる地方都市です。交通の便にも恵まれ、県央地区の中核として発展してきました。しかしながら、医療過疎地でもあり、神川県西部地域全体で1000床に迫る数のベッドが不足していると言われております。
当院は「患者様を断らない」をモットーに、1次～3次救急まで24時間365日、救急・時間外診療を行っており、地域の中核病院としての役割を担っています。
現在は年間3,000 台を超える救急搬送を受け入れており、総合診療医として急性期からプライマリ・ケアまでの幅広い研修を望まれる方はぜひ当院へお越し下さい。

連絡先

臨床研修センター　齊藤
046-223-3636（代表）　kensyu@shonan-atsugi.jp

茅ヶ崎徳洲会病院

〒253-0052　神奈川県茅ヶ崎市幸町14-1
TEL　0467-58-1311　FAX　0467-58-1322
URL
http://www.chigasakitokushukai.jp/recruit/senior/



プログラム概要

<プログラム名>

サザンの茅ヶ崎～いなせな湘南ジェネラリスト計画　総合診療専門研修I（12ヶ月）

<プログラム統括責任者>

能勢　頼人（腎・泌尿器科部長/ER部長）

<プログラムの特徴>

当院は病床132床の小病院であり、近隣地域のかかりつけ医としての役目、急性増悪した場合の受け入れ病院としてのニーズが高く、周辺地域には住宅地が広がっており、高齢者だけの家庭が多く、在宅医療の介入が必要な地域です。

『地域の方々と密着した総合診療医』を基本理念とし、2025年に向けてますます高齢化していく社会に対応するべく総合的な臨床能力を含め、周辺地域で問題になっている独居の高齢者の医療を担うと共に、心理的ケアもできる総合診療医を研修の目標としております。
1年あたり（　2　）名　（×研修期間年数＝総定員　8　名）

グループ内の専門医と連携を取り、当院ではできない臓器別研修等ができます。当院では在宅支援後方診療病院かつ在宅医学会研修指定病院なので在宅医療に関しては指導医のもと研修ができます。外来も呼吸器も専門分野のベテラン医師のもと幅広く研修が可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

・内科/救急科/総合診療II 湘南藤沢徳洲会病院（12ヶ月/3ヶ月/6ヶ月）
・小児科 千葉西総合病院（3ヶ月）
・総合診療I　茅ヶ崎徳洲会病院(12ヶ月）
・地域医療 名瀬徳洲会病院・石垣島徳洲会病院（12ヶ月）

<診療実績など>

新生・茅ヶ崎徳洲会病院は、地上7階、地下1階の災害にも強い病院として建築され、平成27年5月1日に 開院いたしました。診療科は当初、内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・救急医療（ER）でスタートし、順次診療科を増やしております。もちろん、訪問看護・通所リハビリテーション・血液透析・健康診断 は従来どおり行っております。新病院は「いつでも・誰もが・安心して、この湘南エリアですこやかに暮らせるように」という茅ヶ崎徳洲会総合病院の願いを継続し、「安心・安全な医療サービスの提供」と「今まで以上に快適に過ごしていただける治療・療養環境を目指す」というコンセプトで実行しております。

メッセージ

年齢や経験等関係なく、ウエルカムです。ぜひ、一緒にやりましょう！



連絡先

医局秘書　伊藤　恵
ikyokuchigasaki@yahoo.co.jp

静岡徳洲会病院

〒421-0117　住所　静岡県静岡市駿河区下川原南11番1号
TEL　054-256-8008　　FAX　054-256-8020
URL　https://shizutoku-soushin.com

プログラム概要

<プログラム名>

静岡徳洲会病院総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山之上　弘樹

<プログラムの特徴>

急性期病棟、慢性期病棟、回復期リハビリテーション病棟をあわせもったケアミックス型の病院です。院内併設型の介護医療院、外部には介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームを持ち、さらには訪問診療、人間ドック、検診、そして地域への医療講演を多職種と連携して行う事で地域に対し予防から慢性期までのシームレスな医療を提供しています。内科系入院はすべて総合診療科とともに担当し、救急、小児科研修は24時間年中無休の救急外来診療を中心とした院内での継続的な研修とともに、近隣の医療機関と連携し集中的な研修を受けることで、様々な疾患とともに施設間での連携についても学ぶことができます。
各領域の専門家と連携しつつ急性期から慢性期までの経験を積みながら患者さんとともに歩む総合診療医の育成を行います。

<ローテーション・連携施設一覧>

連携施設
総合診療Ⅰ：瀬戸内徳洲会病院、佐久間病院
総合診療Ⅱ：静岡徳洲会病院、共愛会病院
内科：静岡徳洲会病院、共愛会病院
小児科：静岡済生会総合病院
救急科：宇治徳洲会病院、共愛会病院、静岡済生会総合病院
選択研修（外科・整形外科・泌尿器科）：静岡徳洲会病院

ローテーション順・内容は専攻医の希望に沿った研修となるように調整します。

<診療実績など>

指導医2名体制
専攻医0名。専攻医がいない分、手厚い指導が可能です。

メッセージ

患者さんの抱える様々な健康問題を扱う総合診療科では、患者さんと向き合い、しっかり話を聞いて相手の思いをくみ取ることが必要です。高齢者や末期がんの患者さんは、どこで、どんな最後を迎えたいかを考えていることが多いのです。その気持ちに寄り添うことは医療技術と同じくらい大事なことなのです。総合診療科は急性期から慢性期まで様々な場面での健康問題を扱うため幅広い経験を積む必要があります。当院は急性期から慢性期、さらには訪問診療、医療講演など、総合診療科に求められる幅広い経験を指導医の下で積むことが可能です。
患者さんや、そのご家族から「先生に診てもらえてよかった」と言ってもらえるような医師を目指して一緒に頑張りましょう。　プログラム責任者　山之上　弘樹

連絡先　dai.nishiyama@tokushukai.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

安藤　みゆき　名古屋徳洲会総合病院　循環器内科/部長

<プログラムの特徴>

臨床の力をつけるためには主体的に積極的な医療介入をしていくとこが必須です。
多くのcommon diseaseにとどまらず、白血病などの血液疾患、神経変性疾患や自己免疫疾患など多様な領域に、深く、しかしながらしっかりと限界を踏まえて、積極的に取り組んでいくことが必要です。
ひるまず、逃げず、その場その場で最善の医療を追求する中で、本当の力をつけていくことができます。

【研修期間】　３年
【募集定員】　２名
【指導医数】　２０名

<ローテーション>

基幹病院で最低６ヶ月以上はローテーション必須。
◆総合診療専門研修ⅠおよびⅡ：各６ヶ月以上／合計１８ヶ月以上
◆内科研修：１２ヶ月以上
◆小児科研修：３ヶ月以上
◆救急科研修：３ヶ月以上

<連携施設一覧>

◆宮古島徳洲会病院・名瀬徳洲会病院・豊田地域医療センター【総合診療専門研修Ⅰ】
◆豊田地域医療センター【内科研修】
◆小児科研修【宇治徳洲会病院・神戸徳洲会病院・公立陶生病院】
◆救急科研修【宇治徳洲会病院・神戸徳洲会病院】

<メッセージ> 安藤みゆき（プログラム統括責任者　循環器内科）

徳洲会病院の特徴を生かした多くの症例を経験できる点と、
学会など学問的活動を両立できる環境としております。
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します。ご応募お待ちしております！！

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院　総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

三木　健児

<プログラムの特徴>

本プログラムには、総合診療専門研修指導医が10名在籍しております。
研修プログラムにおいては指導医が皆さんの教育・指導にあたりますが、皆さんも主体的に学 ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろん のこと、プライマリ・ケアの専門家である総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の 診療にあたると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽
を欠かさず、日本の医療や総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。本研修 プログラム での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めると ともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医となります。
また、本研修プログラムでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修 Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の 5 つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。
このことにより、1. 人間中心の医療・ケア、2. 包括的統合 アプローチ、3. 連携重視のマネジメント、4. 地域志向アプローチ、5. 公益に資する職業規範、6. 診療の場の多様性という総合診療専門医に欠かせない6つのコアコンピテンシーを効果的に修得 することが可能になります。
専門研修基幹施設（以下、基幹施設）と専門研修連携施設（以下、連携施設）の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

【 専門研修期間 3年間 】
① 総合診療専門研修Ⅰ （6カ月） ・・・・ 宮古島徳洲会病院
② 総合診療専門研修Ⅱ （12カ月） ・・・・ 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
③ 必須領域別研修 ・・・・ 1）内科 （12カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
2）小児科（3カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
3）救急科（3カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
※ 総合診療専門研修Ⅱの期間を利用して、宇治徳洲会病院にて眼科・緩和ケア内科 ・脳神経外科
人工透析内科・泌尿器科・整形外科・産婦人科・放射線科・形成外科の研修を行うことが可能です。
また、藤井病院にて内科研修を行うことが可能です。 （合計6ヶ月間まで）

<診療実績など>

1）外来患者数 ・・・・・ 外来患者数 356,940名／年
2）入院患者 ・・・・・ 15,213名／年
3）病床数 ・・・・・ 479床
4）救急件数 ・・・・・ 約9、300件／年 （ドクターカー3台 保有）
5）常勤医師 ・・・・・ 190名程度で、学閥はありません。
6）当直医 ・・・・・ 15名体制。
※同施設には介護老人保健施設や、同敷地内には特別養護老人ホームも配置されている。
★他科の専門研修基幹施設認定について
1）内科 、 2）外科 、 3）小児科 、 4）麻酔科 、 5）救急科 、6）整形外科

メッセージ

必須領域別においても、専門研修の基幹施設になっており、充実した環境で研修を行って頂けます。
症例も多く、地域医療も学べるプログラムになっておりますので、是非一度見学に来てください。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　総合診療・家庭医養成プログラム

<プログラム統括責任者>

内科　腎センター長　兼　内科主任部長　北澤　孝三

<プログラムの特徴>

野崎徳洲会病院は、“臓器別”の枠にとらわれず、患者さんの身体だけでなく、生活背景や社会状況、家族・地域環境なども含めて“人全体”を診る医療――すなわち総合診療・家庭医療を実践する医師を育てるための専門研修プログラムを提供しています。徳洲会グループのネットワークを活かし、都市から離島・へき地、救命救急、在宅医療、地域診療所など、多様な医療環境で研修できる体制が整っています。

【研修内容】

研修は、急性疾患、慢性疾患、救急、地域医療、在宅医療など幅広い医療状況を網羅する構成です。具体的には、総合診療専門研修Ⅰ・Ⅱや内科、小児科・救急科、さらに自由選択科目によるローテーションで、多様な症例と医療環境に対応できる力を養います。

また、さらに一歩進んだキャリアとして、「新・家庭医療専門医制度」による家庭医療専門研修を選択することも可能です。これは、基本となる総合診療の研修を土台に、プライマリケア、地域医療、在宅医療、継続医療、福祉・介護との連携といった視点を深め、地域住民の生活全体を支える“家庭医／プライマリケア医”としての専門性を身につけるための上位プログラムです。

【修了後の医師像】

この研修を通じて育成される医師は、地域の診療所や病院で、在宅医療・高齢者ケア・緩和ケアなどを含む包括医療を提供する「地域医療の中核」として、また病院における多疾患・高齢患者の包括的なケア、救急・外来診療など多様な現場で活躍できる医師となります。そして、新・家庭医療専門医制度を修了すれば、患者やその家族、地域住民の生活背景に寄り添い、予防医療から慢性疾患管理、在宅ケア、福祉・介護との連携までを担う“かかりつけ医／プライマリケア医”として地域に根ざした医療を提供する道が開けます。

<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	4年間（新家庭医専門研修Ⅰ・Ⅱ含む）
総合診療専門研修Ⅰ・Ⅱ	各6ヶ月以上、計18ヶ月
内科	12ヶ月
小児科・救急科+自由選択	各3ヶ月+3ヶ月

＜連携施設医療機関＞
- ■　沖縄県立宮古病院
- ■　宇治徳洲会病院
- ■　喜界徳洲会病院
- ■　与論徳洲会病院
- ■　野崎徳洲会クリニック

<診療実績など>

外来患者数	165,390名　/　年
入院患者数	5,766名　/　年
病床数	194床　（　ICU　8床　、　HCU　16床　）
救急件数	時間外受診数 13,575名 、救急車搬入 6,178件（救急車 2台保有）

2024年実績データ

メッセージ

本研修 プログラム においては指導医が皆さんの教育・指導にあたりますが、皆さんも主体的に学ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろんのこと、プライマリ・ケアの専門家である総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽を欠かさず、日本の医療や総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。本研修プログラム での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めるとともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医を目指しましょう。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

松原徳洲会病院

〒 580-0032 住所 大阪府松原市天美東7-13-26
TEL 072-334-3400 FAX 072-334-3512
URL

プログラム概要

<プログラム名>

松原徳洲会病院 総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

副院長 森田 剛史

<プログラムの特徴>

総合診療専門研修指導医：3名

プログラムは3年間の構成で、総合診療専門研修Ⅰを鹿児島県の離島である徳之島徳洲会病院で研修を行います。島民の生命と健康を守る病院として、離島ならではの幅広い問題について適切に対応できることを目標としています。
総合診療専門研修Ⅱを松原徳洲会病院で行います。外来/入院における急性期/慢性期疾患に対し、各専門領域の医師と連携し、的確なマネジメントを提供することを目標としてます。また救急科を大阪府認定救命救急センターである岸和田徳洲会病院、小児科を地域周産期母子センターを備えたNICU9床を有する宇治徳洲会病院、内科を松原徳洲会病院で研修を行います。
このプログラムで総合診療専門医として高い診断/診療能力を修得し、患者様に必要とされる総合診療専門医を目指しましょう。

<ローテーション・連携施設一覧>

総合診療専門研修Ⅰ（12カ月）：徳之島徳洲会病院【鹿児島県】
総合診療専門研修Ⅱ（6カ月）：松原徳洲会病院【大阪府】
小児科（3カ月）：宇治徳洲会病院【京都府】
救急科（3カ月）：岸和田徳洲会病院【大阪府】
内科（12カ月）：松原徳洲会病院【大阪府】

<診療実績など>

【外来数】
松原徳洲会病院(総合診療科)：2,535名
徳之島徳洲会病院(内科/総合診療科)：6,522名
宇治徳洲会病院(小児科)：7,852名
岸和田徳洲会病院(救急科)：10,523件(救急搬送数)

メッセージ

シンの総合診療専門医を目指したいあなた！！是非このプログラムで一緒に考え、答えを導き出しませんか？？ by指導医

連絡先

臨床研修センター 武島 誠
E-mail：makoto.takeshima@tokushukai.jp

QRコード

岸和田徳洲会病院



〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

岸和田徳洲会病院総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

新保　雅也

<プログラムの特徴>

本研修PGでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。
このことにより、1. 包括的統合アプローチ、2. 一般的な健康問題に対する診療能力、3. 患者中心の医療・ケア、4. 連携重視のマネジメント、5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、6. 公益に資する職業規範、7. 多様な診療の場に対応する能力という総合診療専門医に欠かせない7つの資質・能力を効果的に修得することが可能になります。
本研修PGは専門研修基幹施設（以下、基幹施設）と専門研修連携施設（以下、連携施設）の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
　連携施設2施設：宇治徳洲会病院、名瀬徳洲会病院

<診療実績など>

★救命救急センター指定
病床数：400床　常勤医師数：130名

【2025年度実績】
外来患者総数：255,329名
新入院患者総数：10,989名
救急搬送人数：9,884名（内 入院：3,804名）

メッセージ

本研修PGにおいては指導医が皆さんの教育・指導にあたりますが、皆さんも主体的に学ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろんのこと、プライマリ・ケアの専門家である総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽を欠かさず、日本の医療総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。本研修PGでの研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めるとともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医となることを目指し頑張りましょう。

連絡先

医師人事室医師対策係
E-mail：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

QRコード

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



髙原　良典

診療科の垣根が低いのが当院の特徴です！
また、医局内には医師専用キッチンがあり、昼食等ブッフェ形式でいつでも利用できます。
ぜひ一度見に来てください。

<プログラムの特徴>

【募集定員：2名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：8施設】　【病床数：415床】

多種多様な連携施設群にて質・量ともに充実した研修を！
当プログラムでは大阪、京都、鹿児島の大学病院から離島・僻地の診療所まで、11施設で専門研修病院群を構成しています。市中病院でのCommon Diseaseから大学病院、離島や町の診療所特有の疾患を経験することで幅広い知識や技術を習得することが出来ます。
医療活動を通じて患者中心に動き、患者の痛み、悲しみ、苦しみを理解できる医師を育成し、患者の持つ問題点を身体的、精神的、社会的な背景も含めて理解し解決へ導く方法を学び実践できる研修を目指しています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
大阪大学医学部附属病院、りんくう総合医療センター、天理よろず相談所病院、和泉市立総合医療センター、宇治徳洲会病院、神戸徳洲会病院、喜界徳洲会病院、山北徳洲会病院

《 研修プログラム例 》

1年次	八尾徳洲会総合病院 又は 大阪大学医学部附属病院	八尾徳洲会総合病院	和泉市立総合医療センター
	内科	総合診療専門研修Ⅰ 及び 救急科	小児科
2年次	喜界徳洲会病院 ・ 山北徳洲会病院		
	総合診療専門研修Ⅰ		
3年次	※連携施設（4箇所より決定）	八尾徳洲会総合病院 又は 大阪大学医学部附属病院	
	総合診療専門研修Ⅱ	内科	

<診療実績など>

八尾徳洲会総合病院／入院：140,907名　外来：312,316名（2018年）

《へき地離島 紹介》
▌喜界徳洲会病院（鹿児島県大島郡喜界町湾315）
病床数89床、喜界島は奄美大島から東に25kmに位置し2017年には奄美群島国立公園の一部に指定されました
▌山北徳洲会病院（新潟県村上氏勝木1340-1）
病床数120床、新潟県の最北端に位置し、海・山・川が豊富にある町で四季折々の風景を楽しむことが出来ます

メッセージ

★充実した医療体制の中で養われる24時間365日の総合診療★
当院には急性期病院に珍しく、在宅訪問診療および訪問看護体制を行っています。
まさに救急初期診療から集中治療、プライマリケア、地域医療をすべて経験していただける体制を取っており、その先々で得られる多くの経験と指導医のサポートは医師人生を形成する大きな礎となるでしょう。
また当院は初期および後期研修を研修委員会でサポートを行っており、生活面でのサポートも心がけています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

宇和島徳洲会病院



〒798-0003　愛媛県宇和島市住吉町2-6-24
TEL　0895-22-2811　FAX　0895-22-2777
URL　http://www.uwatoku.org./

プログラム概要

<プログラム名>

宇和島徳洲会病院 総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

院長　松本　修一

<プログラムの特徴>

○都市型と地域型の長所を取り入れたプログラム

都市型の病院で総合内科・小児科・救急科をしっかり学び、地域型の施設で総合診療Ⅰ、Ⅱを研修します。総診Ⅱでは、患者さまのみならずご家族や地域の背景にも配慮し、退院後の生活の支援も含めた一連の流れを身につけます。総診Ⅰには「離島」「山間へき地」「家庭医療」「在宅医療」「緩和ケア」の5つのコースを用意しており、多彩で濃密な研修を行うことができます。

○日本の20年先をいく宇和島

宇和島市の高齢化率は40.7%、超高齢化社会を迎える日本の未来の医療を、今、宇和島で実践することができます。当院は急性期から在宅までトータルに診るケアミックス病院です。この先、避けて通ることのできない認知症疾患にも積極的に取り組み、多職種チーム医療を実践しています。当院には研修に必要な症例が多く、幅広く経験することができます。
バリエーション豊かな研修を通じ、日本全国どこでも通用する総合診療医を育てます。

○情熱を持った指導医

当院の指導医は、それぞれ専門が、肝臓内科、呼吸器内科です。総合内科内科を基本として、多様性のある指導を行っています。朝・夕のカンファレンスも充実し、何でもすぐに相談できる環境が整っています。

<ローテーション・連携施設一覧>

《総合内科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《小 児 科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《救 急 科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《総合診療Ⅰ》　・徳之島徳洲会病院　・豊田地域医療センター　・頴田病院（麻生グループ）
・ゆうの森たんぽぽクリニック　・西予市立野村病院　・札幌南徳洲会病院
《総合診療Ⅱ》　・宇和島徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）

<診療実績など>

〔2023年12月〕

《総合内科》		《入院数》		《その他》	
1日平均入院数	68.6名	一般病棟	88.9名（満床133床）	訪問診療	258名／月
平均在院日数	15.7日	療養病棟	50.9名（満床54床）	救急搬送	714台／年（2022年度）
新入院数	132名	障害者病棟	44.5名（満床54床）		59.5名／月（2022年度）
延べ入院数	2,128名	回復期リハ	23.3名（満床32床）		
延べ外来数	1,202名				

メッセージ

専攻医の皆さんへ
地方都市宇和島で長年研修医の先生方に接しながら思ったことです。
「この宇和島での医療にこそ臨床医の原点がある　何とかここで臨床医を育てられないか」と考えた末に出来た総合診療専門研修プログラムです。都市型での研修を通じて高い診療能力を身につけます。地域型研修では病気だけでなく家族や地域の背景を考慮し、こころが通じ合う医療を体験しながら、総合内科よりももっと広い視野を持った総合診療医を育成します。
《・2018年度　総合診療専攻医　採用数　1名　・2020年度　総合診療専攻医　採用数　1名 》

連絡先
研修事務担当　担当：植村友子
TEL　0895-22-2811　mail:ishitai@uwatoku.org

出雲徳洲会病院

〒699-0631　島根県出雲市斐川町直江3964-1
TEL　0853-73-7000　FAX　0853-73-7077
URL　http://www.izumo-tokushukai.jp





出雲徳洲会病院公式
イメージキャラクター

プログラム概要

<プログラム名>

出雲徳洲会病院　総診プログラム

<プログラム統括責任者>

佐藤　博

<プログラムの特徴>

当プログラムの最大の特徴は、医師のQOLを重視した環境で研修が行える点です。出雲病院の”働き方改革”は、当直明けの完全オフを導入しております。当直医だけでなく、医師全員が積極的に有給休暇の取得に取り組んでいます。

徳洲会グループにおいて、中国地方で唯一の出雲病院では、都会でも僻地でもない環境で、ゆとりを持って研修プログラムを受けることができます。自然環境はもちろん、寺社仏閣好きにはたまらない環境（人間より神様の方が多い！）でもあります（笑）。徳洲会グループですので、鹿児島の離島を連携施設として持ち、“僻地”と呼ばれる医療機関で総合診療の醍醐味も満喫できます。

また、当院独自の「女性医師の子育て支援制度」にて、女性医師も安心して研修できる環境を提供しています。

【指導医数】
6名

【採用予定人数】
1名

【当直回数】1回～2回程度



<ローテーション・連携施設一覧>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修1年目	出雲徳洲会病院											
	内科											
後期研修2年目	出雲徳洲会病院			島根大学			島根大学			与論徳洲会病院		
	総診Ⅱ			小児科			救急科			総診Ⅰ		
後期研修3年目	沖永良部徳洲会病院			出雲徳洲会病院			与論徳洲会/沖永良部徳洲会			出雲徳洲会病院		
	総診Ⅰ			総診Ⅱ			総診Ⅰ			総診Ⅱ		

<診療実績など>

外来　16,840人/年、入院　2,234人/年、(2022年度)　病床数：一般病棟89床　療養病棟94床

メッセージ

専攻医を目指されている皆様にお伝えしたいことは「医師という職業はとてもやりがいがあり、とても楽しい！」ということです。私自身、出雲徳洲会で内科・総合診療医として仕事ができる素晴らしさを日々実感しております。



これは徳洲会グループの「断らない医療！全ての患者に初期トリアージや急変対応を適切に行う！」という理念が、患者さんから本当に必要とされるやりがいを感じさせてくれるのだと思っております。

もう一つ出雲徳洲会の特徴としては働き方改革を10年以上前から積極的に取り組んでいることです。医師としてのウエルネス（当直明けは完全フリー、有給全消化、離島などの応援出張など）を実感できる環境が随一と自負しております。

皆さんもウエルネスを感じられる研修を一緒にしませんか？仕事も遊びもアクティブに取り組みたい皆さんの挑戦をお待ちしております！

連絡先

医療法人徳洲会　出雲徳洲会病院
担当：総務課（企画室）　勝部
E-mail：aki-katsube@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

総合診療科/総長：貞島　博通

<プログラムの特徴>

当院は都市型高度急性期病院で育成する総合診療専門プログラムです。
年間1万台を超える救急件数を数え、救急から内科入院し、よく遭遇する疾患を主体に受け持ちますが、
中には珍しい疾患もあり多岐にわたります。豊かな臨床経験と知識をもつ内科や救急科、
集中治療室の指導医のもと、臨床的実力は豊富な症例から自然と身に付きます。
この延長上に家庭医療や在宅診療、離島へき地病院診療があると考えます。
できれば内科専門医のダブルボードを取得し、循環器や消化器内科など臓器専門医を目指して下さい。
当院プログラムでは専門医をもった総合診療医育成を主体に育成してゆきます。
先々は離島へき地病院や診療所での院長候補をも見据えており、
臨床医育成のための総合診療科プログラムと考えて下さい。

<ローテーション・連携施設一覧>

■宇和島徳洲会病院　（愛媛）
■大隅鹿屋病院　（鹿児島）
■徳之島徳洲会病院　（鹿児島）
■沖永良部徳洲会病院　（鹿児島）
※ご希望があれば積極的に連携施設を追加予定です。

メッセージ

高度急性期病院としての総合診療プログラムであり、優秀な指導医のもとで多数の症例を経験し実力ある総合臨床医を育成するプログラムです。また内科・救急科をベースに臓器専門医を持った総合診療医を目指すことも可能です。地域医療、離島僻地医療を志す総合診療医は徳洲会グループ、日本医療の継続にとって欠かせない存在と言えます。ぜひ私たちと一緒に実力ある総合診療医を目指しましょう。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥　啓次郎
TEL：092-573-6622　Mail：fukutoku.edu@gmail.com

鹿児島徳洲会病院





〒891-0122　鹿児島県鹿児島市南栄5丁目10番地51
TEL　099-268-1110　FAX　099-267-1122
URL　https://www.kagotoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

鹿児島徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

保坂　征司

<プログラムの特徴>

高度治療室（HCU）10床、急性期病棟120床、回復期リハビリテーション病棟60床、障害者病棟120床のケアミックス病院で、包括医療(トータルヘルスケア)を実践しています。また、透析センターや内視鏡センター、健康管理センター、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所を併設し、訪問診療・看護、訪問リハビリテーションなど「出ていく医療・介護」も積極的に取り組んでいます。

2021年12月に谷山地区南栄に新築移転し患者及び医師、医療スタッフにとって充実した医療環境が整っています。

連携施設は都市部の大型病院から地域において在宅医療を中心に行っている施設や、僻地・離島の病院まで、様々な病院と連携しているため、専攻医は3年間の当該プログラムを通して、全人的・全身的に患者を診る能力を身につけ、社会に貢献できるジェネラリスト（総合医）を目指すことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

○総合診療専門研修Ⅰ
豊田地域医療センター、ナカノ在宅医療クリニック、徳之島徳洲会病院、山川病院、瀬戸内徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院

○総合診療専門研修Ⅱ
大隅鹿屋病院、羽生総合病院、鹿児島徳洲会病院

○内科
湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院、千葉西徳洲会病院、大隅鹿屋病院、羽生総合病院、鹿児島徳洲会病院

○小児科
福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院、千葉西総合病院

○救急科
湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院

○選択科目(地域医療)
徳之島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、与論徳洲会病院、喜界徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院

○選択科目(外科)
鹿児島徳洲会病院

○選択科目(整形外科)
南部徳洲会病院、羽生総合病院

○選択科目(精神科)
三州病院

○選択科目(産婦人科)
名瀬徳洲会病院、たびらウイメンズクリニック
羽生総合病院

<診療実績など>

○許可病床：310床　○平均在院患者数：292．0名　○病床稼働率：96．5%
○救急実績：2329人/年　○救急入院率：61．5%

メッセージ

当院は、救急・急性期医療を根幹としながらもケアミックス病院として医療活動を実施しておりますので、入院から治療そして退院後のケアに至るまで、一人の患者をじっくりと診ることが出来ます。
また、連携施設に関しては様々な病院で研修をすることが出来ますので、3年間を通して幅広い症例を経験できます。
ご興味のある方は、ぜひ病院見学にお越し下さい。

連絡先

鹿児島徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム管理委員会
（プログラム統括責任者）保坂　征司
（事務局）染川　真範
TEL：099-268-1110　E-mail：kensyu@kagotoku.jp

大隅鹿屋病院

〒893-0015　鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL　0994-40-1111　FAX　0994-41-8355
URL　http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

田村　幸大

<プログラムの特徴>

本研修プログラムでは大隅鹿屋病院総合診療科を基幹施設とし、地域の連携施設とともに施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。ローテート研修にあたっては下記の構成となります。
（1）総合診療専門研修は診療所・中小病院における総合診療専門研修Ⅰと病院総合診療部門における総合診療専門研修Ⅱで構成されます。当プログラムでは大隅鹿屋病院において総合診療専門研修Ⅱを12ヶ月、徳之島徳洲会病院にて総合診療専門研修Ⅰを3ヶ月、山川病院で3ヶ月、合計で18ヶ月の研修を行います。
（総合診療Ⅰで3ヶ月間の研修を行う徳之島徳洲会病院は、島内に小児診療施設がないため、多くの小児診療を経験できます。また、毎週水曜日の外来時は小児科外来専従となるため、質・量ともに十分な研修行います。）
（2）必須領域別研修として大隅鹿屋病院　内科6ヶ月、救急科3ヶ月、鹿屋医療センター　小児科3ヶ月の研修を行います。
（3）その他の領域別研修として、研修目標到達の必要な範囲で、合計6ヶ月の範囲で専攻医の意向を踏まえて必須科領域研修及び、選択科研修が出来ます。
施設群における研修の順序、期間等については、専攻医を中心に考え、個々の総合診療専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、本研修プログラム管理委員会が決定します。

<ローテーション・連携施設一覧>

1年目 大隅鹿屋病院　領域別（内科）領域別（救急科）　　山川病院（総合診療専門研修Ⅰ）
2年目 鹿屋医療センター 大隅鹿屋病院もしくは、 徳田脳神経外科病院 徳之島徳洲会病院
　　領域別（小児科）連携・領域別病院（選択）　＊研修目標に必要な範囲　　総合診療専門研修Ⅰ
3年目 大隅鹿屋病院 大隅鹿屋病院　領域別（内科）総合診療専門研修Ⅱ

メッセージ

・多くの急性期病院では慢性期になると療養型病院への転院、開業医への逆紹介が行われ長期的フォローアップがしにくい環境となっています。しかし、治療の場が入院から外来へ急激にシフトしてきている現在においては、外来診療でなければ診ることが出来ない疾患も多数あります（糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、甲状腺疾患など）。そのような疾患の診療経験を確実に積んでいくことが可能です。
・大隅半島は急性期病院が限られているため外来や救急で診た診断がついていない患者、経過が気になる患者が“他の病院を受診してしまってフォロー出来ない”ということがほとんどありません。そのため、自分自身の診療に関するフィードバックが可能です。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail　kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

名瀬徳洲会病院



〒894-0061　住所　鹿児島県奄美市名瀬朝日町28-1
TEL　0997-54-2222　　FAX　099-55-1600
URL　https://www.nazetokushukai.jp/recruit/resident_senior.php

プログラム概要

<プログラム名>

Amami総合診療“手あて”プログラム

<プログラム統括責任者>

平島　修　　奄美ブロック総合診療研修センター長

<プログラムの特徴>

奄美大島およびその近隣の島々には徳洲会病院が点在しています。グループ間の特性を生かし、複数の病院・診療所をローテートすることで、地域での必要とされる医療を学びます。
〈Amami総合診療“手あて”プログラムの3つの魅力〉
①医療機器の整う総合病院の外来、検査ができない診療所での外来を同時に学べる。
②病棟、救急外来、訪問診療も同時に学べる。
③Commonな疾患から、病歴が左右する風土病まで豊富な症例。
さらに、内視鏡や手術介助など、あなたのニーズに合わせた内容作りが可能です！

<ローテーション・連携施設一覧>

プログラム連携について
名瀬徳洲会病院は総合診療Ⅰ基幹プログラム（外来診療に重点を置く）です。
総合診療Ⅱおよび専門研修では以下の病院と連携しております。
岸和田徳洲会病院（内科・小児科・救急科）、中部徳洲会病院（総診Ⅱ）、大阪大学医学部附属病院（総診Ⅱ・内科・救急科）、川崎市立多摩病院（総診Ⅱ・内科・小児科・救急科）、利根中央病院（総診Ⅱ）、奄美中央病院（総診Ⅱ）、大島郡医師会病院（総診Ⅱ）、鹿児島県立大島病院（内科・救急科・小児科）。
また、奄美群島近隣の施設で地域医療研修を行います。
笠利病院、瀬戸内徳洲会病院、喜界徳洲会病院

<診療実績など>

1．どのような医療環境？
270床の名瀬徳洲会病院では年間30～40名の初期研修医が、徳洲会グループ、大学病院（関西医科大学病院、大阪大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、奈良県立医科大学附属病院）、市中病院（上尾中央総合病院、呉共済病院、川崎幸病院、伊勢原協同病院）から初期研修医2年次の先生方が地域研修として活躍しています。救急外来、一般外来、急性期入院、療養入院、リハビリ入院、訪問診療、看取り、全ての医療を一貫して患者様に提供しつつ、医療の全てを学べる環境は都会にはなかなかありません。専攻医の先生方は、実践をこなしつつ、初期研修医指導も行います。

メッセージ

奄美大島では「身体診察」、特にベッドサイドを中心とした医療の実現を目指しています。カンファレンス重視型の都会の研修病院とは違う、ベッドサイド重視型の研修を行っています。
「フィジカル（身体診察）が専門です。」と言える総合診療医を目指してみませんか？

連絡先

総務課　田畑　龍太（タバタ　リュウタ）
電話　0997-57-0720（人事対策室　直通）
E-mail　ryuta.t@nazetokushukai.jp
URL https://www.nazetokushukai.jp/

徳之島徳洲会病院



〒891-7101　鹿児島県大島郡徳之島町亀津7588
TEL　0997-83-1100　FAX　0997-83-3656
URL　https://www.tokunoshima-tokushukai.com/

プログラム概要

<プログラム名>

長寿・子宝の島　徳之島総合診療プログラム

<プログラム統括責任者>

田代篤史

<プログラムの特徴>

　徳之島は、100歳以上の高齢者の割合と合計特殊出生率が全国トップレベルで「長寿・子宝の島」として有名です。その徳之島において、当院は出産数年間約170件で、島内唯一の周産期施設であり、また登録者約200名の在宅患者を抱え、24時間365日在宅でのお看取りにも対応しています。さらに徳洲会の理念「断らない救急」のもと、年間救急搬送1000台を超える救急医療とそれに続く急性期医療、年間約40件に及ぶ島外ヘリ搬送にも対応し、徳之島における医療の最前線かつ最終拠点を担っています。周産期から100歳を超える超高齢者までを対象とした医療を担う病院。いのちの始まりから終わりまでの場面に立ち合い、関わり続けること。ここではそんな医療の現場に触れることができます。
また、都会に比べれば人手も設備も不足している徳之島。足りないもの、できないことを挙げればきりがありません。けれども、あるものに目を向けると、そこには島ならではの豊かさがあります。徳之島の医療・福祉を考えるうえで、地域の人々のつながりの強さは一番大きな強みとなります。患者さんが生活する場で、その地域性や文化を尊重した上で、医療者として何ができるか考えること。それが地域医療の醍醐味であり、総合診療医として、どのような環境下でも活躍できる医師を育成し、新生児から高齢者者まで診療できる能力を身につけることを目標とします。
【専門医・指導医数】
総合診療専門研修指導医1名
　産婦人科専門医3名　循環器内科専門医1名　総合内科専門医1名
　　※総合診療専門研修指導医には各専門医が含まれています。
【病床数・患者数】
一般病床119床　結核病床1床　療養病床79床
月延べ全外来患者数　7,630人　月延べ全入院患者数　4,749人

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><th></th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一年目</td><td colspan="6">徳之島徳洲会病院</td><td colspan="6">大阪大学付属病院</td></tr>
<tr><td colspan="6">総診Ⅰ</td><td colspan="6">総診Ⅱ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">二年目</td><td colspan="12">福岡徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="12">内科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三年目</td><td colspan="4">札幌東徳洲会病院</td><td colspan="4">宇治徳洲会病院</td><td colspan="4">徳之島徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="4">救急</td><td colspan="4">小児科</td><td colspan="4">総診Ⅰ</td></tr>
</table>

<診療実績など>

　総合内科は、感染症をはじめとする多岐にわたる疾患に対して各科の非常勤医師と連携を取り、治療にあたっています。専門的知識が必要な臓器移植後の患者様、血液透析患者様の管理も行っています。ワクチン接種や学校健診を行い、地域住民を対象とした医療講演会を開催するなど地域医療にも貢献しています。

メッセージ

初期研修終了おめでとうございます。医師としての人格形成はこれからですので、多くのことを吸収し患者様から信頼される医師に成長されることを願っています。日本の医療の未来は皆さんの働きで大きく左右されることを自覚し勉強に励んでほしいと思います。願わくば20年、30年後の成長した姿を見たいものです。
院長　　新納直久

連絡先

総務課　　竹原友美
TEL：0997-83-1100（代表）
MAIL：toku-soumu@po.synapse.ne.jp

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

比嘉　信喜（ひが　のぶよし）

<プログラムの特徴>

中部徳洲会病院は沖縄県の中部地区に所在する408床の中規模病院で、長寿県の中で観光地に近く、また米軍基地に近い商業地として発展した街に所在するため、若年から老年の一般患者に混じって、他府県、外国国籍の受診者もしばしば見受けられる。「救急を断らない」をモットーに年間7,000台以上の救急車を受け入れておりそのほとんどは総合診療部で初期診療を行いその後各科専門科での入院または専門外来へ紹介となりますが、専門科での入院適応ではないが、入院治療が必要な患者すべてを引き受け入院治療を行います。病棟を持つことで救急外来から継続して入院し、退院まで一貫して主治医として治療をおこないます。そして高い病床稼働率の中、ご家庭や地域の医療・介護施設との連携を活発に展開するなかで研修を行います。多くの症例を背景に総合診療専門医を目指す医師に3年間で総合診療専門医を取得して頂くことが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

ローテーション例：**[後期研修1年目]**・総合診療専門研修Ⅱ（中部徳洲会病院/6ヶ月）・内科研修（中部徳洲会病院/6ヶ月）。
[後期研修2年目]・内科研修（中部徳洲会病院/6ヶ月）・小児科（中部徳洲会病院/3ヶ月）・救急科（中部徳洲会病院/3ヶ）。
[後期研修3年目]・総合診療専門医Ⅰ（沖永良部徳洲会病院、ファミリークリニックきたなかぐすく/合計6ヶ月）。
選択（徳之島徳洲会病院…産婦人科、静仁会静内病院…東洋医学、共愛会病院…老年医学を選択/合計6ヶ月）。

[連携施設]・**沖永良部徳洲会病院**（鹿児島県大島郡知名町）在宅医療が豊富で、総合診療専門研修指導医が常勤している。
・**ファミリークリニックきたなかぐすく**（沖縄県北中城村）内科、小児科を主な診療科とする在宅療養支援診療所で、乳児から高齢者まで、急性の健康問題（感染症やけが等）、生活習慣病、心身症、在宅医療など幅広い年齢層や症例に対応しています。
・**共愛会病院**（北海道函館市中島町） 北海道最南端・函館市にあり、病院の他に特別養護老人ホームや保育園など多くの関連施設も運営している。病院は、豊富な設備と医療体制を整備し、市内のみならず近郊都市の地域医療・救急医療の中心的役割を担っている救急指定病院です。
・ **日高徳洲会病院**（北海道日高郡新ひだか町）人口25,000人の新ひだか町にあり、更には人口80,000人の北海道南部の日高地方の中心に位置する地域中核病院です。井齋院長が日本外科学会認定専門医かつ日本東洋医学会認定専門医・指導医であることから、全科にわたる患者を診るだけでなく、強力な抗炎症作用を持ち、速効性である漢方薬を駆使した効果的かつユニークな診療を展開しています。
・ **徳之島徳洲会病院**（鹿児島県大島郡徳之島町）人口約2万6,000人の徳之島は全国トップの合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に産む子どもの人数）を誇る子宝の島として有名。同院での分娩は例年180～200件を数え島民の生命と健康を守る離島の病院です。急性期～慢性期まで幅広い診療と、緊急に専門の処置が必要な場合には自衛隊機やドクターヘリにて本土への救急搬送も行っています。

<診療実績など>

〇沖縄県中部徳洲会病院（総合診療専門研修Ⅱ・内科・小児科・救急科）専門研修指導医7名（総合内科専門医6名・救急専門医10名・小児科専門医4名）。入院患者実数…内科5．500人/年、1日平均外来患者数…内科435人、小児科136人、救急車搬送件数7.000件
〇鹿児島県沖永良部徳洲会病院（総合診療専門研修Ⅰ）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…60 人
〇沖縄県ファミリークリニックきたなかぐすく（総合診療専門研修Ⅰ）専門研修指導医2名。のべ外来患者数…824名／月、のべ訪問診療件数…15名／月
〇鹿児島県徳之島徳洲会病院（産婦人科）専門研修指導医3名。1日平均外来患者数…226 人
〇北海道愛会病院（老年医学）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…198 人
〇北海道静仁会静内病院（東洋医学）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…144 人

メッセージ

見学お待ちしております！

連絡先
電話：098-932-1110　mail：h.kimura@cyutoku.or.jp
担当窓口 木村

南部徳洲会病院



〒901-0493　沖縄県島尻郡八重瀬町字外間171番地1
TEL　098-998-3221　FAX　098-998-3220
URL　https://www.nantoku.org/

プログラム概要

<プログラム名>

南部徳洲会病院総合診療専門研修プログムラム

<プログラム統括責任者>

西島　功（心臓血管外科部長/総合診療科）

<プログラムの特徴>

昭和54年に沖縄県南部地域に開設、翌年には沖縄県民間病院救急指定1号指定。
昭和60年からは洋上救急協力や自衛隊機離島救急搬送協力を始めるなど「救急を絶対に断らない病院」を合言葉に職員一丸となって取り組んでいる。また、当院屋上にはヘリポートを設置し（沖縄県ドクターヘリ、やんばるレスキューヘリ、奄美ドクターヘリ）が運用するとともに、南部地域の5消防本部(那覇、糸満、豊見城、島尻、東部)とドクターカーの協力体制を構築し、緊急で搬送された患者様を迅速にERやICUへ移動し治療する事が可能です。

プログラムの理念、全体的な研修目標
プライマリーケアとエマージェンシー・ケアを身につけた人間性豊かなジェネラル・フィジシャンを育成する。
① 総合医としての基本的診療能力
② 良好なコミニケーションと行動変容支援
③ 場に応じた問題対応、解決
④ 医療の社会性
⑤ 医療の質や病院管理
⑥ 臨床現場で教育のできる総合医の育成を目標とします。
総合診療科においては、幅広い疾患に対する初診を中心とした外来診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する病棟診療、救急科と 連携した初期救急などを提供し、 内科においては、循環器科、消化器科、呼吸器科、糖尿病科を持ち地域への専門医療を提供している。小児科においては、乳幼児健診、予防接種、幅広い外来診療、病棟診療を提供している。救急診療科においては、重度外傷への救急医療から ER 救急まで幅広い救急医療を提供している。

<ローテーション・連携施設一覧>

石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、西平医院、沖永良部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院

<診療実績など>

1日平均外来患者数　630.7名／月
1日平均入院患者数 352.2名／月
内科 ： のべ入院患者数　38,833名／月
小児科 ： のべ外来患者数　959 名／月
救急科 ： 救急による搬送等の件数　6,028件／年

メッセージ

地域で活躍する総合診療専門医が、誇りをもって診療等に従事でき、これから総合診療専門医資格の取得を目指す若手医師にとって、夢と希望を与えるプログラムとなることを目指し、 病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医の育成を目指す。

連絡先

南部徳洲会病院 総務課 研修事務担当：島袋 貴光
TEL：098-998-3221　FAX：098-998-3220
E－mail　shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　総合診療科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	松前町立病院、共愛会病院、徳之島徳洲会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	松前町立松前病院、東苗穂病院、北海道家庭医療学センター、共愛会病院、仙台徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、葉山ハートセンター	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	函館稜北病院、松前町立松前病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、羽生総合病院、中部徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、静岡徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、共愛会病院、湘南厚木病院、湘南藤沢徳洲会病院、上尾中央総合病院、洛和会丸太町病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	日本医科大学付属病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜新潟県＞ 山北徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　伊与部 0254-60-5555 ikyoku01@sanpoku-hp.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	札幌徳洲会病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、茅ヶ崎徳洲会病院、葉山ハートセンター、鹿児島徳洲会病院	担当：人事課　　友野　歩 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	鹿児島徳洲会病院	担当：臨床研修事務　川口、戸ヶ崎 TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	秩父市立病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	松前町立松前病院、川崎市立多摩病院、茅ヶ崎徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、千葉徳洲会病院、羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、湘南厚木病院、東京西徳洲会病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	内科：宇和島徳洲会病院 救急：湘南藤沢徳洲会病院、榛原総合病院、松前町立松前病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	葉山ハートセンター	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	医療法人紫苑会藤井病院、名古屋徳洲会総合病院、松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、鹿児島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、静岡徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	沖縄県立宮古病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	仙台徳洲会病院、松原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、和泉市立総合医療センター	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　総合診療科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪大学医学部附属病院、星ヶ丘医療センター、生駒市立病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	八尾徳洲会総合病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜愛媛県＞ 宇和島徳洲会病院	総診Ⅱ：湘南鎌倉総合病院、藤田保健衛生大学ばんたね病院、藤田医科大学病院、福岡徳洲会病院 内科：飯塚病院	担当：植村 ishitai@uwatoku.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院（総診Ⅱ）	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、千鳥橋病院、済生会福岡総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	【総合診療Ⅱ】千葉西総合病院、藤田医科大学（豊田地域医療センター）	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	福岡徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜鹿児島県＞ 山川病院	仙台徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大隅鹿屋病院	担当：事務長　桑畑　康輔 0993－35－3800
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	千葉徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大阪大学医学部附属病院、星ヶ丘医療センター、栃木医療センター、東京都立多摩総合医療センター、川崎市立多摩病院、利根中央病院、豊田地域医療センター、国保旭中央病院、千葉大学医学部附属病院、長野中央病院、湘南鎌倉総合病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 笠利病院	名瀬徳洲会病院（選択）	担当：事務長　宮本　眞吾 0997-55-2222 jimutyou@kasarihp.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院、名瀬徳洲会病院、葉山ハートセンター、野崎徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、鹿児島徳洲会病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、松原徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大隅鹿屋病院、福岡徳洲会病院、大阪大学医学部付属病院、上尾中央総合病院、川崎市立多摩病院、八戸市民病院、中部徳洲会病院（選択・産婦人科）	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	共愛会病院、千葉西総合病院、出雲徳洲会病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、川崎市立多摩病院、鹿児島徳洲会病院	担当：総務課　新名　敬介 0997-93-3000（内線　536） niina@okitoku.net
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	仙台徳洲会病院、吹田徳洲会病院、出雲徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、南部徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	日高徳洲会病院、共愛会病院、徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、ファミリークリニックきたなかぐすく	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	鹿児島徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org
＜沖縄県＞ 石垣島徳洲会病院	関西医科大学、京都府立医科大学、上尾中央総合病院	担当：山川宜則 0980-88-0123 y.yamakawa@cyutoku.or.jp

札幌徳洲会病院



〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

松本　啓（糖尿病内科部長）

<プログラムの特徴>

「世界を意識し活躍する内科医」
総合内科医としての全人的・全身的な診療能力を身につけ地域に貢献できる人格形成と、どの様な環境下でも活躍の場を見出す医師の育成を目指しています。米国総合内科専門医の教育等により、総合的かつ専門的なエッセンスを交えたグローバルな研修です。

1) 本プログラムは，北海道札幌医療圏の急性期病院である札幌徳洲会病院を基幹施設として，北海道札幌医療圏，北海道南渡島医療圏にある連携施設または北海道日高医療圏にある特別連携施設での内科専門研修を経て超高齢化社会を迎えた我が国の医療事情を理解し，地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように研修を行うものである．研修期間は，基幹施設1年～1年3か月間＋連携・特別連携施設1年9か月～2年間の3年間である．

2) 症例をある時点で経験するということだけではなく，主担当医として入院から退院〈初診・入院～退院・通院〉まで可能な範囲で経時的に診断・治療の流れを通じて一人一人の患者の全身状態，社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し，個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とする．

3) 基幹施設である札幌徳洲会病院は，北海道札幌医療圏の急性期病院であるとともに，地域の基幹病院でもあり，common diseaseの経験はもちろん，超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき，高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できる．

4) 特徴は，専門研修（専攻医）1年目に札幌徳洲会病院プライマリ科　（総合内科）で9か月研修を行う点にある．札幌徳洲会病院プライマリ科（総合内科）は，平成20年に開設され，内科全般から各科の多岐にわたるcommon diseaseを主な対象に，診療を行っている．

<ローテーション・連携施設一覧>

共愛会病院（函館市）／札幌医科大学附属病院（札幌市）／江別市立病院（江別市）／札幌東徳洲会病院（札幌市）／千葉徳洲会病院（千葉県船橋市）／JR札幌病院（札幌市）／柏葉脳神経外科病院（札幌市）／※日高徳洲会病院（新ひだか町）

<診療実績など>

■2020年度における入院患者数（DPC病名分類によるもの）：
消化器領域：710人／循環器領域：126人／内分泌領域：3人／代謝領域：3名／腎臓領域：212人／
呼吸器領域：5人／血液領域：4人／神経領域：8人／アレルギー領域：119人／膠原病領域：20人／
感染症領域：55人／救急領域：1,115人
■2020年度における外来・新入院患者（延べ）数、救急車搬入（取扱）数：
外来患者延べ数：32,622人／年、新入院患者数：3,227名／年、救急車搬入（取扱）数：3,097件［内科症例のみ］
■2020年度における剖検体数：2体　※参考…2018年度：16体、2019年度：12体

メッセージ　■IBDセンター部長（専門研修プログラム管理委員）：折居史佳■

当院をハブ空港として、様々な病院に研修で出ることができます。本州や海外の病院への見学・研修機会もあります。自分の担う診療が北海道、日本、そして地球の上でどんな意味を持つのか。それを感じ、たくさんの出会いに恵まれてください。また、患者さんの診療は入院から退院までを継続的に担当できるようにしています。時に、患者さんと一緒に年を重ね、年単位で自分の判断や決断を省察し、話し合い、グローバルスタンダードと経験の間でバランス感覚を養ってゆく・・・そんな仲間を募集中です！

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山崎誠治

<プログラムの特徴>

当院は北海道一の救急搬送件数のため、幅広い疾患を数多く診ることができます。救急車取扱い件数は年間約9,000件、内科系救急患者への対応能力も向上します。
基幹型臨床研修指定病院かつ内科学会認定教育病院として、初期研修医や内科レジデントの教育・研修に力を入れており、新・内科専門医制度においても当院を基幹施設とし、連携施設の旭川医科大学病院・江別市立病院、帯広徳洲会病院、特別連携施設のひまわりクリニックきょうごくからなる施設群で内科専門研修を行い、救急医療から高度先進医療または地域医療にも十分貢献できる研修プログラムを作成し、専攻医の先生には内科専門医を目指して頂きます。
また当院は診療科間の垣根が低く、先生同士のコミュニケーションが取りやすい環境や、基幹病院の環境を活かして、密度の濃い充実した内科専門医研修を提供しています。
内科系診療科は内科に6つの専門内科を開設しており、総合的な診療と専門的診療の両面から診療能力を深めることができます。
また基本領域を学びながら、循環器内科・消化器内科のサブスペシャルティ領域を意識した研修も可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】旭川医科大学病院、市立旭川病院、旭川厚生病院、旭川赤十字病院、名寄市立総合病院、遠軽厚生病院、町立中標津病院、勤医協中央病院、札幌徳洲会病院、市立千歳市民病院、共愛会病院、帯広徳洲会病院
【特別連携施設】夕張市立診療所、利尻島国保中央病院
詳しくは上記URLからご確認ください。

メッセージ

私は当院で初期研修を行い、引き続き内科専攻医、サブスペシャリティで循環器内科を専門として当院に残りました。年間9000台程度の救急搬送台数があり、急性期の多くの症例を経験することができます。初期研修との違いは、救急外来ではコマンダーとして、ER全体を指揮するリーダーシップを培えることです。他科とのコンサルテーションを行いながら、患者様にベストな治療を目指すことができます。また、循環器内科では日本を代表する最新設備があり、3年目の初期から専門治療を学べます。初期研修では学びきれない内科全般知識を内科専攻医で学びつつ、専門科の研修を並行して学ぶことができると思います。札幌で最新の医療を学びたい方、是非一度見学にお越しください。
専攻医　笠井悠太郎（札幌東徳洲会病院初期研修修了）

連絡先
医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター
事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

仙台徳洲会病院



〒981-3116　宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL　022-771-5111　FAX　022-771-5100
URL　https://sendai.tokushukai.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

仙台徳洲会病院　内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

福澤　正光

<プログラムの特徴>

本プログラムは宮城県仙台医療圏の中心的な急性期病院を目指す仙台徳洲会病院を基幹病院として宮城県（東北大学病院、東北医科薬科大学病院、東北医科薬科大学若林病院）、北海道（共愛会病院、帯広徳洲会病院）、山形県（庄内余目病院、新庄徳洲会病院）、新潟県（山北徳洲会病院）および沖縄県（石垣島徳洲会病院）にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行います。

この研修を経て宮城県や隣県・および僻地離島の医療事情を理解し、救急医療はもちろん地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医を育成します。

【採用予定人数】 3名
【指導医数】6名（内科系医師数：13名）
【当直回数】4回～8回程度（ローテーションにより変動）

【給与例】
・卒後3年目　月給 約420,000円/年収 約5,800,000円
・卒後4年目　月額 約510,000円/年収 約7,100,000円
・卒後5年目　月額 約550,000円/年収 約7,700,000円

※当直手当含め、各種手当有。

<ローテーション・連携施設一覧>

東北大学病院（宮城県）、東北医科薬科大学病院（宮城県）、東北医科薬科大学 若林病院（宮城県）、
庄内余目病院（山形県）、新庄徳洲会病院（山形県）、共愛会病院（北海道）、帯広徳洲会病院（北海道）、
石垣島徳洲会病院（沖縄県）、山北徳洲会病院（新潟県）

<診療実績など>

【サブスペシャリティ領域施設認定】
・日本消化器学会専門医認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・内分泌代謝・糖尿病内科領域 研修施設（基幹施設）
・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ

メッセージ

当院は2022年4月に新築移転いたしました。地域の中核的な病院である当院だけではなく、関連施設として宮城県内では大学病院とも共同して研修をすることが可能となっております。沢山の症例を経験することと、専門的な症例も経験が出来る環境を提供致しますのでぜひ見学にお越し下さい。

連絡先
医療法人徳洲会　仙台徳洲会病院
担当：総務課　前野
E-mail:maeno@sendai.tokushukai.or.jp

千葉徳洲会病院



〒 274-8503　住所 千葉県船橋市高根台2-11-1
TEL 047-466-7111　　FAX 047-467-0379
URL https://www.chibatoku.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

古賀 敬史

<プログラムの特徴>

千葉県東葛南部医療圏の中心的な急性期病院である千葉徳洲会病院を基幹施設として、都内の大学病院及び北海道・秋田県・神奈川県・愛知県・愛媛県・沖縄県にある連携施設で構成されます。
内科専門研修を経て千葉県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた内科専門医として千葉県東葛南部地域を支える内科専門医の育成を行います。
初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。
内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系Subspecialty分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力です。また、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して様々な環境下で全人的な内科医療を実践する先導者の持つ能力です。内科の専門研修では、幅広い疾患群を順次、経験してゆくことによって、内科の基礎的診療を繰り返して学ぶとともに、疾患や病態に特異的な診療技術や患者の抱える多様な背景に配慮する経験とが加わることに特徴があります。そして、これらの経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察を含めて記載し、複数の指導医による指導を受けることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することを可能とします。

<ローテーション・連携施設一覧>

東京医科大学 （東京都）
帯広徳洲会病院 （北海道） 平鹿総合病院 （秋田県） 湘南藤沢徳洲会病院 （神奈川県）
名古屋徳洲会総合病院 （愛知県） 宇和島徳洲会病院 （愛媛県） 中部徳洲会病院 （沖縄県）

<診療実績など>

上部消化管内視鏡検査 5,514件　下部消化管内視鏡検査 2,253件　ERCP　224件
PTGBD　4件　PTCD　20件　PTAD　11件　腹部血管造影　34件　CAG　187件　PCI　337件
ペースメーカー　38件　カテーテルアブレーション　49件　その他循環器症例　69件

メッセージ

大学病院をはじめ関連病院と連携をしながら専門性を磨ける研修となります。サブスペシャリティの選択肢も広いので自分のスタイルにあった研修が可能となります

連絡先

千葉徳洲会病院　臨床研修事務担当
kensyu@chibatoku.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

内科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>

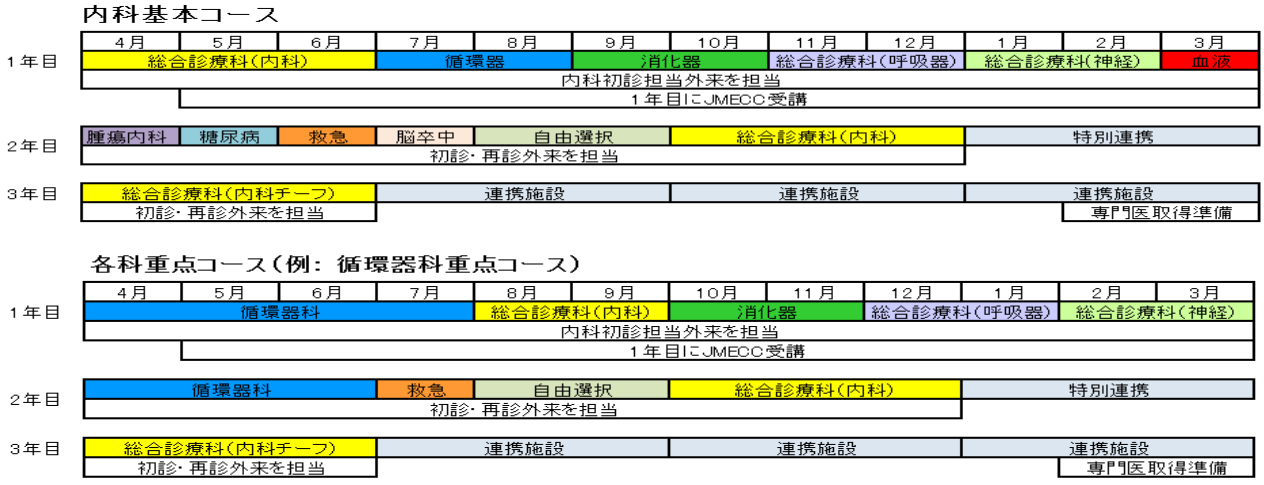
三角　和雄

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院内科専門医研修プログラムは、本院を基幹施設とし、同医療圏およびその近傍にある連携施設・特別連携施設および奄美大島群島および沖縄の離島の特別連携施設にて実施する。研修期間は基幹施設2年間+連携施設・特別連携施設１年間の3年間である。

内科専門医研修プログラムは、内科基本コースと各専門内科重点コースの2コースを有する。内科基本コースでは、総合内科の専門性を目指す場合や、将来のsubspecialtyが未定な場合に、内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースである。一方、各専門内科重点コースは、将来的に専門性を高めたいと希望するsubspecialty領域を重点的に研修するコースである。具体的には基幹病院である千葉西総合病院で指導に当たることのできる、内科指導医でありかつ各内科specialty専門医の在籍する内科8領域について、循環器科重点コース、消化器科重点コース、その他、呼吸器内科、腫瘍内科、神経内科、糖尿病科、血液内科、老年医学、救命救急科に重点をおいたコースを選択できる。

<ローテーション・連携施設一覧>



<診療実績など>

【循環器内科】総PCI（冠動脈カテーテル治療）数 **3264**件　☆**14年連続「心カテーテル治療数」全国1位** ☆
【消化器内科】上部内視鏡検査：7880件/下部内視鏡検査：2918件/ERCP：385件/EUS:126件/
ESD(胃)：72件/(大腸)52件/(食道)9件/(十二指腸)31件

メッセージ

是非一度、本院の日本一のカテーテル室・雰囲気を見学にお越し下さい。
ご見学お待ちしております！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院



〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院【内科】専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

日比野 真

<プログラムの特徴>

本プログラムは、神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設として、神奈川県内の近隣医療圏や近隣県の連携施設、また長年Webカンファレンス等で連携を図ってきた関西地域および鹿児島県離島地域・山形県僻地地域の特別連携施設とで内科専門研修を行います。超高齢社会を迎えた我が国の地域医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練されます。研修期間は基幹施設2年間＋連携施設・特別連携施設を併せて3年間もしくは4年間です。

研修では、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として全人的医療を実践します。入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立案実行する能力の修得を目指します。

当院は急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核病院です。一方で地域に根ざす第一線の病院でもあるため、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験や、高次医療施設・地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携を経験することができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

サブスペシャリティコースの充実

プログラムには、総合内科専門の他、サブスペシャリティ領域の専門医を目指す場合や、総合診療領域とのダブルボードを想定したコースがあります。

連携施設：湘南鎌倉総合病院 / 聖マリアンナ医科大学病院 / 国際医療福祉大学熱海病院 / 川崎市立多摩病院 / 宇治徳洲会病院 / 与論徳洲会病院 / 喜界徳洲会病院 / 名瀬徳洲会病院 / 新庄徳洲会病院 / 榛原総合病院 / 静岡徳洲会病院 / 羽生総合病院 / 古河総合病院 / 湘南厚木病院 / 神戸徳洲会病院 / 帯広徳州会病院 / 共愛会病院 / 南部徳洲会病院 / 札幌東徳洲会病院

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://hacoya.work/20160623b/

メッセージ

内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系Subspecialty分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力を指します。知識や技能に偏らずに患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して、さまざまな環境下で全人的な内科医療を実践する先導者が身につけるべき能力です。

当院の研修プログラムは、神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院である湘南藤沢徳洲会病院を基幹施設とします。地域での医療事情を理解し、かつ地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練し、それぞれの地域を支える内科専門医を育成します。また、さらに高度な総合内科のGenerality の獲得を目指す場合や内科領域Subspecialty専門医への道を歩む場合も想定して、複数のコースを設定します。

本プログラムは、豊富な臨床経験を持つ指導医の下で、内科領域全般にわたる研修を通じ、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能の修得を目指します。幅広い疾患群を経験し基礎的診察を繰り返すことで、疾患や病態に特異的な診療技術と患者の抱える多様な背景への配慮を学びます。これらの経験を病歴要約として、科学的根拠や自己洞察を含めて記載し、複数の指導者による指導を受けることによって、リサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することが可能となります。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒 247-8533　　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL 0467-46-1717　FAX 0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.ro.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院　内科専門研究プログラム

<プログラム統括責任者>

小林　修三

<プログラムの特徴>

神奈川県鎌倉・横須賀・三浦の二次医療圏にとどまらず、藤沢・横浜を含めた神奈川県南部地域での中心的な急性期病院として多くの紹介患者を受け入れています。稼働病床数は629床であり、そのうち内科は約320床を持ちます。ERへの年間救急車台数14000台からの入院の半分は内科への入院で、救急疾患もcommon diseaseも希少疾患も数多く経験でき、内科学会で優秀演題賞を受賞したり、内科学会雑誌で「今月の症例」にも採択されています。

本プログラムでは、内科基本コースと専門科重点コースの2コースを用意しています。内科基本コースでは、総合内科としての専門性を目指す場合や、将来のsubspecialtyがまだ未定の場合に内科領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースです。また、専門科重点コースは将来的に専門性を高めたいと希望するsubsecialty領域を重点的に研修するコースで、サブスペ専門医の資格取得も可能です。

ローテーションの診療科には、ER総合診療科や集中治療室(ICU)、病理診断部の選択も可能であり、それぞれの専攻医にあった「自由度の高い」ローテーションを組むことが可能です。また連携病院での研修には、基幹病院同士の連携施設として大学病院（東大、横浜市大、北里大学、聖マリアンナ医科大学）や徳洲会系病院（札幌東、藤沢徳洲会、沖縄中部）の他に、地域での中核病院や離島僻地病院での研修があり、専門的・先進的・学術的研修から総合的・全人的医療を実践する研修まで様々です。

JMECCも院内開催をしており、将来的にJMECCインストラクター・ディレクターの資格取得も可能です。また、当直時の仮眠時間確保や当直明けの休暇など、専攻医の働き方改革も積極的に取り組んでいます。

<ローテーション・連携施設一覧>

＜ローテーション＞　2つのコースとも2年間を当院で研修、1年間を連携施設で研修となっています
1) 内科基本コース：当院での2年間の研修では、総合内科を中心に、他の専門科は2-3ヶ月の期間で万遍なくローテートします。
2) 専門科重点コース：1年半をsubspeciallty診療科で研修し、もう1年半で経験不足の診療科をローテートします。
＜連携施設＞東京大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、北里大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、都立駒込病院、国立循環器病センター、札幌東徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院、沖縄中部病院、東京西徳洲会病院、湘南厚木病院、葉山ハートセンター、宇和島徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、沖縄南部病

<診療実績など>

内科指導医数：32名　内科専攻医数:H30年度 7名、H31年度 4名　剖検症例数：H30年度 29体、H31年度21体
診療科と実績（年間）：
総合内科（ERからの年間入院数は1700-2400人）、消化器病センター（GF 9000件、GF 4600件、ESD 220件、ERCP 500件、EUS 300件）、腎臓病総合医療センター（腎生検180件、HD導入70件、PD導入 15件、腎移植30件）、循環器科（心臓カテーテル5300件、EVT360件、TAVI 80件、アブアレーション710件）、血液内科（急性白血病登録患者神奈川1位、自家末梢血幹細胞移植 12件）、呼吸器内科（気管支鏡300件）、神経内科、糖尿病内分泌科、リウマチ科、免疫・アレルギーセンター

メッセージ

英国人医師であるブランチDrによる身体診察や英語によるプレゼンテーション教育が充実しています。各内科subspecialty認定施設にも数多く登録されており、専門性を高め海外を含めた学会発表や論文執筆の指導も行っています。また当院には今後先端医療センターが設置され、隣接する湘南アイパークとの連携による基礎研究など高度医療・研究が可能となるほか、横浜市立大学との連携大学院により、当院で臨床診療を行いながらの博士号取得も可能です。2020年4月より湘南鎌倉医療大学も開校し、専攻医終了後もスタッフとして勤務し、臨床だけでなく研究や教育の活躍の場がたくさんあります。

連絡先

内科専門研修委員長　守矢英和
TEL: 0467-46-1717
メールアドレス：h_moriya@shonankamakura.or.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

青山英和　名古屋徳洲会総合病院　循環器内科/副院長

<プログラムの特徴>

愛知県尾張北部医療圏の中心的な急性期病院である名古屋徳洲会総合病院を基幹施設として、愛知県尾張北部医療圏・近隣医療圏である岐阜県東濃医療圏にある連携施設・医療過疎部の僻地・離島を特別連携施設で内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。

【研修期間】　３年
【募集定員】　３名
【指導医数】　２８７名

<ローテーション>

基幹病院で最低６ヶ月以上はローテーション必須。
内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。
なお、研修達成度によっては、Subspecialty研修も可能です。

<連携施設一覧>

中津川市民病院	名古屋市立大学病院	宇治徳洲会病院
市立恵那病院	藤田医科大学病院	岸和田徳洲会病院
土岐市立総合病院	札幌東徳洲会病院	神戸徳洲会病院
多治見市民病院	福岡徳洲会病院	松原徳洲会病院
宇和島徳洲会病院	大学徳洲会病院	中部ろうさい病院
榛原総合病院	吹田徳洲会病院	八尾徳洲会病院
和泉市立総合医療センター	千葉西総合病院	東京西徳洲会病院
名瀬徳洲会病院		

<メッセージ> 青山英和（プログラム統括責任者　循環器内科）

徳洲会病院の特徴を生かした多くの症例を経験できる点と、
学会など学問的活動を両立できる環境としております。
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します。ご応募お待ちしております！！

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

舛田　一哲（心臓血管内科）

<プログラムの特徴>

京都府山城北二次医療圏の中心的な急性期病院である宇治徳洲会病院を基幹施設として、京都府山城北二次医療圏、近隣医療圏及び沖縄県にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。
本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設 2年間＋連携・特別連携施設 1年間）のうち2年間をサブスペシャリティー重点コースとして研修することが出来、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で，内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて，標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能を修得します。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学病院、島根大学医学部附属病院、大阪医科薬科大学病院、滋賀医科大学附属病院、湘南鎌倉総合病院、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立西神戸医療センター、市立大津市民病院、静岡県立総合病院、名古屋徳洲会総合病院、泉市立総合医療センター、湘南藤沢徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、新京都南病院、総合病院京都南病院、京丹後市立弥栄病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、神戸徳洲会病院、吹田徳洲会病院、仙台徳洲会病院、大隅鹿屋病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、共愛会病院、石垣島徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、与論徳洲会病院、新庄徳洲会病院、榛原総合病院、庄内余目病院、皆野病院、札幌東徳洲会病院、古河総合病院、近江草津徳洲会病院、耳原総合病院、羽生総合病院、六地蔵総合病院、静岡徳洲会病院、青森県立中央病院、山形県立中央病院

<診療実績など>

入院症例数（2023年実数）総合内科：81　消化器：1,014　循環器：1,881　内分泌：148　代謝：133　腎臓：317　呼吸器：1,127　血液：382　神経：174　アレルギー：1　膠原病：18　感染：538　救急：618

メッセージ

当院は地域医療と密接に連携した高水準の診療を行っており、本プログラムは内科系診療科が大学病院や地域の協力病院とも連携して行います。救急件数も多いので豊富な症例を経験でき、心臓カテーテル検査・治療や内視鏡検査・治療まで踏み込んだ診療も経験することが可能です。
サブスペシャリティーとしての診療科がすでに決めておられる方は、それ中心にプログラムをある程度柔軟に組むこともできますので、できるだけ一人一人の希望に沿った研修が受けることができます。
自分で物事が判断できる自立した内科医の育成を目標とします。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

内科　腎センター長　兼　内科主任部長　北澤　孝三

<プログラムの特徴>

内科専門医の使命は、(1)高い倫理観を持ち、(2)最新の標準的医療を実践し、(3)安全な医療を心がけ、(4)プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開することです。内科専門医のかかわる場は多岐にわたるが、それぞれの場に応じて、
■地域医療における内科領域の診療医（かかりつけ医）
■内科系救急医療の専門医
■病院での総合内科（Generality）の専門医
■総合内科的視点を持ったSubspecialist
これらに合致した役割を果たし、地域住民、国民の信頼を獲得します。それぞれのキャリア形成やライフステージ、あるいは医療環境によって、求められる内科専門医像は単一でなく、その環境に応じて役割を果たすことができる、必要に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を多く輩出することにあります。野崎徳洲会病院内科専門研修施設群での研修終了後はその成果として、内科医としてのプロフェッショナリズムの涵養とGeneralなマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージによって、これらいずれかの形態に合致することもあれば，同時に兼ねることも可能な人材を育成します。そして、北河内医療圏（大阪府）に限定せず、超高齢社会を迎えた日本のいずれの医療機関でも不安なく内科診療にあたる実力を獲得していることを要します。また、希望者はSubspecialty領域専門医の研修や、附属研究所などでの研究を開始する準備を整えうる経験をできることも、本施設群での研修が果たすべき成果です。野崎徳洲会内科専門研修プログラム終了後には、野崎徳洲会病院内科施設群専門研修施設群（下記）だけでなく、専攻医の希望に応じた医療機関で常勤内科医師として勤務する、または野崎徳洲会病院付属研究所で研究者として働くことも可能。

<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	専門研修医療機関
基幹施設（ 2年間 ）	野崎徳洲会病院
連携施設（ 1年間 ）	右記医療機関より調整

＜連携施設医療機関＞
■　八尾徳洲会総合病院
■　新庄徳洲会病院
■　蒼生病院
■　あおぞら在宅診療所

※研修達成度によっては『Subspecialty研修』も可能

<診療実績など>【 診療科 / 入院患者実数 / 外来患者延患者数 】

消化器内科	206名	665名	呼吸器内科	535名	
循環器内科	902名	7,605名	神経内科	22名	841名
糖尿病・内分泌内科	176名	3,084名	血液内科・リウマチ科	57名	
腎臓内科	123名	19名	救急科		8,848名

2024年実績データ

メッセージ

野崎徳洲会病院は、三次医療圏並みの医療機能を備えた中核病院としての役割があります。急性期疾患の救急受け入れ、三次救急へのトリアージ機能ならびに緊急入院、緊急手術体制や後方支援など、役割は様々です。医療からの介護に至るまで切れ目のない連携機能で年中無休24時間オープンを掲げたスーパーマーケット病院です。入院患者数は、年間約6,000名のうち約45%が緊急入院にあたります。また、病床稼働率は年間平均で98%の稼働ということもあり、地域における急性期医療の需要が高いことがわかります。※心肺停止状態搬送患者数155名/年
少しでも当院に興味がありましたら是非、いつでも見学にお越しください。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

岸和田徳洲会病院



〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada-doctor.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

岸和田徳洲会病院内科施設群専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

松尾好記

<プログラムの特徴>

当プログラムは、岸和田徳洲会病院の特徴でもある数多くの救急件数により、幅広い症例を多く経験できます。common diseaseはもちろん、救急疾患から各専門分野の最先端治療に至るまで数多く経験する事が最大の特徴です。多くの疾患のスムーズな診断・治療を可能にしているのは各科連携の垣根が低い事も重要です。各専門科とのスムーズな連携の中で、質の高い医療を提供することを可能にしています。
当プログラム関連病院では全て同じ電子カルテであり、一部主要病院間では電子カルテ相互閲覧も可能で、遠隔地においても指導医からの適切なアドバイスをリアルタイムで受けることが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
連携施設16施設：札幌東徳洲会病院、札幌南徳洲会病院、八尾徳洲会病院、松原徳洲会病院、
野崎徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、吹田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、
湘南鎌倉総合病院、福岡徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、中部徳洲会病院、
宇和島徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、神戸徳洲会病院、
和歌山県立医科大学附属病院
特別連携施設13施設：高砂西部病院、名瀬徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、笠利病院、
喜界徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、
宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、日高徳洲会病院、
山北徳洲会病院

<診療実績など>

◆消化器内科◆
・取り組み：検査からESDまで内視鏡治療を幅広く行っている。
・医師数：6名（消化器病学会専門医2名うち指導医1名、消化器内視鏡学会専門医2名うち指導医1名）
・治療実績：内視鏡17,245件（上部11,293件、下部5,952件）、ESD366件（食道29件、胃178件、大腸159件）
※医師数は2024年9月現在、治療実績は2023年度実績

◆循環器内科◆
・取り組み：冠動脈疾患、下肢動脈硬化、腎動脈硬化など、幅広い循環器疾患に対応。TAVIの実績100例以上
・医師数：10名うち専攻医2名（循環器学会専門医6名、心血管インタベ治療学会専門医3名）
・治療実績：PCI394例、SHD（TAVI,Mitra Clip,Watchman）158例、EVT674例、ABL129例
※医師数は2024年9月現在、治療実績は2023年実績

メッセージ　（プログラム統括責任者：循環器内科　部長　松尾　好記）

消化器では内視鏡検査・治療(特にESD)、循環器ではカテーテル検査・治療(TAVIなど)、全国トップクラスの症例数を誇ります。圧倒的な技術をもった総合医を目指して、岸和田へ来ませんか？岸和田徳洲会でお待ちしています。

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



原田　博雅

まず、自分自身の診断学を作って下さい。
そして、総合内科専門医取得を第一の目標とします。
将来選択されるサブスペシャルティに対して総合的に役立つ診療技術をしっかりと身につけてください。

<プログラムの特徴>

【募集定員：3名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：9施設】　【病床数：415床】

大阪府中河内医療圏の中心的な急性期病院である八尾徳洲会総合病院を基幹施設として、専攻医の多様な希望・将来性に対応し、地域医療や全人的医療、慢性期医療および患者の生活に根ざした地域医療を経験できることを目的に、高次機能・専門病院である大阪市立大学医学部附属病院、三次救急医療機関である岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、地域基幹病院である松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、神戸徳洲会病院および地域医療密着型病院である千里丘協立診療所、徳之島徳洲会病院とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるよう訓練されます。
また、当プログラム病院群に在籍する専門研修指導医は56名、院内では総合内科専門医10名、消化器病専門医4名、循環器専門医1名、呼吸器専門医4名、神経内科医専門医2名、糖尿病専門医2名、内分泌代謝専門医2名、血液内科専門医1名、肝臓専門医5名、消化器内視鏡専門医4名、救急科専門医2名の手厚い指導体制です。
また、当院では初期臨床研修において研修管理委員会が初期研修医のフォローを行っており、高い満足度を得ています。当内科専門研修プログラムにおいてもこのノウハウを用いて専攻医をバックアップ致します。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
大阪市立大学医学部附属病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、神戸徳洲会病院　〈特別連携施設：千里丘協立診療所、徳之島徳洲会病院〉

《 研修プログラム例 》

1年次	八尾徳洲会総合病院（基幹施設）		
	（例）糖尿病・代謝内科	（例）消化器内科	（例）呼吸器内科
2年次	（例）大阪市立大学医学部附属病院　（※連携の８施設より決定）		徳之島徳洲会病院
	※ 希望の診療科		（特別連携施設）へき地・離島
3年次	八尾徳洲会総合病院（基幹施設）		
	（例）総合内科	（例）神経内科	（例）循環器内科

研修期間は基幹施設2年間と連携施設・特別連携施設1年間の3年間になります。

<診療実績など>

【病院群全体での年間入院症例数】
総合内科/1,023、消化器/1,334、循環器/1,892、内分泌/67、代謝/208、腎臓/672、呼吸器/1,959
血液/100、神経/345、アレルギー/100、膠原病/36、感染症/264、救急/2,301

メッセージ

★不明熱から、悪性疾患まで、症例の渦に揉まれて強くなる！！
総合内科をはじめ、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科での研修を軸として腫瘍内科や内分泌内科、神経内科などの経験が可能です。地域中核病院の役割として担当する患者はこれらの枠にとらわれること無く診療が可能であり、バックアップ体制も充実しています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

和泉市立総合医療センター



〒594-0073　大阪府和泉市和気町四丁目5番1号
TEL　0725-41-1331　FAX　0725-43-3350
URL　https://izumi.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

和泉市立総合医療センター内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

大野　恭裕

<プログラムの特徴>

当院は、平成30年4月1日に新築移転を行い、内科系診療科も5診療科だったものが、11診療科に拡大しました。地域の中核病院として責を全うすべく、日夜診療を行っております。
プログラムは当院で2年、連携病院で1年の計3年で構成されています。その後のサブスペシャリティ領域も豊富に選択肢をご用意しており、専門医取得までのプロセスを一貫してフォローしていきます。

【指導医数】23名 幅広い年齢層のドクターが在籍

【研修医数】9名

【給　　与】月例給与　1年目 420,000円/月　2年目 510,000円/月　3年目 550,000円/月
上記の他、賞与（年2回）、住宅手当、当直手当（月4～5回程度）等、各種手当あり。

<ローテーション・連携施設一覧>

岸和田徳洲会病院・府中病院・宇和島徳洲会病院・宮古島徳洲会病院・山北徳洲会病院・新庄徳洲会病院・帯広徳洲会病院・きただ内科クリニック・和歌山県立医科大学付属病院・亀田総合病院・大隅鹿屋病院・湘南鎌倉総合病院・千葉西総合病院・榛原総合病院・羽生総合病院・沖永良部徳洲会病院・庄内余目病院・名瀬徳洲会病院・神戸徳洲会病院

<診療実績など>

2022年度　内科実積
常勤医師数：53人
入院患者数：4,825人
外来延患者数：112,590人

ローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修1年目	和泉市立総合医療センター											
	希望診療科											
後期研修2年目	離島研修			地域研修			地域研修					
	離島・へき地			外病院			外病院					
後期研修3年目	和泉市立総合医療センター											
	希望診療科											

メッセージ

和泉市立総合医療センターは地域の基幹病院として、救急医療、高度専門医療を担っています。

内科は消化器内科、肝胆膵内科、循環器内科、腫瘍内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓透析内科、リウマチ・膠原病内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科があります。それぞれの診療科で専門性の高い指導医・スタッフが揃っており、ほぼ全ての内科疾患を経験出来ます。
また、アイソトープ検査、血管造影など高度な画像診断や放射線治療を行っており、外科系診療科も充実しています。他科との相互連携が円滑で、内科医として様々な病態の診断から治療まで、全てを院内で診ることができることも当院の強みであり、医師としての見識を高めることができます。

専攻医の先生には、専門領域の理解をより深めてもらうようにリサーチマインドを持って臨床研究への参加や症例報告を積極的に指導しています。

後期研修医の皆様、私たちと一緒に当医療センターで一緒に充実した医療を実践しましょう。

連絡先

和泉市立総合医療センター
総務課　渡邊・上田　　izumi-senmon@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

副院長　呼吸器内科：久良木　隆繁

<プログラムの特徴>

本プログラムでは最初の一年間で救急医療を中心に慢性疾患、在宅への橋渡しまでの道筋を基幹施設である福岡徳洲会病院とグループ内施設であるへき地・離島病院（連携施設/特別連携施設）で研鑽を積むことによってしっかりとした基礎を身につけることができます。
２年目以降は研修の到達状況と専攻医の希望にあわせて大学病院や多くの関連施設にてより高度な医療の研鑽を積むことができます。
症例数が豊富なので専攻医によっては到達目標を早期に終了することも不可能ではありません。状況に併せてサブスペシャリティに重点をおいた研修を行うことが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
■福岡大学病院（福岡）■熊本大学病院（熊本）■独立行政法人国立病院機構　九州がんセンター（福岡）
■国立研究開発法人　国立循環器病院研究センター（大阪）■社会医療法人雪の聖母会　聖マリア病院（福岡）
■新潟県立中央病院　（新潟）

■札幌東徳洲会病院（北海道）■千葉徳洲会病院（千葉）■湘南鎌倉総合病院（神奈川）
■湘南藤沢徳洲会病院（神奈川）■名古屋徳洲会総合病院（愛知）■岸和田徳洲会病院（大阪）
■松原徳洲会病院（大阪）■神戸徳洲会病院（兵庫）■宇和島徳洲会病院（愛媛）■鹿児島徳洲会病院（鹿児島）
■大隅鹿屋病院（鹿児島）■屋久島徳洲会病院（鹿児島）■徳之島徳洲会病院（鹿児島）■中部徳洲会病院（沖縄）

【特別連携施設/特別地域連携施設】
■新庄徳洲会病院（山形）■皆野病院（埼玉）■羽生総合病院（埼玉）　■山北徳洲会病院（新潟）
■二日市徳洲会病院（福岡）　■長崎北徳洲会病院（長崎）■山川病院（鹿児島）

メッセージ

福岡徳洲会病院総合内科専門医研修プログラムは短期間で実力をつけることが可能なプログラムです。様々な疾患を経験した上で、いろいろな角度から患者を診る(見る、視る、看る)ことができる内科医を目指しています。病院の立地は福岡市から道路を一本挟んだだけの春日市にあります。内科病棟のある病院10階から、福岡の町並みや、目の前に宝満山、背振山系を一望することが可能です。20－30分で福岡の中心街へ赴くことができ、研究会の参加、新しい情報の収集には最適です。週末リラックスしたければ、二日市温泉や太宰府天満宮もすぐそこです。このプログラムの特徴は、経験すべき症例を効率よく、早く経験することができ、ほぼ義務化されつつある地域医療への貢献を早くに済ますことが可能です。地域医療の研修も太陽でいっぱいの南西諸島から、雪の世界とスキー・スノボーを堪能できる東北・北海道まで豊富な選択肢があります。地方においても都会と同じ勉強ができるよう手配し、勉強したい方には大学病院やがんセンターで勉強できる環境を用意しました。是非とも福岡徳洲会病院内科専門医研修プログラムにご応募下さい。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/髙尾
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

大隅鹿屋病院

〒893-0015 鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL 0994-40-1111 FAX 0994-41-8355
URL http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

辻 貴裕

<プログラムの特徴>

本プログラムは，鹿児島県大隅半島肝属医療圏の中心的な急性期病院である大隅鹿屋病院を基幹施設として，鹿児島県肝属医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設を活用し内科専門研修を経て鹿児島県の医療事情を理解し，地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され，基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として鹿児島県の大隅半島全域を支える内科専門医の育成を行います。
1) 初期臨床研修を修了した内科専攻医は，本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）に，豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で，内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて，標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

<ローテーション・連携施設一覧>

スケジュール
1年次　内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）地域研修 （山川病院・屋久島徳州会病院・鹿児島徳洲会病院・日高病院）
2年次　内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）
3年次　連携施設・サブスペ 連携施設・サブスペ 内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）

メッセージ

・ 当院の総合内科は他の専門内科が揃っている中の総合内科ではありません。風邪から重症の呼吸不全、検尿異常から急性血液浄化を要する急性腎障害、軽症の糖尿病から糖尿病性ケトアシドーシス、さらにはCPA蘇生後、薬物中毒など、“何でも診る”を信条とした文字通りの総合内科です。大病院にありがちな他の専門内科が興味を示さない領域しか担当することが出来ず、結果としてアイデンティティーの確立に悩むということもありません。逆に他院であれば専門内科が行うことであったとしても、総合内科で出来る限り完結させたいという熱い思いを持った“攻めの総合内科”です。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

轟　純平（とどろき　じゅんぺい）

<プログラムの特徴>

本プログラムは、沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院である中部徳洲会病院を基幹施設として、千葉県東葛南部医療圏、神奈川県横須賀・三浦・湘南医療圏、静岡県西部医療圏、大阪府豊能医療圏・泉州医療圏、京都府山城北二次医療圏、福岡県筑豊医療圏、熊本県熊本医療圏、沖縄県中部・南部医療圏にある連携施設、鹿児島県保健医療圏にある特別連携施設とで内科専門研修を経て沖縄県、および琉球列島特有の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた内科専門医として沖縄県全域を支える内科専門医の育成を行います。

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><td></td><td>1 年</td><td>2 年</td><td>3 年</td><td colspan="2">4 年</td><td>5 年</td><td rowspan="14">筆記試験</td></tr>
<tr><td>4 月</td><td rowspan="12">初期臨床研修</td><td rowspan="12">内科専門研修</td><td rowspan="9">連携施設</td><td rowspan="12">病歴提出</td><td rowspan="12">内科専門研修</td></tr>
<tr><td>5 月</td></tr>
<tr><td>6 月</td></tr>
<tr><td>7 月</td></tr>
<tr><td>8 月</td></tr>
<tr><td>9 月</td></tr>
<tr><td>10 月</td></tr>
<tr><td>11 月</td></tr>
<tr><td>12 月</td></tr>
<tr><td>1 月</td><td rowspan="3">特別連携</td></tr>
<tr><td>2 月</td></tr>
<tr><td>3 月</td></tr>
</table>

連　携　施　設：国立循環器病研究センター、福岡大学病院、琉球大学病院、千葉徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、聖隷三方原病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、飯塚病院、福岡徳洲会病院、済生会熊本病院、南部徳洲会病院、ハートライフ病院、特別連携施設：徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院

<診療実績など>

内科外来患者 2.535名／1ヵ月平均　内科入院患者 2.120名／1ヵ月平均

2023年実績	消化器内科	循環器内科	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科	呼吸器内科	神経内科	血液内科・リウマチ内科	救急科
入院患者数（人/年）	1.542	2.357	364	240	1.742	1.215	156	8.361
外来延患者数（延人数/年）	11.783	17.935	1.439	620	2.933	1.379	1.063	31.236

メッセージ

中部徳洲会病院は，沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院であり，沖縄医療圏を中心に全国にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い，地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します．主担当医として，入院から退院〈初診・入院～退院・通院〉まで経時的に，診断・治療の流れを通じて，社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります．

連絡先

中部徳洲会病院　臨床研修室　担当：木村
〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉8010番地
☎　098-932-1110（代表）　mail:　h.kimura@cyutoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、旭川医科大学病院、札幌徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、江別市立病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、仙台徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、湘南藤沢徳洲会病院、仙台徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院、東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	仙台徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院、野崎徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、和泉市立総合医療センター、福岡徳洲会病院、山形大学医学部附属病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	仙台徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、和泉市立総合医療センター	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	東京医科大学病院、札幌徳洲会病院、中部徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	和泉市立総合医療センター	担当：人事課　　友野　歩 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	千葉西総合病院（予定）	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜茨城県＞ 古河総合病院	湘南藤沢徳洲会病院	担当：総務課　橋本純 0280-48-0283 email：j.hashimoto@kogahosp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南藤沢徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、宇治徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院、聖マリアンナ医科大学病院、国際医療福祉大学熱海病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、都立駒込病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、宇治徳洲会病院、浜松医科大学	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、浜松医科大学、藤枝市立総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	耳原総合病院、青森県立中央病院、山形県立中央病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院	担当：杉井　純子 nozarinken@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	宇治徳洲会PG、八尾徳洲会PG、岸和田徳洲会PG、名古屋徳洲会PG、札幌東徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、和泉市立総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院、福岡徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、中部徳洲会病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：冨士田　学 suita-soumu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、和泉市立総合医療センター	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org
＜愛媛県＞ 宇和島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、福岡徳洲会病院、千葉徳洲会病院	担当：植村 ishitai@uwatoku.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、熊本大学、九州大学、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院、中部徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜福岡県＞ 二日市徳洲会病院	福岡徳洲会病院	担当：安田　位織 093-922-2531
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院、福岡徳洲会病院、千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、千葉徳洲会病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 山川病院	大隅鹿屋病院	担当：事務長　桑畑　康輔 0993－35－3800
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、川崎市立多摩病院、大阪大学医学部附属病院、鹿児島県立大島病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 笠利病院	岸和田徳洲会病院	担当：事務長　宮本　眞吾 0997-55-2222 jimutyou@kasarihp.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、岸和田徳洲会病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	千葉西総合病院、和泉市立総合医療センター、中部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	国立研究開発法人国立循環器病研究センター、福岡大学病院、琉球大学病院、千葉徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、聖隷三方原病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、飯塚病院、福岡徳洲会病院、済生会熊本病院、南部徳洲会病院、ハートライフ病院、徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、中頭病院、浦添総合病院、中部徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉西総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

緒方 賢司

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院の外科プログラムは、本院と連携施設（7施設）により専門研修施設群を構成しています。
本専門研修施設群では19名の専門医（内19名が専門研修指導医）【2023年5月1日現在】が専攻医を指導。

3年間 NCD 登録数は 9906 例です。

将来進む、診療科(サブスペシャルティ領域も含む)に応じ柔軟に診療科をローテーションしていきます。
3年間の専門研修期間中、 基幹施設または連携施設(最低6カ月)で研修を行っていきます。

・**専門研修1年目**:経験症例200 例以上 （術者30 例以上）
原則として千葉西総合病院で研修を行います。

・**専門研修2年目:**経験症例350 例以上/2 年 （術者120 例以上/2 年）
連携施設群のうちいずれかに所属し研修を行います(最低6ヶ月)。
残り期間は、原則として千葉西総合病院で研修を行います。

・**専門研修３年目**
原則として千葉西総合病院で研修を行います。不足症例に関しては、必要であれば連携施設群のいずれかをローテートします。

<ローテーション・連携施設一覧>

（例）

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次以降
基幹施設	連携施設	基幹施設	
外科専門医研修			サブスペシャリティ領域などの専門研修
連携施設	連携施設	基幹施設	サブスペシャルティ領域などの専門医研修

【連携施設】
名古屋徳洲会病院
千葉愛友会記念病院
四街道徳洲会病院
成田富里徳洲会病院
湘南鎌倉総合病院
宇治徳洲会病院
鹿児島徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術件数
【外科】医師数10名
2022年度　手術件数　**1266**件
【心臓血管外科】医師数：11名
2022年度　手術件数　**908**件

メッセージ

ダビンチXI2台体制にて心臓血管外科・消化器外科手術を積極的に行っています。
是非、ダビンチ手術等興味ある方はまず見学にいらして下さい!　お待ちしております。

連絡先
千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

羽生総合病院

〒348-8505　埼玉県羽生市下岩瀬446番地
TEL　048-562-3000　FAX　048-563-2170
URL　http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/



プログラム概要

<プログラム名>

羽生総合病院外科専攻医専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

新田　隆（心臓血管外科/統括顧問）

<プログラムの特徴>

羽生総合病院一般外科専門研修プログラムは羽生総合病院が中心となって外科の専門医を育成するプログラムである。元来湘南外科グループの一員であり、外科の症例数もある当院は、地域への貢献の面で言えば地域医療の外科診療を支える総合病院である。
2022年４月に発足し、専門研修プログラムとしての実績はまだないが、これから多くの外科専門医を輩出し、埼玉県の地域医療の充実に貢献するのが目的である。

■ローテーション表：イメージ■

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	羽生総合病院											
2年目	羽生総合病院											
3年目	羽生総合病院 名瀬徳洲会病院 新庄徳洲会病院 皆野病院			羽生総合病院 名瀬徳洲会病院 新庄徳洲会病院 皆野病院			羽生総合病院					

<ローテーション・連携施設一覧>

・羽生総合病院（基幹：埼玉県羽生市）
・皆野病院（埼玉県秩父郡皆野町）
・新庄徳洲会病院（山形県新庄市）
・名瀬徳洲会病院（鹿児島県奄美市）

<診療実績など>

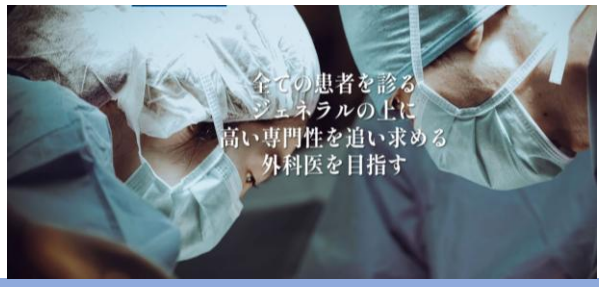
年間手術件数（令和4年実績）
・消化器　282件
・呼吸器系　18件
・甲状腺　6件
・その他　37件

メッセージ

人口に対して医師数が少ない埼玉県北部の地域医療を支える病院で地域貢献をしませんか。当院では多くの症例をこなして実力をつけることが可能です。消化器外科領域はもとより、胸部外科や乳腺甲状腺外科、さらに救急疾患まで幅広く対応しています。虫垂炎や胆石胆嚢炎といった良性疾患から進行癌まで疾患の範囲も幅広く、軽症から重症まで様々な病態が経験出来ます。手術も従来の開胸，開腹手術、胸腔鏡や腹腔鏡による鏡視下手術に加え、今後発展が期待される低侵襲ロボット手術も導入しました。
まずはご見学をお待ちしております。

連絡先
医療法人徳洲会　羽生総合病院
臨床研修事務担当　川口・戸ヶ崎
TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170
resident_doctor@fureaihosp.or.jp

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533　　住所　神奈川県鎌倉市岡本1370-1
TEL　0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　（病院HP）https://www.skgh.jp/
　　（専攻医特設HP）https://skgh-surgery.com/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合外科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>

外科統括部長　藤井正一

<プログラムの特徴>

◇募集定員　10名　◇研修期間　3年　◇指導医数　11人　◇専門医執刀件数　平均39.25件/月

当院を中心として徳洲会グループの連携施設での様々な領域の疾患を経験することによって、いかなる病気にも対応できる『General　surgeon』を育成し、地域医療に貢献する外科医をこれまでも輩出してきました。加えて、専門領域を極めている指導医を中心に指導することにより、専門的かつAcademicな考察ができる『Expert　surgeon』を目指すプログラムです。主たるハイボリュームセンターでの研修はもちろん、へき地離島研修、連携病院のローテーション研修を経験することで、Common　diseaseの修練、終末期医療・在宅医療などの修練、さらに心臓血管外科については湘南鎌倉心臓血管外科グループと連携するなど、各専門領域間のシームレスな研修が可能となっています。

ポイント①
　基本的な外科診療・手技＋総合診療医としての素養を身に着けた、全外科診療領域の診療可能な『General　surgeon』となる。

ポイント②
　すべての診療をレビューし、疑問点を放置せずにその解決にむけAcademicな考察ができる『考える外科専門医』になる。

ポイント③
　外科専門医をベースに、将来は高い専門性をもった『Expert　surgeon』になる。

<ローテーション・連携施設一覧>

◇ローテーションの一例

	4-6	7-9	10-12	1-3
S1	湘鎌		僻地・離島	連携施設
S2	連携施設		湘鎌（救外2カ月）	
S3	湘鎌（専門３カ月）		グループ内基幹病院	

◇グループ外連携施設（2026年予定）
　横浜市立大学附属病院

◇連携施設一覧
全19施設
（グループ外含む）

◇僻地・離島
全5施設

▲詳細な施設一覧参照

<2024年診療実績など>

消化器・肝胆膵外科（1,736件）
食道癌　9件
胃癌　59件
大腸癌　209件
鼠経ヘルニア　223件
良性疾患　462件
肝胆膵　78件（内高難度肝胆膵外科手術67件）
その他　696件

呼吸器外科（225件）
肺癌　88件
転移性肺腫瘍　16件
縦隔腫瘍　20件
気胸　38件
漏斗胸 34件
膿胸 14件
その他　15件

乳腺外科（539件）
全手術　239件
原発手術　225件
（部分切除87件、全切除125件、ラジオ波焼灼13件）
術前化学療法施行症例　27件
1次１期再建　23件
その他　25件

メッセージ

湘南鎌倉総合病院は、たくさんの経験が積めるという魅力を残しつつ、時代に合わせて専門性の磨き方も働き方も変化しています。
志しを高くもった多くの研修医の皆さんがこのプログラムに参加し、我々とともに誇りをもった『General＆Expert surgeon』を目指していくことを期待しています。我々指導医も全力で皆様の外科医としての成長をサポートしていきたいと考えております。
まずは、少しでも気になるところがあれば見学へお越しください。そしてご自身の目で、環境や雰囲気、プログラムの内容を確認し、是非現在進行中で奮闘している専攻医とお話しにきてください。外科一同、心待ちにしております！

連絡先

湘南鎌倉総合病院　外科秘書
代表　0467-79-1717
t_ichida2@shonankamakura.or.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

大橋壯樹　　名古屋徳洲会総合病院　心臓血管外科／総長

<プログラムの特徴>

３年間の施設群ローテートにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。基幹施設あるいは連携施設群のうちいずれかに所属し、どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

◆ 専門研修1年目：経験症例２００例以上（術者５０例以上）
◆ 専門研修２年目：経験症例４００例以上/２年（術者１２０例以上/２年）
◆ 専門研修３年目：経験症例５００例以上/３年（術者２００例以上/３年）

サブスペシャルティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科）の専門研修を希望により開始します。
また、不足症例に関して各領域をローテートします。

<連携施設一覧>

名古屋市立大学病院	帯広徳洲会病院	中京病院
名古屋共立病院	大垣徳洲会病院	仙台徳洲会病院
菰野厚生病院	吹田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院
宇治徳洲会病院	鹿児島徳洲会病院	東京西徳洲会病院
岸和田徳洲会病院	神戸徳洲会病院	千葉西総合病院
八尾徳洲会病院	出雲徳洲会病院	中部徳洲会病院
松原徳洲会病院	榛原総合病院	静岡徳洲会病院
庄内余目病院	野崎徳洲会病院	高砂西部病院

<メッセージ> 大橋壯樹（プログラム統括責任者　心臓血管外科）

内視鏡手術、ダヴィンチ手術、人工心臓手術などの先進的な治療に参加して学会での発表、論文発表も積極的に行います。New England Journal of Medicine、LANCETをはじめとする世界で最も権威ある論文から各専門分野での有名論文雑誌、日本の著名な雑誌まで2000の雑誌が院内で自由にパソコン、スマートフォンでアクセスできます。コメディカル、事務補助サポートのチーム医療で、診療以外の雑用はほとんどありません。専攻医の適切な労働条件の確保に努め、安全と健康に配慮します。将来心臓血管外科医を目指す医師にとって3年間表面的なローテーションを繰り返し一般的な基礎的外科研修を行なうプログラムでは完成した心臓外科医になるには期間がかかりすぎます。他の専門外科医も同様のことが言えます。日本専門医機構に指針にのっとったプログラムの中で、外科医個人の将来像を見据えた奥の深い充実したプログラムを作成します。

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

久保田　良浩（副院長　/　小児外科）

<プログラムの特徴>

宇治徳洲会病院外科専門医育成プログラムの目的と使命は以下の5 点です.
1）専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
2）専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
3）上記に関する知識，技能，態度と高い倫理性を備えることにより，患者に信頼され，標準的な医療を提供でき，患者への責任を果たせる外科専門医となること
4）外科専門医の育成を通して国民の健康，福祉および地域医療や僻地医療に貢献すること
5）外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科，小児外科，心臓血管外科，呼吸器外科，乳腺，内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い，それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、名古屋徳洲会総合病院、湘南鎌倉総合病院、千葉西総合病院、東京西徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、近江草津徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、仙台徳洲会病院、羽生総合病院、神戸徳洲会病院、大垣徳洲会病院、松原徳洲会病院、高砂西部病院、大隅鹿屋病院、南部徳洲会病院、中部徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、榛原総合病院、名瀬徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術数
消化器及び腹部内臓：804　乳腺：216　呼吸器：128　心臓・大血管：307　末梢血管（頭蓋内血管を除く）：76　頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）：142　小児外科：86　表記各分野における内視鏡手術（腹腔鏡、胸腔鏡を含む）：534
外科専攻医の経験症例とはならないNCD登録症例：0
外科領域合計：1,759

メッセージ

当院では消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科の各専門科それぞれに専門医がおり手術症例も多くアクティブに診療しています。また、救命救急センターを擁し救急搬入も多く京都府下有数の件数を誇っており緊急手術が多いのも特徴です。また、専攻医からロボット手術に携われます。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

岸和田徳洲会病院



〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

岸和田徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

尾浦　正二

<プログラムの特徴>

特徴
★外科
①曜日別リーダー制【緊急手術や他科からの相談案件はすべて専攻医に連絡が来る。執刀数が増える。手術マネージメントから手術、術後のフォローまですべて自分で行える。】
②チーム制【2チームに分けて、毎日朝夕にチームごとにカンファレンスを行う。その日手が空いている人が病棟担当となるため、手術日に病棟業務が滞ることがない。毎日のカンファレンスにより上級医からの指導の機会が増える。】
③3年目から外来担当【良性疾患から悪性腫瘍まで他科からの相談、地域病院からの紹介を受ける。自分の執刀した患者の外来フォローも行える。】
④他科への勉強もOK【消化器内視鏡専門医や麻酔科標榜医も取得可能】
⑤学術活動も積極的【英語論文が書ける。専攻医の半分が1編以上出版済み。学会発表に積極的・資格取得も応援】
★心臓血管外科

<ローテーション・連携施設一覧>

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
連携施設15施設：名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、松原徳洲会病院
和泉市立総合医療センター、神戸徳洲会病院、高砂西部病院、湘南鎌倉総合病院
新庄徳洲会病院、なんば坂本外科クリニック、吹田徳洲会病院、大隅鹿屋病院
札幌東徳洲会病院、中部徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院

<診療実績など>

◆消化器外科◆
・医師数：18名うち専攻医11名（外科学会専門医6名うち指導医2名、消化器外科学会専門医4名うち指導医1名）
・治療実績：外科手術数1,066件（緊急手術｛穿孔・虫垂炎・胆のうなど｝231件、虫垂炎79件、胆のう炎・胆石症169件、ヘルニア169件、大腸癌151件、胃癌57件、肝胆膵｛悪性｝40件、等）
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

◆心臓血管外科◆
・医師数：6名（心臓血管外科専門医4名うち指導医2名、胸部大動脈ステントグラフト指導医4名、腹部大動脈ステントグラフト指導医5名）
・治療実績：心臓血管外科手術件数731例（心臓・胸部大血管手術491例、開心術310例、腹部大動脈96例｛EVAR49例、Y-graft47例｝、ステントグラフト99例｛EVAR49例、TEVAR50例｝）TAVI131例
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

メッセージ

2018年度より外科研修システムは大きく変わりました。大学病院中心のプログラムが多い中、一般総合外科を目指す徳洲会の外科プログラムの果たす役割はとても大きいと思っています。専門分化や基礎研究とは一線を画して、現場主義のタフな臨床医を作れるプログラムを一緒に作れるガッツのあるレジデントに来て欲しいです。お待ちしております。

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



木村　拓也

いずれ進むであろうサブスペシャルティの前に、幅広くたくさんの症例を経験し、切れて考えることのできる外科医をともに目指そう！

<プログラムの特徴>

【募集定員：3名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：5施設】　【病床数：415床】

八尾徳洲会総合病院の理念である「救える生命は救う」に応えることのできる、医師としての倫理観を基礎に、高い臨床能力及びアカデミック精神を兼ね備えた外科専門医の育成を行うことを理念とし、以下の基本的能力の習得を使命としています。
1）医師としての倫理観と社会性を備え、プロフェッショナルとして行動が出来ること
2）安全・安心に対して積極的な態度・習慣を身に付けること
3）医師として求められる基本的臨床能力（知識、技術、態度、コミュニケーション能力、情報収集力、判断力）を習得すること
4）外科領域の専門的な診療能力と基本的技術を習得すること
5）基本的，専門的能力を習得し、良質な外科医療を提供することにより、国民の健康・福祉に貢献すること
6）外科領域の学問的発展に貢献すること
7）サブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

上記使命を担える専門医を育成するために、各専攻医の要望と能力達成状況に応じた柔軟かつ最適なプログラムを選択できるようになっています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、吹田徳洲会病院、共愛会病院
【連携施設として参加しているプログラム】
大阪大学外科専門研修プログラム、大阪医科大学外科専門研修プログラム、兵庫医科大学外科専門研修プログラム、名古屋徳洲会総合病院外科専門研修プログラム、岸和田徳洲会病院外科専門研修プログラム、宇治徳洲会病院外科専門研修プログラム

<診療実績など>

【外科手術実績】 1,485件（2018年）
食道(6)、胃切除・胃全摘<腹腔鏡下>(28)、胃切除・胃全摘<開腹>(18)、腹腔鏡下胆摘<四孔式>(193)、腹腔鏡下胆摘<単孔式>(1)、膵頭十二指腸切除(18)、膵体尾部切除(6)、肝切除(45)、虫垂切除<腹腔鏡下>(82)、虫垂切除<開腹>(9)、結腸切除<腹腔鏡下>(59)、結腸切除<開腹>(16)、直腸切除・切断<腹腔鏡下>(50)、直腸切除・切断<開腹>(18)、ソケイ部ヘルニア修復<腹腔鏡>(128)、ソケイ部ヘルニア修復<鼠径部切開>(22)、肛門疾患<内痔核硬化療法等>(56)、乳房腫瘤，乳癌 (12)、呼吸器外科(109)、小児外科(138)、心臓血管外科(85)、その他 (365)

メッセージ

★豊富な症例数と万全の研修支援体制
豊富な外科手術件数に手厚い指導（スタッフ/消化器外科9名、肝臓外科4名、心臓血管外科1名、呼吸器外科1名、小児外科3名）、ならびに当プログラムだけでなく関西の大学（大阪大学、大阪医科大学、兵庫医科大学）や徳洲会グループ施設とも連携を取り、多種多様のプログラムで専門医を取得できる研修施設群を形成しています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

院長　外科：乗富　智明

<プログラムの特徴>

■募集定員３名
■福岡徳洲会病院だけで一般外科全領域及び心臓血管外科の症例経験が可能
■施設全体で外科専門医を取得するための十分な症例数
■虫垂切除術：189例　胆嚢摘出術：274例　ヘルニア：150例　※2024年実績、執刀機会多数
■外傷手術も経験
■学会発表、論文執筆の指導あり
■外科専門医取得後のサブスペシャリティも当院にて取得可能
■外科専門医取得後に大学院進学も可能
■大学病院とプログラム連携を組んでいるが専攻医の大学入局の義務なし

<ローテーション・連携施設一覧>

■福岡大学病院　（福岡）
■聖路加国際病院（東京）
■八尾徳洲会病院　（大阪）
■鹿児島徳洲会病院　（鹿児島）
■中部徳洲会病院　（沖縄）
■仙台徳洲会病院（宮城）
■湘南藤沢徳洲会病院（神奈川）
■長崎北徳洲会病院　（長崎）
■南部徳洲会総合病院　（沖縄）
■宮古島徳洲会病院（沖縄）

<診療実績など>

【2024年実績】
外科　総手術件数　1,628件
（一般外科内訳）
下部消化管494件　上部消化管59件　肝胆膵339件　ヘルニア：150件
胸部・呼吸器：102件　乳腺・甲状腺：21件
心臓血管外科総手術件数：302件　（開胸手術：114件）

メッセージ

高齢化社会を迎えるこれからの時代こそが的確な手術ができる外科医の希少価値が高まる時です。
福岡徳洲会病院は後輩たちへ教え、育てる気風があふれたところです。我々は外科専攻医の皆さんを真の実力ある外科医に育てていきます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/髙尾
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

大隅鹿屋病院

〒893-0015　鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL　0994-40-1111　FAX　0994-41-8355
URL　http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

麓　英征

<プログラムの特徴>

大隅鹿屋病院外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の通りです。
1. 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
2.専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
3.上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
4.外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
5.外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

<ローテーション・連携施設一覧>

1年次 基幹施設（大隅鹿屋病院）
2年次 地域医療研修 連携施設（相良病院） 連携施設（福岡徳洲会病院）
3年次 連携施設（自由選択） 基幹施設（大隅鹿屋病院）
外科専門医予備試験　サブスペシャルティー領域の専門研修へ

<診療実績など>

1.プログラム全体で、年間1,000例程度の豊富な手術症例
2.外科の全領域をカバーする充実した外科修練環境
3.救急病院の特徴を生かし、緊急重症消化器系手術、心臓手術の経験も可能
4.外科専門医取得後のサブスペシャルティ修練も可能

メッセージ

大隅鹿屋病院は人口約27万人の大隅半島最大の急性期病院（391床うちICU8床）です。鹿児島市内の3次医療機関まで約2時間かかるため、1次～3次救急を受け入れ“救急患者は断らない”ことを信条としています。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail　kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山城　聡（やましろ　さとし）

<プログラムの特徴>

沖縄県中部の北中城村に位置する急性期総合病院です。研修期間は3年間で、1次より3次までの救急患者を24時間体制で受け入れています。また、週1回のドクターヘリ搭乗の仕事も外科を中心に展開しています。
当科では基本的な手術手技だけでなく、重症患者の集中的治療、がん登録制度への参加、がんの集学的治療の習得も考慮してプログラムにすべく取り組んでいます。

<ローテーション・連携施設一覧>

	中部徳洲会病院外科専門研修プログラム				
	1年次	2年次	3年次		4年次以降
研修医A	基幹施設	連携施設	基幹施設	連携施設	サブスペシャリティー領域専門医研修へ（基幹施設）
研修医B	連携施設	基幹施設			サブスペシャリティー領域専門医研修へ（基幹施設）
研修医C	基幹施設	連携施設			専門医研修へ（連携施設）

外科専門医研修

サブスペシャリティー領域専門研修

連携施設：琉球大学病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院
沖永良部徳洲会病院、石垣島徳洲会病院

<診療実績など>

・年間外来患者：10，440人　・年間入院患者：2，761　・年間手術件数（下記参照）

消化管および腹部内臓	乳腺	呼吸器	心臓・大血管	末梢血管（頭蓋内血管を除く）	頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚，軟部組織，顔面，唾液腺，甲状腺，上皮小体，性腺，副腎など）	小児外科	上記1～7の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡を含む）	外科領域（上記1～7）合計
612	49	56	102	133	42	8	389	1002

メッセージ

当院は県内有数の救急搬送数を誇る救急指定病院でその一翼を担う外科は大変忙しい科です。しかし通常診療の外来者数、定期の手術症例数も増加傾向にあり、専攻医が経験できる症例は数ばかりではなく、疾患数も豊富なものがあります。手術は若手へ、というのが当科の方針ですので、是非3年間もまれに来てください。

連絡先

中部徳洲会病院　臨床研修室　担当：木村
〒901-2393沖縄県中頭郡北中城村字比嘉8010番地
☎　098-932-1110（代表）　mail:　h.kimura@cyutoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　外　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、手稲渓仁会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	羽生総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、大隅鹿屋病院、北里大学病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	旭川医科大学、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課　前野　022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	名古屋徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	船橋市立医療センター、獨協医科大学さいたま医療センター	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	湘南鎌倉総合病院、羽生総合病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	千葉西総合病院、大隅鹿屋病院、湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	滋賀医科大学、宇治徳洲会病院、　名古屋徳洲会総合病院	担当：杉井　純子 nozarinken@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	近大PG、湘南外科PG、名古屋徳洲会PG、岸和田徳洲会PG、八尾徳洲会PG、宇治徳洲会PG、湘南藤沢徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	滋賀医科大学、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

＜連携施設になっている病院一覧＞　　外　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学医学部附属病院、兵庫医科大学医学部附属病院、名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、名古屋徳洲会総合病院、湘南鎌倉総合病院、近畿大学医学部附属病院、和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	岸和田徳洲会病院、近畿大学、大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、名古屋徳洲会総合病院、大阪大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、佐賀大学、大隅鹿屋病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	鹿児島大学、福岡徳洲会病院、千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、大隅鹿屋病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-250-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、大隅鹿屋病院、九州大学病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、中部徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

丸藤哲

<プログラムの特徴>

当院は地域医療を中心とした救急医療を行い、年間約9000台の救急車を受け入れる2,5次の救急病院です。
本研修プログラムでは外科系・内科系の全科のバックアップの下、単科病院では難しい複合病態や、軽症から重症までの多くの救急患者を診ることを基本とし、診断から初期対応までのER型救急を基礎とした研鑽をして頂きます。
さらに、年間約1150名の救急科入院患者を有し、複数科にまたがる患者の集中治療や入院管理をも研鑽してもらいます。当院は臨床研修指定病院でもあり、約20名の初期研修医とともに救急患者を診て、実践の医学教育を一つの重要な任務とした診療内容をdebriefingする教育システムをとっております。院外の連携施設としては大学病院・救命救急センターの三次救急施設とへき地慰労施設があり、それらの施設と協力してER型救急を基礎とした救急専門医の育成を目指しております。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
・北海道大学病院・札幌医科大学附属病院・旭川医科大学病院・福井大学医学部附属病院・川崎医科大学附属病院・防衛医科大学校病院・市立札幌病院・国際医療福祉大学成田病院・徳之島徳洲会病院・帯広徳洲会病院
詳しくは上記URLからご確認ください。

連絡先	医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター 事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

東平　日出夫

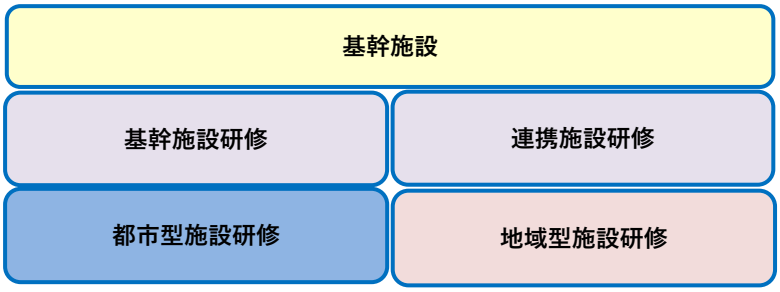
<プログラムの特徴>

本研修プログラムの目的は、「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本研修プログラムを修了した救急科専門医は、種類や重症度に応じた総合的判断に基づき診療領域を限定せずにすべての救急患者を受け入れ、必要に応じて他科専門医と連携し迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めるためのコンピテンシーを修得することができるようになります。また急病で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合、あるいは外傷や中毒など外因性疾患の場合は、初期治療から継続して根本治療や集中治療においても中心的役割を担うことが可能となります。さらに地域ベースの救急医療体制、特に救急搬送（プレホスピタル）と医療機関との連携の維持・発展、加えて災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

<ローテーション・連携施設一覧>

【研修プログラムの基本モジュール】

研修領域ごとの研修期間は、基幹施設では、救急室および救急病床での救急診療（クリティカルケア含む）１２ヶ月間、集中治療部門、病院前診療（ドクターカー、メディカルコントロール）を合わせて24か月間、小児救急研修3ヶ月間、他科専門研修6か月間、地域型研修施設での救急診療3か月間としています。



【連携施設】
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 成田富里徳洲会病院

<診療実績など>2022年度

1)　千葉西総合病院救急科（基幹研修施設）
(1)救急科領域の病院機能：2次救急医療機関
(2)指導者：救急科専門医２名
(3)救急車搬送件数：9643年
(4)救急外来受診者数：30085人/年
(5)研修部門：救急科、ICU、病棟

メッセージ

是非とも当院に見学にお越しください!!

連絡先
千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL　0467-46-1717　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.skgh.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院　救急科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山上　浩

<プログラムの特徴>

1.年間救急搬送数　22,342名・救急総受診者数　67,204名（2022年度）というvolumeの中で、ER型救急診療から集中治療、病院前診療まで横断的に学べます。
2.実績のある他科ローテーションでERに必要な専門的知識・技術の習得が出来ます。
3.毎週金曜日午後の「専攻医カンファレンス」という、臨床から離れた学習時間が確保されています。

3年間の専攻医プログラム＋1年間チーフレジデントで構成されています。3年間36ヶ月においてER専属は17ヶ月とし、残り19ヶ月は3ヶ月の離島研修（喜界徳洲会病院）や総合内科、ICU（ドクターカー・ドクターヘリ含む）、小児科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻科ローテを必修、4ヶ月を自由選択（外科、専門内科、麻酔科、消化管内視鏡センター、放射線科、脳卒中診療科、耳鼻科など研修希望診療科）とします。他科ローテーション中も月4-8回はER日直/当直に入り継続的にER診療を学ぶことが出来ます。救急科専門医試験受験資格を得た4年目はER専属勤務になり、チーフレジデントとして専攻医カンファレンスの司会進行役、勤務表作成、初期研修医主導のカンファレンスのアテンディングを行うなど、スタッフになるために必要な管理業務も研修して頂きます。更に希望者は一定期間の他科ローテーションを行うことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

1）湘南鎌倉総合病院救急総合診療科（救命救急センター）：基幹研修施設
2）山梨県立中央病院救命救急センター、3）日立総合病院救命救急センター、4）都立小児総合医療センター、5）榛原総合病院（救急、整形外科）、6）喜界徳洲会病院、7）千葉西総合病院小児科、8）京都府立医科大学附属病院、9）東京西徳洲会病院、10）湘南藤沢徳洲会病院、11）湘南厚木病院、12）静岡徳洲会病院、13）葉山ハートセンター、14）羽生総合病院、15）成田富里徳洲会病院、16）大和徳洲会病院、17）熊本赤十字病院、18）屋久島徳洲会病院、19）藤沢市民病院小児救急科、20）神奈川県立精神医療センター、21）八尾徳洲会総合病院、22）宇治徳洲会病院(2024年度から)

<診療実績など>

スタッフ11名・専攻医19名（日本救急医学会指導医2名、救急科専門医11名、女性3名）

＊認定施設：日本救急医学会専門医認定施設

メッセージ

まずはぜひ見学にいらして下さい！24時間365日いつでも見学可能です！ 当院は24時間365日、緊急度・重症度・来院方法によらず全ての救急外来受診患者を受け入れ、最善を尽くした医療を提供します。他院で搬送を断られるような複雑な背景の患者など、地域の救急患者にとって最後の砦としての役割も果たしています。たとえ満床であっても、救急搬送は全例応需し、初期診療を行い、入院が必要な患者は状況に応じて適切な医療機関を選定し転院搬送まで責任をもって対応します。当院の主軸である総合内科、一般外科が整っているため、入院担当科が決定しにくい場合も、これらの科が必ず入院を引き受ける体制が確立しています。そして重症な救急患者専用の病床（ECU）も10床完備しており、集中治療を行うことが可能となっています。

連絡先

湘南鎌倉総合病院　臨床研修管理室
TEL:0467-46-1717
FAX:0467-45-0190
E,mail:kenshu@shonankamakura.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177　　FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院　救急研修プログラム

<プログラム統括責任者>

高力俊策

<プログラムの特徴>

■地域を支える医療機関としても貢献
湘南藤沢徳洲会病院は、地域の基盤病院の役割を担うべく、これまでの救急医療に加えて、小児科、産婦人科、周産期医療の提供を行なうと共に、ガン治療、神経難病の治療を行ない、更には遺伝子治療や再生医療などの高度先端医療をも視野に入れた高機能病院を目指します。

■他機関と連携した途切れない医療
めまぐるしく社会が変化する中で徳洲会が担うべき役割はさらに大きくなりますが、その中で私たちは、湘南鎌倉総合病院・葉山ハートセンターなどのグループ施設や地域の医療機関との緊密な連携を取りながら、最先端医療、急性期医療、予防医療など全ての分野で活動していきたいと考えています。

<ローテーション・連携施設一覧>

救急科領域研修カリキュラムに沿って、経験すべき疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技を経験するため、基幹研修施設と複数の連携研修施設での研修を組み合わせています。基幹領域専門医として救急科専門医取得後には、サブスペシャルティ領域である集中治療医学領域専門研修プログラムに進んで、救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修も可能です。

＜連携施設＞
榛原総合病院 /宇治徳洲会病院/藤沢市民病院/聖マリアンナ医科大学/湘南鎌倉総合病院 /
静岡徳洲会病院 /羽生総合病院 /新庄徳洲会病院/湘南大磯病院/山梨県立中央病院/
海老名総合病院

<診療実績など>

(1)救急科領域の病院機能：二次救急医療施設(都市型)
(2)指導者：救急科指導医 2名、救急科専門医 2 名
(3)救急車搬送件数：10,761/年
(4)救急外来受診者数：12,045人/年

メッセージ

徳洲会グループ病院の特徴を生かし多くの症例を経験することができます！
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します！
ご応募お待ちしております！！

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院　救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

末吉　敦　（院長）

<プログラムの特徴>

当院は、2024年4月に高度救命救急センターに指定されました。ハイブリッド手術室を含む14室の手術室、ICU（10床）、カテーテル室（4室）、救命救急センター病棟28床（うち、熱傷2床）、脳血管センターなど、超急性期病棟が救急専用エレベーターで、ヘリポートからERまで縦に直結しており、救急を最重点にした設計になっております。
ER内には、救急患者が移動することなく、ECMOなどの透視化手技、CT検査、手術、塞栓術などの血管内治療、開胸、開腹手術が同時に施行出来きる、ハイブリッドERを設置しております。（全国で12番目の導入施設です）
離島研修では、自然豊かな宮古島、石垣島、与論島を選択できます。
また、宇治徳洲会と同規模の診療をして救命救急センター指定を受けている連携の岸和田徳洲会病院はERと集中治療の研修ができます。
更に宇治徳洲会病院はドクターカー運用をしており、現場にも出動する機会があります。
最新鋭の医療機器、ハイブリッドERなどを駆使し、夜間でも昼間と同じ診療が展開できる病院です。
病院全体が救命救急センターのコンセプトで各科の迅速な協力が得られます。
最新鋭の医療機器、ハイブリッドERなどを駆使し、昼夜問わず救急救命センターのコンセプトで各科の迅速な協力のもと診療を行う事が出来る病院です。
救急車搬入件数のうち重症患者は年間約2,000件。救急外来と集中治療、引き続いて病棟管理も担当します。
また、消化管出血患者が多いため止血が出来るように内視鏡研修は必須としています。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、兵庫医科大学病院、島根大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、済生会滋賀県病院、堺市立総合医療センター、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、羽生総合病院、岸和田徳洲会病院、新京都南病院、京丹後市立弥栄病院、六地蔵総合病院、生駒市立病院、八尾徳洲会総合病院、神戸徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院

<診療実績など>

救急車搬送件数　9,303件
【年間症例数】（2023.4.1～2024.3.31）
①心停止　256件、②ショック　318件、③内因性救急疾患　5,472件、④外因性救急疾患　2,828件
⑤小児および特殊救急　897件、⑥救急車（ﾄﾞｸﾀｰｶｰ、ヘリ含む）　9,303件、⑦救急入院患者　4,715件
⑧重症救急患者　2,124件

メッセージ

症例も多く充実した環境で研修を行って頂けます。
また、地域医療も学べるプログラムになっており、勤務は2交代制（日勤、準夜・深夜勤務）を採用。ON、OFFはっきりしておりとても働きやすい病院です。是非一緒に働きましょう！

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　救急専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

救急センター長　千代　孝夫

<プログラムの特徴>

野崎徳洲会病院救急専門研修プログラムについて、専攻医はER型救急診療および集中治療救急診療・地域救急医療を行っている基幹施設（野崎徳洲会病院）、大阪府の地域救急医療を担っている地域型研修施設（八尾徳洲会総合病院）、及び離島の救急診療のみでなく一般外来診療、病棟診療、在宅診療などの研修およびヘリコプターによる島外搬送の研修ができる鹿児島県離島研修施設（与論徳洲会病院）、沖縄県(石垣島徳洲会病院)で研修できるプログラムです。

Subspecialty領域として予定されている集中治療領域の専門研修について、重症患者に対する診療において集中治療領域の専門研修で経験すべき症例や手技、処置の一部を修得していただき、救急科専門医取得後の集中治療領域研修で活かしていただけます。







<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	専門研修医療機関
基幹施設（ 2年3ヶ月 ）	野崎徳洲会病院
連携施設（ 6ヶ月 ）	八尾徳洲会総合病院
連携施設（ 3ヶ月 ）※離島	与論徳洲会病院、石垣島徳洲会病院

＜連携施設医療機関＞
- ■　八尾徳洲会総合病院
- ■　与論徳洲会病院
- ■　石垣島徳洲会病院

<診療実績など>

救急件数	時間外受診数 13,575名 、救急車搬入 6,178件（救急車 2台保有） 1日あたりの救急搬送件数 16.8件 心肺停止状態搬送患者数 155名
入院患者数	5,766名　/　年　（　救急入院率　45%　）
病床数	194床　（　ICU　8床　、　HCU　16床　）

2024年実績データ

メッセージ

救急外来では、軽症から重症まで救急車で来院される患者への対応、当院救急車での患者のお迎え、心肺停止などの重症患者から緊急手術への対応、そのほか様々な処置を24時間体制で行っています。
1,500症例の経験や関西医大高度救命センターで20年間、日赤和歌山高度救命センターで16年間の勤務実績を駆使して指導させていただきます。
少しでも当院に興味がありましたら是非、いつでも見学にお越しください。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

岸和田徳洲会病院

〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada.tokushukai.or.jp/





プログラム概要

＜プログラム名＞

岸和田徳洲会病院離島・地域・都市型包括的救急科研修プログラム

＜プログラム統括責任者＞

鍛冶　有登

＜プログラムの特徴＞

本プログラムは“岸和田徳洲会病院　離島・地域・都市型包括的救急研修プログラム”と称し、重症救急患者ERおよび集中治療を行っている救命救急センターである基幹施設（岸和田徳洲会病院）、ER型救急診療および集中治療救急診療を行っている都市型研修施設（福岡徳洲会病院）、大阪府の地域救急医療を担っている地域型研修施設（八尾徳洲会総合病院、野崎徳洲会病院および松原徳洲会病院）、および離島の救急診療のみでなく一般外来診療、病棟診療、在宅診療などの研修およびヘリコプターによる島外搬送の研修ができる鹿児島県離島研修施設（屋久島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、与論徳洲会病院および沖永良部徳洲会病院）で研修できるプログラムです。
また基幹施設間連携の専門研修では、外傷救急診療や臨床研究ができる近畿大学附属病院、ヘリ搬送の研修ができる和歌山県立医科大学附属病院および救急循環器疾患やECMO研修ができる宇治徳洲会病院での研修を選択できるプログラムです。
もう一つのプログラムの特徴として、徳洲会病院の全研修施設は同一の電子カルテシステム、雇用システム、給与システムであり、診療施設をローテーションする手続きが必要でなく、専攻医は専門研修期間の診療実績も容易に検索でき、さらに施設間の情報交換が統一されたITシステムでできることです。

＜ローテーション・連携施設一覧＞

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
　連携施設12施設：八尾徳洲会病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、宇治徳洲会病院、
　　福岡徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、与論徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、
　　神戸徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、近畿大学病院、和歌山県立医科大学病院

＜診療実績など＞

・医師数：6名うち専攻医1名（救急医学会専門医4名うち指導医1名）
・救急受け入れ：一次～三次救急（平成24年に三次救急医療機関に認定）
・施設：救急救命センター、ER-ICU、災害拠点病院、DMAT、ドクターヘリ受け入れ機関、ドクターカー
・実績：救急車搬送受入れ10,298件、救急外来患者数40,771人
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

メッセージ

ER、CCMおよび離島研修などの特長のある研修プログラムのみでなく、4Es（Emergency救急、Experience経験、Evidenceエビデンス、Explore探求）の理念に基づいた救急研修システムが日常の研修のなかで組み込まれています。毎朝の救急カンファレンスでは、数多くの救急患者の診療経験の中で貴重な症例や新しい治療法の探求結果を出し合い、これらの積み重ねが学会発表や論文となっています。
救急科専攻医の期待に応えるプログラムです。（救命救急センター長　鍛冶有登）

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

＜プログラム名＞

福岡徳洲会病院救急科専門研修プログラム

＜プログラム統括責任者＞

救急科部長：永田　寿礼

＜プログラムの特徴＞

福岡徳洲会病院は救急搬送件数が11,500件/年を超えており、救急患者数は全国有数の施設です。
自由に専攻医プログラムの作成を出来る事が当院の大きな特徴であり、36ヵ月のうち18ヶ月間は他科や他院での研修を行うことができます。

・ERでの初期診療

当プログラムを選択した方には、すべての症候に対する初期診療を行う事が出来るようにトレーニングします。その後、習熟度と自信に応じてER全体の多数傷病者マネージメントに挑戦することも可能です。

・離島での総合診療

希望に応じて奄美大島の名瀬徳洲会病院、徳之島徳洲会病院での県s入期間を決まることができます。離島では総合診療医としての力が試されます。釣りやダイビングなどのアクティビティでリフレッシュする事も可能です。

・Off the job トレーニング

週に1回のオンラインミーティングでは持ち回りで勉強会を実施しています。年に4～5会のICLSを開催しており、インストラクターになることも容易です。ER型救急医のネットワークであるEM Allianceの活動施設であり、全国の救急医と知り合うことが可能です。DMATやTMAT隊員を多く育成し、国内外の災害医療活動にも積極的に活動しています。

・救急救命センターでの集中治療管理

希望に応じて、ドクターヘリの基地病院・三次救急救命センターで集中治療管理の研修が可能です。また当院の救急科と集中治療部は、救急・集中治療センターとして定期的に人材を交流させながら一体型の運用を目指しています。

＜ローテーション・連携施設一覧＞

＜連携施設＞
■久留米大学病院　■産業医科大学病院　■広島大学病院　■鹿児島市立病院
■岸和田徳洲会病院　■宇治徳洲会病院　■名古屋徳洲会総合病院　■南部徳洲会病院

＜関連施設＞
■徳之島徳洲会病院　■名瀬徳洲会病院　■宇和島徳洲会病院
■にのさかクリニック　■クリニック・ホームドクターズ

＜診療実績など＞

救急搬入件数：11,533件　Walk-in診療患者数：12,932名
心肺停止患者受入れ数：280名　ICU入室者数：1,258名　　**（2024年実績）**

メッセージ

非常に忙しい病院ですが、救急医の勤務はシフト制でメリハリの利いた働き方をすることができます。また5年連続で異なる男性医師が育休を取得しています。非常に雰囲気が良く活気のある職場です。
いつでも見学お待ちしてます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/桐野
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　救急科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、福井大学病院、防衛医科大学校病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	八尾徳洲会総合病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、藤沢市民病院、山梨県立中央病院、海老名総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	京都府立医科大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、大阪医科薬科大学	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、藤枝市立総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学付属病院、兵庫医科大学病院、島根大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、済生会滋賀県病院、堺市立総合医療センター、岸和田徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、日本赤十字社和歌山医療センター	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	岸和田徳洲会PG、札幌東徳洲会PG、宇治徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、近畿大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	岸和田徳洲会病院、野崎徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　救急科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課（企画室） 勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、久留米大学病院、産業医科大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院	担当：臨床研修センター　梁川真範 099-250-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	鹿児島市立病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	岸和田徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、野崎徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	県立中部病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、沖縄県立中部病院、南部医療センター・こども医療センター、浦添総合病院、公立豊岡病院、福岡徳洲会病院	担当：総務課（研修事務） 島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

関根　一人

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院は620床を有する地域中核を担う急性期に特化した総合病院である。
各科手術症例が豊富であり、ロボット手術(心臓外科、泌尿器科、外科、婦人科)也TAVIなど高度先進医療も数多く行っている。また緊急手術症例が全体の３割程度を占めるアクティビティの高い病院である。
まず心臓血管外科を含めた数多くの麻酔を経験してもらう。挿管、CVやA-line、硬膜外麻酔や神経ブロック等の手技は症例数が多いのですぐに身につくことであろう。また当院には心臓外科以外にも産科麻酔症例や脳外科症例も数多くあるので、そういった特殊麻酔症例についても十分な学習機会が与えられている。
心外に関しては4年間で必要な件数をわずか半年もせずに経験できる。
心臓血管外科以外にも産科麻酔症例、脳外科症例も数多くある。

<ローテーション・連携施設一覧>

研修実施計画例
年間ローテーション表

	1年目	2年目	３年目	４年目
A	千葉西総合病院	千葉西総合病院	千葉西総合病院	千葉西総合病院
B	千葉西総合病院	千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター	南部徳洲会病院、東京女子医科大学を半年ずつ

<2022年度診療実績>

☆全身麻酔件数：**4144**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**427件**)
☆硬膜外麻酔または神経ブロック：**312**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**158件**)
☆脊椎麻酔：**320**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**19件**)

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

東京西徳洲会病院

〒196-0003　東京都昭島市松原町3-1-1
TEL　042-500-6626　FAX　042-500-4434
URL　http://www.tokyonishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

東京西徳洲会病院　麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

工藤　雅響

<プログラムの特徴>

関東多摩地区の急性期医療を担う病院であり、一般待機麻酔から心臓血管麻酔、重症急性腹症など幅広い症例の麻酔管理を行いながら、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる教育を提供し、臨床麻酔・学術活動ともに十分に学ぶことができるプログラムである。また、地域の麻酔診療を発展させるべく知識・技術・礼節を備えた麻酔科医を育成する。
本研修プログラムでは、本人の希望に沿い麻酔科専門医取得後のサブスペシャルティを見据えた、心臓血管外科麻酔・経食道心エコー・超音波ガイド下ブロック・ペインクリニック・疼痛緩和医療・集中治療・救急医療・小児など幅広い分野を経験することが可能である。
また、特殊な麻酔や興味のある分野の麻酔をさらに学ぶために、グループ病院の強みを生かした他施設での研修やグループ以外の連携施設での研修など、専攻医の希望と習熟度に応じて柔軟な対応が可能である。さらに、希望者には、海外施設見学も可能となっている。加えて、指導者の中には、海外資格保有者や書籍執筆者も含まれており、より深い知識の習得や最先端の医療に触れられる機会も多い。

<ローテーション・連携施設一覧>

1年目：手術麻酔に必要な基本的手技と知識の習得、ASA-PS:1-2の通常手術で安全な周術期管理を行う
2年目：1年目で取得した知識・技術の発展、ASA-PS:3，緊急手術の周術期管理を安全に行う
3年目：心臓外科・胸部外科・脳神経外科・産科・小児などの研鑽を積み、特殊症例の周術期管理を安全に行う
4年目：1-3年目で習得した技術・知識の発展、将来のサブスペシャルティを見据えた研修を行う
（連携施設）湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉徳洲会病院、葉山ハートセンター、帝京大学医学部付属溝口病院、榛原総合病院、東京都立小児総合医療センター、千葉メディカルセンター、共愛会病院

<診療実績など>

手術件数／麻酔科管理件数は、2020年度: 3,618/2,371件、2021年度: 3,647/2,528件、2022年度: 3,929/2,703件と増加しております。2024年1月に、婦人科が新設され、2月には急性期病棟数増も予定されており、益々症例は増加する見込みです。

メッセージ

アットホームな雰囲気の中、常に最新の知識・技術を求めて専攻医も指導医も皆で研鑽を積んでいます。ミニレクチャーや勉強会もあり、気楽に相談しディスカッションのできる施設です。また、指導医の指導下で手技の習得の機会も豊富です。
患者様にも外科医にもスタッフにも信頼される一流の麻酔科医を目指しています。
楽しく学びのある研修を提供いたします。是非一度見学に来てください！

連絡先

東京西徳州会病院　麻酔科医長　工藤　雅響
042-500-4433（代表）　tokyowest.anesth@gmail.com

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院 麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

福井 公哉

<プログラムの特徴>

神奈川県湘南地区に位置し、急性期医療に力を入れている.このエリアを中心とした各連携施設と首都圏にある大学病院との連携にて、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。

基幹施設である湘南藤沢徳洲会病院は救急医療に力を入れている総合病院である。一般的な手術症例は、偏りが少なく、心臓麻酔、産科麻酔、小児麻酔、ロボット支援下手術も経験することができる。神経ブロックなどの区域麻酔も積極的に行っている。手術室外では、経食道心エコー検査に従事しており、経験を積める。集中治療、ペインクリニック研修も配慮することが可能である。

本研修プログラムでは、地域医療に特化した連携施設での研修を特徴とし、研修終了後は、日本の地域医療の担い手として国内の希望する施設で就業が可能となる。

<ローテーション・連携施設一覧>

研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築する。目標を達成できることが前提であるが、自由度の高い研修となるように配慮したい。

連携施設：東京女子医科大学病院 / 昭和大学病院 / 埼玉県立小児医療センター / 昭和大学横浜市北部病院 / 東名厚木病院 / 宇治徳洲会病院 / 湘南鎌倉総合病院 / 東京西徳州会病院 / 帝京大学医学部附属溝口病院 / 葉山ハートセンター / 榛原総合病院 / 野崎徳洲会病院 / 共愛会病院

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://fujisawatokushukai.jp/department/other/anesthesiology/recruit/

メッセージ

・手術症例は偏りが少なく、心臓麻酔、産科麻酔、小児麻酔、ロボット支援下手術を経験できる
・神経ブロックなどの区域麻酔も積極的に行っている
・手術室外では経食道心エコー検査に従事しており、経験できる
・緊急、重症症例も多く、経験を望める
・集中治療やペインクリニックの研修も可能である

基幹施設である湘南藤沢徳洲会病院は、神奈川県藤沢市に位置しています。日本で最も子育てしやすいといわれる藤沢市にあり、病院敷地内には職員専用の保育園があります。またショッピングモールやフィットネスジムが病院と隣接。東海道線 辻堂駅すぐの立地、湘南の海も満喫できるリフレッシュに最適な環境です。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

小出　康弘

<プログラムの特徴>

神奈川県湘南地域の急性期医療を支えている湘南鎌倉総合病院（責任基幹施設）、湘南藤沢徳洲会病院（基幹研修施設）、葉山ハートセンター（関連研修施設）の3つ施設を基盤に、首都圏にある大学病院との連携にて、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する．麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに記されている．
基盤の3施設は、すでに“湘南麻酔グループ”として垣根なく一体化した麻酔科運営がなされており、施設間の異動に伴う煩わしさを感じることなく、多様な手術麻酔を経験できることが特徴である。本研修プログラムでは，地域医療に特化した連携施設での研修を特徴とし，研修終了後は，神奈川県の湘南地区・三浦・横須賀の地域急性期医療の担い手として県内の希望する施設で就業が可能となる．

<ローテーション・連携施設一覧>

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	自治医科大学さいたま医療センター（集中治療）／宇治徳洲会病院（ペイン）	埼玉県立小児医療センター／湘南鎌倉総合病院
B	湘南藤沢徳洲会病院	葉山ハートセンター／湘南鎌倉総合病院	埼玉県立小児医療センター／自治医科大学さいたま医療センター（集中治療）	福岡徳洲会病院／湘南藤沢徳洲会病院

<診療実績など>

本研修プログラム全体における2015年度合計麻酔科管理症例数：9,978症例
本研修プログラム全体における総指導医数：14人

	症例数		症例数
小児（6歳未満）の麻酔	315症例	心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術含）	532症例
帝王切開術の麻酔	394症例		
脳神経外科手術の麻酔	313症例	胸部外科手術の麻酔	325症例

メッセージ

当プログラムは、豊富で多様性のある症例数を背景に基礎となる麻酔研修を3年間で完了し、残りの1年で、その周辺領域（集中治療、ペインクリニック、心臓麻酔など）の研修に当てることができ、幅広い研修を目指しています。基幹病院である湘南鎌倉病院は全国有数の低侵襲カテーテル治療の施設であり、循環管理や経食道心エコーのスペシャリストへの道があります。また、年間2000件を超える外傷整形外科の症例があり、ほぼ日常的に超音波ガイド下神経ブロックを施行しているので、その研修にも適しています。興味がある人は是非一度見学に来てください。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

竹田　智浩（麻酔科部長）

<プログラムの特徴>

専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。
研修の2年間は、専門研修基幹施設で研修を行い専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成します。
研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようにローテートを構築します。
また、2024年4月に高度救命救急センターの指定となり、更に緊急手術を多く受入れております。
特に京都府内では一番多く心臓大血管手術管理の研修が出来る施設です。また、硬膜外ブロックをはじめとした神経ブロック症例も豊富に研修できる。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都府立医科大学附属病院、神戸大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院、高井病院、共愛会病院、榛原総合病院、音羽病院、市立福知山市民病院、近江草津徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術症例数（2023年度）
手術室全症例数：5,724　麻酔科管理全症例数：3,938　うち、全身麻酔症例数：3,866　小児（6歳未満）の麻酔：124　帝王切開術の麻酔：156　心臓血管手術の麻酔：231　胸部外科手術の麻酔：112　脳神経外科の麻酔：148

メッセージ

現在常勤医7名と多数の非常勤医師とともに全身麻酔の管理を中心に行っています。
新築移転後、件数もうなぎ登りで年間5,000件を超えるようになりました。手術室は全14室、現在は12室で手術を行っています。各手術室には大学病院にも劣らない麻酔器・生体モニター、3D経食道・神経ブロック用エコーが整備されており、心臓血管外科・脳神経外科・外科・小児外科から形成外科・歯科口腔外科・心臓血管内科(不整脈治療)と様々な手術を行います。
当院は救急搬入件数京都府下1位であることが示す如く、例年全体の3～4割が緊急手術となります。
手術室内には様々な職種が出入りしています。看護師・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学士など協力し合い業務を行っています。
手術室全室稼働を目指して一緒に頑張りましょう。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

麻酔科部長：北川　忠司

<プログラムの特徴>

麻酔科研修で必要なことは症例数とその種類です。
当院は年間5,000例以上の麻酔管理症例があり、症例も心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、緊急症例を含め多岐にわたり、多様な麻酔方法、スキルを習得することができます。
また患者の高齢化、重症化が進む中で多様性鎮痛（multimodal anagesia）による安全な鎮痛管理のため、積極的なエコーガイド下末梢神経ブロックにも取り組んでおり質の高い周術期管理を学ぶことができます。さらに麻酔の知識・技術を活かしペインクリニック、緩和ケアや集中治療へ進むこともできます。
現在徳洲会グループ以外に福岡大学、産業医科大学と連携しており大学における研修も可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設A】
・福岡大学病院　（福岡）
・産業医科大学病院　（福岡）
・湘南鎌倉総合病院　（神奈川）
・宇治徳洲会病院　（京都）
・松原徳洲会病院　（大阪）
・名古屋徳洲会総合病院　（愛知）
【連携施設B】
・共愛会病院　（北海道）
・大隅鹿屋病院　（鹿児島）

<診療実績など>

【2024年度実績】
手術件数：6,496件
うち緊急手術が1068件

メッセージ

私たち麻酔科は手術室の麻酔だけでなく、急性期医療のプロフェッショナルになることを目指しています。重症患者を前にしても自信をもって治療できる医師になれるよう、一緒に頑張りましょう。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/桐野
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　麻酔科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	札幌医科大学附属病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、東京西徳洲会病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター、東京女子医科大学病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、帝京大学医学部附属溝口病院、千葉メディカルセンター、湘南藤沢徳洲会病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院、東京女子医科大学病院、帝京大学医学部附属溝口病院、東京西徳洲会病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京女子医科大学、東京西徳洲会病院、昭和大学横浜市北部病院、湘南藤沢徳洲会病院、静岡医療センター、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	関東中央病院、横浜旭中央総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜神奈川県＞ 葉山ハートセンター	東京西徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院	046-875-1717 soumu@hayamaheart.gr.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、宇治徳洲会病院、東京西徳洲会病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	愛知医科大学病院、中京病院、湘南鎌倉総合病院、福岡徳洲会病院、松原徳洲会病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、京都府立医科大学附属病院、洛和会音羽病院、神戸大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、福岡徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	福岡徳洲会病院麻酔科PG、聖隷浜松病院麻酔科PG、宇治徳洲会病院麻酔科PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪公立大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪公立大学医学部附属病院、市立伊丹病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学医学部附属病院、近畿大学病院、市立伊丹病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　麻酔科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	産業医科大学病院、福岡大学病院、湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	神戸大学医学部附属病院、福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	大阪医科薬科大学病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

札幌徳洲会病院

〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院整形外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

倉田　佳明（副院長／整形外科外傷センター長）

<プログラムの特徴>

「骨折に始まり、骨折に終わる」
変性疾患や炎症性疾患などを治療する一般整形外科に加え、重度四肢外傷に対して高いレベルの医療を提供する機能再建型の整形外科外傷センターにおいて、一般的な骨折治療から世界的な標準であるAO理論に基づき、高い治療技術と知識を学ぶことができます。
また、当院は開院以来救急医療に注力しており、年間約5000件の救急車を受け入れています（内因性、外因性含む）。整形外科領域は年間2000～2500件の恵まれた手術症例数があり、指導医による包括的かつ奥行きのある指導のもと、豊富な経験を積み、知識を身に着けることができます。また後述する毎朝のカンファレンスにより、担当以外の症例を共有することができ、さらに経験の幅を広げることができます。

	指導可能な研修領域									
医療機関	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
札幌徳洲会病院（A）	●	●	●	●	●	●			●	●
北海道大学病院（B）	●	●	●		●		●		●	●
札幌医科大学附属病院（C）	●	●	●		●		●		●	●
羊ケ丘病院（D）	●	●	●		●		●		●	
帯広厚生病院（E）	●	●			●			●		
済生会小樽病院（F）	●	●	●		●		●	●	●	

a）脊椎、b）上肢・手、c）下肢、d）外傷、e）リウマチ、f）リハビリテーション、g）スポーツ、h）地域医療、i）小児、j）腫瘍

<ローテーション・連携施設一覧>

北海道大学病院（札幌市）／札幌医科大学附属病院｜北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）／羊ケ丘病院（札幌市）／帯広厚生病院（帯広市）／済生会小樽病院（小樽市）

<診療実績など>

専門研修プログラム施設群　…手術件数：8,574件／新患数：19,760名
領域別手術数（連携施設群）…脊椎：673件／上肢・手：2,129件／下肢：2,354件／外傷：2,396件／
リウマチ：106件／スポーツ：409件／小児：252件／腫瘍：252件
学会活動（発表・講演等）の主な学会名：日本整形外科学会、日本肘関節学会、日本手外科学会、
日本外傷学会、日本マイクロサージャリー学会、日本骨折治療学会、
日本脊椎脊髄病学会、日本リハビリテーション医学会、
東日本整形災害外科学会、IOTA、JOIN TRAUMA、EOTS、JSETS

メッセージ　■副院長／整形外科外傷センター長（プログラム統括責任者）：倉田佳明■

当院は救急医療に注力しており、整形外科外傷症例を多く治療しています。一般的な骨折はもちろんのこと、重度関節内骨折や寛骨臼骨折といった難しい骨折手術、マイクロサージャリー技術を必要とする切断指（肢）再接合や皮弁術なども精力的に行っています。重度開放骨折などにおいては、骨折は整形外科医、軟部組織再建は形成外科医と分担して治療にあたる施設が多いですが、当院ではorthoplastic surgeonとして、骨折も軟部組織再建も当センターの医師が、一貫して治療にあたっています。専攻医の存在は、我々指導医にとっても刺激になりますし、「教えることは学ぶこと」と言われるとおり、我々の勉強にもなります。整形外科の基本である「外傷」に興味を持っている皆さんと、一緒に仕事できることを楽しみにしています。

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

京滋救急災害整形プログラム

<プログラム統括責任者>

徳山　良之

<プログラムの特徴>

京滋救急災害整形プログラム専門研修プログラムは到達目標を「外傷救急・災害医療地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師」としています。
整形外科学会は、運動器の機能と形態の維持・再建を目指す臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化型社会を迎えた我国においては、整形外科の期待はますます大きくなっています。その中でも京都府は高齢化人口比率の高い地域であり、地域医療で整形外科の果たす役割が非常に重要となります。このプログラムでは、高齢っか社会に即した医療を中心に研修を行い、他科と連携したチーム医療・地域医療、特に包括的な医療を担えるような整形外科医師を目指します。医師不足地域の宮城県に位置し、仙台市及び周囲医療圏で災害医療の役割を担う仙台徳洲会病院は、大学整形外科と連携し専門的な研修もできるように配慮されています。
滋賀医科大学医学部附属病院では、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療・研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リハビリテーションなどそれぞれに徳所を持った施設、病院があり、当プログラムもそれら施設と連携し研修することにより、プライマリ・ケアから最先端の臨床・研究までを偏りなく学ぶことができます。多くの手術症例を経験・執刀し、研修終了後に自立した整形外科医として診療ができることを目指します。また、スポーツ医学を学ぶ環境も提供できます。京滋救急災害整形プログラムは、専攻医の皆様に素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を目指します。また、滋賀県地域枠として地域医療に貢献しようという志をもった専攻医の皆様にも、医師不足地域での地域医療研修義務と同様に多くの専門的な研修と研究の環境を提示できるプログラムとして環境を整えています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【専門研修期間　4年間】
必須（6ヶ月）・・・滋賀医科大学医学部附属病院
選択・・・大津赤十字病院、長浜赤十字病院、医仁会武田総合病院、京都岡本記念病院、湘南鎌倉総合病院、札幌徳洲会病院、仙台徳洲会病院

<診療実績など>

2023年実績　新規入院患者数：884名　手術数計：1002
脊椎：95　上肢・手：103　下肢：139　外傷：591　リウマチ：2　スポーツ：10　小児：59　腫瘍：3

メッセージ

救急病院であるため骨折などの外傷の症例が多くを占めていますが、脊椎や関節などの変性疾患の治療も行っており幅広い研修が可能です。また、ハイブリッドER（CTや血管撮影が可能な救急外来に設置された手術室）や放射線治療や高気圧酸素療法などの希少な設備もあり充実した環境で研修を行なって頂けます。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　整形外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 山形徳洲会病院	三重大学附属病院、八尾徳洲会総合病院	担当：伊藤恵理 ikyoku.yamagata@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	東京歯科市川総合病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	東京女子医科大学病院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	自治医科大学	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	八尾徳洲会総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	三重大学医学部附属病院、八尾徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	順天堂大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	三重大学附属病院	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	八尾徳洲会総合病院、浜松医科大学	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院、徳島大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学附属病院、大津赤十字病院、札幌徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	兵庫医科大学	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪公立大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	新潟大学医歯学総合病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	近森病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院形成外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

形成外科部長：塩沢　啓

<プログラムの特徴>

■専門研修１年目
・医師としての基本的な診療能力および形成外科の基本的知識と基本的技能の習得
・学会、研修会への参加およびe-learningなど臨床研修だけでなく著書や論文を通読して幅広く学習
■専門研修２年目
・手術を中心とした基本的技能の習得
（手術手技：外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕、瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、炎症、変性疾患など）
■専門研修３年目
・マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技の習得
・学会発表や論文作成のための基本的知識の習得
■専門研修４年目
・自分自身が主体となって治療をすすめる
・再建外科医として他科医師やリハビリテーションにおける医療従事者と協力の上、治療する能力を習得

<ローテーション・連携施設一覧>

■長崎大学病院　（長崎）
■羽生総合病院　（埼玉）

<診療実績など>

2024年における新患総数は3,479名、そのうち手術件数は1,553件であり内訳は頭蓋顔面外科、手足の外傷および組織欠損（顕微鏡下手術）、良性・悪性腫瘍、瘢痕拘縮などです。
外傷は634件、先天異常は30件、腫瘍は668件、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド47件、難治性潰瘍82件、炎症・変性疾患89件、その他3件と幅広い手術に対応しています。

メッセージ

形成外科は症例に触れるほどスキルが上達します。当院は救急総合診療であり、連携施設も多いため形成外科領域におけるすべての症例が網羅されており、さらに手外科・熱傷・創傷・マイクロサージャリーなど各専門分野におけるスペシャリストが在籍しています。こうした環境のもと、積極的に症例に触れることで高度なスキルを有した形成外科医を目指すことができます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/今泉
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　　形成外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	杏林大学医学部付属病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	福岡徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	長崎大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	佐賀大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院産科婦人科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

井上　裕美

<プログラムの特徴>

救命救急センターを有する総合病院の産婦人科として、救急患者を含む産婦人科全般の診療に携わっている。
婦人科良性・悪性腫瘍、自然分娩・周産期、婦人泌尿器科領域や骨盤臓器脱を含む女性のヘルスケア、基本的生殖医療、内視鏡手術、産婦人科救急医療の十分な症例数があり、総合病院として他科との密な連携による診療も学ぶことも可能。
日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科内視鏡学会の研修施設に認定されており、引き続きサブスペシャリティー分野での専門医取得も出来る。また、婦人科病理分野の研修も可能。
ラパロ体癌・頚癌の先進医療を行っている。
お産においてはTOLACや外回転の症例も多くあり、助産師を主体とした湘南鎌倉バースクリニック（19床）も併設している。
神奈川県では産婦人科は7つ研修プログラムがあるが、大学病院でないのは当院のみ。大学にはない魅力的なプログラムになっている。育児・介護で遠方での研修が難しい方限定で、近隣施設でのみ研修可能なプログラムもある。
0歳児から受け入れ可能な24時間オープンの保育所も充実し、時短勤務の選択も可能。女性医師が働きやすい環境にあり、常勤女性医師も6人在籍している。

■常勤医師数：指導医4人、専門医6人、専攻医3人
■当直回数：日直・当直併せて6単位程度
■施設認定：
日本産婦人科学会専攻医総合型指導施設、日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本女性医学学会専門医制度認定研修施設、母体保護法指定医師指定研修機関
■研修プログラム連携施設：
矢内原ウィメンズクリニック、千葉西総合病院、吹田徳洲会病院、松原徳洲会病院、千葉徳洲会病院、青山県立中央病院、湘南藤沢徳洲会病院、茅ヶ崎徳洲会病院、共愛会病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院、和泉市立病院、名瀬徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、羽生総合病院、高砂西部病院、横浜市東部病院、湘南鎌倉バースクリニック

<ローテーション・連携施設一覧>

スタンダードコース　研修プログラム（例）

	1年目		2年目		3年目	
期間	9M	3M	10M	2M	2M	10M
病院	湘南鎌倉総合病院	離島研修	基幹・連携施設より選択	NICU 周産期	不妊治療・ 生殖医療	湘南鎌倉総合病院

<診療実績など>

分娩数は752件（本院454件、湘南鎌倉バースクリニック298件）、そのうち帝王切開は108件（14.4%）、会陰切開は24件。
婦人科手術は合計669件、うち腹腔鏡下手術が320件、子宮鏡下手術が68件(MEA10件含む)、癌の手術が91件（腹腔鏡下体癌23手術含む）、TFS（骨盤臓器脱のメッシュ手術）が33件、SSLF（骨盤臓器脱の非メッシュ手術）が3件。（2017年1月～2017年12月）
ラパロ体癌・頚癌の先進医療をこれからも積極的に行っていく。豊富な症例の経験が得られる。

メッセージ

基本的な知識・技術を学んでもらうことは当然のことながら、患者さんに対してあたたかい医療を提供できるようなスタッフに成長してもらいたい。
患者さんから「この先生に診てもらいたい」と選ばれる医師を目指してほしい。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　産婦人科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、千葉大学	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	湘南鎌倉総合病院、昭和大学病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、東京女子医科大学病院、東海大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院、東京女子医科大学附属足立医療センター	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京女子医科大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	湘南鎌倉総合病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、湘南鎌倉総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、鹿児島大学医学部附属病院、飯塚病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、トヨタ記念病院、飯塚病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院、友愛医療センター、福岡大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

羽田　圭佑

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院泌尿器科専門研修プログラム「3つの大きな特徴」

①プログラムは、千葉西総合病院を中心とし5つの病院から構成

②地域医療との連絡、他の専門医への紹介・転送も的確に行える能力を身に着けられる

③4年間の研修終了後も泌尿器科臨床を継続する臨床修練コースを選択可能

本プログラムは、千葉西総合病院を中心とし、千葉県房総地域の拠点病院である帝京大学ちば総合医療センター、千葉県館山市地域医療を担う僻地地方病院の館山病院、印西市地域医療を担う成田富里徳洲会病院と神奈川県鎌倉市地域の中核病院である湘南鎌倉総合病院の5病院から構成されています。4年間のうち、基本的には研修基幹施設で3年間研修医を行い、研修2年目もしくは3年目に研修連携施設での研修を行います。研修連携施設では、基幹施設だけでは経験しづらい一般的な泌尿器科疾患・処置・手術を学びます。

プログラム研修終了後も泌尿器科臨床を継続する臨床修練コース(※)を選択することが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><th>１年目</th><th>２年目</th><th>３年目</th><th colspan="2">４年目</th><th>５年目</th><th>６年目</th></tr>
<tr><td rowspan="7">初期研修医</td><td rowspan="7">初期研修医</td><td rowspan="7">千葉西総合病院</td><td colspan="2">千葉西総合病院</td><td rowspan="7">千葉西総合病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">東京女子医科大学</td></tr>
<tr><td colspan="2">帝京大学ちば総合医療センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">湘南鎌倉総合病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">成田富里徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">館山病院</td></tr>
</table>

<診療実績など>

施設名	日泌学会施設区分	外来患者数（月毎）	年間手術件数	がん治療認定医	腹腔鏡技術認定医	手術支援ロボットdaVinci	体外衝撃波結石破砕装置	ホルミウムレーザー
千葉西総合病院	基幹	1596	665	2	2	2	1	1
帝京大学ちば総合医療センター	基幹	1270	372	3	5	0	1	1
湘南鎌倉総合病院	基幹	1276	265	0	2	1	0	1
成田富里徳洲会病院		468	89	2	2	1	0	1
館山総合病院		165	1	0	0	0	0	0
東京女子医科大学	基幹	3050	1185	5	4	3	1	1
合計		7825	2577	12	15	7	3	5

メッセージ

当院では、ダビンチXIを2台稼働しています

ダビンチ手術も積極的に行っております。是非、見学にいらして下さい！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

南部徳洲会病院



〒901-0493　沖縄県島尻郡八重瀬町字外間171番地1
TEL　098-998-3221　FAX　098-998-3220
URL　https://www.nantoku.org/

プログラム概要

<プログラム名>

沖縄中南部および宮古八重山、奄美離島・子育て支援泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

南部徳洲会病院 副院長・泌尿器科主任部長　向山 秀樹

<プログラムの特徴>

本プログラムの特徴は以下の3点に集約されます。
＃1　泌尿器科救急疾患
＃2　離島における専門医療(泌尿器疾患)の提供
＃3　家庭を大事にすることも可能である。

本プログラムでは泌尿器科救急疾患を数多く経験することが可能です。当院は救急疾患に24時間対応が可能であり、救急医療基幹病院のひとつです。それに伴い泌尿器科救急疾患、尿管結石に伴う閉塞性腎盂腎炎、精巣捻転、精巣腫瘍、尿道損傷、腎損傷、気腫性腎盂腎炎(膿腎症)等緊急もしくは可及的速やかな外科手術が必要とされる疾患から、日常的な尿管結石、尿閉等まで初診時より診療に主治医として参加することが可能です。
2番目に離島医療があります。離島医療から日本の医療が見れる。離島医療を経験することにより、泌尿器科がいかに住民に必要とされているかを実感することができます。専門医（専門知識・専門技術を有する）であることが患者から求められかつ感謝もされます。
本プログラムには離島医療施設が泌尿器科指導医の常勤している施設(宮古島)、泌尿器科指導医が非常勤である施設(石垣島、沖永良部島、与論島)ともに揃えています。離島医療を経験することにより自分が医師であることの原点に立ち返ることができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

大阪医科薬科大学、中部徳洲会病院、沖縄協同病院、友愛医療センター、北上中央病院、南部医療センター、こども医療センター、沖縄県立中部病院、浦添総合病院、茅ヶ崎徳洲会病院、武蔵野徳洲会病院、高槻病院、市立ひらかた病院、済生会茨木病院、済生会中津病院、生駒市立病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、与那原中央病院、　　宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、

<診療実績など>

一般的泌尿器疾患の診療および学会発表等は、沖縄協同病院、北上中央病院（サザンナイトラボラトリー）、友愛医療センター、中部徳洲会病院等と協力して行っていく予定です。詳細はプログラムの手術件数・学会紙上発表等を参照してください。
詳しくは、https://www.nantoku.org/recruit/senior_resident.php

メッセージ

本プログラムは、子育て支援・男女共同参画を目指しています。小生も女児を育てる一児の父で妻が病気のため当院の保育施設を利用して娘を育てることができました。同経験を活かし、泌尿器科を目指しているにも関わらず、育児のため泌尿器科を断念せざる負えないような若手医師(小生は若手とは言い難いですが)があらわれないように、一人でも多くの泌尿器科専門医が育つように最善の取り組みをさせてください。　プログラム責任者：向山 秀樹

連絡先

南部徳洲会病院 総務課 研修事務担当：島袋 貴光
TEL：098-998-3221　FAX：098-998-3220
E－mail　shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　泌尿器科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	札幌医科大学附属病院（協力病院）	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	東京大学	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	杏林大学医学部付属病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	日本大学医学部附属板橋病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 茅ヶ崎徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：医局秘書　伊藤　恵 ikyokuchigasaki@yahoo.co.jp
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	杏林大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	静岡県立総合病院、帝京大学溝口病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	大阪大学、県立西宮病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	大阪医科薬科大学附属病院泌尿器科専門研修PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	近畿大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	大阪大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	南部徳洲会病院、琉球大学医学部附属病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	大阪医科薬科大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院放射線科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

李　進

<プログラムの特徴>

本プログラムは、(医)沖縄徳洲会　湘南鎌倉総合病院放射線科(以下　湘南鎌倉総合病院放射線科)を専門研修基幹施設として、横浜市立大学附属病院放射線科および湘南厚木総合病院、湘南藤沢徳洲会病院放射線科,東京西徳洲会病院を専門研修連携施設として、武蔵野徳洲会病院を専門関連施設として加えた専門研修施設群を統括する専門研修プログラムです。
専門研修施設群は、専門研修基幹施設との密接な連携を保つことができる二次医療圏から同一都道府県内を基本的な範囲とし、研修内容の質の向上のために、基幹施設と相互に指導医が派遣され密接な連携を保っている,東京西徳洲会病院および武蔵野徳洲会病院(同一都道府県外)を加えた6つの施設で構成されています。

専門研修プログラム統括責任者は、専門研修基幹施設の責任者(部長、科長など)があたり、プログラム全体について責任を持ちます。専門研修連携施設の指導管理責任者は、各施設の責任者(部長、科長など)があたり、専攻医の研修ならびに労働環境・条件など全般にわたる責任を負います。専門研修プログラム連携施設担当者は、専門研修プログラム管理委員会における各施設の代表者です。指導にあたる専門研修指導医は、放射線科領域における十分な診療経験と教育および指導能力を有する医師であり、日本医学放射線学会認定の研修指導者資格を取得しています。

<ローテーション・連携施設一覧>

コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
a	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院	湘南鎌倉総合病院
b	湘南鎌倉総合病院	東京西徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院
c	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院 (大学院・臨床)	湘南鎌倉総合病院 (大学院・臨床)

<診療実績など>

施設名	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院	湘南厚木病院	湘南藤沢徳洲会病院	東京西徳洲会病院	武蔵野徳洲会病院
役割	基幹	連携	連携	連携	連携	関連
日本医学放射線学会認定期間	総合修練	総合修練	修練	修練	修練	非認定
指導医数	3	6	1	3	2	1
CT検査件数	27600	1893	0	12400	20700	0
IVR施行件数	227	0	0	27	0	0
放射線治療患者数	285	41	0	560	0	

メッセージ

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　放射線科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院（予定）	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	奈良県立医科大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、名古屋市立大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉西総合病院 病理専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

鈴木 正章

<プログラムの特徴>

本病理専門研修プログラムでは、病理領域の診断技能のみならず、他職種、特に臨床検査技師や他科医師との連携を重視し、同時に教育者や研究者、あるいは管理者など幅広い進路に対応できる経験と技能を積むことが望まれます。
年間40例以上の剖検数があり、組織診断も13,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。また、各施設におけるカンファランスのみならず、徳洲会全体の病理医を対象とする病理検討会があります。これらに積極的に出席して、希少例や難解症例にも直接触れていただけるよう配慮しています。

	生検当番	切出当番日	解剖当番日	当番外(例)
午前	生検診断	手術材料切出	病理解剖	手術材料診断
	(随時)迅速診断、生材料受付	小物(胆嚢、虫垂など)切出		
午後	指導医による診断内容チェック	小物(胆嚢、虫垂など)切出	追加検査提出、症例まとめ記載	解剖症例報告書作成
	修正	手術材料切出		カンファレンス準備
				カンファレンス参加

←1 日の流れ
↓研修目標

1 年目	目標	剖検（CPC 含む）と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全の習得を目的とする。
2 年目	目標	剖検（CPC 含む）とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診の習得目的とする。この年次までに剖検講習会受講。可能であれば死体解剖資格も取得
3 年目	目標	剖検（CPC 含む）と専門的な病理診断および専門的な細胞診の習得を目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講

<ローテーション・連携施設一覧>

連携施設

東京慈恵会医科大学附属病院、湘南厚木病院、羽生総合病院、鎌ケ谷総合病院

ローテート例①

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	連携施設（東京慈恵会医科大学附属病院、羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											
	施設名	連携施設（羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											

ローテート例②

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	連携施設（東京慈恵会医科大学附属病院、羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											

<診療実績など>

専門医研修基幹病院および研修連携施設の一覧→
2020 年から 2022 年までの 3 年間の平均実績
医師数については 2023 年 4 月時点

	千葉西総合病院	東京慈恵会医科大学附属病院	湘南厚木病院	羽生総合病院	鎌ケ谷総合病院
病床数	680	1075	253	311	329
専任病理医数	3	16	1	1	1
病理専門医数	2	10	1	1	1
病理専門指導医数	1	5	0	1	0
組織診*	6741	16936	1700	2219	2713
迅速診断*	102	719	10	67	14
細胞診*	10051	14290	3600	4674	2647
病理解剖*	19	1	2	2	0

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院病理専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

手島　伸一

<プログラムの特徴>

基幹施設である湘南鎌倉総合病院と連携施設（1群と2群）では、3年間を通じて病理組織診断の研修を行います。基本的に診断が容易な症例や症例数の多い疾患を1年次に研修し、2年次以降は希少例や難解症例を交えて研修をします。2年次以降は各施設の指導医の得意分野を研修します。いずれの施設においても研修中は当該施設病理診断科の業務当番表に組み込まれます。当番には生検診断、手術材料診断、術中迅速診断、手術材料切り出し、剖検、細胞診などがあり、それぞれの研修内容が規定されています。各当番の回数は専攻医の習熟度や状況に合わせて調節され、無理なく研修を積むことが可能です。なお、各施設においても各臨床科と週1回～月1回のカンファレンスが組まれており、担当症例は専攻医が発表・討論することにより、病態と診断過程を深く理解し、診断から治療にいたる計画作成の理論を学ぶことができます。
剖検（病理解剖）に関しては、研修開始から最初の5例目までは原則として助手として経験します。以降は習熟状況に合わせますが、基本的に主執刀医として剖検をしていただき、切り出しから診断、CPCでの発表まで一連の研修をしていただきます。またhands-on-trainingとして積極的に剖検の助手を経験していただきます。その際に剖検前のイメージトレーニングと剖検所見の詳細な記録を実行させる、剖検、切り出し、標本作製手技をトレーニングする設備の充実を図ります。連携施設で研修中に当該施設の剖検症例が少ない場合は、他の連携施設や基幹施設の剖検症例で研修をしていただきます。

<ローテーション・連携施設一覧>

コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
1	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	川崎幸病院
2	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	札幌東徳洲会病院
3	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	湘南藤沢徳洲会病院
4	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	福岡徳洲会病院
5	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	成田富里徳洲会病院 名古屋徳洲会総合病院 大垣徳洲会病院
6	湘南鎌倉総合病院	連携施設6Mローテ	

<診療実績など>

研修連携施設および症例数　　2015年度

	専門医数	剖検数	組織診	迅速診	細胞診		専門医数	剖検数	組織診	迅速診	細胞診
湘南鎌倉総合病院	1	20	9376	170	11126	大垣徳洲会病院	1	0	1008	23	173
川崎幸病院	3	5	5013	92	0	千葉徳洲会病院	1	4	2699	67	2349
札幌東徳洲会病院	1	9	3136	29	728	東京西徳洲会病院	1	0	3200	95	2700
湘南藤沢徳洲会病院	1	13	5741	66	8748	八尾徳洲会病院	0	10	5077	102	8567
福岡徳洲会病院	2	13	6859	113	5623	中部徳洲会病院	0	3	3904	65	4944
成田富里徳洲会病院	1	0	0	0	0	南部徳洲会病院	0	3	1455	23	3175
名古屋徳洲会病院	1	10	1787	35	1732						

メッセージ

大学以外の病理研修プログラムは28施設にすぎません。その中での本プログラムの最大の特徴は臨床各科との緊密な連携のもとに、双方の知識を高め合っていることです。病理に現在2名の専攻医が在籍しています。女性医師は子育てと両立させており、育児の面でも最適の環境にあります。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　病理診断科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、湘南鎌倉総合病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	千葉大学医学部附属病院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	千葉西総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院、愛知医科大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	大阪国際がんセンター	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター、湘南鎌倉総合病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	亀田総合病院、長崎大学病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学、湘南鎌倉総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院 小児科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

重松　陽介

<プログラムの特徴>

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることをめざしてください。
　専門研修期間3年間のうち、2年間は基幹施設である宇治徳洲会病院において小児科全般の急性期・慢性期疾患を担当医として研修するとともに、保健所および保健センターにおいて地域小児保健医療・行政を学びます。その間、周産期母子医療センター（NICU）で新生児疾患・先天異常疾患を、また、救命センターで救急医療の基本を研修します。残りの専門研修期間1年間は、京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、国立病院機構南京都病院、埼玉県立小児医療センター、男山病院、中部徳洲会病院、札幌徳洲会病院で、それぞれの地域の特性と施設の役割に応じた地域医療と他科との医療連携を幅広く体験します。
以上の通り、感染症、救急分野、小児保健などの地域性がみられる領域、そして、新生児、悪性腫瘍、循環器疾患などのいくつかの専門領域に関しては複数の専門研修施設で選択的に研修が可能となっています。施設の選択は、それまでの研修履歴や内容によって専門研修プログラム管理委員会との話し合いによって行われます。
※最低3カ月以上の期間、2施設～3施設で研修を行う。
乳児健康診査や予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修します。
宇治徳洲会病院は京都府南部の急性期基幹医療センターとして位置づけられ、一般診療とともに救急救命センター・周産期母子医療センター・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院としての活動をしています。高度な専門医療にも対応するため、各専門領域に経験豊富な専門医を有し、年中無休・24時間オープンで幅広い救急患者を受け入れる体制も有しています。このため、小児救急の受け入れ体制は充実しており、小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応と管理も十分研修できる施設です。
また、沖縄地区での離島の検診を行うプログラムが組まれており、島国である日本の医療の特徴ある過疎医療・地域医療を体験できるほか、重症心身障がい児や心身症などに対応した専門施設での研修も行えます。

<ローテーション・連携施設一覧>

【　専門研修期間　3年間　】
京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、埼玉県立小児医療センター、島根県立中央病院、南京都病院、男山病院、共愛会病院、札幌徳洲会病院、京丹後市立弥栄病院、京丹後市立久美浜病院、中部徳洲会病院、高砂西部病院、六地蔵総合病院、羽生総合病院、神戸徳洲会病院

<診療実績など>

年間症例数及びその細目（2023年度）　感染症及び寄生虫：122　新生物〈腫瘍〉：10　血液及び増血器の疾患並びに免疫機構の障害：7　内分泌、栄養及び代謝疾患：19　精神及び行動の障害：5　神経系の疾患：40　目及び付属器の疾患：0　耳及び乳様突起の疾患：6　循環器系の疾患：4　呼吸器系の疾患：508　消化器系の疾患：24　皮膚及び皮下組織の疾患：20　筋骨格系及び結合組織の疾患：28　腎尿路生殖器系の疾患：17　周産期に発生した病態：233　先天奇形、変形及び染色体異常：15　損傷、中毒及びその他の外因の影響：71　特種目的用コード：44

メッセージ

指導医には自信があります。
症例も多く、地域医療も学べるプログラムになっておりますので、是非一度見学に来てください。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　小児科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院、宇治徳洲会病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	宇治徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	東京大学	担当：人事課　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	宇治徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院、藤沢市民病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、埼玉県立小児医療センター、島根県立中央病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	近畿大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学、宇治徳洲会病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	県立南部医療センター	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	南部医療センター、こども医療センター	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　脳神経外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 庄内余目病院	秋田大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター（来年度連携予定）	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	獨協医科大学埼玉医療センター	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	北里大学病院、横浜市立大学附属病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	横浜医療センター、横浜市立大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	愛知医科大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	関西医科大学附属病院	担当：総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞

耳鼻咽喉科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

眼　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	札幌医科大学附属病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪医科大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	帝京大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

皮膚科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院（準連携施設）	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

リハビリテーション科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	亀田総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	浜松医科大学	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

札幌徳洲会病院



〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山田達也（プライマリセンター部長）

<プログラムの特徴>

「新たな価値への挑戦！」
総合診療医としての全人的・全身的な診療能力を身につけ地域に貢献できる人格形成と、どの様な環境下でも活躍の場を見出す医師の育成を目指しています。米国総合内科専門医の教育等により、総合的かつ専門的なエッセンスを交えたグローバルな研修です。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	札幌徳洲会病院						札幌徳洲会病院 共愛会病院			共愛会病院 日高徳洲会病院		
	領域	総診Ⅱ						救急			その他（地域医療）		
2年目	施設名	おおあさクリニック ニセコインターナショナルクリニック 松前町立松前病院 せたな町立国保病院						札幌徳洲会病院			札幌徳洲会病院 ニセコインターナショナルクリニック 共愛会病院 日高徳洲会病院 千葉徳洲会病院 東葛辻仲病院 柏葉脳神経外科病院		
	領域	総診Ⅰ						小児科			その他（選択診療科）		
3年目	施設名	札幌徳洲会病院											
	領域	内科／総診Ⅱ											

<ローテーション・連携施設一覧>

おおあさクリニック（江別市：総合診療Ⅰ）／ニセコインターナショナルクリニック（倶知安町：総合診療Ⅰ）／松前町立松前病院（松前町：総合診療Ⅰ）／せたな町立国保病院（せたな町：総合診療Ⅰ）／共愛会病院（函館市：地域医療・救急科）／日高徳洲会病院（新ひだか町：地域医療）／千葉徳洲会病院（千葉県船橋市：消化器内科）／東葛辻仲病院（千葉県我孫子市：外科）／柏葉脳神経外科病院（札幌市：脳神経外科）

<診療実績など>

■平均外来患者（延べ）数：21.2名／月　■平均入院患者総数：35.0名／月　■年間救急搬送数：5,098件
■学会活動（発表・講演等）の主な学会名：
日本病院総合診療医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本内科学会（地方会含む）、日本救急医学会、Society to Improve Diagnosis in Medicine（SDIM）、The World Organization of Family Doctors（WONCA）、International Conference on Communication in Healthcare（ICCH）、Society of General Internal Medicine（SGIM）、Pan-Pacific Emergency Medicine Conference、IDATEN、札幌救急カンファレンス、Michigan Univ. & 札幌家庭医療カンファレンス、New Mexico Univ. & 札幌救急カンファレンス、駆け込み寺シリーズ｜セミナー　等
（2019年度～2021年度実績）

メッセージ　■プライマリセンター部長（プログラム統括責任者）：山田達也■

当科”プライマリーセンター”の立ち位置は非常に重要で、救急搬送された患者への対応や入院管理を通じて地域医療に貢献している診療科で、札幌市の南東部に位置しているため、近隣都市からの救急搬送も多く、様々な疾患を抱えた患者のケアが求められ、幅広い経験を積むことが可能です。また、今後は高齢化率の伸びが予想され、専門的な医師のニーズも増す中、幅広く診ることができる人材の活躍が重要となります。是非、「飽きっぽい性格で一つの診療科に絞れない」などの先生方も含めて歓迎しております！

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

安尾　和裕

<プログラムの特徴>

総合診療専門医は日常遭遇する疾病に対し、適切な初期対応と必要に応じて継続的診療を提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護,看取りなど、保健、医療、介護福祉活動に取り組みながら、自己研鑽を重ねながら人々の命と健康にかかわる問題について適切に対応する使命を担います。
欧米ではプライマリケア医が医療制度の一部として確立されてきましたが、近年の医療需要の変化からわが国でも総合診療専門医の養成が喫緊の課題となっています。
総合診療医が必要とされる理由はいくつかあげられます。
（1）フリーアクセス医療の弊害、OECD加盟国の多くでは専門医を受診する前にプライマリケア医がいます（ゲートキーパー制度）。これに対して、我が国では身近な医療機関より、大病院を受診する傾向があり「数時間待って数分の治療」のような弊害が起きています。総合診療の整備により、プライマリケアとセカンダリケアが分化出来、適切なすみわけが出来ることになります。
（2）高齢化による医療需要の変化、今や、我が国の高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）が25%以上となり、世界一の超高齢化国です。慢性疾患で複数の疾病を持つ高齢者が増加しています。従来のスタンダードであった「特定の臓器や疾患のスペシャリスト」の医師のみでなく、患者を総合的に診ることが出来る医師が必要とされています。
（3）「地域を診られる医師の必要性」、医療や介護を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。多種多様な疾患や健康問題への対処が求められ、領域を問わない総合診療が求められています。
当院では経験豊富なスタッフが基幹研修施設と連携施設において、総合診療医を目指す諸君を待っております。

<ローテーション・連携施設一覧>

【基幹施設】札幌東徳洲会病院（総診Ⅱ・内科・救急科・小児科）
【連携施設】栄町ファミリークリニック（総診Ⅰ）　共愛会病院、帯広徳洲会病院（内科）
【特別連携病院】夕張市立診療所、利尻島国保中央病院(総診Ⅰ)
詳しくは上記URLからご確認ください。

連絡先

医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター
事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

共愛会病院



〒040-8577　北海道函館市中島町7-21
TEL　0138-51-2111　FAX　0138-51-2631
URL　http://www.kyoaikai-hosp.com

プログラム概要

<プログラム名>

共愛会病院　総合診療医プログラム

<プログラム統括責任者>

水島　豊

<プログラムの特徴>

当院がある函館市は、夜景や西部地区・ベイエリア、五稜郭、湯の川温泉街など魅力的な観光地が多く、日本だけでなく外国人観光客も多く訪れています。
気候は、地理的条件から寒暖差は少なく、積雪は北海道内では少ない一方、夏は周囲を海に囲まれているため真夏日もほとんどなく、一年中快適に過ごすことができます。
このように人気の観光都市である一方、少子高齢化が深刻であり、独居・身寄りなしの増加など高齢者問題だけではなく、小児科・産婦人科の減少も深刻で、全人的医療が求められています。
当プログラムは、様々な年齢層の初診・救急対応から慢性期管理・緩和ケアまで経験することができ、将来どの地域・規模の病院で働いても適切な医療を提供することができるような医師の育成を目標としています。
また、外国人医師を招いた英語カンファレンスの実施など、教育にも力を入れています。当プログラム修了後も、引き続き当院で新家庭医療専門研修プログラムを行うことも可能です。
＜専攻医処遇等＞
募集人数：2名
給与　　：約66万円/月（当直・夜間診療手当等含む）
当直回数：約5-6回/月
＜交通アクセス＞
函館空港から車で20分、函館駅から車で10分。
函館市電停留所まで徒歩10分、病院前にバス停留所あり。

<ローテーション・連携施設一覧>

内科（共愛会病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院）・・・12か月
総合診療Ⅰ（函館稜北病院、松前町立松前病院、せたな町立国保病院）・・・6か月
総合診療Ⅱ（共愛会病院）・・・6か月
救急（共愛会病院）・・・3か月
小児科（札幌徳洲会病院）・・・3か月
地域医療（沖永良部徳洲会病院、帯広徳洲会病院）・・・3か月
選択科目・・・3か月（上記研修科目・施設より選択する）

<診療実績など>

外来患者数：69,880/年、救急件数：5,956件/年、入院患者数：2,689人/年（うち内科1,254人/年）
＜専攻医経験症例数＞
外来：約89人/月（うち初診：約26人/月、救急：約31人/月）　、入院：約37人/月　、内視鏡件数：約50件/月

メッセージ

（専攻医より）私は、研修医の時に共愛会病院で地域医療研修を行い、先生方や職員の皆さんとの垣根が低く、また　病院の雰囲気が自分に合っていたので、この病院での研修を決めました。
行いたい手技等があればどんどんチャレンジできる環境なので、医師としてスキルアップが可能です。
救急や病棟対応等忙しいですが、定時で帰宅できる日やまとまった有給休暇も取得しやすい環境なので、とてもメリハリある研修ができます。
病院の雰囲気は実際に体験しないとわからないので、ぜひ一度見学に来てみてください。

連絡先

臨床研修事務局 中村
0138-51-2111（代表）　kenshu@kyoaikai-hosp.com

仙台徳洲会病院



〒981-3116　宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL　022-771-5111　FAX　022-771-5100
URL　https://sendai.tokushukai.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

仙台徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

佐野　憲

<プログラムの特徴>

本プログラムは宮城県仙台医療圏の中心的な急性期病院を目指す仙台徳洲会病院を基幹病院として、総合診療Ⅰ（与論徳洲会病院、山川病院）、総合診療Ⅱ（仙台徳洲会病院）、内科（仙台徳洲会病院）、小児科（札幌徳洲会病院）および救急科（岸和田徳洲会病院）とで専門研修を行います。

仙台徳洲会病院の指導医は、外科・脳神経外科・循環器内科と幅広い領域の専門医でもあり、様々な視点からの総合診療領域研修が可能です。また、内科研修においても指導医が6名在籍しており、循環器内科、糖尿病・代謝内科、肝臓内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科の専門医が指導にあたります。札幌徳洲会病院での小児科研修、岸和田徳洲会病院での救急科研修では、各二次医療圏の各種専門診療を提供する急性期病院での研修となっております。山川病院は、急性期から回復期医療に対応する総合病院の機能を持ち、耳鼻科のクリニックでの研修も可能です。また、与論徳洲会病院は島唯一の病院でもあり、地域に密着した“入院のできる在宅医療”、“医療のある介護”の実践を基本理念とし、幅広い年齢層の診療研修が可能となっており、徳洲会グループでの連携体制は十分です。

【採用予定人数】2名
【指導医数】6名（仙台徳洲会病院4名、与論徳洲会病院1名、山川病院1名）
【当直回数】4回～8回程度（ローテーションにより変動）

【給与例】
・卒後3年目　月給 約420,000円/年収 約5,800,000円
・卒後4年目　月額 約510,000円/年収 約7,100,000円
・卒後5年目　月額 約550,000円/年収 約7,700,000円

※当直手当含め、各種手当有。

<ローテーション・連携施設一覧>

仙台徳洲会病院　総合診療専門研修プログラムは、北海道から鹿児島まで広範囲での研修が可能です。僻地・離島での研修は、患者と家族によりそい救急から在宅まで地域密着型の医療を、内科、小児科、救急科では、各二次医療圏での急性期医療を、基幹施設では外科系から内科系まで多科の専門医から指導を受け、様々な症例を経験出来ます。

<table>
<tr><td rowspan="2">後期研修
1年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="12">仙台徳洲会病院
内科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期研修
2年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">仙台徳洲会病院
総診Ⅱ</td><td colspan="3">岸和田徳洲会病院
救急科</td><td colspan="3">札幌徳洲会病院
小児科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期研修
3年目</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td colspan="6">与論徳洲会病院
総診Ⅱ</td><td colspan="6">山川病院</td></tr>
</table>

メッセージ

プログラム統括責任者：名誉院長　佐野憲

徳洲会病院の得意分野である、豊富な救急症例から抽出される、多岐多様な患者の治療経験は将来必ず役に立つと同時に、どんな症例にも動じない自信につながります。また、全国に展開する徳洲会組織のネットワークにより、僻地離島でのバックアップは充実しており、安心して診療に専念できる環境です。

連絡先

医療法人徳洲会　仙台徳洲会病院
担当：総務課　前野
E-mail:maeno@sendai.tokushukai.or.jp

千葉徳洲会病院

〒 274-8503　住所 千葉県船橋市高根台2-11-1
TEL 047-466-7111　　FAX 047-467-0379
URL https://www.chibatoku.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

上田　修

<プログラムの特徴>

総合診療専門医として幅広い疾患に対応できる専門医を目指します。
「がん診療」と「救急」に注力している地域中核病院の一つとして幅広い疾患に対応できるプログラムである。

D. ローテーションのスケジュールと期間
（４年以上のプログラムの場合は、枠を増やして４年目以降のローテーションについても記載すること）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	湘南藤沢徳洲会病院						八千代医療センター			湘南藤沢徳洲会病院		
	領域	内科						救急科			小児科		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	施設名	屋久島徳洲会病院						千葉徳洲会病院					
	領域	総合診療専門研修Ⅰ						総合診療専門研修Ⅱ					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	施設名	湘南藤沢徳洲会病院						屋久島徳洲会病院					
	領域	内科						総合診療専門研修Ⅰ					

<ローテーション・連携施設一覧>

東京女子医科大学八千代医療センター （千葉県）
湘南藤沢徳洲会病院 （神奈川県）
屋久島徳洲会病院 （鹿児島県）

<診療実績など>

年間救急搬送件数　約4,500件
1日平均外来患者数　686人
1日平均入院患者数　229人

メッセージ

随時見学は受け付けております。お気軽にお問合せください。

連絡先

千葉徳洲会病院　臨床研修事務担当
kensyu@chibatoku.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

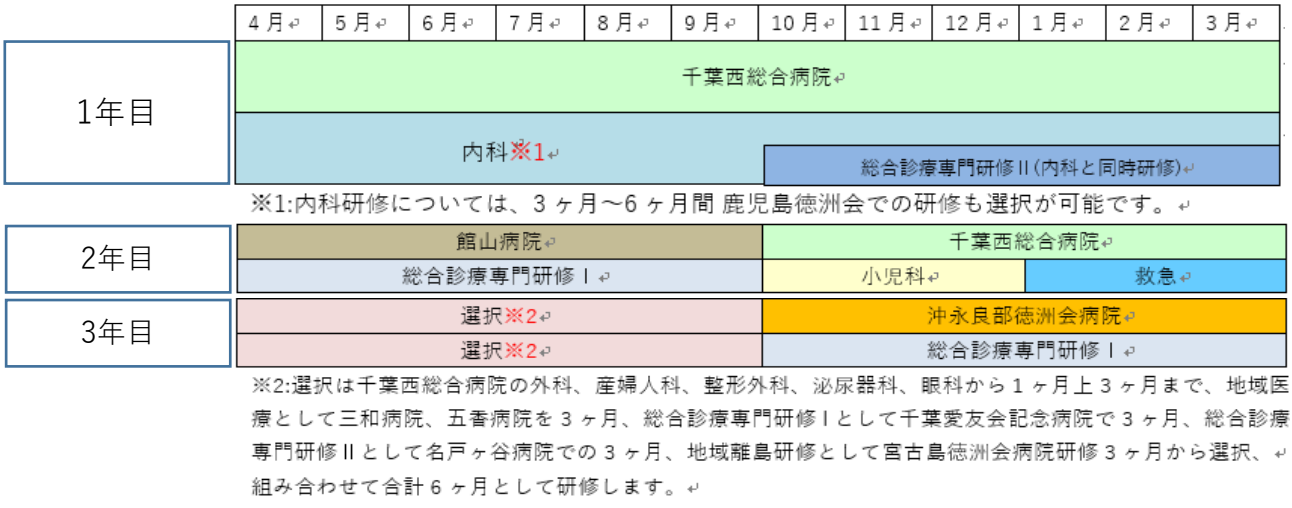
千葉西総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

宮本　憲一

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
名戸ヶ谷病院、名戸ケ谷病院付属名戸ケ谷診療所、千葉愛友会記念病院、五香病院、
三和病院、館山病院、鹿児島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院



※1:内科研修については、3ヶ月～6ヶ月間 鹿児島徳洲会での研修も選択が可能です。

※2:選択は千葉西総合病院の外科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、眼科から1ヶ月上3ヶ月まで、地域医療として三和病院、五香病院を3ヶ月、総合診療専門研修Ⅰとして千葉愛友会記念病院で3ヶ月、総合診療専門研修Ⅱとして名戸ヶ谷病院での3ヶ月、地域離島研修として宮古島徳洲会病院研修3ヶ月から選択、組み合わせて合計6ヶ月として研修します。

<診療実績>

・総合診療専門研修特任指導医：1名　・総合内科専門医：22名
・内科指導医：25名　・日本病院総合診療医学会認定医：12名

○**総合診療科・内科**　のべ外来患者数 7,852名／月,入院患者総数3,974名／月

※当院では循環器科、消化器内科以外の内科系疾患および総合的診療を要する外科系疾患、整形外科系疾患など多科疾患を総合診療科および内科で診療を行っておりその約40%が内科であり約60%が総合診療科の患者である。

○**救急部**　のべ外来患者数　約800名／月, 入院患者総数※

※当院では、救急部は入院までの救急診療を担当・トリアージ・初期治療を行い、入院が必要な場合には患者の疾患に応じて各科へ割り振りをし、各科への割り振りが明確ではない場合あるいは総合的全身管理を要する場合には総合診療科に入院とするシステムをとっている。したがって救急部の担当する入院患者はいない。しかしながら救急部で診療を行った患者数の約70%は入院となっており、その約60%を総合診療科の入院として管理している。

メッセージ

見学も随時行っておりますので、お気軽にご連絡ください！！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

羽生総合病院

〒348-8505　埼玉県羽生市下岩瀬446番地
TEL　048-562-3000　FAX　048-563-2170
URL　http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/



プログラム概要

<プログラム名>

羽生総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

髙橋　暁行（循環器内科/総合内科/院長）

<プログラムの特徴>

羽生総合病院は埼玉県北部羽生市に位置し、市の人口5万2千人程を支える地域の中核病院です。また利根川を境に群馬県と隣接している為、県外からの救急搬送患者も日夜受入を行っています。　病床数は311床であり急性期から慢性期までの幅広い患者層を対象としており、救急総合診療科では救急搬送患者を始めウォークインや他院からの紹介患者等、非常に多くの症例を扱っています。　総合診療専門医を目指す医師に3年間で総合診療専門医を取得していただくことが可能です。

■ローテーション表：イメージ■

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	羽生総合病院						共愛会病院					
	領域	総診Ⅰ						内科					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	施設名	千葉西総合病院 湘南藤沢徳洲会			羽生総合病院 太田記念病院			共愛会病院					
	領域	小児科			救急科			総診Ⅱ					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	施設名	羽生総合病院・太田記念病院・多良木病院 人吉医療センター・新久喜総合病院 湘南藤沢徳洲会・北中城若松病院系列						湘南藤沢徳洲会病院・羽生総合病院					
	領域	その他						内科					

<ローテーション・連携施設一覧>

■総合診療専門研修Ⅰ：ファミリークリニックきたなかぐすく（沖縄県北中城村）・人吉医療センター（熊本県人吉市：）
・球磨郡公立多良木病院（熊本県球磨郡多良木町）・北中城若松病院（沖縄県北中城村）■総合診療専門研修Ⅱ：共愛会病院（北海道函館市）■内科：湘南藤沢徳洲会病院（神奈川県藤沢市）・太田記念病院（群馬県太田市）■小児科：湘南藤沢徳洲会病院（神奈川県藤沢市）・千葉西徳洲会病院（千葉県松戸市）■救急科：太田記念病院（群馬県太田市）■麻酔科：新久喜総合病院■泌尿器科：新久喜総合病院■整形外科：球磨郡公立多良木病院(熊本県球磨郡）■健診：球磨郡公立多良木病院

メッセージ

地域医療を支える為に必要な総合的診療能力を有する医師を育成する制度です。
研修目標として、他の領域別専門医やその他の職種等と連携し地域内でのリーダーシップを発揮しつつ多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供できることです。また、臓器別でない病棟診療と臓器別でない外来診療を提供することを目標とし、①人間中心の医療ケア、②包括的統合アプローチ、③連携重視のマネージメント、④地域志向アプローチ、⑤公益に資する職業規範、⑥診療の場の多様性の6つのコアコンピテーシーを獲得することを目指していきます。
施設見学随時行っておりますのでお待ちしております。

連絡先
医療法人徳洲会　羽生総合病院
臨床研修事務担当　川口・戸ヶ崎
TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170
resident_doctor@fureaihosp.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院　総合診療医育成プログラム

<プログラム統括責任者>

北川　泉

<プログラムの特徴>

01. 臨床現場での学習：職務を通じた学習（On-the-job training）を基盤とし、診療経験から生じる疑問に対してEBMの方法論に則って文献等を通じた知識の収集と批判的吟味を行うプロセスと、総合診療の様々な理論やモデルを踏まえながら経験そのものを省察して能力向上を図るプロセスを両輪とします。その際、学習履歴の記録と自己省察の記録を経験省察研修録（ポートフォリオ：経験と省察のプロセスをファイリングした研修記録）作成という形で全研修課程において実施します。

02. 臨床現場を離れた学習：総合診療の様々な理論やモデル、組織運営マネジメント、総合診療領域の研究と教育については、関連する学会の学術集会やセミナー、研修会へ参加し、研修カリキュラムの基本的事項を履修します。また、医療倫理、医療安全、感染対策、保健活動、地域医療活動等については、日本医師会の生涯教育制度や関連する学会の学術集会等を通じて学習を進めます。地域医師会における生涯教育の講演会は、診療に関わる情報を学ぶ場としてのほか、診療上の意見交換等を通じて人格を陶冶する場として活用します。

03. 自己学習：研修カリキュラムにおける経験目標は原則的に自プログラムでの経験を必要としますが、やむを得ず経験を十分に得られない項目については、総合診療領域の各種テキストやWeb教材、更には日本医師会生涯教育制度及び関連する学会におけるe-learning教材、医療専門雑誌、各学会が作成するガイドライン等を適宜活用しながら、幅広く学習します。
04.「J-OSLER」への登録に関して：内科ローテート研修においては、症例登録・評価のため、内科領域で運用する専攻医登録評価システム「J-OSLER」による登録と評価を行います。12ヶ月間の内科研修の中で、最低40例を目安として入院症例を受け持ち、その入院症例（主病名、主担当医）のうち、提出病歴要約として10件を登録します。分野別（消化器、循環器、呼吸器など）の登録数に所定の制約はありませんが、可能な限り幅広い異なる分野からの症例登録を推奨します。

<ローテーション・連携施設一覧>

集中治療研修の充実
　聖マリアンナ医科大学病院での内科-集中治療研修を最長12ヶ月、東京ベイ・市川浦安医療センター・東海大学医学部付属病院・聖マリアンナ医科大学病院での救急-集中治療研修を最長3ヶ月まで自由に研修することができます。
連携施設：松前町立松前病院 / 名瀬徳洲会病院 / まつむらファミリークリニック / 瀬戸内徳洲会病院 / 新庄徳洲会病院 / 川崎市立多摩病院 / 湘南鎌倉総合病院 / 東海大学医学部付属病院 / 聖マリアンナ医科大学病院 / 東京ベイ・浦安市川医療センター

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://hacoya.work/20160623a/

メッセージ

　湘南藤沢徳洲会病院　総合診療医育成プログラムは病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、ER型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的として創設されました。
　地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア、等を含む）を包括的かつ柔軟に提供します。
　総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供します。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL　0467-46-1717　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.skgh.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院 総合診療医育成プログラム

<プログラム統括責任者>

瀬戸 雅美

<プログラムの特徴>

1. 日本の医療に即した地域を支える総合診療専門医の育成を行う。
2. 日本の総合診療の先駆けである諏訪中央病院（長野県）において、実績のある総合診療医育成プログラムも3か月間履修可能である。
3. 急性期から終末期、本人・家族が望む穏やかなエンディングを迎えるために必要な総合診療能力を習得すること、そして国民の健康、福祉に貢献することを目的とする。
4. 内科研修は12ヶ月間を行なう(規定)。総合内科を中心に研修する。また一定期間、特別養護老人ホームや老人保健施設でも研修を行なう。

<ローテーション・連携施設一覧>

総診I：まつむらファミリークリニック、ありがとうみんなファミリークリニック平塚、みぞのくちファミリークリニック、名瀬徳洲会病院、日高徳洲会病院、山北徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、本別長国保病院、宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院
総診Ⅱ：湘南鎌倉総合病院（総合診療科・総合内科）、名瀬徳洲会病院、諏訪中央病院、札幌徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院
内科：湘南鎌倉総合病院（血液・神経・腎臓・アレルギー・リウマチ膠原病・消化器・呼吸器・循環器・総合内科など）
救急：湘南鎌倉総合病院、葉山ハートセンター
小児科：川崎市立多摩病院、千葉西総合病院、湘南鎌倉総合病院

<table>
<tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr>
<tr><td>S1診療科</td><td colspan="3">SKGH 総合診療科</td><td colspan="6">SKGH 総合内科</td><td colspan="3">川崎市立多摩病院小児科</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="6">内科</td><td colspan="3">小児</td></tr>
<tr><td>S2診療科</td><td>SKGH リウマチ科</td><td>SKGH 神経内科</td><td>SKGH 消化器内科</td><td colspan="3">SKGH ER</td><td colspan="3">SKGH 総合診療科</td><td colspan="3">名瀬徳洲会</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">内科</td><td colspan="3">救急</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td></tr>
<tr><td>S3診療科</td><td colspan="3">名瀬徳洲会</td><td>SKGH 腎臓内科</td><td colspan="2">SKGH 内科チーフ</td><td colspan="6">まつむらファミリークリニック</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td colspan="3">総診2 / 家庭医療Ⅱ</td><td colspan="3">内科</td><td colspan="6">総診1 / 家庭医療Ⅰ</td></tr>
</table>

<診療実績など>

・2023年度 専攻医 S4：1名、S2：1名、S1：3名
・救急搬送件数：22,342件（2022年度）

メッセージ

2018年度からスタートした当院の総合診療医プログラムはS1～S4まで5名の専攻医が決定しています。
　多数の症例を経験することを目的とする「大規模病院研修」は、湘南鎌倉総合病院の内科と救急を中心に学びます。「地域医療研修」では家庭医養成に実績と定評のある諏訪中央病院で総合医・家庭医の在り方を学びます。僻地離島研修では、離島を中心とした地理的要因で物的・人的リソースが限られている環境において患者さんと向き合うことで総合診療医としての基礎力・地力を身に付けます。
当院は日本病院会が主催する、病院総合医プログラムも有しており、卒後6年目からは病院総合専修医としてのキャリアを踏むことも可能です。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修管理室
kenshu@shonankamakura.or.jp

湘南厚木病院

〒243-8551　神奈川県厚木市温水118-1
TEL　046-223-3636　FAX　046-223-3630
URL　http://www.shonan-atsugi.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南厚木病院　総合診療研修プログラム

<プログラム統括責任者>

寺島　孝弘

<プログラムの特徴>

神奈川県内の中核都市である厚木市にある当院（湘南厚木病院）での研修を基本に、総合診療研修Ⅰは北海道にある帯広徳洲会病院、鹿児島にある石垣島徳洲会病院、小児科は県内の湘南藤沢徳洲会病院での研修となる。
地域背景としては比較的都市部も近く、大学病院、市中病院も散在しているが、総合診療としての受け皿は決して十分ではない。近郊には厚木基地があり、また南米出身者のコミュニティーも存在しており、外国人の受診も比較的多くみられる。

<table>
<tr><td rowspan="3">1年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="12">湘南鎌倉総合病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="12">内科</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="6">帯広徳洲会病院</td><td colspan="6">石垣島徳洲会病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="6">総診Ⅰ</td><td colspan="6">総診Ⅰ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3年目</td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr>
<tr><td>施設名</td><td colspan="6">湘南厚木病院</td><td colspan="3">湘南厚木病院</td><td colspan="3">湘南藤沢徳洲会病院</td></tr>
<tr><td>領域</td><td colspan="6">総診Ⅱ</td><td colspan="3">救急</td><td colspan="3">小児科</td></tr>
</table>

<ローテーション・連携施設一覧>

基幹施設：湘南厚木病院（総合診療研修Ⅱ、救急科）
連携施設：帯広徳洲会病院・石垣島徳洲会病院（総合診療研修Ⅰ）、湘南藤沢徳洲会病院（小児科）、湘南鎌倉総合病院（内科）

メッセージ

厚木市は神奈川県のほぼ中央、丹沢山地の麓に位置する緑あふれる地方都市です。交通の便にも恵まれ、県央地区の中核として発展してきました。しかしながら、医療過疎地でもあり、神川県西部地域全体で1000床に迫る数のベッドが不足していると言われております。
当院は「患者様を断らない」をモットーに、1次～3次救急まで24時間365日、救急・時間外診療を行っており、地域の中核病院としての役割を担っています。
現在は年間3,000 台を超える救急搬送を受け入れており、総合診療医として急性期からプライマリ・ケアまでの幅広い研修を望まれる方はぜひ当院へお越し下さい。

連絡先

臨床研修センター　齊藤
046-223-3636（代表）　kensyu@shonan-atsugi.jp

茅ヶ崎徳洲会病院

〒253-0052　神奈川県茅ヶ崎市幸町14-1
TEL　0467-58-1311　FAX　0467-58-1322
URL
http://www.chigasakitokushukai.jp/recruit/senior/



プログラム概要

<プログラム名>

サザンの茅ヶ崎～いなせな湘南ジェネラリスト計画　総合診療専門研修I（12ヶ月）

<プログラム統括責任者>

能勢　頼人（腎・泌尿器科部長/ER部長）

<プログラムの特徴>

当院は病床132床の小病院であり、近隣地域のかかりつけ医としての役目、急性増悪した場合の受け入れ病院としてのニーズが高く、周辺地域には住宅地が広がっており、高齢者だけの家庭が多く、在宅医療の介入が必要な地域です。

『地域の方々と密着した総合診療医』を基本理念とし、2025年に向けてますます高齢化していく社会に対応するべく総合的な臨床能力を含め、周辺地域で問題になっている独居の高齢者の医療を担うと共に、心理的ケアもできる総合診療医を研修の目標としております。
1年あたり（　2　）名　（×研修期間年数＝総定員　8　名）

グループ内の専門医と連携を取り、当院ではできない臓器別研修等ができます。当院では在宅支援後方診療病院かつ在宅医学会研修指定病院なので在宅医療に関しては指導医のもと研修ができます。外来も呼吸器も専門分野のベテラン医師のもと幅広く研修が可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

・内科/救急科/総合診療II 湘南藤沢徳洲会病院（12ヶ月/3ヶ月/6ヶ月）
・小児科 千葉西総合病院（3ヶ月）
・総合診療I　茅ヶ崎徳洲会病院(12ヶ月）
・地域医療 名瀬徳洲会病院・石垣島徳洲会病院（12ヶ月）

<診療実績など>

新生・茅ヶ崎徳洲会病院は、地上7階、地下1階の災害にも強い病院として建築され、平成27年5月1日に 開院いたしました。診療科は当初、内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・救急医療（ER）でスタートし、順次診療科を増やしております。もちろん、訪問看護・通所リハビリテーション・血液透析・健康診断 は従来どおり行っております。新病院は「いつでも・誰もが・安心して、この湘南エリアですこやかに暮らせるように」という茅ヶ崎徳洲会総合病院の願いを継続し、「安心・安全な医療サービスの提供」と「今まで以上に快適に過ごしていただける治療・療養環境を目指す」というコンセプトで実行しております。

メッセージ

年齢や経験等関係なく、ウエルカムです。ぜひ、一緒にやりましょう！



連絡先

医局秘書　伊藤　恵
ikyokuchigasaki@yahoo.co.jp

静岡徳洲会病院

〒421-0117　住所　静岡県静岡市駿河区下川原南11番1号
TEL　054-256-8008　　FAX　054-256-8020
URL　https://shizutoku-soushin.com

プログラム概要

<プログラム名>

静岡徳洲会病院総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山之上　弘樹

<プログラムの特徴>

急性期病棟、慢性期病棟、回復期リハビリテーション病棟をあわせもったケアミックス型の病院です。院内併設型の介護医療院、外部には介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームを持ち、さらには訪問診療、人間ドック、検診、そして地域への医療講演を多職種と連携して行う事で地域に対し予防から慢性期までのシームレスな医療を提供しています。内科系入院はすべて総合診療科とともに担当し、救急、小児科研修は24時間年中無休の救急外来診療を中心とした院内での継続的な研修とともに、近隣の医療機関と連携し集中的な研修を受けることで、様々な疾患とともに施設間での連携についても学ぶことができます。
各領域の専門家と連携しつつ急性期から慢性期までの経験を積みながら患者さんとともに歩む総合診療医の育成を行います。

<ローテーション・連携施設一覧>

連携施設
総合診療Ⅰ：瀬戸内徳洲会病院、佐久間病院
総合診療Ⅱ：静岡徳洲会病院、共愛会病院
内科：静岡徳洲会病院、共愛会病院
小児科：静岡済生会総合病院
救急科：宇治徳洲会病院、共愛会病院、静岡済生会総合病院
選択研修（外科・整形外科・泌尿器科）：静岡徳洲会病院

ローテーション順・内容は専攻医の希望に沿った研修となるように調整します。

<診療実績など>

指導医2名体制
専攻医0名。専攻医がいない分、手厚い指導が可能です。

メッセージ

患者さんの抱える様々な健康問題を扱う総合診療科では、患者さんと向き合い、しっかり話を聞いて相手の思いをくみ取ることが必要です。高齢者や末期がんの患者さんは、どこで、どんな最後を迎えたいかを考えていることが多いのです。その気持ちに寄り添うことは医療技術と同じくらい大事なことなのです。総合診療科は急性期から慢性期まで様々な場面での健康問題を扱うため幅広い経験を積む必要があります。当院は急性期から慢性期、さらには訪問診療、医療講演など、総合診療科に求められる幅広い経験を指導医の下で積むことが可能です。
患者さんや、そのご家族から「先生に診てもらえてよかった」と言ってもらえるような医師を目指して一緒に頑張りましょう。　プログラム責任者　山之上　弘樹

連絡先　dai.nishiyama@tokushukai.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

安藤　みゆき　名古屋徳洲会総合病院　循環器内科/部長

<プログラムの特徴>

臨床の力をつけるためには主体的に積極的な医療介入をしていくとこが必須です。
多くのcommon diseaseにとどまらず、白血病などの血液疾患、神経変性疾患や自己免疫疾患など多様な領域に、深く、しかしながらしっかりと限界を踏まえて、積極的に取り組んでいくことが必要です。
ひるまず、逃げず、その場その場で最善の医療を追求する中で、本当の力をつけていくことができます。

【研修期間】　３年
【募集定員】　２名
【指導医数】　２０名

<ローテーション>

基幹病院で最低６ヶ月以上はローテーション必須。
◆総合診療専門研修ⅠおよびⅡ：各６ヶ月以上／合計１８ヶ月以上
◆内科研修：１２ヶ月以上
◆小児科研修：３ヶ月以上
◆救急科研修：３ヶ月以上

<連携施設一覧>

◆宮古島徳洲会病院・名瀬徳洲会病院・豊田地域医療センター【総合診療専門研修Ⅰ】
◆豊田地域医療センター【内科研修】
◆小児科研修【宇治徳洲会病院・神戸徳洲会病院・公立陶生病院】
◆救急科研修【宇治徳洲会病院・神戸徳洲会病院】

<メッセージ> 安藤みゆき（プログラム統括責任者　循環器内科）

徳洲会病院の特徴を生かした多くの症例を経験できる点と、
学会など学問的活動を両立できる環境としております。
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します。ご応募お待ちしております！！

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院　総合診療科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

三木　健児

<プログラムの特徴>

本プログラムには、総合診療専門研修指導医が10名在籍しております。
研修プログラムにおいては指導医が皆さんの教育・指導にあたりますが、皆さんも主体的に学 ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろん のこと、プライマリ・ケアの専門家である総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の 診療にあたると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽
を欠かさず、日本の医療や総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。本研修 プログラム での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めると ともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医となります。
また、本研修プログラムでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修 Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の 5 つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。
このことにより、1. 人間中心の医療・ケア、2. 包括的統合 アプローチ、3. 連携重視のマネジメント、4. 地域志向アプローチ、5. 公益に資する職業規範、6. 診療の場の多様性という総合診療専門医に欠かせない6つのコアコンピテンシーを効果的に修得 することが可能になります。
専門研修基幹施設（以下、基幹施設）と専門研修連携施設（以下、連携施設）の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

【 専門研修期間 3年間 】
① 総合診療専門研修Ⅰ （6カ月） ・・・・ 宮古島徳洲会病院
② 総合診療専門研修Ⅱ （12カ月） ・・・・ 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
③ 必須領域別研修 ・・・・ 1）内科 （12カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
2）小児科（3カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
3）救急科（3カ月） 宇治徳洲会病院 （基幹施設）
※ 総合診療専門研修Ⅱの期間を利用して、宇治徳洲会病院にて眼科・緩和ケア内科 ・脳神経外科
人工透析内科・泌尿器科・整形外科・産婦人科・放射線科・形成外科の研修を行うことが可能です。
また、藤井病院にて内科研修を行うことが可能です。 （合計6ヶ月間まで）

<診療実績など>

1）外来患者数 ・・・・・ 外来患者数 356,940名／年
2）入院患者 ・・・・・ 15,213名／年
3）病床数 ・・・・・ 479床
4）救急件数 ・・・・・ 約9、300件／年 （ドクターカー3台 保有）
5）常勤医師 ・・・・・ 190名程度で、学閥はありません。
6）当直医 ・・・・・ 15名体制。
※同施設には介護老人保健施設や、同敷地内には特別養護老人ホームも配置されている。
★他科の専門研修基幹施設認定について
1）内科 、 2）外科 、 3）小児科 、 4）麻酔科 、 5）救急科 、6）整形外科

メッセージ

必須領域別においても、専門研修の基幹施設になっており、充実した環境で研修を行って頂けます。
症例も多く、地域医療も学べるプログラムになっておりますので、是非一度見学に来てください。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　総合診療・家庭医養成プログラム

<プログラム統括責任者>

内科　腎センター長　兼　内科主任部長　北澤　孝三

<プログラムの特徴>

野崎徳洲会病院は、“臓器別”の枠にとらわれず、患者さんの身体だけでなく、生活背景や社会状況、家族・地域環境なども含めて“人全体”を診る医療――すなわち総合診療・家庭医療を実践する医師を育てるための専門研修プログラムを提供しています。徳洲会グループのネットワークを活かし、都市から離島・へき地、救命救急、在宅医療、地域診療所など、多様な医療環境で研修できる体制が整っています。

【研修内容】

研修は、急性疾患、慢性疾患、救急、地域医療、在宅医療など幅広い医療状況を網羅する構成です。具体的には、総合診療専門研修Ⅰ・Ⅱや内科、小児科・救急科、さらに自由選択科目によるローテーションで、多様な症例と医療環境に対応できる力を養います。

また、さらに一歩進んだキャリアとして、「新・家庭医療専門医制度」による家庭医療専門研修を選択することも可能です。これは、基本となる総合診療の研修を土台に、プライマリケア、地域医療、在宅医療、継続医療、福祉・介護との連携といった視点を深め、地域住民の生活全体を支える“家庭医／プライマリケア医”としての専門性を身につけるための上位プログラムです。

【修了後の医師像】

この研修を通じて育成される医師は、地域の診療所や病院で、在宅医療・高齢者ケア・緩和ケアなどを含む包括医療を提供する「地域医療の中核」として、また病院における多疾患・高齢患者の包括的なケア、救急・外来診療など多様な現場で活躍できる医師となります。そして、新・家庭医療専門医制度を修了すれば、患者やその家族、地域住民の生活背景に寄り添い、予防医療から慢性疾患管理、在宅ケア、福祉・介護との連携までを担う“かかりつけ医／プライマリケア医”として地域に根ざした医療を提供する道が開けます。

<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	4年間（新家庭医専門研修Ⅰ・Ⅱ含む）
総合診療専門研修Ⅰ・Ⅱ	各6ヶ月以上、計18ヶ月
内科	12ヶ月
小児科・救急科+自由選択	各3ヶ月+3ヶ月

＜連携施設医療機関＞
- ■　沖縄県立宮古病院
- ■　宇治徳洲会病院
- ■　喜界徳洲会病院
- ■　与論徳洲会病院
- ■　野崎徳洲会クリニック

<診療実績など>

外来患者数	165,390名　/　年
入院患者数	5,766名　/　年
病床数	194床　（　ICU　8床　、　HCU　16床　）
救急件数	時間外受診数 13,575名 、救急車搬入 6,178件（救急車 2台保有）

2024年実績データ

メッセージ

本研修 プログラム においては指導医が皆さんの教育・指導にあたりますが、皆さんも主体的に学ぶ姿勢をもつことが大切です。総合診療専門医は医師としての倫理観や説明責任はもちろんのこと、プライマリ・ケアの専門家である総合診療医としての専門性を自覚しながら日々の診療にあたると同時に、ワークライフバランスを保ちつつも自己研鑽を欠かさず、日本の医療や総合診療領域の発展に資するべく教育や学術活動に積極的に携わることが求められます。本研修プログラム での研修後に皆さんは標準的な医療を安全に提供し、疾病の予防に努めるとともに将来の医療の発展に貢献できる総合診療専門医を目指しましょう。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

松原徳洲会病院

〒 580-0032 住所 大阪府松原市天美東7-13-26
TEL 072-334-3400 FAX 072-334-3512
URL

プログラム概要

<プログラム名>

松原徳洲会病院 総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

副院長 森田 剛史

<プログラムの特徴>

総合診療専門研修指導医：3名

プログラムは3年間の構成で、総合診療専門研修Ⅰを鹿児島県の離島である徳之島徳洲会病院で研修を行います。島民の生命と健康を守る病院として、離島ならではの幅広い問題について適切に対応できることを目標としています。
総合診療専門研修Ⅱを松原徳洲会病院で行います。外来/入院における急性期/慢性期疾患に対し、各専門領域の医師と連携し、的確なマネジメントを提供することを目標としてます。また救急科を大阪府認定救命救急センターである岸和田徳洲会病院、小児科を地域周産期母子センターを備えたNICU9床を有する宇治徳洲会病院、内科を松原徳洲会病院で研修を行います。
このプログラムで総合診療専門医として高い診断/診療能力を修得し、患者様に必要とされる総合診療専門医を目指しましょう。

<ローテーション・連携施設一覧>

総合診療専門研修Ⅰ（12カ月）：徳之島徳洲会病院【鹿児島県】
総合診療専門研修Ⅱ（6カ月）：松原徳洲会病院【大阪府】
小児科（3カ月）：宇治徳洲会病院【京都府】
救急科（3カ月）：岸和田徳洲会病院【大阪府】
内科（12カ月）：松原徳洲会病院【大阪府】

<診療実績など>

【外来数】
松原徳洲会病院(総合診療科)：2,535名
徳之島徳洲会病院(内科/総合診療科)：6,522名
宇治徳洲会病院(小児科)：7,852名
岸和田徳洲会病院(救急科)：10,523件(救急搬送数)

メッセージ

シンの総合診療専門医を目指したいあなた！！是非このプログラムで一緒に考え、答えを導き出しませんか？？ by指導医

連絡先

臨床研修センター 武島 誠
E-mail：makoto.takeshima@tokushukai.jp

QRコード

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



髙原　良典

診療科の垣根が低いのが当院の特徴です！
また、医局内には医師専用キッチンがあり、昼食等ブッフェ形式でいつでも利用できます。
ぜひ一度見に来てください。

<プログラムの特徴>

【募集定員：2名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：8施設】　【病床数：415床】

多種多様な連携施設群にて質・量ともに充実した研修を！
当プログラムでは大阪、京都、鹿児島の大学病院から離島・僻地の診療所まで、11施設で専門研修病院群を構成しています。市中病院でのCommon Diseaseから大学病院、離島や町の診療所特有の疾患を経験することで幅広い知識や技術を習得することが出来ます。
医療活動を通じて患者中心に動き、患者の痛み、悲しみ、苦しみを理解できる医師を育成し、患者の持つ問題点を身体的、精神的、社会的な背景も含めて理解し解決へ導く方法を学び実践できる研修を目指しています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
大阪大学医学部附属病院、りんくう総合医療センター、天理よろず相談所病院、和泉市立総合医療センター、宇治徳洲会病院、神戸徳洲会病院、喜界徳洲会病院、山北徳洲会病院

《 研修プログラム例 》

1年次	八尾徳洲会総合病院 又は 大阪大学医学部附属病院	八尾徳洲会総合病院	和泉市立総合医療センター
	内科	総合診療専門研修Ⅰ 及び 救急科	小児科
2年次	喜界徳洲会病院 ・ 山北徳洲会病院		
	総合診療専門研修Ⅰ		
3年次	※連携施設（4箇所より決定）	八尾徳洲会総合病院 又は 大阪大学医学部附属病院	
	総合診療専門研修Ⅱ	内科	

<診療実績など>

八尾徳洲会総合病院／入院：140,907名　外来：312,316名（2018年）

《へき地離島 紹介》
▌喜界徳洲会病院（鹿児島県大島郡喜界町湾315）
病床数89床、喜界島は奄美大島から東に25kmに位置し2017年には奄美群島国立公園の一部に指定されました
▌山北徳洲会病院（新潟県村上氏勝木1340-1）
病床数120床、新潟県の最北端に位置し、海・山・川が豊富にある町で四季折々の風景を楽しむことが出来ます

メッセージ

★充実した医療体制の中で養われる24時間365日の総合診療★
当院には急性期病院に珍しく、在宅訪問診療および訪問看護体制を行っています。
まさに救急初期診療から集中治療、プライマリケア、地域医療をすべて経験していただける体制を取っており、その先々で得られる多くの経験と指導医のサポートは医師人生を形成する大きな礎となるでしょう。
また当院は初期および後期研修を研修委員会でサポートを行っており、生活面でのサポートも心がけています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

宇和島徳洲会病院



〒798-0003　愛媛県宇和島市住吉町2-6-24
TEL　0895-22-2811　FAX　0895-22-2777
URL　http://www.uwatoku.org./

プログラム概要

<プログラム名>

宇和島徳洲会病院 総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

院長　松本　修一

<プログラムの特徴>

○都市型と地域型の長所を取り入れたプログラム

都市型の病院で総合内科・小児科・救急科をしっかり学び、地域型の施設で総合診療Ⅰ、Ⅱを研修します。総診Ⅱでは、患者さまのみならずご家族や地域の背景にも配慮し、退院後の生活の支援も含めた一連の流れを身につけます。総診Ⅰには「離島」「山間へき地」「家庭医療」「在宅医療」「緩和ケア」の5つのコースを用意しており、多彩で濃密な研修を行うことができます。

○日本の20年先をいく宇和島

宇和島市の高齢化率は40.7%、超高齢化社会を迎える日本の未来の医療を、今、宇和島で実践することができます。当院は急性期から在宅までトータルに診るケアミックス病院です。この先、避けて通ることのできない認知症疾患にも積極的に取り組み、多職種チーム医療を実践しています。当院には研修に必要な症例が多く、幅広く経験することができます。
バリエーション豊かな研修を通じ、日本全国どこでも通用する総合診療医を育てます。

○情熱を持った指導医

当院の指導医は、それぞれ専門が、肝臓内科、呼吸器内科です。総合内科内科を基本として、多様性のある指導を行っています。朝・夕のカンファレンスも充実し、何でもすぐに相談できる環境が整っています。

<ローテーション・連携施設一覧>

《総合内科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《小 児 科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《救 急 科》　・福岡徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）
《総合診療Ⅰ》　・徳之島徳洲会病院　・豊田地域医療センター　・頴田病院（麻生グループ）
・ゆうの森たんぽぽクリニック　・西予市立野村病院　・札幌南徳洲会病院
《総合診療Ⅱ》　・宇和島徳洲会病院　・湘南鎌倉総合病院　・飯塚病院（麻生グループ）

<診療実績など>

〔2023年12月〕

《総合内科》		《入院数》		《その他》	
1日平均入院数	68.6名	一般病棟	88.9名（満床133床）	訪問診療	258名／月
平均在院日数	15.7日	療養病棟	50.9名（満床54床）	救急搬送	714台／年（2022年度）
新入院数	132名	障害者病棟	44.5名（満床54床）		59.5名／月（2022年度）
延べ入院数	2,128名	回復期リハ	23.3名（満床32床）		
延べ外来数	1,202名				

メッセージ

専攻医の皆さんへ
地方都市宇和島で長年研修医の先生方に接しながら思ったことです。
「この宇和島での医療にこそ臨床医の原点がある　何とかここで臨床医を育てられないか」と考えた末に出来た総合診療専門研修プログラムです。都市型での研修を通じて高い診療能力を身につけます。地域型研修では病気だけでなく家族や地域の背景を考慮し、こころが通じ合う医療を体験しながら、総合内科よりももっと広い視野を持った総合診療医を育成します。
《・2018年度　総合診療専攻医　採用数　1名　・2020年度　総合診療専攻医　採用数　1名 》

連絡先
研修事務担当　担当：植村友子
TEL　0895-22-2811　mail:ishitai@uwatoku.org

出雲徳洲会病院

〒699-0631　島根県出雲市斐川町直江3964-1
TEL　0853-73-7000　FAX　0853-73-7077
URL　http://www.izumo-tokushukai.jp





出雲徳洲会病院公式
イメージキャラクター

プログラム概要

<プログラム名>

出雲徳洲会病院　総診プログラム

<プログラム統括責任者>

佐藤　博

<プログラムの特徴>

当プログラムの最大の特徴は、医師のQOLを重視した環境で研修が行える点です。出雲病院の”働き方改革”は、当直明けの完全オフを導入しております。当直医だけでなく、医師全員が積極的に有給休暇の取得に取り組んでいます。

徳洲会グループにおいて、中国地方で唯一の出雲病院では、都会でも僻地でもない環境で、ゆとりを持って研修プログラムを受けることができます。自然環境はもちろん、寺社仏閣好きにはたまらない環境（人間より神様の方が多い！）でもあります（笑）。徳洲会グループですので、鹿児島の離島を連携施設として持ち、“僻地”と呼ばれる医療機関で総合診療の醍醐味も満喫できます。

また、当院独自の「女性医師の子育て支援制度」にて、女性医師も安心して研修できる環境を提供しています。

【指導医数】
6名

【採用予定人数】
1名

【当直回数】1回～2回程度



<ローテーション・連携施設一覧>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修1年目	出雲徳洲会病院											
	内科											
後期研修2年目	出雲徳洲会病院			島根大学			島根大学			与論徳洲会病院		
	総診Ⅱ			小児科			救急科			総診Ⅰ		
後期研修3年目	沖永良部徳洲会病院			出雲徳洲会病院			与論徳洲会/沖永良部徳洲会			出雲徳洲会病院		
	総診Ⅰ			総診Ⅱ			総診Ⅰ			総診Ⅱ		

<診療実績など>

外来　16,840人/年、入院　2,234人/年、(2022年度)　病床数：一般病棟89床　療養病棟94床

メッセージ

専攻医を目指されている皆様にお伝えしたいことは「医師という職業はとてもやりがいがあり、とても楽しい！」ということです。私自身、出雲徳洲会で内科・総合診療医として仕事ができる素晴らしさを日々実感しております。



これは徳洲会グループの「断らない医療！全ての患者に初期トリアージや急変対応を適切に行う！」という理念が、患者さんから本当に必要とされるやりがいを感じさせてくれるのだと思っております。

もう一つ出雲徳洲会の特徴としては働き方改革を10年以上前から積極的に取り組んでいることです。医師としてのウエルネス（当直明けは完全フリー、有給全消化、離島などの応援出張など）を実感できる環境が随一と自負しております。

皆さんもウエルネスを感じられる研修を一緒にしませんか？仕事も遊びもアクティブに取り組みたい皆さんの挑戦をお待ちしております！

連絡先

医療法人徳洲会　出雲徳洲会病院
担当：総務課（企画室）　勝部
E-mail：aki-katsube@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

総合診療科/総長：貞島　博通

<プログラムの特徴>

当院は都市型高度急性期病院で育成する総合診療専門プログラムです。
年間1万台を超える救急件数を数え、救急から内科入院し、よく遭遇する疾患を主体に受け持ちますが、
中には珍しい疾患もあり多岐にわたります。豊かな臨床経験と知識をもつ内科や救急科、
集中治療室の指導医のもと、臨床的実力は豊富な症例から自然と身に付きます。
この延長上に家庭医療や在宅診療、離島へき地病院診療があると考えます。
できれば内科専門医のダブルボードを取得し、循環器や消化器内科など臓器専門医を目指して下さい。
当院プログラムでは専門医をもった総合診療医育成を主体に育成してゆきます。
先々は離島へき地病院や診療所での院長候補をも見据えており、
臨床医育成のための総合診療科プログラムと考えて下さい。

<ローテーション・連携施設一覧>

■宇和島徳洲会病院　（愛媛）
■大隅鹿屋病院　（鹿児島）
■徳之島徳洲会病院　（鹿児島）
■沖永良部徳洲会病院　（鹿児島）
※ご希望があれば積極的に連携施設を追加予定です。

メッセージ

高度急性期病院としての総合診療プログラムであり、優秀な指導医のもとで多数の症例を経験し実力ある総合臨床医を育成するプログラムです。また内科・救急科をベースに臓器専門医を持った総合診療医を目指すことも可能です。地域医療、離島僻地医療を志す総合診療医は徳洲会グループ、日本医療の継続にとって欠かせない存在と言えます。ぜひ私たちと一緒に実力ある総合診療医を目指しましょう。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥　啓次郎
TEL：092-573-6622　Mail：fukutoku.edu@gmail.com

鹿児島徳洲会病院





〒891-0122　鹿児島県鹿児島市南栄5丁目10番地51
TEL　099-268-1110　FAX　099-267-1122
URL　https://www.kagotoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

鹿児島徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

保坂　征司

<プログラムの特徴>

高度治療室（HCU）10床、急性期病棟120床、回復期リハビリテーション病棟60床、障害者病棟120床のケアミックス病院で、包括医療(トータルヘルスケア)を実践しています。また、透析センターや内視鏡センター、健康管理センター、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所を併設し、訪問診療・看護、訪問リハビリテーションなど「出ていく医療・介護」も積極的に取り組んでいます。

2021年12月に谷山地区南栄に新築移転し患者及び医師、医療スタッフにとって充実した医療環境が整っています。

連携施設は都市部の大型病院から地域において在宅医療を中心に行っている施設や、僻地・離島の病院まで、様々な病院と連携しているため、専攻医は3年間の当該プログラムを通して、全人的・全身的に患者を診る能力を身につけ、社会に貢献できるジェネラリスト（総合医）を目指すことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

○総合診療専門研修Ⅰ
豊田地域医療センター、ナカノ在宅医療クリニック、徳之島徳洲会病院、山川病院、瀬戸内徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院

○総合診療専門研修Ⅱ
大隅鹿屋病院、羽生総合病院、鹿児島徳洲会病院

○内科
湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院、千葉西徳洲会病院、大隅鹿屋病院、羽生総合病院、鹿児島徳洲会病院

○小児科
福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院、千葉西総合病院

○救急科
湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院

○選択科目(地域医療)
徳之島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、与論徳洲会病院、喜界徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院

○選択科目(外科)
鹿児島徳洲会病院

○選択科目(整形外科)
南部徳洲会病院、羽生総合病院

○選択科目(精神科)
三州病院

○選択科目(産婦人科)
名瀬徳洲会病院、たびらウイメンズクリニック
羽生総合病院

<診療実績など>

○許可病床：310床　○平均在院患者数：292．0名　○病床稼働率：96．5%
○救急実績：2329人/年　○救急入院率：61．5%

メッセージ

当院は、救急・急性期医療を根幹としながらもケアミックス病院として医療活動を実施しておりますので、入院から治療そして退院後のケアに至るまで、一人の患者をじっくりと診ることが出来ます。
また、連携施設に関しては様々な病院で研修をすることが出来ますので、3年間を通して幅広い症例を経験できます。
ご興味のある方は、ぜひ病院見学にお越し下さい。

連絡先

鹿児島徳洲会病院　総合診療専門研修プログラム管理委員会
（プログラム統括責任者）保坂　征司
（事務局）染川　真範
TEL：099-268-1110　E-mail：kensyu@kagotoku.jp

大隅鹿屋病院

〒893-0015　鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL　0994-40-1111　FAX　0994-41-8355
URL　http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

田村　幸大

<プログラムの特徴>

本研修プログラムでは大隅鹿屋病院総合診療科を基幹施設とし、地域の連携施設とともに施設群を構成しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。ローテート研修にあたっては下記の構成となります。
（1）総合診療専門研修は診療所・中小病院における総合診療専門研修Ⅰと病院総合診療部門における総合診療専門研修Ⅱで構成されます。当プログラムでは大隅鹿屋病院において総合診療専門研修Ⅱを12ヶ月、徳之島徳洲会病院にて総合診療専門研修Ⅰを3ヶ月、山川病院で3ヶ月、合計で18ヶ月の研修を行います。
（総合診療Ⅰで3ヶ月間の研修を行う徳之島徳洲会病院は、島内に小児診療施設がないため、多くの小児診療を経験できます。また、毎週水曜日の外来時は小児科外来専従となるため、質・量ともに十分な研修行います。）
（2）必須領域別研修として大隅鹿屋病院　内科6ヶ月、救急科3ヶ月、鹿屋医療センター　小児科3ヶ月の研修を行います。
（3）その他の領域別研修として、研修目標到達の必要な範囲で、合計6ヶ月の範囲で専攻医の意向を踏まえて必須科領域研修及び、選択科研修が出来ます。
施設群における研修の順序、期間等については、専攻医を中心に考え、個々の総合診療専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、本研修プログラム管理委員会が決定します。

<ローテーション・連携施設一覧>

1年目 大隅鹿屋病院　領域別（内科）領域別（救急科）　　山川病院（総合診療専門研修Ⅰ）
2年目 鹿屋医療センター 大隅鹿屋病院もしくは、 徳田脳神経外科病院 徳之島徳洲会病院
　　領域別（小児科）連携・領域別病院（選択）　＊研修目標に必要な範囲　　総合診療専門研修Ⅰ
3年目 大隅鹿屋病院 大隅鹿屋病院　領域別（内科）総合診療専門研修Ⅱ

メッセージ

・多くの急性期病院では慢性期になると療養型病院への転院、開業医への逆紹介が行われ長期的フォローアップがしにくい環境となっています。しかし、治療の場が入院から外来へ急激にシフトしてきている現在においては、外来診療でなければ診ることが出来ない疾患も多数あります（糖尿病、高血圧、慢性腎臓病、甲状腺疾患など）。そのような疾患の診療経験を確実に積んでいくことが可能です。
・大隅半島は急性期病院が限られているため外来や救急で診た診断がついていない患者、経過が気になる患者が“他の病院を受診してしまってフォロー出来ない”ということがほとんどありません。そのため、自分自身の診療に関するフィードバックが可能です。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail　kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

名瀬徳洲会病院



〒894-0061　住所　鹿児島県奄美市名瀬朝日町28-1
TEL　0997-54-2222　　FAX　099-55-1600
URL　https://www.nazetokushukai.jp/recruit/resident_senior.php

プログラム概要

<プログラム名>

Amami総合診療“手あて”プログラム

<プログラム統括責任者>

平島　修　　奄美ブロック総合診療研修センター長

<プログラムの特徴>

奄美大島およびその近隣の島々には徳洲会病院が点在しています。グループ間の特性を生かし、複数の病院・診療所をローテートすることで、地域での必要とされる医療を学びます。
〈Amami総合診療“手あて”プログラムの3つの魅力〉
①医療機器の整う総合病院の外来、検査ができない診療所での外来を同時に学べる。
②病棟、救急外来、訪問診療も同時に学べる。
③Commonな疾患から、病歴が左右する風土病まで豊富な症例。
さらに、内視鏡や手術介助など、あなたのニーズに合わせた内容作りが可能です！

<ローテーション・連携施設一覧>

プログラム連携について
名瀬徳洲会病院は総合診療Ⅰ基幹プログラム（外来診療に重点を置く）です。
総合診療Ⅱおよび専門研修では以下の病院と連携しております。
岸和田徳洲会病院（内科・小児科・救急科）、中部徳洲会病院（総診Ⅱ）、大阪大学医学部附属病院（総診Ⅱ・内科・救急科）、川崎市立多摩病院（総診Ⅱ・内科・小児科・救急科）、利根中央病院（総診Ⅱ）、奄美中央病院（総診Ⅱ）、大島郡医師会病院（総診Ⅱ）、鹿児島県立大島病院（内科・救急科・小児科）。
また、奄美群島近隣の施設で地域医療研修を行います。
笠利病院、瀬戸内徳洲会病院、喜界徳洲会病院

<診療実績など>

1．どのような医療環境？
270床の名瀬徳洲会病院では年間30～40名の初期研修医が、徳洲会グループ、大学病院（関西医科大学病院、大阪大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、奈良県立医科大学附属病院）、市中病院（上尾中央総合病院、呉共済病院、川崎幸病院、伊勢原協同病院）から初期研修医2年次の先生方が地域研修として活躍しています。救急外来、一般外来、急性期入院、療養入院、リハビリ入院、訪問診療、看取り、全ての医療を一貫して患者様に提供しつつ、医療の全てを学べる環境は都会にはなかなかありません。専攻医の先生方は、実践をこなしつつ、初期研修医指導も行います。

メッセージ

奄美大島では「身体診察」、特にベッドサイドを中心とした医療の実現を目指しています。カンファレンス重視型の都会の研修病院とは違う、ベッドサイド重視型の研修を行っています。
「フィジカル（身体診察）が専門です。」と言える総合診療医を目指してみませんか？

連絡先

総務課　田畑　龍太（タバタ　リュウタ）
電話　0997-57-0720（人事対策室　直通）
E-mail　ryuta.t@nazetokushukai.jp
URL https://www.nazetokushukai.jp/

徳之島徳洲会病院



〒891-7101　鹿児島県大島郡徳之島町亀津7588
TEL　0997-83-1100　FAX　0997-83-3656
URL　https://www.tokunoshima-tokushukai.com/

プログラム概要

<プログラム名>

長寿・子宝の島　徳之島総合診療プログラム

<プログラム統括責任者>

田代篤史

<プログラムの特徴>

　徳之島は、100歳以上の高齢者の割合と合計特殊出生率が全国トップレベルで「長寿・子宝の島」として有名です。その徳之島において、当院は出産数年間約170件で、島内唯一の周産期施設であり、また登録者約200名の在宅患者を抱え、24時間365日在宅でのお看取りにも対応しています。さらに徳洲会の理念「断らない救急」のもと、年間救急搬送1000台を超える救急医療とそれに続く急性期医療、年間約40件に及ぶ島外ヘリ搬送にも対応し、徳之島における医療の最前線かつ最終拠点を担っています。周産期から100歳を超える超高齢者までを対象とした医療を担う病院。いのちの始まりから終わりまでの場面に立ち合い、関わり続けること。ここではそんな医療の現場に触れることができます。
また、都会に比べれば人手も設備も不足している徳之島。足りないもの、できないことを挙げればきりがありません。けれども、あるものに目を向けると、そこには島ならではの豊かさがあります。徳之島の医療・福祉を考えるうえで、地域の人々のつながりの強さは一番大きな強みとなります。患者さんが生活する場で、その地域性や文化を尊重した上で、医療者として何ができるか考えること。それが地域医療の醍醐味であり、総合診療医として、どのような環境下でも活躍できる医師を育成し、新生児から高齢者者まで診療できる能力を身につけることを目標とします。
【専門医・指導医数】
総合診療専門研修指導医1名
　産婦人科専門医3名　循環器内科専門医1名　総合内科専門医1名
　　※総合診療専門研修指導医には各専門医が含まれています。
【病床数・患者数】
一般病床119床　結核病床1床　療養病床79床
月延べ全外来患者数　7,630人　月延べ全入院患者数　4,749人

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><th></th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一年目</td><td colspan="6">徳之島徳洲会病院</td><td colspan="6">大阪大学付属病院</td></tr>
<tr><td colspan="6">総診Ⅰ</td><td colspan="6">総診Ⅱ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">二年目</td><td colspan="12">福岡徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="12">内科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三年目</td><td colspan="4">札幌東徳洲会病院</td><td colspan="4">宇治徳洲会病院</td><td colspan="4">徳之島徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="4">救急</td><td colspan="4">小児科</td><td colspan="4">総診Ⅰ</td></tr>
</table>

<診療実績など>

　総合内科は、感染症をはじめとする多岐にわたる疾患に対して各科の非常勤医師と連携を取り、治療にあたっています。専門的知識が必要な臓器移植後の患者様、血液透析患者様の管理も行っています。ワクチン接種や学校健診を行い、地域住民を対象とした医療講演会を開催するなど地域医療にも貢献しています。

メッセージ

初期研修終了おめでとうございます。医師としての人格形成はこれからですので、多くのことを吸収し患者様から信頼される医師に成長されることを願っています。日本の医療の未来は皆さんの働きで大きく左右されることを自覚し勉強に励んでほしいと思います。願わくば20年、30年後の成長した姿を見たいものです。
院長　　新納直久

連絡先

総務課　　竹原友美
TEL：0997-83-1100（代表）
MAIL：toku-soumu@po.synapse.ne.jp

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

比嘉　信喜（ひが　のぶよし）

<プログラムの特徴>

中部徳洲会病院は沖縄県の中部地区に所在する408床の中規模病院で、長寿県の中で観光地に近く、また米軍基地に近い商業地として発展した街に所在するため、若年から老年の一般患者に混じって、他府県、外国国籍の受診者もしばしば見受けられる。「救急を断らない」をモットーに年間7,000台以上の救急車を受け入れておりそのほとんどは総合診療部で初期診療を行いその後各科専門科での入院または専門外来へ紹介となりますが、専門科での入院適応ではないが、入院治療が必要な患者すべてを引き受け入院治療を行います。病棟を持つことで救急外来から継続して入院し、退院まで一貫して主治医として治療をおこないます。そして高い病床稼働率の中、ご家庭や地域の医療・介護施設との連携を活発に展開するなかで研修を行います。多くの症例を背景に総合診療専門医を目指す医師に3年間で総合診療専門医を取得して頂くことが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

ローテーション例：**[後期研修1年目]**・総合診療専門研修Ⅱ（中部徳洲会病院/6ヶ月）・内科研修（中部徳洲会病院/6ヶ月）。
[後期研修2年目]・内科研修（中部徳洲会病院/6ヶ月）・小児科（中部徳洲会病院/3ヶ月）・救急科（中部徳洲会病院/3ヶ）。
[後期研修3年目]・総合診療専門医Ⅰ（沖永良部徳洲会病院、ファミリークリニックきたなかぐすく/合計6ヶ月）。
選択（徳之島徳洲会病院…産婦人科、静仁会静内病院…東洋医学、共愛会病院…老年医学を選択/合計6ヶ月）。

[連携施設]・**沖永良部徳洲会病院**（鹿児島県大島郡知名町）在宅医療が豊富で、総合診療専門研修指導医が常勤している。
・**ファミリークリニックきたなかぐすく**（沖縄県北中城村）内科、小児科を主な診療科とする在宅療養支援診療所で、乳児から高齢者まで、急性の健康問題（感染症やけが等）、生活習慣病、心身症、在宅医療など幅広い年齢層や症例に対応しています。
・**共愛会病院**（北海道函館市中島町） 北海道最南端・函館市にあり、病院の他に特別養護老人ホームや保育園など多くの関連施設も運営している。病院は、豊富な設備と医療体制を整備し、市内のみならず近郊都市の地域医療・救急医療の中心的役割を担っている救急指定病院です。
・ **日高徳洲会病院**（北海道日高郡新ひだか町）人口25,000人の新ひだか町にあり、更には人口80,000人の北海道南部の日高地方の中心に位置する地域中核病院です。井齋院長が日本外科学会認定専門医かつ日本東洋医学会認定専門医・指導医であることから、全科にわたる患者を診るだけでなく、強力な抗炎症作用を持ち、速効性である漢方薬を駆使した効果的かつユニークな診療を展開しています。
・ **徳之島徳洲会病院**（鹿児島県大島郡徳之島町）人口約2万6,000人の徳之島は全国トップの合計特殊出生率（1人の女性が一生の間に産む子どもの人数）を誇る子宝の島として有名。同院での分娩は例年180～200件を数え島民の生命と健康を守る離島の病院です。急性期～慢性期まで幅広い診療と、緊急に専門の処置が必要な場合には自衛隊機やドクターヘリにて本土への救急搬送も行っています。

<診療実績など>

〇沖縄県中部徳洲会病院（総合診療専門研修Ⅱ・内科・小児科・救急科）専門研修指導医7名（総合内科専門医6名・救急専門医10名・小児科専門医4名）。入院患者実数…内科5．500人/年、1日平均外来患者数…内科435人、小児科136人、救急車搬送件数7.000件
〇鹿児島県沖永良部徳洲会病院（総合診療専門研修Ⅰ）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…60 人
〇沖縄県ファミリークリニックきたなかぐすく（総合診療専門研修Ⅰ）専門研修指導医2名。のべ外来患者数…824名／月、のべ訪問診療件数…15名／月
〇鹿児島県徳之島徳洲会病院（産婦人科）専門研修指導医3名。1日平均外来患者数…226 人
〇北海道愛会病院（老年医学）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…198 人
〇北海道静仁会静内病院（東洋医学）専門研修指導医1名。1日平均外来患者数…144 人

メッセージ

見学お待ちしております！

連絡先
電話：098-932-1110　mail：h.kimura@cyutoku.or.jp
担当窓口 木村

南部徳洲会病院



〒901-0493　沖縄県島尻郡八重瀬町字外間171番地1
TEL　098-998-3221　FAX　098-998-3220
URL　https://www.nantoku.org/

プログラム概要

<プログラム名>

南部徳洲会病院総合診療専門研修プログムラム

<プログラム統括責任者>

西島　功（心臓血管外科部長/総合診療科）

<プログラムの特徴>

昭和54年に沖縄県南部地域に開設、翌年には沖縄県民間病院救急指定1号指定。
昭和60年からは洋上救急協力や自衛隊機離島救急搬送協力を始めるなど「救急を絶対に断らない病院」を合言葉に職員一丸となって取り組んでいる。また、当院屋上にはヘリポートを設置し（沖縄県ドクターヘリ、やんばるレスキューヘリ、奄美ドクターヘリ）が運用するとともに、南部地域の5消防本部(那覇、糸満、豊見城、島尻、東部)とドクターカーの協力体制を構築し、緊急で搬送された患者様を迅速にERやICUへ移動し治療する事が可能です。

プログラムの理念、全体的な研修目標
プライマリーケアとエマージェンシー・ケアを身につけた人間性豊かなジェネラル・フィジシャンを育成する。
① 総合医としての基本的診療能力
② 良好なコミニケーションと行動変容支援
③ 場に応じた問題対応、解決
④ 医療の社会性
⑤ 医療の質や病院管理
⑥ 臨床現場で教育のできる総合医の育成を目標とします。
総合診療科においては、幅広い疾患に対する初診を中心とした外来診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する病棟診療、救急科と 連携した初期救急などを提供し、 内科においては、循環器科、消化器科、呼吸器科、糖尿病科を持ち地域への専門医療を提供している。小児科においては、乳幼児健診、予防接種、幅広い外来診療、病棟診療を提供している。救急診療科においては、重度外傷への救急医療から ER 救急まで幅広い救急医療を提供している。

<ローテーション・連携施設一覧>

石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、西平医院、沖永良部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院

<診療実績など>

1日平均外来患者数　630.7名／月
1日平均入院患者数 352.2名／月
内科 ： のべ入院患者数　38,833名／月
小児科 ： のべ外来患者数　959 名／月
救急科 ： 救急による搬送等の件数　6,028件／年

メッセージ

地域で活躍する総合診療専門医が、誇りをもって診療等に従事でき、これから総合診療専門医資格の取得を目指す若手医師にとって、夢と希望を与えるプログラムとなることを目指し、 病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医の育成を目指す。

連絡先

南部徳洲会病院 総務課 研修事務担当：島袋 貴光
TEL：098-998-3221　FAX：098-998-3220
E－mail　shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　総合診療科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	松前町立病院、共愛会病院、徳之島徳洲会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	松前町立松前病院、東苗穂病院、北海道家庭医療学センター、共愛会病院、仙台徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、葉山ハートセンター	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	函館稜北病院、松前町立松前病院、札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、羽生総合病院、中部徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、静岡徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、共愛会病院、湘南厚木病院、湘南藤沢徳洲会病院、上尾中央総合病院、洛和会丸太町病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	日本医科大学付属病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜新潟県＞ 山北徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　伊与部 0254-60-5555 ikyoku01@sanpoku-hp.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	札幌徳洲会病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、茅ヶ崎徳洲会病院、葉山ハートセンター、鹿児島徳洲会病院	担当：人事課　　友野　歩 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	鹿児島徳洲会病院	担当：臨床研修事務　川口、戸ヶ崎 TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	秩父市立病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	松前町立松前病院、川崎市立多摩病院、茅ヶ崎徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、千葉徳洲会病院、羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、湘南厚木病院、東京西徳洲会病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	内科：宇和島徳洲会病院 救急：湘南藤沢徳洲会病院、榛原総合病院、松前町立松前病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	葉山ハートセンター	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	医療法人紫苑会藤井病院、名古屋徳洲会総合病院、松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、鹿児島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、静岡徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	沖縄県立宮古病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	仙台徳洲会病院、松原徳洲会病院、吹田徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、和泉市立総合医療センター	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　総合診療科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪大学医学部附属病院、星ヶ丘医療センター、生駒市立病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	八尾徳洲会総合病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜愛媛県＞ 宇和島徳洲会病院	総診Ⅱ：湘南鎌倉総合病院、藤田保健衛生大学ばんたね病院、藤田医科大学病院、福岡徳洲会病院 内科：飯塚病院	担当：植村 ishitai@uwatoku.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院（総診Ⅱ）	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	宇和島徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、千鳥橋病院、済生会福岡総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	【総合診療Ⅱ】千葉西総合病院、藤田医科大学（豊田地域医療センター）	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	福岡徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜鹿児島県＞ 山川病院	仙台徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大隅鹿屋病院	担当：事務長　桑畑　康輔 0993－35－3800
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	千葉徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大阪大学医学部附属病院、星ヶ丘医療センター、栃木医療センター、東京都立多摩総合医療センター、川崎市立多摩病院、利根中央病院、豊田地域医療センター、国保旭中央病院、千葉大学医学部附属病院、長野中央病院、湘南鎌倉総合病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 笠利病院	名瀬徳洲会病院（選択）	担当：事務長　宮本　眞吾 0997-55-2222 jimutyou@kasarihp.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院、名瀬徳洲会病院、葉山ハートセンター、野崎徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、鹿児島徳洲会病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、松原徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、大隅鹿屋病院、福岡徳洲会病院、大阪大学医学部付属病院、上尾中央総合病院、川崎市立多摩病院、八戸市民病院、中部徳洲会病院（選択・産婦人科）	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	共愛会病院、千葉西総合病院、出雲徳洲会病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、川崎市立多摩病院、鹿児島徳洲会病院	担当：総務課　新名　敬介 0997-93-3000（内線　536） niina@okitoku.net
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	仙台徳洲会病院、吹田徳洲会病院、出雲徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、南部徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	日高徳洲会病院、共愛会病院、徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、ファミリークリニックきたなかぐすく	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	鹿児島徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org
＜沖縄県＞ 石垣島徳洲会病院	関西医科大学、京都府立医科大学、上尾中央総合病院	担当：山川宜則 0980-88-0123 y.yamakawa@cyutoku.or.jp

札幌徳洲会病院



〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

松本　啓（糖尿病内科部長）

<プログラムの特徴>

「世界を意識し活躍する内科医」
総合内科医としての全人的・全身的な診療能力を身につけ地域に貢献できる人格形成と、どの様な環境下でも活躍の場を見出す医師の育成を目指しています。米国総合内科専門医の教育等により、総合的かつ専門的なエッセンスを交えたグローバルな研修です。

1) 本プログラムは，北海道札幌医療圏の急性期病院である札幌徳洲会病院を基幹施設として，北海道札幌医療圏，北海道南渡島医療圏にある連携施設または北海道日高医療圏にある特別連携施設での内科専門研修を経て超高齢化社会を迎えた我が国の医療事情を理解し，地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように研修を行うものである．研修期間は，基幹施設1年～1年3か月間＋連携・特別連携施設1年9か月～2年間の3年間である．

2) 症例をある時点で経験するということだけではなく，主担当医として入院から退院〈初診・入院～退院・通院〉まで可能な範囲で経時的に診断・治療の流れを通じて一人一人の患者の全身状態，社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し，個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とする．

3) 基幹施設である札幌徳洲会病院は，北海道札幌医療圏の急性期病院であるとともに，地域の基幹病院でもあり，common diseaseの経験はもちろん，超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき，高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できる．

4) 特徴は，専門研修（専攻医）1年目に札幌徳洲会病院プライマリ科　（総合内科）で9か月研修を行う点にある．札幌徳洲会病院プライマリ科（総合内科）は，平成20年に開設され，内科全般から各科の多岐にわたるcommon diseaseを主な対象に，診療を行っている．

<ローテーション・連携施設一覧>

共愛会病院（函館市）／札幌医科大学附属病院（札幌市）／江別市立病院（江別市）／札幌東徳洲会病院（札幌市）／千葉徳洲会病院（千葉県船橋市）／JR札幌病院（札幌市）／柏葉脳神経外科病院（札幌市）／※日高徳洲会病院（新ひだか町）

<診療実績など>

■2020年度における入院患者数（DPC病名分類によるもの）：
消化器領域：710人／循環器領域：126人／内分泌領域：3人／代謝領域：3名／腎臓領域：212人／
呼吸器領域：5人／血液領域：4人／神経領域：8人／アレルギー領域：119人／膠原病領域：20人／
感染症領域：55人／救急領域：1,115人
■2020年度における外来・新入院患者（延べ）数、救急車搬入（取扱）数：
外来患者延べ数：32,622人／年、新入院患者数：3,227名／年、救急車搬入（取扱）数：3,097件［内科症例のみ］
■2020年度における剖検体数：2体　※参考…2018年度：16体、2019年度：12体

メッセージ　■IBDセンター部長（専門研修プログラム管理委員）：折居史佳■

当院をハブ空港として、様々な病院に研修で出ることができます。本州や海外の病院への見学・研修機会もあります。自分の担う診療が北海道、日本、そして地球の上でどんな意味を持つのか。それを感じ、たくさんの出会いに恵まれてください。また、患者さんの診療は入院から退院までを継続的に担当できるようにしています。時に、患者さんと一緒に年を重ね、年単位で自分の判断や決断を省察し、話し合い、グローバルスタンダードと経験の間でバランス感覚を養ってゆく・・・そんな仲間を募集中です！

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山崎誠治

<プログラムの特徴>

当院は北海道一の救急搬送件数のため、幅広い疾患を数多く診ることができます。救急車取扱い件数は年間約9,000件、内科系救急患者への対応能力も向上します。
基幹型臨床研修指定病院かつ内科学会認定教育病院として、初期研修医や内科レジデントの教育・研修に力を入れており、新・内科専門医制度においても当院を基幹施設とし、連携施設の旭川医科大学病院・江別市立病院、帯広徳洲会病院、特別連携施設のひまわりクリニックきょうごくからなる施設群で内科専門研修を行い、救急医療から高度先進医療または地域医療にも十分貢献できる研修プログラムを作成し、専攻医の先生には内科専門医を目指して頂きます。
また当院は診療科間の垣根が低く、先生同士のコミュニケーションが取りやすい環境や、基幹病院の環境を活かして、密度の濃い充実した内科専門医研修を提供しています。
内科系診療科は内科に6つの専門内科を開設しており、総合的な診療と専門的診療の両面から診療能力を深めることができます。
また基本領域を学びながら、循環器内科・消化器内科のサブスペシャルティ領域を意識した研修も可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】旭川医科大学病院、市立旭川病院、旭川厚生病院、旭川赤十字病院、名寄市立総合病院、遠軽厚生病院、町立中標津病院、勤医協中央病院、札幌徳洲会病院、市立千歳市民病院、共愛会病院、帯広徳洲会病院
【特別連携施設】夕張市立診療所、利尻島国保中央病院
詳しくは上記URLからご確認ください。

メッセージ

私は当院で初期研修を行い、引き続き内科専攻医、サブスペシャリティで循環器内科を専門として当院に残りました。年間9000台程度の救急搬送台数があり、急性期の多くの症例を経験することができます。初期研修との違いは、救急外来ではコマンダーとして、ER全体を指揮するリーダーシップを培えることです。他科とのコンサルテーションを行いながら、患者様にベストな治療を目指すことができます。また、循環器内科では日本を代表する最新設備があり、3年目の初期から専門治療を学べます。初期研修では学びきれない内科全般知識を内科専攻医で学びつつ、専門科の研修を並行して学ぶことができると思います。札幌で最新の医療を学びたい方、是非一度見学にお越しください。
専攻医　笠井悠太郎（札幌東徳洲会病院初期研修修了）

連絡先
医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター
事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

仙台徳洲会病院



〒981-3116　宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL　022-771-5111　FAX　022-771-5100
URL　https://sendai.tokushukai.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

仙台徳洲会病院　内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

福澤　正光

<プログラムの特徴>

本プログラムは宮城県仙台医療圏の中心的な急性期病院を目指す仙台徳洲会病院を基幹病院として宮城県（東北大学病院、東北医科薬科大学病院、東北医科薬科大学若林病院）、北海道（共愛会病院、帯広徳洲会病院）、山形県（庄内余目病院、新庄徳洲会病院）、新潟県（山北徳洲会病院）および沖縄県（石垣島徳洲会病院）にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行います。

この研修を経て宮城県や隣県・および僻地離島の医療事情を理解し、救急医療はもちろん地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医を育成します。

【採用予定人数】 3名
【指導医数】6名（内科系医師数：13名）
【当直回数】4回～8回程度（ローテーションにより変動）

【給与例】
・卒後3年目　月給 約420,000円/年収 約5,800,000円
・卒後4年目　月額 約510,000円/年収 約7,100,000円
・卒後5年目　月額 約550,000円/年収 約7,700,000円

※当直手当含め、各種手当有。

<ローテーション・連携施設一覧>

東北大学病院（宮城県）、東北医科薬科大学病院（宮城県）、東北医科薬科大学 若林病院（宮城県）、
庄内余目病院（山形県）、新庄徳洲会病院（山形県）、共愛会病院（北海道）、帯広徳洲会病院（北海道）、
石垣島徳洲会病院（沖縄県）、山北徳洲会病院（新潟県）

<診療実績など>

【サブスペシャリティ領域施設認定】
・日本消化器学会専門医認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・内分泌代謝・糖尿病内科領域 研修施設（基幹施設）
・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ

メッセージ

当院は2022年4月に新築移転いたしました。地域の中核的な病院である当院だけではなく、関連施設として宮城県内では大学病院とも共同して研修をすることが可能となっております。沢山の症例を経験することと、専門的な症例も経験が出来る環境を提供致しますのでぜひ見学にお越し下さい。

連絡先
医療法人徳洲会　仙台徳洲会病院
担当：総務課　前野
E-mail:maeno@sendai.tokushukai.or.jp

千葉徳洲会病院



〒 274-8503　住所 千葉県船橋市高根台2-11-1
TEL 047-466-7111　　FAX 047-467-0379
URL https://www.chibatoku.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

古賀 敬史

<プログラムの特徴>

千葉県東葛南部医療圏の中心的な急性期病院である千葉徳洲会病院を基幹施設として、都内の大学病院及び北海道・秋田県・神奈川県・愛知県・愛媛県・沖縄県にある連携施設で構成されます。
内科専門研修を経て千葉県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた内科専門医として千葉県東葛南部地域を支える内科専門医の育成を行います。
初期臨床研修を修了した内科専攻医は、本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）に、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。
内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系Subspecialty分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力です。また、知識や技能に偏らずに、患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して様々な環境下で全人的な内科医療を実践する先導者の持つ能力です。内科の専門研修では、幅広い疾患群を順次、経験してゆくことによって、内科の基礎的診療を繰り返して学ぶとともに、疾患や病態に特異的な診療技術や患者の抱える多様な背景に配慮する経験とが加わることに特徴があります。そして、これらの経験を単に記録するのではなく、病歴要約として、科学的根拠や自己省察を含めて記載し、複数の指導医による指導を受けることによってリサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することを可能とします。

<ローテーション・連携施設一覧>

東京医科大学 （東京都）
帯広徳洲会病院 （北海道） 平鹿総合病院 （秋田県） 湘南藤沢徳洲会病院 （神奈川県）
名古屋徳洲会総合病院 （愛知県） 宇和島徳洲会病院 （愛媛県） 中部徳洲会病院 （沖縄県）

<診療実績など>

上部消化管内視鏡検査 5,514件　下部消化管内視鏡検査 2,253件　ERCP　224件
PTGBD　4件　PTCD　20件　PTAD　11件　腹部血管造影　34件　CAG　187件　PCI　337件
ペースメーカー　38件　カテーテルアブレーション　49件　その他循環器症例　69件

メッセージ

大学病院をはじめ関連病院と連携をしながら専門性を磨ける研修となります。サブスペシャリティの選択肢も広いので自分のスタイルにあった研修が可能となります

連絡先

千葉徳洲会病院　臨床研修事務担当
kensyu@chibatoku.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

内科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>

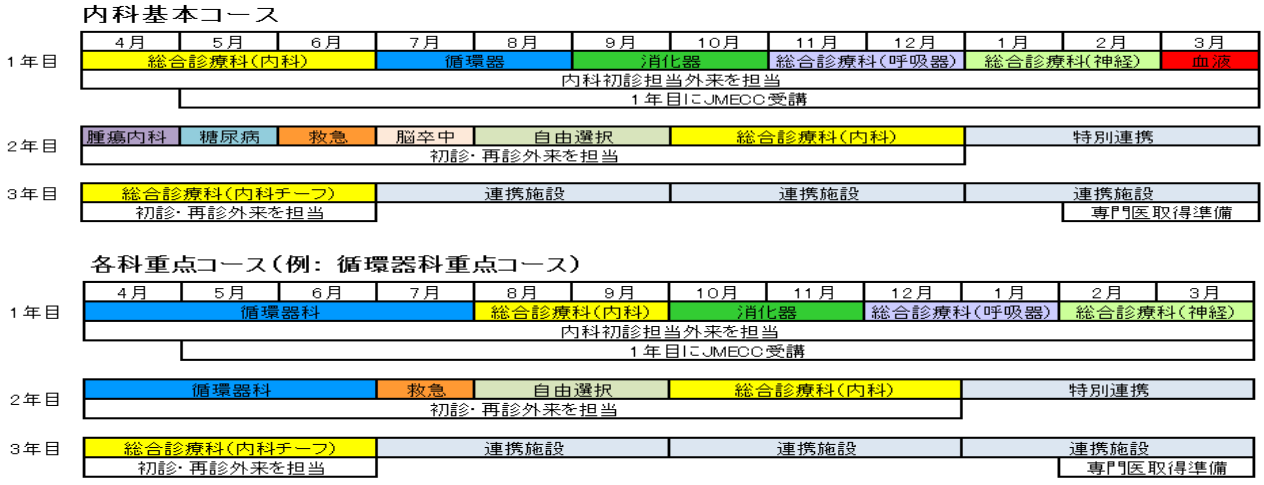
三角　和雄

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院内科専門医研修プログラムは、本院を基幹施設とし、同医療圏およびその近傍にある連携施設・特別連携施設および奄美大島群島および沖縄の離島の特別連携施設にて実施する。研修期間は基幹施設2年間+連携施設・特別連携施設１年間の3年間である。

内科専門医研修プログラムは、内科基本コースと各専門内科重点コースの2コースを有する。内科基本コースでは、総合内科の専門性を目指す場合や、将来のsubspecialtyが未定な場合に、内科の領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースである。一方、各専門内科重点コースは、将来的に専門性を高めたいと希望するsubspecialty領域を重点的に研修するコースである。具体的には基幹病院である千葉西総合病院で指導に当たることのできる、内科指導医でありかつ各内科specialty専門医の在籍する内科8領域について、循環器科重点コース、消化器科重点コース、その他、呼吸器内科、腫瘍内科、神経内科、糖尿病科、血液内科、老年医学、救命救急科に重点をおいたコースを選択できる。

<ローテーション・連携施設一覧>



<診療実績など>

【循環器内科】総PCI（冠動脈カテーテル治療）数 **3264**件　☆**14年連続「心カテーテル治療数」全国1位** ☆
【消化器内科】上部内視鏡検査：7880件/下部内視鏡検査：2918件/ERCP：385件/EUS:126件/
ESD(胃)：72件/(大腸)52件/(食道)9件/(十二指腸)31件

メッセージ

是非一度、本院の日本一のカテーテル室・雰囲気を見学にお越し下さい。
ご見学お待ちしております！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院



〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院【内科】専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

日比野 真

<プログラムの特徴>

本プログラムは、神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設として、神奈川県内の近隣医療圏や近隣県の連携施設、また長年Webカンファレンス等で連携を図ってきた関西地域および鹿児島県離島地域・山形県僻地地域の特別連携施設とで内科専門研修を行います。超高齢社会を迎えた我が国の地域医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練されます。研修期間は基幹施設2年間＋連携施設・特別連携施設を併せて3年間もしくは4年間です。

研修では、症例をある時点で経験するということだけではなく、主担当医として全人的医療を実践します。入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立案実行する能力の修得を目指します。

当院は急性期病院であるとともに、地域の病診・病病連携の中核病院です。一方で地域に根ざす第一線の病院でもあるため、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験や、高次医療施設・地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携を経験することができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

サブスペシャリティコースの充実

プログラムには、総合内科専門の他、サブスペシャリティ領域の専門医を目指す場合や、総合診療領域とのダブルボードを想定したコースがあります。

連携施設：湘南鎌倉総合病院 / 聖マリアンナ医科大学病院 / 国際医療福祉大学熱海病院 / 川崎市立多摩病院 / 宇治徳洲会病院 / 与論徳洲会病院 / 喜界徳洲会病院 / 名瀬徳洲会病院 / 新庄徳洲会病院 / 榛原総合病院 / 静岡徳洲会病院 / 羽生総合病院 / 古河総合病院 / 湘南厚木病院 / 神戸徳洲会病院 / 帯広徳州会病院 / 共愛会病院 / 南部徳洲会病院 / 札幌東徳洲会病院

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://hacoya.work/20160623b/

メッセージ

内科領域全般の診療能力とは、臓器別の内科系Subspecialty分野の専門医にも共通して求められる基礎的な診療能力を指します。知識や技能に偏らずに患者に人間性をもって接すると同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養をも修得して、さまざまな環境下で全人的な内科医療を実践する先導者が身につけるべき能力です。

当院の研修プログラムは、神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院である湘南藤沢徳洲会病院を基幹施設とします。地域での医療事情を理解し、かつ地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるように訓練し、それぞれの地域を支える内科専門医を育成します。また、さらに高度な総合内科のGenerality の獲得を目指す場合や内科領域Subspecialty専門医への道を歩む場合も想定して、複数のコースを設定します。

本プログラムは、豊富な臨床経験を持つ指導医の下で、内科領域全般にわたる研修を通じ、標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能の修得を目指します。幅広い疾患群を経験し基礎的診察を繰り返すことで、疾患や病態に特異的な診療技術と患者の抱える多様な背景への配慮を学びます。これらの経験を病歴要約として、科学的根拠や自己洞察を含めて記載し、複数の指導者による指導を受けることによって、リサーチマインドを備えつつも全人的医療を実践する能力を涵養することが可能となります。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒 247-8533　　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL 0467-46-1717　FAX 0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.ro.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院　内科専門研究プログラム

<プログラム統括責任者>

小林　修三

<プログラムの特徴>

神奈川県鎌倉・横須賀・三浦の二次医療圏にとどまらず、藤沢・横浜を含めた神奈川県南部地域での中心的な急性期病院として多くの紹介患者を受け入れています。稼働病床数は629床であり、そのうち内科は約320床を持ちます。ERへの年間救急車台数14000台からの入院の半分は内科への入院で、救急疾患もcommon diseaseも希少疾患も数多く経験でき、内科学会で優秀演題賞を受賞したり、内科学会雑誌で「今月の症例」にも採択されています。

本プログラムでは、内科基本コースと専門科重点コースの2コースを用意しています。内科基本コースでは、総合内科としての専門性を目指す場合や、将来のsubspecialtyがまだ未定の場合に内科領域を偏りなく学ぶことを目的としたコースです。また、専門科重点コースは将来的に専門性を高めたいと希望するsubsecialty領域を重点的に研修するコースで、サブスペ専門医の資格取得も可能です。

ローテーションの診療科には、ER総合診療科や集中治療室(ICU)、病理診断部の選択も可能であり、それぞれの専攻医にあった「自由度の高い」ローテーションを組むことが可能です。また連携病院での研修には、基幹病院同士の連携施設として大学病院（東大、横浜市大、北里大学、聖マリアンナ医科大学）や徳洲会系病院（札幌東、藤沢徳洲会、沖縄中部）の他に、地域での中核病院や離島僻地病院での研修があり、専門的・先進的・学術的研修から総合的・全人的医療を実践する研修まで様々です。

JMECCも院内開催をしており、将来的にJMECCインストラクター・ディレクターの資格取得も可能です。また、当直時の仮眠時間確保や当直明けの休暇など、専攻医の働き方改革も積極的に取り組んでいます。

<ローテーション・連携施設一覧>

＜ローテーション＞　2つのコースとも2年間を当院で研修、1年間を連携施設で研修となっています
1) 内科基本コース：当院での2年間の研修では、総合内科を中心に、他の専門科は2-3ヶ月の期間で万遍なくローテートします。
2) 専門科重点コース：1年半をsubspeciallty診療科で研修し、もう1年半で経験不足の診療科をローテートします。
＜連携施設＞東京大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、北里大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、都立駒込病院、国立循環器病センター、札幌東徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院、沖縄中部病院、東京西徳洲会病院、湘南厚木病院、葉山ハートセンター、宇和島徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、沖縄南部病

<診療実績など>

内科指導医数：32名　内科専攻医数:H30年度 7名、H31年度 4名　剖検症例数：H30年度 29体、H31年度21体
診療科と実績（年間）：
総合内科（ERからの年間入院数は1700-2400人）、消化器病センター（GF 9000件、GF 4600件、ESD 220件、ERCP 500件、EUS 300件）、腎臓病総合医療センター（腎生検180件、HD導入70件、PD導入 15件、腎移植30件）、循環器科（心臓カテーテル5300件、EVT360件、TAVI 80件、アブアレーション710件）、血液内科（急性白血病登録患者神奈川1位、自家末梢血幹細胞移植 12件）、呼吸器内科（気管支鏡300件）、神経内科、糖尿病内分泌科、リウマチ科、免疫・アレルギーセンター

メッセージ

英国人医師であるブランチDrによる身体診察や英語によるプレゼンテーション教育が充実しています。各内科subspecialty認定施設にも数多く登録されており、専門性を高め海外を含めた学会発表や論文執筆の指導も行っています。また当院には今後先端医療センターが設置され、隣接する湘南アイパークとの連携による基礎研究など高度医療・研究が可能となるほか、横浜市立大学との連携大学院により、当院で臨床診療を行いながらの博士号取得も可能です。2020年4月より湘南鎌倉医療大学も開校し、専攻医終了後もスタッフとして勤務し、臨床だけでなく研究や教育の活躍の場がたくさんあります。

連絡先

内科専門研修委員長　守矢英和
TEL: 0467-46-1717
メールアドレス：h_moriya@shonankamakura.or.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

青山英和　名古屋徳洲会総合病院　循環器内科/副院長

<プログラムの特徴>

愛知県尾張北部医療圏の中心的な急性期病院である名古屋徳洲会総合病院を基幹施設として、愛知県尾張北部医療圏・近隣医療圏である岐阜県東濃医療圏にある連携施設・医療過疎部の僻地・離島を特別連携施設で内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。

【研修期間】　３年
【募集定員】　３名
【指導医数】　２８７名

<ローテーション>

基幹病院で最低６ヶ月以上はローテーション必須。
内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。
なお、研修達成度によっては、Subspecialty研修も可能です。

<連携施設一覧>

中津川市民病院	名古屋市立大学病院	宇治徳洲会病院
市立恵那病院	藤田医科大学病院	岸和田徳洲会病院
土岐市立総合病院	札幌東徳洲会病院	神戸徳洲会病院
多治見市民病院	福岡徳洲会病院	松原徳洲会病院
宇和島徳洲会病院	大学徳洲会病院	中部ろうさい病院
榛原総合病院	吹田徳洲会病院	八尾徳洲会病院
和泉市立総合医療センター	千葉西総合病院	東京西徳洲会病院
名瀬徳洲会病院		

<メッセージ> 青山英和（プログラム統括責任者　循環器内科）

徳洲会病院の特徴を生かした多くの症例を経験できる点と、
学会など学問的活動を両立できる環境としております。
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します。ご応募お待ちしております！！

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

舛田　一哲（心臓血管内科）

<プログラムの特徴>

京都府山城北二次医療圏の中心的な急性期病院である宇治徳洲会病院を基幹施設として、京都府山城北二次医療圏、近隣医療圏及び沖縄県にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。
本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設 2年間＋連携・特別連携施設 1年間）のうち2年間をサブスペシャリティー重点コースとして研修することが出来、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で，内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて，標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能を修得します。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学病院、島根大学医学部附属病院、大阪医科薬科大学病院、滋賀医科大学附属病院、湘南鎌倉総合病院、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立西神戸医療センター、市立大津市民病院、静岡県立総合病院、名古屋徳洲会総合病院、泉市立総合医療センター、湘南藤沢徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、新京都南病院、総合病院京都南病院、京丹後市立弥栄病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、神戸徳洲会病院、吹田徳洲会病院、仙台徳洲会病院、大隅鹿屋病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、共愛会病院、石垣島徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、与論徳洲会病院、新庄徳洲会病院、榛原総合病院、庄内余目病院、皆野病院、札幌東徳洲会病院、古河総合病院、近江草津徳洲会病院、耳原総合病院、羽生総合病院、六地蔵総合病院、静岡徳洲会病院、青森県立中央病院、山形県立中央病院

<診療実績など>

入院症例数（2023年実数）総合内科：81　消化器：1,014　循環器：1,881　内分泌：148　代謝：133　腎臓：317　呼吸器：1,127　血液：382　神経：174　アレルギー：1　膠原病：18　感染：538　救急：618

メッセージ

当院は地域医療と密接に連携した高水準の診療を行っており、本プログラムは内科系診療科が大学病院や地域の協力病院とも連携して行います。救急件数も多いので豊富な症例を経験でき、心臓カテーテル検査・治療や内視鏡検査・治療まで踏み込んだ診療も経験することが可能です。
サブスペシャリティーとしての診療科がすでに決めておられる方は、それ中心にプログラムをある程度柔軟に組むこともできますので、できるだけ一人一人の希望に沿った研修が受けることができます。
自分で物事が判断できる自立した内科医の育成を目標とします。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

内科　腎センター長　兼　内科主任部長　北澤　孝三

<プログラムの特徴>

内科専門医の使命は、(1)高い倫理観を持ち、(2)最新の標準的医療を実践し、(3)安全な医療を心がけ、(4)プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開することです。内科専門医のかかわる場は多岐にわたるが、それぞれの場に応じて、
■地域医療における内科領域の診療医（かかりつけ医）
■内科系救急医療の専門医
■病院での総合内科（Generality）の専門医
■総合内科的視点を持ったSubspecialist
これらに合致した役割を果たし、地域住民、国民の信頼を獲得します。それぞれのキャリア形成やライフステージ、あるいは医療環境によって、求められる内科専門医像は単一でなく、その環境に応じて役割を果たすことができる、必要に応じた可塑性のある幅広い内科専門医を多く輩出することにあります。野崎徳洲会病院内科専門研修施設群での研修終了後はその成果として、内科医としてのプロフェッショナリズムの涵養とGeneralなマインドを持ち、それぞれのキャリア形成やライフステージによって、これらいずれかの形態に合致することもあれば，同時に兼ねることも可能な人材を育成します。そして、北河内医療圏（大阪府）に限定せず、超高齢社会を迎えた日本のいずれの医療機関でも不安なく内科診療にあたる実力を獲得していることを要します。また、希望者はSubspecialty領域専門医の研修や、附属研究所などでの研究を開始する準備を整えうる経験をできることも、本施設群での研修が果たすべき成果です。野崎徳洲会内科専門研修プログラム終了後には、野崎徳洲会病院内科施設群専門研修施設群（下記）だけでなく、専攻医の希望に応じた医療機関で常勤内科医師として勤務する、または野崎徳洲会病院付属研究所で研究者として働くことも可能。

<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	専門研修医療機関
基幹施設（ 2年間 ）	野崎徳洲会病院
連携施設（ 1年間 ）	右記医療機関より調整

＜連携施設医療機関＞
■　八尾徳洲会総合病院
■　新庄徳洲会病院
■　蒼生病院
■　あおぞら在宅診療所

※研修達成度によっては『Subspecialty研修』も可能

<診療実績など>【 診療科 / 入院患者実数 / 外来患者延患者数 】

消化器内科	206名	665名	呼吸器内科	535名	
循環器内科	902名	7,605名	神経内科	22名	841名
糖尿病・内分泌内科	176名	3,084名	血液内科・リウマチ科	57名	
腎臓内科	123名	19名	救急科		8,848名

2024年実績データ

メッセージ

野崎徳洲会病院は、三次医療圏並みの医療機能を備えた中核病院としての役割があります。急性期疾患の救急受け入れ、三次救急へのトリアージ機能ならびに緊急入院、緊急手術体制や後方支援など、役割は様々です。医療からの介護に至るまで切れ目のない連携機能で年中無休24時間オープンを掲げたスーパーマーケット病院です。入院患者数は、年間約6,000名のうち約45%が緊急入院にあたります。また、病床稼働率は年間平均で98%の稼働ということもあり、地域における急性期医療の需要が高いことがわかります。※心肺停止状態搬送患者数155名/年
少しでも当院に興味がありましたら是非、いつでも見学にお越しください。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

岸和田徳洲会病院



〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada-doctor.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

岸和田徳洲会病院内科施設群専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

松尾好記

<プログラムの特徴>

当プログラムは、岸和田徳洲会病院の特徴でもある数多くの救急件数により、幅広い症例を多く経験できます。common diseaseはもちろん、救急疾患から各専門分野の最先端治療に至るまで数多く経験する事が最大の特徴です。多くの疾患のスムーズな診断・治療を可能にしているのは各科連携の垣根が低い事も重要です。各専門科とのスムーズな連携の中で、質の高い医療を提供することを可能にしています。
当プログラム関連病院では全て同じ電子カルテであり、一部主要病院間では電子カルテ相互閲覧も可能で、遠隔地においても指導医からの適切なアドバイスをリアルタイムで受けることが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
連携施設16施設：札幌東徳洲会病院、札幌南徳洲会病院、八尾徳洲会病院、松原徳洲会病院、
野崎徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、吹田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、
湘南鎌倉総合病院、福岡徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、中部徳洲会病院、
宇和島徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、神戸徳洲会病院、
和歌山県立医科大学附属病院
特別連携施設13施設：高砂西部病院、名瀬徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、笠利病院、
喜界徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、
宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、日高徳洲会病院、
山北徳洲会病院

<診療実績など>

◆消化器内科◆
・取り組み：検査からESDまで内視鏡治療を幅広く行っている。
・医師数：6名（消化器病学会専門医2名うち指導医1名、消化器内視鏡学会専門医2名うち指導医1名）
・治療実績：内視鏡17,245件（上部11,293件、下部5,952件）、ESD366件（食道29件、胃178件、大腸159件）
※医師数は2024年9月現在、治療実績は2023年度実績

◆循環器内科◆
・取り組み：冠動脈疾患、下肢動脈硬化、腎動脈硬化など、幅広い循環器疾患に対応。TAVIの実績100例以上
・医師数：10名うち専攻医2名（循環器学会専門医6名、心血管インタベ治療学会専門医3名）
・治療実績：PCI394例、SHD（TAVI,Mitra Clip,Watchman）158例、EVT674例、ABL129例
※医師数は2024年9月現在、治療実績は2023年実績

メッセージ　（プログラム統括責任者：循環器内科　部長　松尾　好記）

消化器では内視鏡検査・治療(特にESD)、循環器ではカテーテル検査・治療(TAVIなど)、全国トップクラスの症例数を誇ります。圧倒的な技術をもった総合医を目指して、岸和田へ来ませんか？岸和田徳洲会でお待ちしています。

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



原田　博雅

まず、自分自身の診断学を作って下さい。
そして、総合内科専門医取得を第一の目標とします。
将来選択されるサブスペシャルティに対して総合的に役立つ診療技術をしっかりと身につけてください。

<プログラムの特徴>

【募集定員：3名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：9施設】　【病床数：415床】

大阪府中河内医療圏の中心的な急性期病院である八尾徳洲会総合病院を基幹施設として、専攻医の多様な希望・将来性に対応し、地域医療や全人的医療、慢性期医療および患者の生活に根ざした地域医療を経験できることを目的に、高次機能・専門病院である大阪市立大学医学部附属病院、三次救急医療機関である岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、地域基幹病院である松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、神戸徳洲会病院および地域医療密着型病院である千里丘協立診療所、徳之島徳洲会病院とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるよう訓練されます。
また、当プログラム病院群に在籍する専門研修指導医は56名、院内では総合内科専門医10名、消化器病専門医4名、循環器専門医1名、呼吸器専門医4名、神経内科医専門医2名、糖尿病専門医2名、内分泌代謝専門医2名、血液内科専門医1名、肝臓専門医5名、消化器内視鏡専門医4名、救急科専門医2名の手厚い指導体制です。
また、当院では初期臨床研修において研修管理委員会が初期研修医のフォローを行っており、高い満足度を得ています。当内科専門研修プログラムにおいてもこのノウハウを用いて専攻医をバックアップ致します。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
大阪市立大学医学部附属病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、神戸徳洲会病院　〈特別連携施設：千里丘協立診療所、徳之島徳洲会病院〉

《 研修プログラム例 》

1年次	八尾徳洲会総合病院（基幹施設）		
	（例）糖尿病・代謝内科	（例）消化器内科	（例）呼吸器内科
2年次	（例）大阪市立大学医学部附属病院　（※連携の８施設より決定）		徳之島徳洲会病院
	※ 希望の診療科		（特別連携施設）へき地・離島
3年次	八尾徳洲会総合病院（基幹施設）		
	（例）総合内科	（例）神経内科	（例）循環器内科

研修期間は基幹施設2年間と連携施設・特別連携施設1年間の3年間になります。

<診療実績など>

【病院群全体での年間入院症例数】
総合内科/1,023、消化器/1,334、循環器/1,892、内分泌/67、代謝/208、腎臓/672、呼吸器/1,959
血液/100、神経/345、アレルギー/100、膠原病/36、感染症/264、救急/2,301

メッセージ

★不明熱から、悪性疾患まで、症例の渦に揉まれて強くなる！！
総合内科をはじめ、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科での研修を軸として腫瘍内科や内分泌内科、神経内科などの経験が可能です。地域中核病院の役割として担当する患者はこれらの枠にとらわれること無く診療が可能であり、バックアップ体制も充実しています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

和泉市立総合医療センター



〒594-0073　大阪府和泉市和気町四丁目5番1号
TEL　0725-41-1331　FAX　0725-43-3350
URL　https://izumi.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

和泉市立総合医療センター内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

大野　恭裕

<プログラムの特徴>

当院は、平成30年4月1日に新築移転を行い、内科系診療科も5診療科だったものが、11診療科に拡大しました。地域の中核病院として責を全うすべく、日夜診療を行っております。
プログラムは当院で2年、連携病院で1年の計3年で構成されています。その後のサブスペシャリティ領域も豊富に選択肢をご用意しており、専門医取得までのプロセスを一貫してフォローしていきます。

【指導医数】23名 幅広い年齢層のドクターが在籍

【研修医数】9名

【給　　与】月例給与　1年目 420,000円/月　2年目 510,000円/月　3年目 550,000円/月
上記の他、賞与（年2回）、住宅手当、当直手当（月4～5回程度）等、各種手当あり。

<ローテーション・連携施設一覧>

岸和田徳洲会病院・府中病院・宇和島徳洲会病院・宮古島徳洲会病院・山北徳洲会病院・新庄徳洲会病院・帯広徳洲会病院・きただ内科クリニック・和歌山県立医科大学付属病院・亀田総合病院・大隅鹿屋病院・湘南鎌倉総合病院・千葉西総合病院・榛原総合病院・羽生総合病院・沖永良部徳洲会病院・庄内余目病院・名瀬徳洲会病院・神戸徳洲会病院

<診療実績など>

2022年度　内科実積
常勤医師数：53人
入院患者数：4,825人
外来延患者数：112,590人

ローテート例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期研修1年目	和泉市立総合医療センター											
	希望診療科											
後期研修2年目	離島研修			地域研修			地域研修					
	離島・へき地			外病院			外病院					
後期研修3年目	和泉市立総合医療センター											
	希望診療科											

メッセージ

和泉市立総合医療センターは地域の基幹病院として、救急医療、高度専門医療を担っています。

内科は消化器内科、肝胆膵内科、循環器内科、腫瘍内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓透析内科、リウマチ・膠原病内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科があります。それぞれの診療科で専門性の高い指導医・スタッフが揃っており、ほぼ全ての内科疾患を経験出来ます。
また、アイソトープ検査、血管造影など高度な画像診断や放射線治療を行っており、外科系診療科も充実しています。他科との相互連携が円滑で、内科医として様々な病態の診断から治療まで、全てを院内で診ることができることも当院の強みであり、医師としての見識を高めることができます。

専攻医の先生には、専門領域の理解をより深めてもらうようにリサーチマインドを持って臨床研究への参加や症例報告を積極的に指導しています。

後期研修医の皆様、私たちと一緒に当医療センターで一緒に充実した医療を実践しましょう。

連絡先

和泉市立総合医療センター
総務課　渡邊・上田　　izumi-senmon@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

副院長　呼吸器内科：久良木　隆繁

<プログラムの特徴>

本プログラムでは最初の一年間で救急医療を中心に慢性疾患、在宅への橋渡しまでの道筋を基幹施設である福岡徳洲会病院とグループ内施設であるへき地・離島病院（連携施設/特別連携施設）で研鑽を積むことによってしっかりとした基礎を身につけることができます。
２年目以降は研修の到達状況と専攻医の希望にあわせて大学病院や多くの関連施設にてより高度な医療の研鑽を積むことができます。
症例数が豊富なので専攻医によっては到達目標を早期に終了することも不可能ではありません。状況に併せてサブスペシャリティに重点をおいた研修を行うことが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
■福岡大学病院（福岡）■熊本大学病院（熊本）■独立行政法人国立病院機構　九州がんセンター（福岡）
■国立研究開発法人　国立循環器病院研究センター（大阪）■社会医療法人雪の聖母会　聖マリア病院（福岡）
■新潟県立中央病院　（新潟）

■札幌東徳洲会病院（北海道）■千葉徳洲会病院（千葉）■湘南鎌倉総合病院（神奈川）
■湘南藤沢徳洲会病院（神奈川）■名古屋徳洲会総合病院（愛知）■岸和田徳洲会病院（大阪）
■松原徳洲会病院（大阪）■神戸徳洲会病院（兵庫）■宇和島徳洲会病院（愛媛）■鹿児島徳洲会病院（鹿児島）
■大隅鹿屋病院（鹿児島）■屋久島徳洲会病院（鹿児島）■徳之島徳洲会病院（鹿児島）■中部徳洲会病院（沖縄）

【特別連携施設/特別地域連携施設】
■新庄徳洲会病院（山形）■皆野病院（埼玉）■羽生総合病院（埼玉）　■山北徳洲会病院（新潟）
■二日市徳洲会病院（福岡）　■長崎北徳洲会病院（長崎）■山川病院（鹿児島）

メッセージ

福岡徳洲会病院総合内科専門医研修プログラムは短期間で実力をつけることが可能なプログラムです。様々な疾患を経験した上で、いろいろな角度から患者を診る(見る、視る、看る)ことができる内科医を目指しています。病院の立地は福岡市から道路を一本挟んだだけの春日市にあります。内科病棟のある病院10階から、福岡の町並みや、目の前に宝満山、背振山系を一望することが可能です。20－30分で福岡の中心街へ赴くことができ、研究会の参加、新しい情報の収集には最適です。週末リラックスしたければ、二日市温泉や太宰府天満宮もすぐそこです。このプログラムの特徴は、経験すべき症例を効率よく、早く経験することができ、ほぼ義務化されつつある地域医療への貢献を早くに済ますことが可能です。地域医療の研修も太陽でいっぱいの南西諸島から、雪の世界とスキー・スノボーを堪能できる東北・北海道まで豊富な選択肢があります。地方においても都会と同じ勉強ができるよう手配し、勉強したい方には大学病院やがんセンターで勉強できる環境を用意しました。是非とも福岡徳洲会病院内科専門医研修プログラムにご応募下さい。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/髙尾
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

大隅鹿屋病院

〒893-0015 鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL 0994-40-1111 FAX 0994-41-8355
URL http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

辻 貴裕

<プログラムの特徴>

本プログラムは，鹿児島県大隅半島肝属医療圏の中心的な急性期病院である大隅鹿屋病院を基幹施設として，鹿児島県肝属医療圏・近隣医療圏にある連携施設・特別連携施設を活用し内科専門研修を経て鹿児島県の医療事情を理解し，地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され，基本的臨床能力獲得後は必要に応じた可塑性のある内科専門医として鹿児島県の大隅半島全域を支える内科専門医の育成を行います。
1) 初期臨床研修を修了した内科専攻医は，本プログラム専門研修施設群での3年間（基幹施設2年間＋連携・特別連携施設1年間）に，豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で，内科専門医制度研修カリキュラムに定められた内科領域全般にわたる研修を通じて，標準的かつ全人的な内科的医療の実践に必要な知識と技能とを修得します。

<ローテーション・連携施設一覧>

スケジュール
1年次　内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）地域研修 （山川病院・屋久島徳州会病院・鹿児島徳洲会病院・日高病院）
2年次　内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）
3年次　連携施設・サブスペ 連携施設・サブスペ 内科（基幹施設・大隅鹿屋病院）

メッセージ

・ 当院の総合内科は他の専門内科が揃っている中の総合内科ではありません。風邪から重症の呼吸不全、検尿異常から急性血液浄化を要する急性腎障害、軽症の糖尿病から糖尿病性ケトアシドーシス、さらにはCPA蘇生後、薬物中毒など、“何でも診る”を信条とした文字通りの総合内科です。大病院にありがちな他の専門内科が興味を示さない領域しか担当することが出来ず、結果としてアイデンティティーの確立に悩むということもありません。逆に他院であれば専門内科が行うことであったとしても、総合内科で出来る限り完結させたいという熱い思いを持った“攻めの総合内科”です。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

轟　純平（とどろき　じゅんぺい）

<プログラムの特徴>

本プログラムは、沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院である中部徳洲会病院を基幹施設として、千葉県東葛南部医療圏、神奈川県横須賀・三浦・湘南医療圏、静岡県西部医療圏、大阪府豊能医療圏・泉州医療圏、京都府山城北二次医療圏、福岡県筑豊医療圏、熊本県熊本医療圏、沖縄県中部・南部医療圏にある連携施設、鹿児島県保健医療圏にある特別連携施設とで内科専門研修を経て沖縄県、および琉球列島特有の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は必要に応じた内科専門医として沖縄県全域を支える内科専門医の育成を行います。

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><td></td><td>1 年</td><td>2 年</td><td>3 年</td><td colspan="2">4 年</td><td>5 年</td><td rowspan="14">筆記試験</td></tr>
<tr><td>4 月</td><td rowspan="12">初期臨床研修</td><td rowspan="12">内科専門研修</td><td rowspan="10">連携施設</td><td rowspan="12">病歴提出</td><td rowspan="12">内科専門研修</td></tr>
<tr><td>5 月</td></tr>
<tr><td>6 月</td></tr>
<tr><td>7 月</td></tr>
<tr><td>8 月</td></tr>
<tr><td>9 月</td></tr>
<tr><td>10 月</td></tr>
<tr><td>11 月</td></tr>
<tr><td>12 月</td></tr>
<tr><td>1 月</td><td rowspan="2">特別連携</td></tr>
<tr><td>2 月</td></tr>
<tr><td>3 月</td></tr>
</table>

連　携　施　設：国立循環器病研究センター、福岡大学病院、琉球大学病院、千葉徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、聖隷三方原病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、飯塚病院、福岡徳洲会病院、済生会熊本病院、南部徳洲会病院、ハートライフ病院、特別連携施設：徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院

<診療実績など>

内科外来患者 2.535名／1ヵ月平均　内科入院患者 2.120名／1ヵ月平均

2023年実績	消化器内科	循環器内科	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科	呼吸器内科	神経内科	血液内科・リウマチ内科	救急科
入院患者数（人/年）	1.542	2.357	364	240	1.742	1.215	156	8.361
外来延患者数（延人数/年）	11.783	17.935	1.439	620	2.933	1.379	1.063	31.236

メッセージ

中部徳洲会病院は，沖縄県中部医療圏の中心的な急性期病院であり，沖縄医療圏を中心に全国にある連携施設・特別連携施設とで内科専門研修を行い，地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します．主担当医として，入院から退院〈初診・入院～退院・通院〉まで経時的に，診断・治療の流れを通じて，社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります．

連絡先

中部徳洲会病院　臨床研修室　担当：木村
〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉8010番地
☎　098-932-1110（代表）　mail:　h.kimura@cyutoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、旭川医科大学病院、札幌徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、江別市立病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	札幌徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、仙台徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、湘南藤沢徳洲会病院、仙台徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院、東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	仙台徳洲会病院、湘南藤沢徳洲会病院、野崎徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、和泉市立総合医療センター、福岡徳洲会病院、山形大学医学部附属病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	仙台徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、和泉市立総合医療センター	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	東京医科大学病院、札幌徳洲会病院、中部徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	和泉市立総合医療センター	担当：人事課　　友野　歩 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	千葉西総合病院（予定）	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜茨城県＞ 古河総合病院	湘南藤沢徳洲会病院	担当：総務課　橋本純 0280-48-0283 email：j.hashimoto@kogahosp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南藤沢徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、宇治徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、札幌東徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院、聖マリアンナ医科大学病院、国際医療福祉大学熱海病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、都立駒込病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、宇治徳洲会病院、浜松医科大学	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、浜松医科大学、藤枝市立総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	耳原総合病院、青森県立中央病院、山形県立中央病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院	担当：杉井　純子 nozarinken@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	宇治徳洲会PG、八尾徳洲会PG、岸和田徳洲会PG、名古屋徳洲会PG、札幌東徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、和泉市立総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院、福岡徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、中部徳洲会病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：冨士田　学 suita-soumu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、和泉市立総合医療センター	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org
＜愛媛県＞ 宇和島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、和泉市立総合医療センター、福岡徳洲会病院、千葉徳洲会病院	担当：植村 ishitai@uwatoku.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、熊本大学、九州大学、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院、中部徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜福岡県＞ 二日市徳洲会病院	福岡徳洲会病院	担当：安田　位織 093-922-2531
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院、福岡徳洲会病院、千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、千葉徳洲会病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 山川病院	大隅鹿屋病院	担当：事務長　桑畑　康輔 0993－35－3800
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、大隅鹿屋病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、川崎市立多摩病院、大阪大学医学部附属病院、鹿児島県立大島病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 笠利病院	岸和田徳洲会病院	担当：事務長　宮本　眞吾 0997-55-2222 jimutyou@kasarihp.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、岸和田徳洲会病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　内　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	千葉西総合病院、和泉市立総合医療センター、中部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	国立研究開発法人国立循環器病研究センター、福岡大学病院、琉球大学病院、千葉徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、聖隷三方原病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、飯塚病院、福岡徳洲会病院、済生会熊本病院、南部徳洲会病院、ハートライフ病院、徳之島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、中頭病院、浦添総合病院、中部徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉西総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

緒方 賢司

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院の外科プログラムは、本院と連携施設（7施設）により専門研修施設群を構成しています。
本専門研修施設群では19名の専門医（内19名が専門研修指導医）【2023年5月1日現在】が専攻医を指導。

3年間 NCD 登録数は 9906 例です。

将来進む、診療科(サブスペシャルティ領域も含む)に応じ柔軟に診療科をローテーションしていきます。
3年間の専門研修期間中、 基幹施設または連携施設(最低6カ月)で研修を行っていきます。

・**専門研修1年目**:経験症例200 例以上 （術者30 例以上）
原則として千葉西総合病院で研修を行います。

・**専門研修2年目:**経験症例350 例以上/2 年 （術者120 例以上/2 年）
連携施設群のうちいずれかに所属し研修を行います(最低6ヶ月)。
残り期間は、原則として千葉西総合病院で研修を行います。

・**専門研修３年目**
原則として千葉西総合病院で研修を行います。不足症例に関しては、必要であれば連携施設群のいずれかをローテートします。

<ローテーション・連携施設一覧>

（例）

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次以降
基幹施設	連携施設	基幹施設	
外科専門医研修			サブスペシャリティ領域などの専門研修
連携施設	連携施設	基幹施設	サブスペシャルティ領域などの専門医研修

【連携施設】
名古屋徳洲会病院
千葉愛友会記念病院
四街道徳洲会病院
成田富里徳洲会病院
湘南鎌倉総合病院
宇治徳洲会病院
鹿児島徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術件数
【外科】医師数10名
2022年度　手術件数　**1266**件
【心臓血管外科】医師数：11名
2022年度　手術件数　**908**件

メッセージ

ダビンチXI2台体制にて心臓血管外科・消化器外科手術を積極的に行っています。
是非、ダビンチ手術等興味ある方はまず見学にいらして下さい!　お待ちしております。

連絡先
千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

羽生総合病院

〒348-8505　埼玉県羽生市下岩瀬446番地
TEL　048-562-3000　FAX　048-563-2170
URL　http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/



プログラム概要

<プログラム名>

羽生総合病院外科専攻医専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

新田　隆（心臓血管外科/統括顧問）

<プログラムの特徴>

羽生総合病院一般外科専門研修プログラムは羽生総合病院が中心となって外科の専門医を育成するプログラムである。元来湘南外科グループの一員であり、外科の症例数もある当院は、地域への貢献の面で言えば地域医療の外科診療を支える総合病院である。
2022年４月に発足し、専門研修プログラムとしての実績はまだないが、これから多くの外科専門医を輩出し、埼玉県の地域医療の充実に貢献するのが目的である。

■ローテーション表：イメージ■

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	羽生総合病院											
2年目	羽生総合病院											
3年目	羽生総合病院 名瀬徳洲会病院 新庄徳洲会病院 皆野病院			羽生総合病院 名瀬徳洲会病院 新庄徳洲会病院 皆野病院			羽生総合病院					

<ローテーション・連携施設一覧>

・羽生総合病院（基幹：埼玉県羽生市）
・皆野病院（埼玉県秩父郡皆野町）
・新庄徳洲会病院（山形県新庄市）
・名瀬徳洲会病院（鹿児島県奄美市）

<診療実績など>

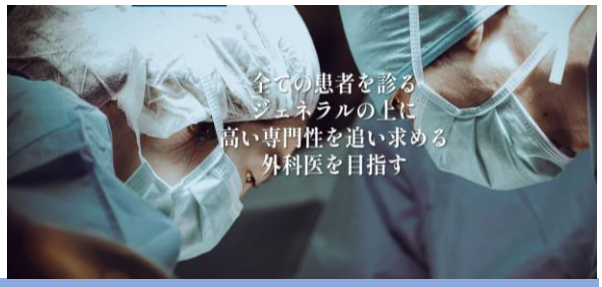
年間手術件数（令和4年実績）
・消化器　282件
・呼吸器系　18件
・甲状腺　6件
・その他　37件

メッセージ

人口に対して医師数が少ない埼玉県北部の地域医療を支える病院で地域貢献をしませんか。当院では多くの症例をこなして実力をつけることが可能です。消化器外科領域はもとより、胸部外科や乳腺甲状腺外科、さらに救急疾患まで幅広く対応しています。虫垂炎や胆石胆嚢炎といった良性疾患から進行癌まで疾患の範囲も幅広く、軽症から重症まで様々な病態が経験出来ます。手術も従来の開胸，開腹手術、胸腔鏡や腹腔鏡による鏡視下手術に加え、今後発展が期待される低侵襲ロボット手術も導入しました。
まずはご見学をお待ちしております。

連絡先
医療法人徳洲会　羽生総合病院
臨床研修事務担当　川口・戸ヶ崎
TEL:048-562-3003 FAX:048-563-2170
resident_doctor@fureaihosp.or.jp

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533　　住所　神奈川県鎌倉市岡本1370-1
TEL　0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　（病院HP）https://www.skgh.jp/
　　（専攻医特設HP）https://skgh-surgery.com/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合外科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>

外科統括部長　藤井正一

<プログラムの特徴>

◇募集定員　10名　◇研修期間　3年　◇指導医数　11人　◇専門医執刀件数　平均39.25件/月

当院を中心として徳洲会グループの連携施設での様々な領域の疾患を経験することによって、いかなる病気にも対応できる『General　surgeon』を育成し、地域医療に貢献する外科医をこれまでも輩出してきました。加えて、専門領域を極めている指導医を中心に指導することにより、専門的かつAcademicな考察ができる『Expert　surgeon』を目指すプログラムです。主たるハイボリュームセンターでの研修はもちろん、へき地離島研修、連携病院のローテーション研修を経験することで、Common　diseaseの修練、終末期医療・在宅医療などの修練、さらに心臓血管外科については湘南鎌倉心臓血管外科グループと連携するなど、各専門領域間のシームレスな研修が可能となっています。

ポイント①
　基本的な外科診療・手技＋総合診療医としての素養を身に着けた、全外科診療領域の診療可能な『General　surgeon』となる。

ポイント②
　すべての診療をレビューし、疑問点を放置せずにその解決にむけAcademicな考察ができる『考える外科専門医』になる。

ポイント③
　外科専門医をベースに、将来は高い専門性をもった『Expert　surgeon』になる。

<ローテーション・連携施設一覧>

◇ローテーションの一例

	4-6	7-9	10-12	1-3
S1	湘鎌		僻地・離島	連携施設
S2	連携施設		湘鎌（救外2カ月）	
S3	湘鎌（専門３カ月）		グループ内基幹病院	

◇グループ外連携施設（2026年予定）
　横浜市立大学附属病院

◇連携施設一覧
全19施設
（グループ外含む）

◇僻地・離島
全5施設

▲詳細な施設一覧参照

<2024年診療実績など>

消化器・肝胆膵外科（1,736件）
食道癌　9件
胃癌　59件
大腸癌　209件
鼠経ヘルニア　223件
良性疾患　462件
肝胆膵　78件（内高難度肝胆膵外科手術67件）
その他　696件

呼吸器外科（225件）
肺癌　88件
転移性肺腫瘍　16件
縦隔腫瘍　20件
気胸　38件
漏斗胸 34件
膿胸 14件
その他　15件

乳腺外科（539件）
全手術　239件
原発手術　225件
（部分切除87件、全切除125件、ラジオ波焼灼13件）
術前化学療法施行症例　27件
1次１期再建　23件
その他　25件

メッセージ

湘南鎌倉総合病院は、たくさんの経験が積めるという魅力を残しつつ、時代に合わせて専門性の磨き方も働き方も変化しています。
志しを高くもった多くの研修医の皆さんがこのプログラムに参加し、我々とともに誇りをもった『General＆Expert surgeon』を目指していくことを期待しています。我々指導医も全力で皆様の外科医としての成長をサポートしていきたいと考えております。
まずは、少しでも気になるところがあれば見学へお越しください。そしてご自身の目で、環境や雰囲気、プログラムの内容を確認し、是非現在進行中で奮闘している専攻医とお話しにきてください。外科一同、心待ちにしております！

連絡先

湘南鎌倉総合病院　外科秘書
代表　0467-79-1717
t_ichida2@shonankamakura.or.jp

名古屋徳洲会総合病院



〒487-0016　愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL　0568-51-8711　FAX　0568-51-7115
URL　https://www.derukui-dase.com/senior/about

プログラム概要

<プログラム名>

名古屋徳洲会総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

大橋壯樹　　名古屋徳洲会総合病院　心臓血管外科／総長

<プログラムの特徴>

３年間の施設群ローテートにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。基幹施設あるいは連携施設群のうちいずれかに所属し、どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

◆ 専門研修1年目：経験症例２００例以上（術者５０例以上）
◆ 専門研修２年目：経験症例４００例以上/２年（術者１２０例以上/２年）
◆ 専門研修３年目：経験症例５００例以上/３年（術者２００例以上/３年）

サブスペシャルティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科）の専門研修を希望により開始します。
また、不足症例に関して各領域をローテートします。

<連携施設一覧>

名古屋市立大学病院	帯広徳洲会病院	中京病院
名古屋共立病院	大垣徳洲会病院	仙台徳洲会病院
菰野厚生病院	吹田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院
宇治徳洲会病院	鹿児島徳洲会病院	東京西徳洲会病院
岸和田徳洲会病院	神戸徳洲会病院	千葉西総合病院
八尾徳洲会病院	出雲徳洲会病院	中部徳洲会病院
松原徳洲会病院	榛原総合病院	静岡徳洲会病院
庄内余目病院	野崎徳洲会病院	高砂西部病院

<メッセージ> 大橋壯樹（プログラム統括責任者　心臓血管外科）

内視鏡手術、ダヴィンチ手術、人工心臓手術などの先進的な治療に参加して学会での発表、論文発表も積極的に行います。New England Journal of Medicine、LANCETをはじめとする世界で最も権威ある論文から各専門分野での有名論文雑誌、日本の著名な雑誌まで2000の雑誌が院内で自由にパソコン、スマートフォンでアクセスできます。コメディカル、事務補助サポートのチーム医療で、診療以外の雑用はほとんどありません。専攻医の適切な労働条件の確保に努め、安全と健康に配慮します。将来心臓血管外科医を目指す医師にとって3年間表面的なローテーションを繰り返し一般的な基礎的外科研修を行なうプログラムでは完成した心臓外科医になるには期間がかかりすぎます。他の専門外科医も同様のことが言えます。日本専門医機構に指針にのっとったプログラムの中で、外科医個人の将来像を見据えた奥の深い充実したプログラムを作成します。

連絡先

名古屋徳洲会総合病院　総務課　臨床研修事務局
kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

久保田　良浩（副院長　/　小児外科）

<プログラムの特徴>

宇治徳洲会病院外科専門医育成プログラムの目的と使命は以下の5 点です.
1）専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
2）専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
3）上記に関する知識，技能，態度と高い倫理性を備えることにより，患者に信頼され，標準的な医療を提供でき，患者への責任を果たせる外科専門医となること
4）外科専門医の育成を通して国民の健康，福祉および地域医療や僻地医療に貢献すること
5）外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科，小児外科，心臓血管外科，呼吸器外科，乳腺，内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い，それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、名古屋徳洲会総合病院、湘南鎌倉総合病院、千葉西総合病院、東京西徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、野崎徳洲会病院、吹田徳洲会病院、近江草津徳洲会病院、鹿児島徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、仙台徳洲会病院、羽生総合病院、神戸徳洲会病院、大垣徳洲会病院、松原徳洲会病院、高砂西部病院、大隅鹿屋病院、南部徳洲会病院、中部徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、榛原総合病院、名瀬徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術数
消化器及び腹部内臓：804　乳腺：216　呼吸器：128　心臓・大血管：307　末梢血管（頭蓋内血管を除く）：76　頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚、軟部組織、顔面、唾液腺、甲状腺、上皮小体、性腺、副腎など）：142　小児外科：86　表記各分野における内視鏡手術（腹腔鏡、胸腔鏡を含む）：534
外科専攻医の経験症例とはならないNCD登録症例：0
外科領域合計：1,759

メッセージ

当院では消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科の各専門科それぞれに専門医がおり手術症例も多くアクティブに診療しています。また、救命救急センターを擁し救急搬入も多く京都府下有数の件数を誇っており緊急手術が多いのも特徴です。また、専攻医からロボット手術に携われます。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

岸和田徳洲会病院



〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada.tokushukai.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

岸和田徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

尾浦　正二

<プログラムの特徴>

特徴
★外科
①曜日別リーダー制【緊急手術や他科からの相談案件はすべて専攻医に連絡が来る。執刀数が増える。手術マネージメントから手術、術後のフォローまですべて自分で行える。】
②チーム制【2チームに分けて、毎日朝夕にチームごとにカンファレンスを行う。その日手が空いている人が病棟担当となるため、手術日に病棟業務が滞ることがない。毎日のカンファレンスにより上級医からの指導の機会が増える。】
③3年目から外来担当【良性疾患から悪性腫瘍まで他科からの相談、地域病院からの紹介を受ける。自分の執刀した患者の外来フォローも行える。】
④他科への勉強もOK【消化器内視鏡専門医や麻酔科標榜医も取得可能】
⑤学術活動も積極的【英語論文が書ける。専攻医の半分が1編以上出版済み。学会発表に積極的・資格取得も応援】
★心臓血管外科

<ローテーション・連携施設一覧>

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
連携施設15施設：名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、松原徳洲会病院
和泉市立総合医療センター、神戸徳洲会病院、高砂西部病院、湘南鎌倉総合病院
新庄徳洲会病院、なんば坂本外科クリニック、吹田徳洲会病院、大隅鹿屋病院
札幌東徳洲会病院、中部徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院

<診療実績など>

◆消化器外科◆
・医師数：18名うち専攻医11名（外科学会専門医6名うち指導医2名、消化器外科学会専門医4名うち指導医1名）
・治療実績：外科手術数1,066件（緊急手術｛穿孔・虫垂炎・胆のうなど｝231件、虫垂炎79件、胆のう炎・胆石症169件、ヘルニア169件、大腸癌151件、胃癌57件、肝胆膵｛悪性｝40件、等）
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

◆心臓血管外科◆
・医師数：6名（心臓血管外科専門医4名うち指導医2名、胸部大動脈ステントグラフト指導医4名、腹部大動脈ステントグラフト指導医5名）
・治療実績：心臓血管外科手術件数731例（心臓・胸部大血管手術491例、開心術310例、腹部大動脈96例｛EVAR49例、Y-graft47例｝、ステントグラフト99例｛EVAR49例、TEVAR50例｝）TAVI131例
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

メッセージ

2018年度より外科研修システムは大きく変わりました。大学病院中心のプログラムが多い中、一般総合外科を目指す徳洲会の外科プログラムの果たす役割はとても大きいと思っています。専門分化や基礎研究とは一線を画して、現場主義のタフな臨床医を作れるプログラムを一緒に作れるガッツのあるレジデントに来て欲しいです。お待ちしております。

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

八尾徳洲会総合病院



〒581-0011　大阪府八尾市若草町1番17号
TEL　072-993-8501　FAX　072-993-8567
URL　yao-kenshu@tokushukai.jp

プログラム概要

<プログラム名>

八尾徳洲会総合病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>



木村　拓也

いずれ進むであろうサブスペシャルティの前に、幅広くたくさんの症例を経験し、切れて考えることのできる外科医をともに目指そう！

<プログラムの特徴>

【募集定員：3名】　【研修期間：3年】　【連携施設数：5施設】　【病床数：415床】

八尾徳洲会総合病院の理念である「救える生命は救う」に応えることのできる、医師としての倫理観を基礎に、高い臨床能力及びアカデミック精神を兼ね備えた外科専門医の育成を行うことを理念とし、以下の基本的能力の習得を使命としています。
1）医師としての倫理観と社会性を備え、プロフェッショナルとして行動が出来ること
2）安全・安心に対して積極的な態度・習慣を身に付けること
3）医師として求められる基本的臨床能力（知識、技術、態度、コミュニケーション能力、情報収集力、判断力）を習得すること
4）外科領域の専門的な診療能力と基本的技術を習得すること
5）基本的，専門的能力を習得し、良質な外科医療を提供することにより、国民の健康・福祉に貢献すること
6）外科領域の学問的発展に貢献すること
7）サブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

上記使命を担える専門医を育成するために、各専攻医の要望と能力達成状況に応じた柔軟かつ最適なプログラムを選択できるようになっています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、吹田徳洲会病院、共愛会病院
【連携施設として参加しているプログラム】
大阪大学外科専門研修プログラム、大阪医科大学外科専門研修プログラム、兵庫医科大学外科専門研修プログラム、名古屋徳洲会総合病院外科専門研修プログラム、岸和田徳洲会病院外科専門研修プログラム、宇治徳洲会病院外科専門研修プログラム

<診療実績など>

【外科手術実績】 1,485件（2018年）
食道(6)、胃切除・胃全摘<腹腔鏡下>(28)、胃切除・胃全摘<開腹>(18)、腹腔鏡下胆摘<四孔式>(193)、腹腔鏡下胆摘<単孔式>(1)、膵頭十二指腸切除(18)、膵体尾部切除(6)、肝切除(45)、虫垂切除<腹腔鏡下>(82)、虫垂切除<開腹>(9)、結腸切除<腹腔鏡下>(59)、結腸切除<開腹>(16)、直腸切除・切断<腹腔鏡下>(50)、直腸切除・切断<開腹>(18)、ソケイ部ヘルニア修復<腹腔鏡>(128)、ソケイ部ヘルニア修復<鼠径部切開>(22)、肛門疾患<内痔核硬化療法等>(56)、乳房腫瘤，乳癌 (12)、呼吸器外科(109)、小児外科(138)、心臓血管外科(85)、その他 (365)

メッセージ

★豊富な症例数と万全の研修支援体制
豊富な外科手術件数に手厚い指導（スタッフ/消化器外科9名、肝臓外科4名、心臓血管外科1名、呼吸器外科1名、小児外科3名）、ならびに当プログラムだけでなく関西の大学（大阪大学、大阪医科大学、兵庫医科大学）や徳洲会グループ施設とも連携を取り、多種多様のプログラムで専門医を取得できる研修施設群を形成しています。

連絡先

八尾徳洲会総合病院
研修管理委員会事務局　大杉
✉ yao-kenshu@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

院長　外科：乗富　智明

<プログラムの特徴>

■募集定員３名
■福岡徳洲会病院だけで一般外科全領域及び心臓血管外科の症例経験が可能
■施設全体で外科専門医を取得するための十分な症例数
■虫垂切除術：189例　胆嚢摘出術：274例　ヘルニア：150例　※2024年実績、執刀機会多数
■外傷手術も経験
■学会発表、論文執筆の指導あり
■外科専門医取得後のサブスペシャリティも当院にて取得可能
■外科専門医取得後に大学院進学も可能
■大学病院とプログラム連携を組んでいるが専攻医の大学入局の義務なし

<ローテーション・連携施設一覧>

■福岡大学病院　（福岡）
■聖路加国際病院（東京）
■八尾徳洲会病院　（大阪）
■鹿児島徳洲会病院　（鹿児島）
■中部徳洲会病院　（沖縄）
■仙台徳洲会病院（宮城）
■湘南藤沢徳洲会病院（神奈川）
■長崎北徳洲会病院　（長崎）
■南部徳洲会総合病院　（沖縄）
■宮古島徳洲会病院（沖縄）

<診療実績など>

【2024年実績】
外科　総手術件数　1,628件
（一般外科内訳）
下部消化管494件　上部消化管59件　肝胆膵339件　ヘルニア：150件
胸部・呼吸器：102件　乳腺・甲状腺：21件
心臓血管外科総手術件数：302件　（開胸手術：114件）

メッセージ

高齢化社会を迎えるこれからの時代こそが的確な手術ができる外科医の希少価値が高まる時です。
福岡徳洲会病院は後輩たちへ教え、育てる気風があふれたところです。我々は外科専攻医の皆さんを真の実力ある外科医に育てていきます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/髙尾
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

大隅鹿屋病院

〒893-0015　鹿児島県鹿屋市新川町6081-1
TEL　0994-40-1111　FAX　0994-41-8355
URL　http://www.kanoyaaishinkai.com/resident/?page_id=2216

プログラム概要

<プログラム名>

大隅鹿屋病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

麓　英征

<プログラムの特徴>

大隅鹿屋病院外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の通りです。
1. 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
2.専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
3.上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
4.外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
5.外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

<ローテーション・連携施設一覧>

1年次 基幹施設（大隅鹿屋病院）
2年次 地域医療研修 連携施設（相良病院） 連携施設（福岡徳洲会病院）
3年次 連携施設（自由選択） 基幹施設（大隅鹿屋病院）
外科専門医予備試験　サブスペシャルティー領域の専門研修へ

<診療実績など>

1.プログラム全体で、年間1,000例程度の豊富な手術症例
2.外科の全領域をカバーする充実した外科修練環境
3.救急病院の特徴を生かし、緊急重症消化器系手術、心臓手術の経験も可能
4.外科専門医取得後のサブスペシャルティ修練も可能

メッセージ

大隅鹿屋病院は人口約27万人の大隅半島最大の急性期病院（391床うちICU8床）です。鹿児島市内の3次医療機関まで約2時間かかるため、1次～3次救急を受け入れ“救急患者は断らない”ことを信条としています。

連絡先

大隅鹿屋病院　臨床研修センター
mail　kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
担当　岩切

中部徳洲会病院

〒901-2393　沖縄県中頭郡北中城村字比嘉801番地
TEL　098-932-1110　FAX　098-923-1659
URL　http://www.cyutoku.or.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

中部徳洲会病院病院外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山城　聡（やましろ　さとし）

<プログラムの特徴>

沖縄県中部の北中城村に位置する急性期総合病院です。研修期間は3年間で、1次より3次までの救急患者を24時間体制で受け入れています。また、週1回のドクターヘリ搭乗の仕事も外科を中心に展開しています。
当科では基本的な手術手技だけでなく、重症患者の集中的治療、がん登録制度への参加、がんの集学的治療の習得も考慮してプログラムにすべく取り組んでいます。

<ローテーション・連携施設一覧>

	中部徳洲会病院外科専門研修プログラム				
	1年次	2年次	3年次		4年次以降
研修医A	基幹施設	連携施設	基幹施設	連携施設	サブスペシャリティー領域専門医研修へ（基幹施設）
研修医B	連携施設	基幹施設			サブスペシャリティー領域専門医研修へ（基幹施設）
研修医C	基幹施設	連携施設			専門医研修へ（連携施設）

外科専門医研修

サブスペシャリティー領域専門研修

連携施設：琉球大学病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院
沖永良部徳洲会病院、石垣島徳洲会病院

<診療実績など>

・年間外来患者：10，440人　・年間入院患者：2，761　・年間手術件数（下記参照）

消化管および腹部内臓	乳腺	呼吸器	心臓・大血管	末梢血管（頭蓋内血管を除く）	頭頸部・体表・内分泌外科（皮膚，軟部組織，顔面，唾液腺，甲状腺，上皮小体，性腺，副腎など）	小児外科	上記1～7の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡・胸腔鏡を含む）	外科領域（上記1～7）合計
612	49	56	102	133	42	8	389	1002

メッセージ

当院は県内有数の救急搬送数を誇る救急指定病院でその一翼を担う外科は大変忙しい科です。しかし通常診療の外来者数、定期の手術症例数も増加傾向にあり、専攻医が経験できる症例は数ばかりではなく、疾患数も豊富なものがあります。手術は若手へ、というのが当科の方針ですので、是非3年間もまれに来てください。

連絡先

中部徳洲会病院　臨床研修室　担当：木村
〒901-2393沖縄県中頭郡北中城村字比嘉8010番地
☎　098-932-1110（代表）　mail:　h.kimura@cyutoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　外　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、手稲渓仁会病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	羽生総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、大隅鹿屋病院、北里大学病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	旭川医科大学、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課　前野　022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 新庄徳洲会病院	羽生総合病院、湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：医局事務　小屋 ikyoku1@shin-toku.com
＜山形県＞ 庄内余目病院	名古屋徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	船橋市立医療センター、獨協医科大学さいたま医療センター	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜埼玉県＞ 皆野病院	湘南鎌倉総合病院、羽生総合病院	担当：倉林　光春、0494-62-6300 m,kurahayashi@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	千葉西総合病院、大隅鹿屋病院、湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	滋賀医科大学、宇治徳洲会病院、　名古屋徳洲会総合病院	担当：杉井　純子 nozarinken@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	近大PG、湘南外科PG、名古屋徳洲会PG、岸和田徳洲会PG、八尾徳洲会PG、宇治徳洲会PG、湘南藤沢徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	滋賀医科大学、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

＜連携施設になっている病院一覧＞　　外　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪大学医学部附属病院、大阪医科大学医学部附属病院、兵庫医科大学医学部附属病院、名古屋徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、名古屋徳洲会総合病院、湘南鎌倉総合病院、近畿大学医学部附属病院、和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	岸和田徳洲会病院、近畿大学、大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、名古屋徳洲会総合病院、大阪大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	名古屋徳洲会総合病院、宇治徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院、名古屋徳洲会総合病院	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、佐賀大学、大隅鹿屋病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	鹿児島大学、福岡徳洲会病院、千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、大隅鹿屋病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-250-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、大隅鹿屋病院、九州大学病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、中部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院、名古屋徳洲会総合病院、八尾徳洲会総合病院、福岡徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、中部徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

札幌東徳洲会病院

〒065-0033　札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL　011-722-1110　FAX　011-722-0378
URL　https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/outline.html



プログラム概要

<プログラム名>

札幌東徳洲病院救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

丸藤哲

<プログラムの特徴>

当院は地域医療を中心とした救急医療を行い、年間約9000台の救急車を受け入れる2,5次の救急病院です。
本研修プログラムでは外科系・内科系の全科のバックアップの下、単科病院では難しい複合病態や、軽症から重症までの多くの救急患者を診ることを基本とし、診断から初期対応までのER型救急を基礎とした研鑽をして頂きます。
さらに、年間約1150名の救急科入院患者を有し、複数科にまたがる患者の集中治療や入院管理をも研鑽してもらいます。当院は臨床研修指定病院でもあり、約20名の初期研修医とともに救急患者を診て、実践の医学教育を一つの重要な任務とした診療内容をdebriefingする教育システムをとっております。院外の連携施設としては大学病院・救命救急センターの三次救急施設とへき地慰労施設があり、それらの施設と協力してER型救急を基礎とした救急専門医の育成を目指しております。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設】
・北海道大学病院・札幌医科大学附属病院・旭川医科大学病院・福井大学医学部附属病院・川崎医科大学附属病院・防衛医科大学校病院・市立札幌病院・国際医療福祉大学成田病院・徳之島徳洲会病院・帯広徳洲会病院
詳しくは上記URLからご確認ください。

連絡先	医療法人徳洲会　札幌東徳洲会病院　臨床研修センター 事務担当　松山　智行　ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

東平　日出夫

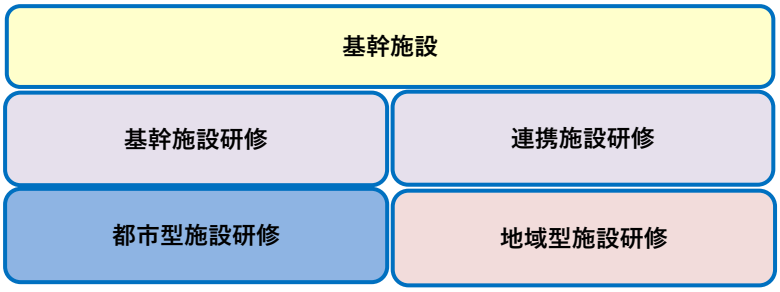
<プログラムの特徴>

本研修プログラムの目的は、「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本研修プログラムを修了した救急科専門医は、種類や重症度に応じた総合的判断に基づき診療領域を限定せずにすべての救急患者を受け入れ、必要に応じて他科専門医と連携し迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めるためのコンピテンシーを修得することができるようになります。また急病で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合、あるいは外傷や中毒など外因性疾患の場合は、初期治療から継続して根本治療や集中治療においても中心的役割を担うことが可能となります。さらに地域ベースの救急医療体制、特に救急搬送（プレホスピタル）と医療機関との連携の維持・発展、加えて災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

<ローテーション・連携施設一覧>

【研修プログラムの基本モジュール】

研修領域ごとの研修期間は、基幹施設では、救急室および救急病床での救急診療（クリティカルケア含む）１２ヶ月間、集中治療部門、病院前診療（ドクターカー、メディカルコントロール）を合わせて24か月間、小児救急研修3ヶ月間、他科専門研修6か月間、地域型研修施設での救急診療3か月間としています。



【連携施設】
- 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 成田富里徳洲会病院

<診療実績など>2022年度

1)　千葉西総合病院救急科（基幹研修施設）
(1)救急科領域の病院機能：2次救急医療機関
(2)指導者：救急科専門医２名
(3)救急車搬送件数：9643年
(4)救急外来受診者数：30085人/年
(5)研修部門：救急科、ICU、病棟

メッセージ

是非とも当院に見学にお越しください!!

連絡先
千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL　0467-46-1717　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.skgh.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院　救急科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

山上　浩

<プログラムの特徴>

1.年間救急搬送数　22,342名・救急総受診者数　67,204名（2022年度）というvolumeの中で、ER型救急診療から集中治療、病院前診療まで横断的に学べます。
2.実績のある他科ローテーションでERに必要な専門的知識・技術の習得が出来ます。
3.毎週金曜日午後の「専攻医カンファレンス」という、臨床から離れた学習時間が確保されています。

3年間の専攻医プログラム＋1年間チーフレジデントで構成されています。3年間36ヶ月においてER専属は17ヶ月とし、残り19ヶ月は3ヶ月の離島研修（喜界徳洲会病院）や総合内科、ICU（ドクターカー・ドクターヘリ含む）、小児科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻科ローテを必修、4ヶ月を自由選択（外科、専門内科、麻酔科、消化管内視鏡センター、放射線科、脳卒中診療科、耳鼻科など研修希望診療科）とします。他科ローテーション中も月4-8回はER日直/当直に入り継続的にER診療を学ぶことが出来ます。救急科専門医試験受験資格を得た4年目はER専属勤務になり、チーフレジデントとして専攻医カンファレンスの司会進行役、勤務表作成、初期研修医主導のカンファレンスのアテンディングを行うなど、スタッフになるために必要な管理業務も研修して頂きます。更に希望者は一定期間の他科ローテーションを行うことができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

1）湘南鎌倉総合病院救急総合診療科（救命救急センター）：基幹研修施設
2）山梨県立中央病院救命救急センター、3）日立総合病院救命救急センター、4）都立小児総合医療センター、5）榛原総合病院（救急、整形外科）、6）喜界徳洲会病院、7）千葉西総合病院小児科、8）京都府立医科大学附属病院、9）東京西徳洲会病院、10）湘南藤沢徳洲会病院、11）湘南厚木病院、12）静岡徳洲会病院、13）葉山ハートセンター、14）羽生総合病院、15）成田富里徳洲会病院、16）大和徳洲会病院、17）熊本赤十字病院、18）屋久島徳洲会病院、19）藤沢市民病院小児救急科、20）神奈川県立精神医療センター、21）八尾徳洲会総合病院、22）宇治徳洲会病院(2024年度から)

<診療実績など>

スタッフ11名・専攻医19名（日本救急医学会指導医2名、救急科専門医11名、女性3名）

＊認定施設：日本救急医学会専門医認定施設

メッセージ

まずはぜひ見学にいらして下さい！24時間365日いつでも見学可能です！ 当院は24時間365日、緊急度・重症度・来院方法によらず全ての救急外来受診患者を受け入れ、最善を尽くした医療を提供します。他院で搬送を断られるような複雑な背景の患者など、地域の救急患者にとって最後の砦としての役割も果たしています。たとえ満床であっても、救急搬送は全例応需し、初期診療を行い、入院が必要な患者は状況に応じて適切な医療機関を選定し転院搬送まで責任をもって対応します。当院の主軸である総合内科、一般外科が整っているため、入院担当科が決定しにくい場合も、これらの科が必ず入院を引き受ける体制が確立しています。そして重症な救急患者専用の病床（ECU）も10床完備しており、集中治療を行うことが可能となっています。

連絡先

湘南鎌倉総合病院　臨床研修管理室
TEL:0467-46-1717
FAX:0467-45-0190
E,mail:kenshu@shonankamakura.or.jp

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177　　FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院　救急研修プログラム

<プログラム統括責任者>

高力俊策

<プログラムの特徴>

■地域を支える医療機関としても貢献
湘南藤沢徳洲会病院は、地域の基盤病院の役割を担うべく、これまでの救急医療に加えて、小児科、産婦人科、周産期医療の提供を行なうと共に、ガン治療、神経難病の治療を行ない、更には遺伝子治療や再生医療などの高度先端医療をも視野に入れた高機能病院を目指します。

■他機関と連携した途切れない医療
めまぐるしく社会が変化する中で徳洲会が担うべき役割はさらに大きくなりますが、その中で私たちは、湘南鎌倉総合病院・葉山ハートセンターなどのグループ施設や地域の医療機関との緊密な連携を取りながら、最先端医療、急性期医療、予防医療など全ての分野で活動していきたいと考えています。

<ローテーション・連携施設一覧>

救急科領域研修カリキュラムに沿って、経験すべき疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技を経験するため、基幹研修施設と複数の連携研修施設での研修を組み合わせています。基幹領域専門医として救急科専門医取得後には、サブスペシャルティ領域である集中治療医学領域専門研修プログラムに進んで、救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修も可能です。

＜連携施設＞
榛原総合病院 /宇治徳洲会病院/藤沢市民病院/聖マリアンナ医科大学/湘南鎌倉総合病院 /
静岡徳洲会病院 /羽生総合病院 /新庄徳洲会病院/湘南大磯病院/山梨県立中央病院/
海老名総合病院

<診療実績など>

(1)救急科領域の病院機能：二次救急医療施設(都市型)
(2)指導者：救急科指導医 2名、救急科専門医 2 名
(3)救急車搬送件数：10,761/年
(4)救急外来受診者数：12,045人/年

メッセージ

徳洲会グループ病院の特徴を生かし多くの症例を経験することができます！
見学もいつでも歓迎（交通費支給制度あり）します！
ご応募お待ちしております！！

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院　救急科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

末吉　敦　（院長）

<プログラムの特徴>

当院は、2024年4月に高度救命救急センターに指定されました。ハイブリッド手術室を含む14室の手術室、ICU（10床）、カテーテル室（4室）、救命救急センター病棟28床（うち、熱傷2床）、脳血管センターなど、超急性期病棟が救急専用エレベーターで、ヘリポートからERまで縦に直結しており、救急を最重点にした設計になっております。
ER内には、救急患者が移動することなく、ECMOなどの透視化手技、CT検査、手術、塞栓術などの血管内治療、開胸、開腹手術が同時に施行出来きる、ハイブリッドERを設置しております。（全国で12番目の導入施設です）
離島研修では、自然豊かな宮古島、石垣島、与論島を選択できます。
また、宇治徳洲会と同規模の診療をして救命救急センター指定を受けている連携の岸和田徳洲会病院はERと集中治療の研修ができます。
更に宇治徳洲会病院はドクターカー運用をしており、現場にも出動する機会があります。
最新鋭の医療機器、ハイブリッドERなどを駆使し、夜間でも昼間と同じ診療が展開できる病院です。
病院全体が救命救急センターのコンセプトで各科の迅速な協力が得られます。
最新鋭の医療機器、ハイブリッドERなどを駆使し、昼夜問わず救急救命センターのコンセプトで各科の迅速な協力のもと診療を行う事が出来る病院です。
救急車搬入件数のうち重症患者は年間約2,000件。救急外来と集中治療、引き続いて病棟管理も担当します。
また、消化管出血患者が多いため止血が出来るように内視鏡研修は必須としています。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、兵庫医科大学病院、島根大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、済生会滋賀県病院、堺市立総合医療センター、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、名古屋徳洲会総合病院、羽生総合病院、岸和田徳洲会病院、新京都南病院、京丹後市立弥栄病院、六地蔵総合病院、生駒市立病院、八尾徳洲会総合病院、神戸徳洲会病院、中部徳洲会病院、南部徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院

<診療実績など>

救急車搬送件数　9,303件
【年間症例数】（2023.4.1～2024.3.31）
①心停止　256件、②ショック　318件、③内因性救急疾患　5,472件、④外因性救急疾患　2,828件
⑤小児および特殊救急　897件、⑥救急車（ﾄﾞｸﾀｰｶｰ、ヘリ含む）　9,303件、⑦救急入院患者　4,715件
⑧重症救急患者　2,124件

メッセージ

症例も多く充実した環境で研修を行って頂けます。
また、地域医療も学べるプログラムになっており、勤務は2交代制（日勤、準夜・深夜勤務）を採用。ON、OFFはっきりしておりとても働きやすい病院です。是非一緒に働きましょう！

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

野崎徳洲会病院

〒574-0074　大阪府大東市谷川2丁目10番50号
TEL　072-874-1641（代表）　FAX　072-875-1253
URL　https://nozakitokushukai.jp/



プログラム概要

<プログラム名>

野崎徳洲会病院　救急専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

救急センター長　千代　孝夫

<プログラムの特徴>

野崎徳洲会病院救急専門研修プログラムについて、専攻医はER型救急診療および集中治療救急診療・地域救急医療を行っている基幹施設（野崎徳洲会病院）、大阪府の地域救急医療を担っている地域型研修施設（八尾徳洲会総合病院）、及び離島の救急診療のみでなく一般外来診療、病棟診療、在宅診療などの研修およびヘリコプターによる島外搬送の研修ができる鹿児島県離島研修施設（与論徳洲会病院）、沖縄県(石垣島徳洲会病院)で研修できるプログラムです。

Subspecialty領域として予定されている集中治療領域の専門研修について、重症患者に対する診療において集中治療領域の専門研修で経験すべき症例や手技、処置の一部を修得していただき、救急科専門医取得後の集中治療領域研修で活かしていただけます。







<ローテーション・連携施設一覧>

専門研修期間	専門研修医療機関
基幹施設（ 2年3ヶ月 ）	野崎徳洲会病院
連携施設（ 6ヶ月 ）	八尾徳洲会総合病院
連携施設（ 3ヶ月 ）※離島	与論徳洲会病院、石垣島徳洲会病院

＜連携施設医療機関＞
- ■　八尾徳洲会総合病院
- ■　与論徳洲会病院
- ■　石垣島徳洲会病院

<診療実績など>

救急件数	時間外受診数 13,575名 、救急車搬入 6,178件（救急車 2台保有） 1日あたりの救急搬送件数 16.8件 心肺停止状態搬送患者数 155名
入院患者数	5,766名　/　年　（　救急入院率　45%　）
病床数	194床　（　ICU　8床　、　HCU　16床　）

2024年実績データ

メッセージ

救急外来では、軽症から重症まで救急車で来院される患者への対応、当院救急車での患者のお迎え、心肺停止などの重症患者から緊急手術への対応、そのほか様々な処置を24時間体制で行っています。
1,500症例の経験や関西医大高度救命センターで20年間、日赤和歌山高度救命センターで16年間の勤務実績を駆使して指導させていただきます。
少しでも当院に興味がありましたら是非、いつでも見学にお越しください。

連絡先

総務課　医局人事室　上羅　洋平
E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）

岸和田徳洲会病院

〒596-8522　住所：大阪府岸和田市加守町4-27-1
TEL：072-445-9915　　FAX：072-445-9791
URL：https://kishiwada.tokushukai.or.jp/





プログラム概要

＜プログラム名＞

岸和田徳洲会病院離島・地域・都市型包括的救急科研修プログラム

＜プログラム統括責任者＞

鍛冶　有登

＜プログラムの特徴＞

本プログラムは“岸和田徳洲会病院　離島・地域・都市型包括的救急研修プログラム”と称し、重症救急患者ERおよび集中治療を行っている救命救急センターである基幹施設（岸和田徳洲会病院）、ER型救急診療および集中治療救急診療を行っている都市型研修施設（福岡徳洲会病院）、大阪府の地域救急医療を担っている地域型研修施設（八尾徳洲会総合病院、野崎徳洲会病院および松原徳洲会病院）、および離島の救急診療のみでなく一般外来診療、病棟診療、在宅診療などの研修およびヘリコプターによる島外搬送の研修ができる鹿児島県離島研修施設（屋久島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、与論徳洲会病院および沖永良部徳洲会病院）で研修できるプログラムです。
また基幹施設間連携の専門研修では、外傷救急診療や臨床研究ができる近畿大学附属病院、ヘリ搬送の研修ができる和歌山県立医科大学附属病院および救急循環器疾患やECMO研修ができる宇治徳洲会病院での研修を選択できるプログラムです。
もう一つのプログラムの特徴として、徳洲会病院の全研修施設は同一の電子カルテシステム、雇用システム、給与システムであり、診療施設をローテーションする手続きが必要でなく、専攻医は専門研修期間の診療実績も容易に検索でき、さらに施設間の情報交換が統一されたITシステムでできることです。

＜ローテーション・連携施設一覧＞

・ローテーションは本人の希望を聞き、所属長・連携施設と相談の上、決定することとする。
　連携施設12施設：八尾徳洲会病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、宇治徳洲会病院、
　　福岡徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、与論徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、
　　神戸徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、近畿大学病院、和歌山県立医科大学病院

＜診療実績など＞

・医師数：6名うち専攻医1名（救急医学会専門医4名うち指導医1名）
・救急受け入れ：一次～三次救急（平成24年に三次救急医療機関に認定）
・施設：救急救命センター、ER-ICU、災害拠点病院、DMAT、ドクターヘリ受け入れ機関、ドクターカー
・実績：救急車搬送受入れ10,298件、救急外来患者数40,771人
※医師数は2024年9月時点、治療実績は2023年実績

メッセージ

ER、CCMおよび離島研修などの特長のある研修プログラムのみでなく、4Es（Emergency救急、Experience経験、Evidenceエビデンス、Explore探求）の理念に基づいた救急研修システムが日常の研修のなかで組み込まれています。毎朝の救急カンファレンスでは、数多くの救急患者の診療経験の中で貴重な症例や新しい治療法の探求結果を出し合い、これらの積み重ねが学会発表や論文となっています。
救急科専攻医の期待に応えるプログラムです。（救命救急センター長　鍛冶有登）

連絡先

人事室　医師対策係　近藤・瓜生
TEL：072-445-9915　MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

＜プログラム名＞

福岡徳洲会病院救急科専門研修プログラム

＜プログラム統括責任者＞

救急科部長：永田　寿礼

＜プログラムの特徴＞

福岡徳洲会病院は救急搬送件数が11,500件/年を超えており、救急患者数は全国有数の施設です。
自由に専攻医プログラムの作成を出来る事が当院の大きな特徴であり、36ヵ月のうち18ヶ月間は他科や他院での研修を行うことができます。

・ERでの初期診療

当プログラムを選択した方には、すべての症候に対する初期診療を行う事が出来るようにトレーニングします。その後、習熟度と自信に応じてER全体の多数傷病者マネージメントに挑戦することも可能です。

・離島での総合診療

希望に応じて奄美大島の名瀬徳洲会病院、徳之島徳洲会病院での県s入期間を決まることができます。離島では総合診療医としての力が試されます。釣りやダイビングなどのアクティビティでリフレッシュする事も可能です。

・Off the job トレーニング

週に1回のオンラインミーティングでは持ち回りで勉強会を実施しています。年に4～5会のICLSを開催しており、インストラクターになることも容易です。ER型救急医のネットワークであるEM Allianceの活動施設であり、全国の救急医と知り合うことが可能です。DMATやTMAT隊員を多く育成し、国内外の災害医療活動にも積極的に活動しています。

・救急救命センターでの集中治療管理

希望に応じて、ドクターヘリの基地病院・三次救急救命センターで集中治療管理の研修が可能です。また当院の救急科と集中治療部は、救急・集中治療センターとして定期的に人材を交流させながら一体型の運用を目指しています。

＜ローテーション・連携施設一覧＞

＜連携施設＞
■久留米大学病院　■産業医科大学病院　■広島大学病院　■鹿児島市立病院
■岸和田徳洲会病院　■宇治徳洲会病院　■名古屋徳洲会総合病院　■南部徳洲会病院

＜関連施設＞
■徳之島徳洲会病院　■名瀬徳洲会病院　■宇和島徳洲会病院
■にのさかクリニック　■クリニック・ホームドクターズ

＜診療実績など＞

救急搬入件数：11,533件　Walk-in診療患者数：12,932名
心肺停止患者受入れ数：280名　ICU入室者数：1,258名　　**（2024年実績）**

メッセージ

非常に忙しい病院ですが、救急医の勤務はシフト制でメリハリの利いた働き方をすることができます。また5年連続で異なる男性医師が育休を取得しています。非常に雰囲気が良く活気のある職場です。
いつでも見学お待ちしてます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/桐野
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　救急科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、福井大学病院、防衛医科大学校病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	八尾徳洲会総合病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜北海道＞ 帯広徳洲会病院	札幌東徳洲会病院	担当：真鍋　信子(医局秘書) ikyoku@obitoku.com
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、藤沢市民病院、山梨県立中央病院、海老名総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	京都府立医科大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、大阪医科薬科大学	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、藤枝市立総合病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	福岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学付属病院、兵庫医科大学病院、島根大学医学部附属病院、滋賀医科大学附属病院、済生会滋賀県病院、堺市立総合医療センター、岸和田徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、日本赤十字社和歌山医療センター	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	岸和田徳洲会PG、札幌東徳洲会PG、宇治徳洲会PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、近畿大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	岸和田徳洲会病院、野崎徳洲会病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜兵庫県＞ 神戸徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：赤松　信彰 078-707-1110㈹ kenshu-dr@kobetokushukai.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　救急科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課（企画室） 勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、久留米大学病院、産業医科大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	岸和田徳洲会病院	担当：臨床研修センター　梁川真範 099-250-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	鹿児島市立病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜鹿児島県＞ 屋久島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、岸和田徳洲会病院	担当：総務課・臨床研修担当　町田 yakutoku-kyujin@yakutoku.com
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 喜界徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：事務　泉　陽一 youichi.izumi@tokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	札幌東徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、八尾徳洲会総合病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	岸和田徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	岸和田徳洲会病院、野崎徳洲会病院、宇治徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	県立中部病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、沖縄県立中部病院、南部医療センター・こども医療センター、浦添総合病院、公立豊岡病院、福岡徳洲会病院	担当：総務課（研修事務） 島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

関根　一人

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院は620床を有する地域中核を担う急性期に特化した総合病院である。
各科手術症例が豊富であり、ロボット手術(心臓外科、泌尿器科、外科、婦人科)也TAVIなど高度先進医療も数多く行っている。また緊急手術症例が全体の３割程度を占めるアクティビティの高い病院である。
まず心臓血管外科を含めた数多くの麻酔を経験してもらう。挿管、CVやA-line、硬膜外麻酔や神経ブロック等の手技は症例数が多いのですぐに身につくことであろう。また当院には心臓外科以外にも産科麻酔症例や脳外科症例も数多くあるので、そういった特殊麻酔症例についても十分な学習機会が与えられている。
心外に関しては4年間で必要な件数をわずか半年もせずに経験できる。
心臓血管外科以外にも産科麻酔症例、脳外科症例も数多くある。

<ローテーション・連携施設一覧>

研修実施計画例
年間ローテーション表

	1年目	2年目	３年目	４年目
A	千葉西総合病院	千葉西総合病院	千葉西総合病院	千葉西総合病院
B	千葉西総合病院	千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター	南部徳洲会病院、東京女子医科大学を半年ずつ

<2022年度診療実績>

☆全身麻酔件数：**4144**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**427件**)
☆硬膜外麻酔または神経ブロック：**312**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**158件**)
☆脊椎麻酔：**320**件(うち専攻医1年目が1年間で行った件数：**19件**)

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

東京西徳洲会病院

〒196-0003　東京都昭島市松原町3-1-1
TEL　042-500-6626　FAX　042-500-4434
URL　http://www.tokyonishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

東京西徳洲会病院　麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

工藤　雅響

<プログラムの特徴>

関東多摩地区の急性期医療を担う病院であり、一般待機麻酔から心臓血管麻酔、重症急性腹症など幅広い症例の麻酔管理を行いながら、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる教育を提供し、臨床麻酔・学術活動ともに十分に学ぶことができるプログラムである。また、地域の麻酔診療を発展させるべく知識・技術・礼節を備えた麻酔科医を育成する。
本研修プログラムでは、本人の希望に沿い麻酔科専門医取得後のサブスペシャルティを見据えた、心臓血管外科麻酔・経食道心エコー・超音波ガイド下ブロック・ペインクリニック・疼痛緩和医療・集中治療・救急医療・小児など幅広い分野を経験することが可能である。
また、特殊な麻酔や興味のある分野の麻酔をさらに学ぶために、グループ病院の強みを生かした他施設での研修やグループ以外の連携施設での研修など、専攻医の希望と習熟度に応じて柔軟な対応が可能である。さらに、希望者には、海外施設見学も可能となっている。加えて、指導者の中には、海外資格保有者や書籍執筆者も含まれており、より深い知識の習得や最先端の医療に触れられる機会も多い。

<ローテーション・連携施設一覧>

1年目：手術麻酔に必要な基本的手技と知識の習得、ASA-PS:1-2の通常手術で安全な周術期管理を行う
2年目：1年目で取得した知識・技術の発展、ASA-PS:3，緊急手術の周術期管理を安全に行う
3年目：心臓外科・胸部外科・脳神経外科・産科・小児などの研鑽を積み、特殊症例の周術期管理を安全に行う
4年目：1-3年目で習得した技術・知識の発展、将来のサブスペシャルティを見据えた研修を行う
（連携施設）湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉徳洲会病院、葉山ハートセンター、帝京大学医学部付属溝口病院、榛原総合病院、東京都立小児総合医療センター、千葉メディカルセンター、共愛会病院

<診療実績など>

手術件数／麻酔科管理件数は、2020年度: 3,618/2,371件、2021年度: 3,647/2,528件、2022年度: 3,929/2,703件と増加しております。2024年1月に、婦人科が新設され、2月には急性期病棟数増も予定されており、益々症例は増加する見込みです。

メッセージ

アットホームな雰囲気の中、常に最新の知識・技術を求めて専攻医も指導医も皆で研鑽を積んでいます。ミニレクチャーや勉強会もあり、気楽に相談しディスカッションのできる施設です。また、指導医の指導下で手技の習得の機会も豊富です。
患者様にも外科医にもスタッフにも信頼される一流の麻酔科医を目指しています。
楽しく学びのある研修を提供いたします。是非一度見学に来てください！

連絡先

東京西徳州会病院　麻酔科医長　工藤　雅響
042-500-4433（代表）　tokyowest.anesth@gmail.com

湘南藤沢徳洲会病院





〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL 0466-35-1177 FAX 0466-35-1300
URL https://shonan-doctor.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南藤沢徳洲会病院 麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

福井 公哉

<プログラムの特徴>

神奈川県湘南地区に位置し、急性期医療に力を入れている.このエリアを中心とした各連携施設と首都圏にある大学病院との連携にて、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。

基幹施設である湘南藤沢徳洲会病院は救急医療に力を入れている総合病院である。一般的な手術症例は、偏りが少なく、心臓麻酔、産科麻酔、小児麻酔、ロボット支援下手術も経験することができる。神経ブロックなどの区域麻酔も積極的に行っている。手術室外では、経食道心エコー検査に従事しており、経験を積める。集中治療、ペインクリニック研修も配慮することが可能である。

本研修プログラムでは、地域医療に特化した連携施設での研修を特徴とし、研修終了後は、日本の地域医療の担い手として国内の希望する施設で就業が可能となる。

<ローテーション・連携施設一覧>

研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようローテーションを構築する。目標を達成できることが前提であるが、自由度の高い研修となるように配慮したい。

連携施設：東京女子医科大学病院 / 昭和大学病院 / 埼玉県立小児医療センター / 昭和大学横浜市北部病院 / 東名厚木病院 / 宇治徳洲会病院 / 湘南鎌倉総合病院 / 東京西徳州会病院 / 帝京大学医学部附属溝口病院 / 葉山ハートセンター / 榛原総合病院 / 野崎徳洲会病院 / 共愛会病院

<診療実績など>

こちらをご覧下さい。
https://fujisawatokushukai.jp/department/other/anesthesiology/recruit/

メッセージ

・手術症例は偏りが少なく、心臓麻酔、産科麻酔、小児麻酔、ロボット支援下手術を経験できる
・神経ブロックなどの区域麻酔も積極的に行っている
・手術室外では経食道心エコー検査に従事しており、経験できる
・緊急、重症症例も多く、経験を望める
・集中治療やペインクリニックの研修も可能である

基幹施設である湘南藤沢徳洲会病院は、神奈川県藤沢市に位置しています。日本で最も子育てしやすいといわれる藤沢市にあり、病院敷地内には職員専用の保育園があります。またショッピングモールやフィットネスジムが病院と隣接。東海道線 辻堂駅すぐの立地、湘南の海も満喫できるリフレッシュに最適な環境です。

連絡先

臨床研修センター
shonan-doctor@tokushukai.jp
0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

小出　康弘

<プログラムの特徴>

神奈川県湘南地域の急性期医療を支えている湘南鎌倉総合病院（責任基幹施設）、湘南藤沢徳洲会病院（基幹研修施設）、葉山ハートセンター（関連研修施設）の3つ施設を基盤に、首都圏にある大学病院との連携にて、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する．麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに記されている．
基盤の3施設は、すでに“湘南麻酔グループ”として垣根なく一体化した麻酔科運営がなされており、施設間の異動に伴う煩わしさを感じることなく、多様な手術麻酔を経験できることが特徴である。本研修プログラムでは，地域医療に特化した連携施設での研修を特徴とし，研修終了後は，神奈川県の湘南地区・三浦・横須賀の地域急性期医療の担い手として県内の希望する施設で就業が可能となる．

<ローテーション・連携施設一覧>

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	自治医科大学さいたま医療センター（集中治療）／宇治徳洲会病院（ペイン）	埼玉県立小児医療センター／湘南鎌倉総合病院
B	湘南藤沢徳洲会病院	葉山ハートセンター／湘南鎌倉総合病院	埼玉県立小児医療センター／自治医科大学さいたま医療センター（集中治療）	福岡徳洲会病院／湘南藤沢徳洲会病院

<診療実績など>

本研修プログラム全体における2015年度合計麻酔科管理症例数：9,978症例
本研修プログラム全体における総指導医数：14人

	症例数		症例数
小児（6歳未満）の麻酔	315症例	心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術含）	532症例
帝王切開術の麻酔	394症例		
脳神経外科手術の麻酔	313症例	胸部外科手術の麻酔	325症例

メッセージ

当プログラムは、豊富で多様性のある症例数を背景に基礎となる麻酔研修を3年間で完了し、残りの1年で、その周辺領域（集中治療、ペインクリニック、心臓麻酔など）の研修に当てることができ、幅広い研修を目指しています。基幹病院である湘南鎌倉病院は全国有数の低侵襲カテーテル治療の施設であり、循環管理や経食道心エコーのスペシャリストへの道があります。また、年間2000件を超える外傷整形外科の症例があり、ほぼ日常的に超音波ガイド下神経ブロックを施行しているので、その研修にも適しています。興味がある人は是非一度見学に来てください。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

竹田　智浩（麻酔科部長）

<プログラムの特徴>

専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し，地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。
研修の2年間は、専門研修基幹施設で研修を行い専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成します。
研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるようにローテートを構築します。
また、2024年4月に高度救命救急センターの指定となり、更に緊急手術を多く受入れております。
特に京都府内では一番多く心臓大血管手術管理の研修が出来る施設です。また、硬膜外ブロックをはじめとした神経ブロック症例も豊富に研修できる。

<ローテーション・連携施設一覧>

京都府立医科大学附属病院、神戸大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院、高井病院、共愛会病院、榛原総合病院、音羽病院、市立福知山市民病院、近江草津徳洲会病院

<診療実績など>

年間手術症例数（2023年度）
手術室全症例数：5,724　麻酔科管理全症例数：3,938　うち、全身麻酔症例数：3,866　小児（6歳未満）の麻酔：124　帝王切開術の麻酔：156　心臓血管手術の麻酔：231　胸部外科手術の麻酔：112　脳神経外科の麻酔：148

メッセージ

現在常勤医7名と多数の非常勤医師とともに全身麻酔の管理を中心に行っています。
新築移転後、件数もうなぎ登りで年間5,000件を超えるようになりました。手術室は全14室、現在は12室で手術を行っています。各手術室には大学病院にも劣らない麻酔器・生体モニター、3D経食道・神経ブロック用エコーが整備されており、心臓血管外科・脳神経外科・外科・小児外科から形成外科・歯科口腔外科・心臓血管内科(不整脈治療)と様々な手術を行います。
当院は救急搬入件数京都府下1位であることが示す如く、例年全体の3～4割が緊急手術となります。
手術室内には様々な職種が出入りしています。看護師・薬剤師・臨床検査技師・臨床工学士など協力し合い業務を行っています。
手術室全室稼働を目指して一緒に頑張りましょう。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

麻酔科部長：北川　忠司

<プログラムの特徴>

麻酔科研修で必要なことは症例数とその種類です。
当院は年間5,000例以上の麻酔管理症例があり、症例も心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、緊急症例を含め多岐にわたり、多様な麻酔方法、スキルを習得することができます。
また患者の高齢化、重症化が進む中で多様性鎮痛（multimodal anagesia）による安全な鎮痛管理のため、積極的なエコーガイド下末梢神経ブロックにも取り組んでおり質の高い周術期管理を学ぶことができます。さらに麻酔の知識・技術を活かしペインクリニック、緩和ケアや集中治療へ進むこともできます。
現在徳洲会グループ以外に福岡大学、産業医科大学と連携しており大学における研修も可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

【連携施設A】
・福岡大学病院　（福岡）
・産業医科大学病院　（福岡）
・湘南鎌倉総合病院　（神奈川）
・宇治徳洲会病院　（京都）
・松原徳洲会病院　（大阪）
・名古屋徳洲会総合病院　（愛知）
【連携施設B】
・共愛会病院　（北海道）
・大隅鹿屋病院　（鹿児島）

<診療実績など>

【2024年度実績】
手術件数：6,496件
うち緊急手術が1068件

メッセージ

私たち麻酔科は手術室の麻酔だけでなく、急性期医療のプロフェッショナルになることを目指しています。重症患者を前にしても自信をもって治療できる医師になれるよう、一緒に頑張りましょう。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/桐野
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　麻酔科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	札幌医科大学附属病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、東京西徳洲会病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北医科薬科大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター、東京女子医科大学病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、帝京大学医学部附属溝口病院、千葉メディカルセンター、湘南藤沢徳洲会病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院、東京女子医科大学病院、帝京大学医学部附属溝口病院、東京西徳洲会病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京女子医科大学、東京西徳洲会病院、昭和大学横浜市北部病院、湘南藤沢徳洲会病院、静岡医療センター、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	関東中央病院、横浜旭中央総合病院	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜神奈川県＞ 葉山ハートセンター	東京西徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院	046-875-1717 soumu@hayamaheart.gr.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、宇治徳洲会病院、東京西徳洲会病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	愛知医科大学病院、中京病院、湘南鎌倉総合病院、福岡徳洲会病院、松原徳洲会病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	宇治徳洲会病院、滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、湘南藤沢徳洲会病院、京都府立医科大学附属病院、洛和会音羽病院、神戸大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、福岡徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	福岡徳洲会病院麻酔科PG、聖隷浜松病院麻酔科PG、宇治徳洲会病院麻酔科PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪公立大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪公立大学医学部附属病院、市立伊丹病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学医学部附属病院、近畿大学病院、市立伊丹病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　麻酔科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	産業医科大学病院、福岡大学病院、湘南鎌倉総合病院、宇治徳洲会病院、松原徳洲会病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	神戸大学医学部附属病院、福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	大阪医科薬科大学病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	千葉西総合病院、宇治徳洲会病院、琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

札幌徳洲会病院

〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号
TEL　011-890-1110　FAX　011-896-2202
URL　http://www2.satutoku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

札幌徳洲会病院整形外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

倉田　佳明（副院長／整形外科外傷センター長）

<プログラムの特徴>

「骨折に始まり、骨折に終わる」
変性疾患や炎症性疾患などを治療する一般整形外科に加え、重度四肢外傷に対して高いレベルの医療を提供する機能再建型の整形外科外傷センターにおいて、一般的な骨折治療から世界的な標準であるAO理論に基づき、高い治療技術と知識を学ぶことができます。
また、当院は開院以来救急医療に注力しており、年間約5000件の救急車を受け入れています（内因性、外因性含む）。整形外科領域は年間2000～2500件の恵まれた手術症例数があり、指導医による包括的かつ奥行きのある指導のもと、豊富な経験を積み、知識を身に着けることができます。また後述する毎朝のカンファレンスにより、担当以外の症例を共有することができ、さらに経験の幅を広げることができます。

	指導可能な研修領域									
医療機関	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
札幌徳洲会病院（A）	●	●	●	●	●	●			●	●
北海道大学病院（B）	●	●	●		●		●		●	●
札幌医科大学附属病院（C）	●	●	●		●		●		●	●
羊ケ丘病院（D）	●	●	●		●		●		●	
帯広厚生病院（E）	●	●			●			●		
済生会小樽病院（F）	●	●	●		●		●	●	●	

a）脊椎、b）上肢・手、c）下肢、d）外傷、e）リウマチ、f）リハビリテーション、g）スポーツ、h）地域医療、i）小児、j）腫瘍

<ローテーション・連携施設一覧>

北海道大学病院（札幌市）／札幌医科大学附属病院｜北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）／羊ケ丘病院（札幌市）／帯広厚生病院（帯広市）／済生会小樽病院（小樽市）

<診療実績など>

専門研修プログラム施設群　…手術件数：8,574件／新患数：19,760名
領域別手術数（連携施設群）…脊椎：673件／上肢・手：2,129件／下肢：2,354件／外傷：2,396件／
リウマチ：106件／スポーツ：409件／小児：252件／腫瘍：252件
学会活動（発表・講演等）の主な学会名：日本整形外科学会、日本肘関節学会、日本手外科学会、
日本外傷学会、日本マイクロサージャリー学会、日本骨折治療学会、
日本脊椎脊髄病学会、日本リハビリテーション医学会、
東日本整形災害外科学会、IOTA、JOIN TRAUMA、EOTS、JSETS

メッセージ　■副院長／整形外科外傷センター長（プログラム統括責任者）：倉田佳明■

当院は救急医療に注力しており、整形外科外傷症例を多く治療しています。一般的な骨折はもちろんのこと、重度関節内骨折や寛骨臼骨折といった難しい骨折手術、マイクロサージャリー技術を必要とする切断指（肢）再接合や皮弁術なども精力的に行っています。重度開放骨折などにおいては、骨折は整形外科医、軟部組織再建は形成外科医と分担して治療にあたる施設が多いですが、当院ではorthoplastic surgeonとして、骨折も軟部組織再建も当センターの医師が、一貫して治療にあたっています。専攻医の存在は、我々指導医にとっても刺激になりますし、「教えることは学ぶこと」と言われるとおり、我々の勉強にもなります。整形外科の基本である「外傷」に興味を持っている皆さんと、一緒に仕事できることを楽しみにしています。

連絡先
臨床研修センター（直通：070-6607-1548）
中條　秀樹（ナカジョウ　ヒデキ）
dr-edu-satutoku@tokushukai.jp

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

京滋救急災害整形プログラム

<プログラム統括責任者>

徳山　良之

<プログラムの特徴>

京滋救急災害整形プログラム専門研修プログラムは到達目標を「外傷救急・災害医療地域医療に貢献できる幅広い知識と視野を持った整形外科医師」としています。
整形外科学会は、運動器の機能と形態の維持・再建を目指す臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化型社会を迎えた我国においては、整形外科の期待はますます大きくなっています。その中でも京都府は高齢化人口比率の高い地域であり、地域医療で整形外科の果たす役割が非常に重要となります。このプログラムでは、高齢っか社会に即した医療を中心に研修を行い、他科と連携したチーム医療・地域医療、特に包括的な医療を担えるような整形外科医師を目指します。医師不足地域の宮城県に位置し、仙台市及び周囲医療圏で災害医療の役割を担う仙台徳洲会病院は、大学整形外科と連携し専門的な研修もできるように配慮されています。
滋賀医科大学医学部附属病院では、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療・研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節外科、救急医療、リハビリテーションなどそれぞれに徳所を持った施設、病院があり、当プログラムもそれら施設と連携し研修することにより、プライマリ・ケアから最先端の臨床・研究までを偏りなく学ぶことができます。多くの手術症例を経験・執刀し、研修終了後に自立した整形外科医として診療ができることを目指します。また、スポーツ医学を学ぶ環境も提供できます。京滋救急災害整形プログラムは、専攻医の皆様に素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を目指します。また、滋賀県地域枠として地域医療に貢献しようという志をもった専攻医の皆様にも、医師不足地域での地域医療研修義務と同様に多くの専門的な研修と研究の環境を提示できるプログラムとして環境を整えています。

<ローテーション・連携施設一覧>

【専門研修期間　4年間】
必須（6ヶ月）・・・滋賀医科大学医学部附属病院
選択・・・大津赤十字病院、長浜赤十字病院、医仁会武田総合病院、京都岡本記念病院、湘南鎌倉総合病院、札幌徳洲会病院、仙台徳洲会病院

<診療実績など>

2023年実績　新規入院患者数：884名　手術数計：1002
脊椎：95　上肢・手：103　下肢：139　外傷：591　リウマチ：2　スポーツ：10　小児：59　腫瘍：3

メッセージ

救急病院であるため骨折などの外傷の症例が多くを占めていますが、脊椎や関節などの変性疾患の治療も行っており幅広い研修が可能です。また、ハイブリッドER（CTや血管撮影が可能な救急外来に設置された手術室）や放射線治療や高気圧酸素療法などの希少な設備もあり充実した環境で研修を行なって頂けます。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　整形外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 山形徳洲会病院	三重大学附属病院、八尾徳洲会総合病院	担当：伊藤恵理 ikyoku.yamagata@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	東京歯科市川総合病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	東京女子医科大学病院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	自治医科大学	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	八尾徳洲会総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	三重大学医学部附属病院、八尾徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	順天堂大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 静岡徳洲会病院	三重大学附属病院	担当：医師対策 西山 054-256-8008 kenshu-shizuoka@tokushukai.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	八尾徳洲会総合病院、浜松医科大学	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院、徳島大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学附属病院、大津赤十字病院、札幌徳洲会病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	兵庫医科大学	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	八尾徳洲会総合病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪公立大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	新潟大学医歯学総合病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	近森病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

福岡徳洲会病院

〒816-0864　住所：福岡県春日市須玖北４丁目５番地
TEL：092-573-6622　FAX：092-573-1733
URL：https://www.f-toku.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

福岡徳洲会病院形成外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

形成外科部長：塩沢　啓

<プログラムの特徴>

■専門研修１年目
・医師としての基本的な診療能力および形成外科の基本的知識と基本的技能の習得
・学会、研修会への参加およびe-learningなど臨床研修だけでなく著書や論文を通読して幅広く学習
■専門研修２年目
・手術を中心とした基本的技能の習得
（手術手技：外傷、先天異常、腫瘍、瘢痕、瘢痕拘縮・ケロイド、難治性潰瘍、炎症、変性疾患など）
■専門研修３年目
・マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなどより高度な技術を要する手術手技の習得
・学会発表や論文作成のための基本的知識の習得
■専門研修４年目
・自分自身が主体となって治療をすすめる
・再建外科医として他科医師やリハビリテーションにおける医療従事者と協力の上、治療する能力を習得

<ローテーション・連携施設一覧>

■長崎大学病院　（長崎）
■羽生総合病院　（埼玉）

<診療実績など>

2024年における新患総数は3,479名、そのうち手術件数は1,553件であり内訳は頭蓋顔面外科、手足の外傷および組織欠損（顕微鏡下手術）、良性・悪性腫瘍、瘢痕拘縮などです。
外傷は634件、先天異常は30件、腫瘍は668件、瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド47件、難治性潰瘍82件、炎症・変性疾患89件、その他3件と幅広い手術に対応しています。

メッセージ

形成外科は症例に触れるほどスキルが上達します。当院は救急総合診療であり、連携施設も多いため形成外科領域におけるすべての症例が網羅されており、さらに手外科・熱傷・創傷・マイクロサージャリーなど各専門分野におけるスペシャリストが在籍しています。こうした環境のもと、積極的に症例に触れることで高度なスキルを有した形成外科医を目指すことができます。

連絡先

福岡徳洲会病院　卒後教育センター　土肥/今泉
TEL：092-573-6622　Mail：edu@csf.ne.jp

QRコード

＜連携施設になっている病院一覧＞　　形成外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	杏林大学医学部付属病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	福岡徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	長崎大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 鹿児島徳洲会病院	福岡徳洲会病院	担当：臨床研修センター　染川真範 099-268-1110（代表） kensyu@kagotoku.jp
＜鹿児島県＞ 大隅鹿屋病院	佐賀大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター 岩切 kanoya-ikyoku@kanoya-aishinkai.com

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院産科婦人科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

井上　裕美

<プログラムの特徴>

救命救急センターを有する総合病院の産婦人科として、救急患者を含む産婦人科全般の診療に携わっている。
婦人科良性・悪性腫瘍、自然分娩・周産期、婦人泌尿器科領域や骨盤臓器脱を含む女性のヘルスケア、基本的生殖医療、内視鏡手術、産婦人科救急医療の十分な症例数があり、総合病院として他科との密な連携による診療も学ぶことも可能。
日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科内視鏡学会の研修施設に認定されており、引き続きサブスペシャリティー分野での専門医取得も出来る。また、婦人科病理分野の研修も可能。
ラパロ体癌・頚癌の先進医療を行っている。
お産においてはTOLACや外回転の症例も多くあり、助産師を主体とした湘南鎌倉バースクリニック（19床）も併設している。
神奈川県では産婦人科は7つ研修プログラムがあるが、大学病院でないのは当院のみ。大学にはない魅力的なプログラムになっている。育児・介護で遠方での研修が難しい方限定で、近隣施設でのみ研修可能なプログラムもある。
0歳児から受け入れ可能な24時間オープンの保育所も充実し、時短勤務の選択も可能。女性医師が働きやすい環境にあり、常勤女性医師も6人在籍している。

■常勤医師数：指導医4人、専門医6人、専攻医3人
■当直回数：日直・当直併せて6単位程度
■施設認定：
日本産婦人科学会専攻医総合型指導施設、日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本女性医学学会専門医制度認定研修施設、母体保護法指定医師指定研修機関
■研修プログラム連携施設：
矢内原ウィメンズクリニック、千葉西総合病院、吹田徳洲会病院、松原徳洲会病院、千葉徳洲会病院、青山県立中央病院、湘南藤沢徳洲会病院、茅ヶ崎徳洲会病院、共愛会病院、岸和田徳洲会病院、宇治徳洲会病院、福岡徳洲会病院、南部徳洲会病院、和泉市立病院、名瀬徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、羽生総合病院、高砂西部病院、横浜市東部病院、湘南鎌倉バースクリニック

<ローテーション・連携施設一覧>

スタンダードコース　研修プログラム（例）

	1年目		2年目		3年目	
期間	9M	3M	10M	2M	2M	10M
病院	湘南鎌倉総合病院	離島研修	基幹・連携施設より選択	NICU 周産期	不妊治療・ 生殖医療	湘南鎌倉総合病院

<診療実績など>

分娩数は752件（本院454件、湘南鎌倉バースクリニック298件）、そのうち帝王切開は108件（14.4%）、会陰切開は24件。
婦人科手術は合計669件、うち腹腔鏡下手術が320件、子宮鏡下手術が68件(MEA10件含む)、癌の手術が91件（腹腔鏡下体癌23手術含む）、TFS（骨盤臓器脱のメッシュ手術）が33件、SSLF（骨盤臓器脱の非メッシュ手術）が3件。（2017年1月～2017年12月）
ラパロ体癌・頚癌の先進医療をこれからも積極的に行っていく。豊富な症例の経験が得られる。

メッセージ

基本的な知識・技術を学んでもらうことは当然のことながら、患者さんに対してあたたかい医療を提供できるようなスタッフに成長してもらいたい。
患者さんから「この先生に診てもらいたい」と選ばれる医師を目指してほしい。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　産婦人科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、千葉大学	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	湘南鎌倉総合病院、昭和大学病院	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	湘南鎌倉総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、東京女子医科大学病院、東海大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院、東京女子医科大学附属足立医療センター	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	東京女子医科大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	島根大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	湘南鎌倉総合病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学、湘南鎌倉総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 名瀬徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、鹿児島大学医学部附属病院、飯塚病院	tel：0997-54-2088（総務課直通） mail：ryuta.t@nazetokushukai.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、トヨタ記念病院、飯塚病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院、友愛医療センター、福岡大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

羽田　圭佑

<プログラムの特徴>

千葉西総合病院泌尿器科専門研修プログラム「3つの大きな特徴」

①プログラムは、千葉西総合病院を中心とし5つの病院から構成

②地域医療との連絡、他の専門医への紹介・転送も的確に行える能力を身に着けられる

③4年間の研修終了後も泌尿器科臨床を継続する臨床修練コースを選択可能

本プログラムは、千葉西総合病院を中心とし、千葉県房総地域の拠点病院である帝京大学ちば総合医療センター、千葉県館山市地域医療を担う僻地地方病院の館山病院、印西市地域医療を担う成田富里徳洲会病院と神奈川県鎌倉市地域の中核病院である湘南鎌倉総合病院の5病院から構成されています。4年間のうち、基本的には研修基幹施設で3年間研修医を行い、研修2年目もしくは3年目に研修連携施設での研修を行います。研修連携施設では、基幹施設だけでは経験しづらい一般的な泌尿器科疾患・処置・手術を学びます。

プログラム研修終了後も泌尿器科臨床を継続する臨床修練コース(※)を選択することが可能です。

<ローテーション・連携施設一覧>

<table>
<tr><th>１年目</th><th>２年目</th><th>３年目</th><th colspan="2">４年目</th><th>５年目</th><th>６年目</th></tr>
<tr><td rowspan="7">初期研修医</td><td rowspan="7">初期研修医</td><td rowspan="7">千葉西総合病院</td><td colspan="2">千葉西総合病院</td><td rowspan="7">千葉西総合病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">東京女子医科大学</td></tr>
<tr><td colspan="2">帝京大学ちば総合医療センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">湘南鎌倉総合病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">成田富里徳洲会病院</td></tr>
<tr><td colspan="2">館山病院</td></tr>
</table>

<診療実績など>

施設名	日泌学会施設区分	外来患者数（月毎）	年間手術件数	がん治療認定医	腹腔鏡技術認定医	手術支援ロボットdaVinci	体外衝撃波結石破砕装置	ホルミウムレーザー
千葉西総合病院	基幹	1596	665	2	2	2	1	1
帝京大学ちば総合医療センター	基幹	1270	372	3	5	0	1	1
湘南鎌倉総合病院	基幹	1276	265	0	2	1	0	1
成田富里徳洲会病院		468	89	2	2	1	0	1
館山総合病院		165	1	0	0	0	0	0
東京女子医科大学	基幹	3050	1185	5	4	3	1	1
合計		7825	2577	12	15	7	3	5

メッセージ

当院では、ダビンチXIを2台稼働しています

ダビンチ手術も積極的に行っております。是非、見学にいらして下さい！

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

南部徳洲会病院



〒901-0493　沖縄県島尻郡八重瀬町字外間171番地1
TEL　098-998-3221　FAX　098-998-3220
URL　https://www.nantoku.org/

プログラム概要

<プログラム名>

沖縄中南部および宮古八重山、奄美離島・子育て支援泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

南部徳洲会病院 副院長・泌尿器科主任部長　向山 秀樹

<プログラムの特徴>

本プログラムの特徴は以下の3点に集約されます。
＃1　泌尿器科救急疾患
＃2　離島における専門医療(泌尿器疾患)の提供
＃3　家庭を大事にすることも可能である。

本プログラムでは泌尿器科救急疾患を数多く経験することが可能です。当院は救急疾患に24時間対応が可能であり、救急医療基幹病院のひとつです。それに伴い泌尿器科救急疾患、尿管結石に伴う閉塞性腎盂腎炎、精巣捻転、精巣腫瘍、尿道損傷、腎損傷、気腫性腎盂腎炎(膿腎症)等緊急もしくは可及的速やかな外科手術が必要とされる疾患から、日常的な尿管結石、尿閉等まで初診時より診療に主治医として参加することが可能です。
2番目に離島医療があります。離島医療から日本の医療が見れる。離島医療を経験することにより、泌尿器科がいかに住民に必要とされているかを実感することができます。専門医（専門知識・専門技術を有する）であることが患者から求められかつ感謝もされます。
本プログラムには離島医療施設が泌尿器科指導医の常勤している施設(宮古島)、泌尿器科指導医が非常勤である施設(石垣島、沖永良部島、与論島)ともに揃えています。離島医療を経験することにより自分が医師であることの原点に立ち返ることができます。

<ローテーション・連携施設一覧>

大阪医科薬科大学、中部徳洲会病院、沖縄協同病院、友愛医療センター、北上中央病院、南部医療センター、こども医療センター、沖縄県立中部病院、浦添総合病院、茅ヶ崎徳洲会病院、武蔵野徳洲会病院、高槻病院、市立ひらかた病院、済生会茨木病院、済生会中津病院、生駒市立病院、野崎徳洲会病院、松原徳洲会病院、与那原中央病院、　　宮古島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、与論徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、

<診療実績など>

一般的泌尿器疾患の診療および学会発表等は、沖縄協同病院、北上中央病院（サザンナイトラボラトリー）、友愛医療センター、中部徳洲会病院等と協力して行っていく予定です。詳細はプログラムの手術件数・学会紙上発表等を参照してください。
詳しくは、https://www.nantoku.org/recruit/senior_resident.php

メッセージ

本プログラムは、子育て支援・男女共同参画を目指しています。小生も女児を育てる一児の父で妻が病気のため当院の保育施設を利用して娘を育てることができました。同経験を活かし、泌尿器科を目指しているにも関わらず、育児のため泌尿器科を断念せざる負えないような若手医師(小生は若手とは言い難いですが)があらわれないように、一人でも多くの泌尿器科専門医が育つように最善の取り組みをさせてください。　プログラム責任者：向山 秀樹

連絡先

南部徳洲会病院 総務課 研修事務担当：島袋 貴光
TEL：098-998-3221　FAX：098-998-3220
E－mail　shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　泌尿器科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	札幌医科大学附属病院（協力病院）	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	東京大学	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	千葉西総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 館山病院	千葉西総合病院	担当：総務課　竹内 resident@tateyama-hp.com
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	杏林大学医学部付属病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	日本大学医学部附属板橋病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 茅ヶ崎徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：医局秘書　伊藤　恵 ikyokuchigasaki@yahoo.co.jp
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	杏林大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	静岡県立総合病院、帝京大学溝口病院	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	大阪大学、県立西宮病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	大阪医科薬科大学附属病院泌尿器科専門研修PG	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	近畿大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	大阪大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 沖永良部徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：総務課 新名敬介 niina@okitoku.net 0997-93-3000（内線　536）
＜鹿児島県＞ 与論徳洲会病院	南部徳洲会病院	担当：総務課　仲田　三喜男 0997-97-5388（総務課直通） soumu@yorontokushukai.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	南部徳洲会病院、琉球大学医学部附属病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	大阪医科薬科大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院放射線科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

李　進

<プログラムの特徴>

本プログラムは、(医)沖縄徳洲会　湘南鎌倉総合病院放射線科(以下　湘南鎌倉総合病院放射線科)を専門研修基幹施設として、横浜市立大学附属病院放射線科および湘南厚木総合病院、湘南藤沢徳洲会病院放射線科,東京西徳洲会病院を専門研修連携施設として、武蔵野徳洲会病院を専門関連施設として加えた専門研修施設群を統括する専門研修プログラムです。
専門研修施設群は、専門研修基幹施設との密接な連携を保つことができる二次医療圏から同一都道府県内を基本的な範囲とし、研修内容の質の向上のために、基幹施設と相互に指導医が派遣され密接な連携を保っている,東京西徳洲会病院および武蔵野徳洲会病院(同一都道府県外)を加えた6つの施設で構成されています。

専門研修プログラム統括責任者は、専門研修基幹施設の責任者(部長、科長など)があたり、プログラム全体について責任を持ちます。専門研修連携施設の指導管理責任者は、各施設の責任者(部長、科長など)があたり、専攻医の研修ならびに労働環境・条件など全般にわたる責任を負います。専門研修プログラム連携施設担当者は、専門研修プログラム管理委員会における各施設の代表者です。指導にあたる専門研修指導医は、放射線科領域における十分な診療経験と教育および指導能力を有する医師であり、日本医学放射線学会認定の研修指導者資格を取得しています。

<ローテーション・連携施設一覧>

コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
a	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院	湘南鎌倉総合病院
b	湘南鎌倉総合病院	東京西徳洲会病院	湘南藤沢徳洲会病院
c	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院 (大学院・臨床)	湘南鎌倉総合病院 (大学院・臨床)

<診療実績など>

施設名	湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院	湘南厚木病院	湘南藤沢徳洲会病院	東京西徳洲会病院	武蔵野徳洲会病院
役割	基幹	連携	連携	連携	連携	関連
日本医学放射線学会認定期間	総合修練	総合修練	修練	修練	修練	非認定
指導医数	3	6	1	3	2	1
CT検査件数	27600	1893	0	12400	20700	0
IVR施行件数	227	0	0	27	0	0
放射線治療患者数	285	41	0	560	0	

メッセージ

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　放射線科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南厚木病院	湘南鎌倉総合病院（予定）	担当：齊藤 kensyu@shonan-atsugi.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	奈良県立医科大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、名古屋市立大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

千葉西総合病院



〒270-2251　千葉県松戸市金ケ作107-1
TEL　047-384-8111　FAX　247-384-9403
URL　http://www.chibanishi-hp.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

千葉西総合病院 病理専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

鈴木 正章

<プログラムの特徴>

本病理専門研修プログラムでは、病理領域の診断技能のみならず、他職種、特に臨床検査技師や他科医師との連携を重視し、同時に教育者や研究者、あるいは管理者など幅広い進路に対応できる経験と技能を積むことが望まれます。
年間40例以上の剖検数があり、組織診断も13,000件程度あるため、病理専門医受験に必要な症例数は余裕を持って経験することが可能です。また、各施設におけるカンファランスのみならず、徳洲会全体の病理医を対象とする病理検討会があります。これらに積極的に出席して、希少例や難解症例にも直接触れていただけるよう配慮しています。

	生検当番	切出当番日	解剖当番日	当番外(例)
午前	生検診断	手術材料切出	病理解剖	手術材料診断
	(随時)迅速診断、生材料受付	小物(胆嚢、虫垂など)切出		
午後	指導医による診断内容チェック	小物(胆嚢、虫垂など)切出	追加検査提出、症例まとめ記載	解剖症例報告書作成
	修正	手術材料切出		カンファレンス準備
				カンファレンス参加

←1 日の流れ
↓研修目標

1 年目	目標	剖検（CPC 含む）と基本的な病理診断と細胞診、関連法律や医療安全の習得を目的とする。
2 年目	目標	剖検（CPC 含む）とやや専門的な病理診断および基本的な細胞診の習得目的とする。この年次までに剖検講習会受講。可能であれば死体解剖資格も取得
3 年目	目標	剖検（CPC 含む）と専門的な病理診断および専門的な細胞診の習得を目的とする。この年次までに細胞診講習会、分子病理講習会、医療倫理講習会、医療安全講習会、医療関連感染症講習会など、専門医試験受験資格として必要な講習会を受講

<ローテーション・連携施設一覧>

連携施設

東京慈恵会医科大学附属病院、湘南厚木病院、羽生総合病院、鎌ケ谷総合病院

ローテート例①

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	連携施設（東京慈恵会医科大学附属病院、羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											
	施設名	連携施設（羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											

ローテート例②

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	千葉西総合病院											
	施設名	連携施設（東京慈恵会医科大学附属病院、羽生総合病院、湘南厚木病院、鎌ケ谷総合病院）											

<診療実績など>

専門医研修基幹病院および研修連携施設の一覧→
2020 年から 2022 年までの 3 年間の平均実績
医師数については 2023 年 4 月時点

	千葉西総合病院	東京慈恵会医科大学附属病院	湘南厚木病院	羽生総合病院	鎌ケ谷総合病院
病床数	680	1075	253	311	329
専任病理医数	3	16	1	1	1
病理専門医数	2	10	1	1	1
病理専門指導医数	1	5	0	1	0
組織診*	6741	16936	1700	2219	2713
迅速診断*	102	719	10	67	14
細胞診*	10051	14290	3600	4674	2647
病理解剖*	19	1	2	2	0

連絡先

千葉西総合病院　医師人事室
TEL:047-384-8111（代表）
E-mail: drcollection@chibanishi-hp.or.jp

湘南鎌倉総合病院

〒247-8533　住所 鎌倉市岡本1370-1
TEL0467-46-1717　　FAX　0467-45-0190
URL　https://www.shonankamakura.or.jp/

プログラム概要

<プログラム名>

湘南鎌倉総合病院病理専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

手島　伸一

<プログラムの特徴>

基幹施設である湘南鎌倉総合病院と連携施設（1群と2群）では、3年間を通じて病理組織診断の研修を行います。基本的に診断が容易な症例や症例数の多い疾患を1年次に研修し、2年次以降は希少例や難解症例を交えて研修をします。2年次以降は各施設の指導医の得意分野を研修します。いずれの施設においても研修中は当該施設病理診断科の業務当番表に組み込まれます。当番には生検診断、手術材料診断、術中迅速診断、手術材料切り出し、剖検、細胞診などがあり、それぞれの研修内容が規定されています。各当番の回数は専攻医の習熟度や状況に合わせて調節され、無理なく研修を積むことが可能です。なお、各施設においても各臨床科と週1回～月1回のカンファレンスが組まれており、担当症例は専攻医が発表・討論することにより、病態と診断過程を深く理解し、診断から治療にいたる計画作成の理論を学ぶことができます。
剖検（病理解剖）に関しては、研修開始から最初の5例目までは原則として助手として経験します。以降は習熟状況に合わせますが、基本的に主執刀医として剖検をしていただき、切り出しから診断、CPCでの発表まで一連の研修をしていただきます。またhands-on-trainingとして積極的に剖検の助手を経験していただきます。その際に剖検前のイメージトレーニングと剖検所見の詳細な記録を実行させる、剖検、切り出し、標本作製手技をトレーニングする設備の充実を図ります。連携施設で研修中に当該施設の剖検症例が少ない場合は、他の連携施設や基幹施設の剖検症例で研修をしていただきます。

<ローテーション・連携施設一覧>

コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
1	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	川崎幸病院
2	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	札幌東徳洲会病院
3	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	湘南藤沢徳洲会病院
4	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	福岡徳洲会病院
5	湘南鎌倉総合病院	湘南鎌倉総合病院	成田富里徳洲会病院 名古屋徳洲会総合病院 大垣徳洲会病院
6	湘南鎌倉総合病院	連携施設6Mローテ	

<診療実績など>

研修連携施設および症例数　　2015年度

	専門医数	剖検数	組織診	迅速診	細胞診		専門医数	剖検数	組織診	迅速診	細胞診
湘南鎌倉総合病院	1	20	9376	170	11126	大垣徳洲会病院	1	0	1008	23	173
川崎幸病院	3	5	5013	92	0	千葉徳洲会病院	1	4	2699	67	2349
札幌東徳洲会病院	1	9	3136	29	728	東京西徳洲会病院	1	0	3200	95	2700
湘南藤沢徳洲会病院	1	13	5741	66	8748	八尾徳洲会病院	0	10	5077	102	8567
福岡徳洲会病院	2	13	6859	113	5623	中部徳洲会病院	0	3	3904	65	4944
成田富里徳洲会病院	1	0	0	0	0	南部徳洲会病院	0	3	1455	23	3175
名古屋徳洲会病院	1	10	1787	35	1732						

メッセージ

大学以外の病理研修プログラムは28施設にすぎません。その中での本プログラムの最大の特徴は臨床各科との緊密な連携のもとに、双方の知識を高め合っていることです。病理に現在2名の専攻医が在籍しています。女性医師は子育てと両立させており、育児の面でも最適の環境にあります。

連絡先

湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター
代表 0467-46-1717
e-mail　kenshu@shonankamakura.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　　病理診断科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	北海道大学病院、湘南鎌倉総合病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	北海道大学病院、札幌医科大学附属病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜千葉県＞ 成田富里徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：神谷　祐太 090-2455-9495 yk0325@tokushukai.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	千葉大学医学部附属病院	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜東京都＞ 東京西徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：医局秘書　伊藤修、042-500-6626 doctor_tw@tokyonishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	千葉西総合病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	名古屋市立大学病院、愛知医科大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	奈良県立医科大学附属病院	総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 松原徳洲会病院	大阪国際がんセンター	担当：臨床研修センター　武島誠 072-334-3400（内線 3305） makoto.takeshima@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター、湘南鎌倉総合病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	亀田総合病院、長崎大学病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学、湘南鎌倉総合病院	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	湘南鎌倉総合病院、琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院、湘南鎌倉総合病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

宇治徳洲会病院

〒　611-0041　住所　京都府宇治市槇島町石橋145
TEL　0774-20-1111　FAX　0774-20-2336
URL　https://www.ujitoku.or.jp

プログラム概要

<プログラム名>

宇治徳洲会病院 小児科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

重松　陽介

<プログラムの特徴>

本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることをめざしてください。
　専門研修期間3年間のうち、2年間は基幹施設である宇治徳洲会病院において小児科全般の急性期・慢性期疾患を担当医として研修するとともに、保健所および保健センターにおいて地域小児保健医療・行政を学びます。その間、周産期母子医療センター（NICU）で新生児疾患・先天異常疾患を、また、救命センターで救急医療の基本を研修します。残りの専門研修期間1年間は、京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、国立病院機構南京都病院、埼玉県立小児医療センター、男山病院、中部徳洲会病院、札幌徳洲会病院で、それぞれの地域の特性と施設の役割に応じた地域医療と他科との医療連携を幅広く体験します。
以上の通り、感染症、救急分野、小児保健などの地域性がみられる領域、そして、新生児、悪性腫瘍、循環器疾患などのいくつかの専門領域に関しては複数の専門研修施設で選択的に研修が可能となっています。施設の選択は、それまでの研修履歴や内容によって専門研修プログラム管理委員会との話し合いによって行われます。
※最低3カ月以上の期間、2施設～3施設で研修を行う。
乳児健康診査や予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患の対応を担当医として研修します。
宇治徳洲会病院は京都府南部の急性期基幹医療センターとして位置づけられ、一般診療とともに救急救命センター・周産期母子医療センター・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院としての活動をしています。高度な専門医療にも対応するため、各専門領域に経験豊富な専門医を有し、年中無休・24時間オープンで幅広い救急患者を受け入れる体制も有しています。このため、小児救急の受け入れ体制は充実しており、小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応と管理も十分研修できる施設です。
また、沖縄地区での離島の検診を行うプログラムが組まれており、島国である日本の医療の特徴ある過疎医療・地域医療を体験できるほか、重症心身障がい児や心身症などに対応した専門施設での研修も行えます。

<ローテーション・連携施設一覧>

【　専門研修期間　3年間　】
京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、埼玉県立小児医療センター、島根県立中央病院、南京都病院、男山病院、共愛会病院、札幌徳洲会病院、京丹後市立弥栄病院、京丹後市立久美浜病院、中部徳洲会病院、高砂西部病院、六地蔵総合病院、羽生総合病院、神戸徳洲会病院

<診療実績など>

年間症例数及びその細目（2023年度）　感染症及び寄生虫：122　新生物〈腫瘍〉：10　血液及び増血器の疾患並びに免疫機構の障害：7　内分泌、栄養及び代謝疾患：19　精神及び行動の障害：5　神経系の疾患：40　目及び付属器の疾患：0　耳及び乳様突起の疾患：6　循環器系の疾患：4　呼吸器系の疾患：508　消化器系の疾患：24　皮膚及び皮下組織の疾患：20　筋骨格系及び結合組織の疾患：28　腎尿路生殖器系の疾患：17　周産期に発生した病態：233　先天奇形、変形及び染色体異常：15　損傷、中毒及びその他の外因の影響：71　特種目的用コード：44

メッセージ

指導医には自信があります。
症例も多く、地域医療も学べるプログラムになっておりますので、是非一度見学に来てください。

連絡先

管理部　医師人事課　吉田明央
E-mail :senmon-kensyu@ujitoku.or.jp

＜連携施設になっている病院一覧＞　小児科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院、宇治徳洲会病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜北海道＞ 共愛会病院	宇治徳洲会病院	担当：中村 kenshu@kyoaikai-hosp.com
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	東京大学	担当：人事課　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜埼玉県＞ 羽生総合病院	宇治徳洲会病院	担当：羽生総合病院　総務課　川口　暁 resident_doctor@fureaihosp.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	順天堂大学医学部附属順天堂医院、藤沢市民病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜滋賀県＞ 近江草津徳洲会病院	滋賀医科大学医学部附属病院	担当：畑　富実生 f.hata@oumi-kusatsu-hp.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、埼玉県立小児医療センター、島根県立中央病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	近畿大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 和泉市立総合医療センター	大阪公立大学、宇治徳洲会病院	担当：渡邊・上田 izumi-senmon@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜鹿児島県＞ 徳之島徳洲会病院	宇治徳洲会病院	担当：総務課　竹原　友美 toku-soumu@po.synapse.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	県立南部医療センター	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	南部医療センター、こども医療センター	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞　　脳神経外科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜山形県＞ 庄内余目病院	秋田大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター　西川　晃 0234-43-3434（代表） kenshu@amarume-hp.jp
＜千葉県＞ 千葉西総合病院	埼玉医科大学国際医療センター（来年度連携予定）	担当：人事課　　友野　歩、 atomono@chibanishi-hp.or.jp
＜千葉県＞ 鎌ケ谷総合病院	獨協医科大学埼玉医療センター	担当：総務課　日高 m.hidaka@kamagaya-hp.jp
＜山梨県＞ 白根徳洲会病院	山梨大学医学部附属病院	担当：倉﨑、 ikyokuhisyo@shiranetoku.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	北里大学病院、横浜市立大学附属病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜神奈川県＞ 湘南鎌倉総合病院	横浜医療センター、横浜市立大学	担当：臨床研修センター kenshu@shonankamakura.or.jp
＜愛知県＞ 名古屋徳洲会総合病院	愛知医科大学病院	担当：総務課　臨床研修事務局 kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 野崎徳洲会病院	関西医科大学附属病院	担当：総務課　医局人事室　上羅　洋平 TEL：072-874-1641（代表） E-mail：yohei.uera@tokushukai.jp（個人）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	和歌山県立医科大学附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪市立大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp
＜沖縄県＞ 中部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：臨床研修室　木村、098-932-1110 h.kimura@cyutoku.or.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org

＜連携施設になっている病院一覧＞

耳鼻咽喉科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

眼　科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜北海道＞ 札幌東徳洲会病院	札幌医科大学附属病院	担当：松山　智行 011-722-1110 ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp
＜北海道＞ 札幌徳洲会病院	旭川医科大学病院	担当：臨床研修センター 中條秀樹（ナカジョウヒデキ） 011-890-1110(代表)/070-6607-1547(直通) dr-edu-satutoku@tokushukai.jp
＜京都府＞ 宇治徳洲会病院	京都大学医学部附属病院	担当：総務課　医師人事室　吉田　明央 senmon-kensyu@ujitoku.or.jp
＜大阪府＞ 八尾徳洲会総合病院	大阪医科大学医学部附属病院	担当：研修管理委員会事務局　大杉 072-993-8501 yao-kenshu@tokushukai.jp
＜大阪府＞ 吹田徳洲会病院	帝京大学	担当：冨士田　学、 suita-soumu@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	福岡大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

皮膚科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜宮城県＞ 仙台徳洲会病院	東北大学病院	担当：総務課　前野 022-771-5111 maeno@sendai.tokushukai.or.jp
＜神奈川県＞ 湘南藤沢徳洲会病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	担当：臨床研修センター shonan-doctor@tokushukai.jp 0800-888-6201（直通フリーダイヤル）
＜大阪府＞ 岸和田徳洲会病院	大阪大学医学部附属病院	担当：総務課　医師対策係　近藤・瓜生 TEL：072-445-9795 MAIL：kishiwada-kenshu@tokushukai.jp
＜島根県＞ 出雲徳洲会病院	島根大学医学部附属病院（準連携施設）	担当：総務課（企画室）　勝部 0853-73-7000 aki-katsube@tokushukai.jp
＜福岡県＞ 福岡徳洲会病院	九州大学	担当：土肥　啓次郎 092-573-6622　／　edu@csf.ne.jp

リハビリテーション科

病院名	基幹施設名	問い合わせ先
＜千葉県＞ 千葉徳洲会病院	亀田総合病院	担当：総務課　清水　大輔 kensyu@chibatoku.or.jp
＜静岡県＞ 榛原総合病院	浜松医科大学	担当：総務課　岸端 0548-22-1131　kenshu-c@tokushukai.jp
＜沖縄県＞ 南部徳洲会病院	琉球大学病院	担当：総務課（研修事務）　島袋 貴光 098-998-3221 shima@nantoku.org